

中道町埋蔵文化財発掘調査報告書第4集

KUYOUJI-SITE

# 供養寺遺跡

USHIRO-SITE

# 後呂遺跡

—東八代広域斎場建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—

2000

東八代広域行政事務組合  
中道町・中道町教育委員会

中道町埋蔵文化財発掘調査報告書第4集

KUYOUJI-SITE

# 供養寺遺跡

USHIRO-SITE

# 後呂遺跡

－東八代広域斎場建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－

2000

東八代広域行政事務組合  
中道町・中道町教育委員会

#### 図1 後呂遺跡イメージ図

右の図は、「写真図版54 後呂遺跡調査完了後空撮写真 東から」を参考に、本調査調査補助員である佐野香織の指導により、本報告書整理作業協力員池谷玲子が描いたものである。

ただし、この図は、「後呂遺跡全域を発掘調査したならば、このくらいの『住居跡』が確認されるであろう…」という想像により作成している。そもそも後呂遺跡は、縄文・弥生・古墳時代の複合遺跡であり、「一時期（例えば縄文時代中期）にこれほど大規模な集落であった。」ということではない。つまり、このイメージ図は、「縄文・弥生・古墳時代の各集落を一枚の図に描いている」ということである。

尚、図の中央にある枠は、後呂遺跡の今回の発掘調査域であり、枠内にある住居跡・土坑・溝状構造・古墳は、この調査によって検出された位置ならびに各構造の整理番号と同一である。

図1



後呂遺跡  
第15号住居跡  
出土遺物No.25

図版2



後呂遺跡 第15号住居跡 出土遺物No.26

## 序 文

平成9年度に着手した東八代広域斎場建設事業は、地元中道町をはじめ東八代郡全町村と地域住民の皆様の温かいご理解とご協力により平成11年3月29日、「東八聖苑」として竣工することができました。

曾根丘陵上に位置する中道町は、古くから先人が生活を営み、県内最古の「立石遺跡」をはじめ、東日本最大級の規模を持つ「上の平方形周溝墓群」「銚子塚古墳」など、山梨県を代表する遺跡を数多く有する「遺跡の宝庫」として県内外から注目されているところであります。

今回の斎場事業地はその中でも特に遺跡数の多い右左口区内の台地上にあり、当初より供養寺遺跡の存在が知られていました。度重なる協議の結果、発掘調査については、東八代郡内8町村の教育委員会に所属する文化財担当職員を派遣して戴き、精力的な取り組みにより現地調査を終了、数々の成果をみることができました。

当事業地の中で最も標高の高い位置からは、縄文時代の住居跡や土坑などの遺構をはじめ、多くの土器・石器類が発見されました。

整理作業が終了した今、多くの住民にこれらの貴重な文化遺産を見て戴きたく、聖苑内に常設展示場を設け、広く解放しております。

本報告書が、今後、より多くの方々によって活用され、考古学研究の一端を担う資料となれば幸甚であります。

末筆ながら、今回の調査にあたり、現地調査から本報告書の刊行に至るまでご理解とご協力を賜りました東八代教育事務所、郡下各町村、各教育委員会ならびに文化財関係等の機関、各位に厚く感謝申し上げます。

平成12年3月

東八代広域行政事務組合  
代表理事 石原昭夫

## 序 文

東八代広域行政事務組合が懸案の広域斎場の建設を計画し、最終的に条件整備の良い中道町右左口地域内の台地上に建設することに決定し、平成11年度に「東八聖苑」として竣工しました。

曾根丘陵上に位置する中道町は「遺跡の宝庫」として古くから注目され、「立石遺跡」や「小平沢古墳」をはじめ、上の平方形周溝墓群・同史跡銚子塚古墳付丸山塚古墳など、山梨県を代表する貴重な文化遺産が存在する町であります。

近年中央自動車道甲府南インターチェンジの開設もあり、銚子塚古墳を中心として山梨県立考古博物館・中斐風上記の丘・曾根丘陵公園が建設され、県内外からの研究者などに活用されています。

斎場進入路建設地である後呂遺跡の調査では、2, 690 m<sup>2</sup>という狭い調査対象面積ではありましたが、そのほぼ全域から遺物・遺構が検出されました。東八代郡全町村の協力により、短期間のうちに、しかも、貴重な遺物や遺構が検出され、誠に意義のある調査であったと 思います。

現在、出土品の一部が東八聖苑の中の一画に展示され、「遺跡の宝庫」といわれる中道町に建設された斎場として特色ある施設としての形態であると思っております。この度完成したこの報告書が数多くの人々に活用されることを心より願っております。

おわりに、今回の発掘調査に対し、多大なご指導とご協力を戴いた研究者の先生方、調査員をはじめ、地元の調査協力員の方々に心より感謝と御礼を申し上げ、序文といたします。

平成12年3月

中道町教育委員会  
教育長 丹澤光一

## 本報告書全体の説明

1. 本報告書は、山梨県東八代郡中道町右左口地内での東八代広域斎場建設事業に伴い発掘調査を実施した以下2遺跡の発掘調査報告書である。

供養寺（くようじ）遺跡<斎場建設事業地内>

中道町右左口字供養寺3090番地1（外75筆）

後呂（うしろ）遺跡<斎場進入路建設事業地内>

中道町右左口字後呂3143番地1（外11筆）

2. 発掘調査（整理作業を含む）に関係する組織

事業主体 東八代広域行政事務組合（代表理事 右原昭夫石和町長）

調査事務局 中道町教育委員会（教育長 丹澤 光一）

調査担当 東八代社会教育推進協議会文化財担当者部会（事務局 東八代教育事務所）

石和町教育委員会 小瀬忠秋

御坂町教育委員会 望月和幸

宮町教育委員会 猪股喜彦 濱田正明

八代町教育委員会 伊藤修二

境川村教育委員会 野崎 進

中道町教育委員会 林部 光

農富村教育委員会 岡野秀典（以上、調査担当）

芦川村教育委員会 古屋利文（事務担当）

3. 工事面積ならびに調査面積は下表のとおりである。

	工事面積	調査面積	調査面積の内訳
供養寺遺跡	31,724m <sup>2</sup>	約5,000m <sup>2</sup>	本発掘調査分 約1,600m <sup>2</sup>
			試掘調査分 約3,400m <sup>2</sup>
後呂遺跡	2,690m <sup>2</sup>	約2,000m <sup>2</sup>	本発掘調査分 約1,600m <sup>2</sup>
			試掘調査分 約400m <sup>2</sup>

4. 発掘調査期間

供養寺遺跡 平成9(1997)年5月12日～ 8月29日

後呂遺跡 平成9(1997)年8月20日～10月22日

5. 整理作業期間

平成9年10月24日～平成10年3月26日（於 中道町中央公民館）

平成10年4月3日～平成11年8月31日（於 中道町下向山地区旧金沢共同稚蚕舎所）

平成11年9月1日～平成12年3月31日（於 中道町中央公民館）

6. 整理作業参加者（敬称略・五十音順）

調査補助員 佐野香織

作業協力員 猪狩由美子・池谷香苗・池谷玲子・小林 諭・小林曾み・五味はるみ

佐野智希・千野和子・山崎聖子・渡辺 晃・渡辺千絵（中道町）

前嶋峰子（一宮町） 宮川菊江（境川村）

柄澤貞路・丸山智子（甲府市） 小松春美（西八代郡下部町）

7. 報告書作成にあたっての担当者

執筆 : 岡野秀典（第6章第3・4節、第8章）

猪股喜彦（第7章） 他、林部が担当

編集 : 本調査担当者全員

遺物の洗浄・注記 : 佐野香織・宮川菊江・山崎聖子・小林曾み・五味はるみ・千野和子  
猪狩山美子

土器の接合 : 佐野香織・宮川菊江・山崎聖子・猪狩由美子・池谷香苗

土器の拓本 : 千野和子・池谷玲子・池谷香苗

遺構・遺物の観察 : 林部 光

遺構・遺物の実測 : 佐野香織・山崎聖子・小林曾み・五味はるみ・前嶋峰子

遺構・遺物のトレイス : 山崎聖子・五味はるみ・猪狩山美子

写真撮影 : 林部 光

写真関係全般 : 佐野香織・千野和子・猪狩由美子・池谷玲子

校正 : 佐野香織・池谷玲子

上記以外の整理作業 : 小林 諭・渡辺 晃・渡辺千絵・丸山智子・小松春美・佐野智希  
柄澤貞路

8. 今回の事業実施にあたり、東八代郡文化財担当者部会の事務局である東八代教育事務所には、会議会場の提供、口程の交渉等いろいろな面でご協力戴きました。衷心より感謝申し上げます。

9. 発掘調査から報告書作成に至るまで次の方々からご指導、ご協力戴きました。

記して謝意を表します。（敬称略・順不同）

斎場建設事業地権者会（代表 小林 精一）

斎場進入路建設事業地権者会（代表 鮎田 林三）

田代孝 木木健 新津健 坂本美夫 小野正文 長沢宏昌 山月洋文 中山誠二 村石眞澄

柳原功 平野修 今福利恵 佐野隆 森原明廣 小宮山隆 小林孝子 坂口一 井上昌美  
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

山梨県教育庁学術文化財課 山梨県立考古博物館 山梨県埋蔵文化財センター

東八代教育事務所 東八代郡教育委員会連合会教育長部会

東八代郡教育委員会連合会管理職部会 北巨摩市町村文化財担当者会

帝京大学山梨文化財研究所 山梨日日新聞社 読売新聞甲府支局 朝日新聞社

10. 発掘調査参加者（敬称略 五十音順）

調査員 綱倉 邦生（現在 山梨県埋蔵文化財センター嘱託職員）

調査補助員 佐野 香織

作業協力員 池谷久美子・池谷玲子・橋田由利子・小林曾み・五味十郎・五味はるみ

佐野智希・清水栄治・滝沢昌子・千野和子・千野富子・福嶋あい子・福嶋一洋

宮久保朝乃・山崎清子・山崎せいか・山崎聖子・山崎芳子（中道町）

宮川菊江（境川村）

入倉知子・柄澤真路・河野義雄・本道歌子・本道政清（甲府市）

真田和了・長塚むつ子（塩山市）

11. 本調査の出土品の一部は東八聖苑・中道町役場・中道町中央公民館に展示されている。以外の出土品および諸記録はすべて東八代広域行政事務組合が保管している。

12. 供養寺遺跡と後呂遺跡とはほぼ隣接する位置関係にあることや同じ調査原因であることから、第1章・第2章・第3章・第4章については両者一括した。

13. 後呂遺跡第1号古墳から「動物の歯」が数点出土した。全てを（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団（専門員 坂口 一・調査研究員 井上昌美）に鑑定していただいた。（第31表参照）

14. 空中写真撮影は株式会社フジテクノ（東京都武藏野市中町1-24-16）に、また、出土石器の一部について写真実測を株式会社シン技術コンサル（東京都八王子市別所1-10-6）に、赤色顔料ならびに炭化材の分析を、パリノ・サーヴェイ株式会社（東京都中央区日本橋本町1-10-5）に依頼した。

更に、斎場内に展示する際、次の方々には展示ケース内の台・台座・パネル等に特別なるお心遣いを戴きました。記して謝意を表します。

第一合成株式会社（代表取締役 河野廣司氏 東京都八王子市元本郷町1-8-3）

ボレボレ工房（代表 猪狩孝治 中道町右左口3234-1）

15. 遺構断面図中の「471. 127m」等の数値は標高を表す。

16. 遺構断面図において、基本土層はスクリーントーンで示したが、遺物出土位置図が繁雑になる場合は省略した。

17. 遺構の名称は、発掘調査中、種類別且確認順に付したものと基本とするため、その所属時期・出土位置とは無関係である。

18. 出土遺物の観察表中「図番号」に記してある「第■図」の■は、尖測図を示した挿図番号である。

更に、その後の数字は挿図中の遺物番号である。（例 第10図5）

19. 各造構から出土した土器・土製品は、原則的に部位別（上製品・土器口縁部・頸部・肩部・脚部・底部）、更に、石器は原則的に種類別（打製石斧・磨製石斧・磨石・円石・・・）に整理番号を付してある。よって、遺物整理番号と上所属時期が前後する場合がある。ご容赦戴きたい。
20. 「18・19」により、各造構における遺物出土位置図での番号・出土遺物の挿図中の遺物番号・遺物観察表の整理番号・写真図版中の番号は一致する。  
・・・この説明では複雑である。実例をあげて説明する。  
「供養寺遺跡第1号住居跡の土器番号2」の遺物を例とする。  
・この遺物の詳細説明は、15頁「第3表 土器・土製品の観察表（No.1）」にある。  
・この土器の実測図は、29頁「第27図 第1号住居跡出土 土器・土製品（No.1）」にある。  
・この土器の出土位置は、18頁「第6図 第1号住居跡」中の平面図・断面図にある。  
・この土器の写真図版は、41頁「写真図版41 第1号住居跡出土遺物（No.1）」にある。  
尚、平面図・断面図において、石器については「石■」、動物遺体については「骨■」とし、土器・土製品と区別している。
21. 造構平面図・造構断面図には、掲載した遺物の出土位置をドットで示してある。その際の、●は土器・土製品、○は石器、▲は動物遺体である。
22. 「第31表補図 馬の頭蓋骨と歯」については、後述参考・引用文献中『馬と進化』の一図を参考に、本報告書整理作業協力員池谷玲子が作成した。

## 用語の説明

本書における遺構の名称の基準および用語の意味は、以下のとおりである。

### 1. 発掘調査関係

- 遺構**：（いこう）住居・墳墓・製作所・都城・宮殿・寺社などいわゆる人々の生活に必要な構造物のあった場所の総称
- 住居跡**：形態が円形・方形、又はこれらに類する形状をとり、人間が居住していたと考えられる遺構
- 石囲炉**：（いしがこいろ）「現在の台所」である。石で囲まれた炉のこと。普通、縄文時代の住居の中央にある。
- 土坑**：（どこう）土に穿たれた穴で住居跡・ピット以外の遺構
- 溝状遺構**：（みぞじょういこう）便宜上「溝」と省略された場合もある。形態が細長い遺構
- ピット**：住居跡・掘建柱建物跡の柱穴等、遺構に作る杭のために土に穿たれた穴
- 豎穴状遺構**：（たてあなじょういこう）本報告書では、便宜上「堅穴」と省略した場合もある。土坑のうち、相対的に規模が大きい穴
- グリッド**：上記のとおり両遺跡では本発掘調査が行われている。その際、本発掘調査域内を5m四方に区分けた。よって1つのグリッドは原則的に2.5m<sup>2</sup>となる。
- また、各々には便宜上グリッド名が付けられている。（例「C-2区」）
- 試掘坑**：上層確認と旧石器時代の遺物等の有無を確認するために設けた穴。原則的に幅は2m×2m。土層については、第4章ならびに写真図版参照。
- 調査区内**：遺物の出土位置に記されている用語。発掘調査地全域でグリッド設定以前に発見された一括の遺物、ならびに試掘調査で出土した遺物の出土位置（地番等）
- 地表面**：遺物の出土位置に記されている用語。今回の調査では、発掘調査を実施する前に開発地全域の地表面に落ちている遺物を拾集した。これらの遺物の出土位置を「地表面」とした。
- 色調**：「土器・土製品の観察表」に登場する用語。一般的なダンボール箱の色を褐色とし、最濃色を黒色とした（薄→濃・褐色→暗褐色→黒褐色→黒色）。また、赤味のある褐色を「赤褐色」、明るい褐色を「明褐色」とし、褐色を細分化した。
- ローム層**：ロームとは火山の噴火に伴い吹き出した火山灰のこと。黄色や赤色をしている粘土質の上。約1万年前までに積もり終わったため、旧石器時代の石器などはこの中に含まれている。
- 古墳**：3世紀から7世紀末頃にかけて造られた高塚の墓。土や石などを盛り上げてつくった塚の中に、遺体などを収める部屋を設けたものである。古墳の規模・形状は多岐にわたり、造り方も様々である。
- 円墳**：古墳の形のひとつ。お椀を伏せたような形をしている。
- 石室**：古墳の施設のひとつ。遺体を収める部屋のこと。多くは石を積み上げてつくられる。上部から遺体を納める堅穴式と、横に設けた入り口から遺体を納める横穴式の2種類がある。

## 2. 遺物関係

- 土偶**；粘土でつくられた素焼きの像。十偶は、完形で出土することはほとんどなく、5体のいずれかが欠損して出土するのが一般的である。これは縄文人が何らかの理由で、上偶を意図的に壊していることを示している。後呂遺跡から出土した土偶もすべて欠損品である。土偶には、胸部に乳房を、腹部には妊娠線のような曲線が描かれたものもある。後呂遺跡から出土した土偶には、腰みのを付けているような文様もある（グリッド出土土器・土製品No.31-2）。また、後頭部には蛇体のような髪型が表現されているものもある。中部高地の縄文時代中期の土偶は全国的に見ても出土量が多く、様々なタイプのものがみられることから、その託された意味も多様であったと考えられる。
- 土製円盤**；（どせいえんばん）土器の破片を再利用したもの。破片の割れ口を磨いて、ほぼ円形に整形している。その用途はわかっていないが、玩具説・装身只説の他に今のトレイレットペーパーのようなものという説もある。
- 埋甕**；（うめがめ）縄文時代中期の住居の入口部に埋められた土器のこと。埋め方には、下器の底部を下にする埋め方（正位埋甕）と上器の底部を上にする埋め方（逆位埋甕）の2種類がある。共に底部に穴があったり、底部が砕かれているのが特徴で、胎盤を納めたという説もある。
- 有孔鉢付土器**；（ゆうこうつばつきどき）水平な口縁に等間隔に穴があけられ、鉢（つば）がめぐることからこのような名称がつけられた。その独特の器形から、澆造（ヤマブドウなどを発酵させた果実酒）に用いられたという説と、口縁部に皮を張って太鼓として用いられたという説がある。
- 口縁部**；土器の上の縁の部分の呼び方で、時期的地域的な特徴がよく現れる。一般的には縁が水平な「平口縁」であるが、縄文土器には波打ったような「波状口縁」となるものがある。
- 把手**；（とって）縄文土器等につけられた突起あるいは橋のようになった装飾部分。口縁部や胴部に見られるが、実際に把手として使うことはできない。その形状から区別され、X状把手、橋状把手、水煙把手などと呼ばれる。
- 脛部**；下器の胴体の部分をいう。くびれた部分は頸部（けいぶ）と呼ぶ。頸部あるいは胴体の最も膨らんだ部分を境に胴部上半と胴部下半に分けて呼ぶ場合がある。
- 底部**；上器の底の部分の呼び方。
- 土器捨て場**；不要になった上器を、廃棄した場所。集落の外側周辺に見られるが、廃絶した住居の庭地にも捨てたりする。上器自体は壊れていることがほとんどである。貝殻を捨ててできた「貝塚」にも土器が一緒に捨てられている。
- 顔面把手**；縄文土器の口縁部に見られる人の顔をした意匠がある突起をいう。中期中葉の勝坂式土器様式に盛行するが、例は少ない。
- 水煙把手**；（すいえんとて）渦巻を主体とした文様のある把手で、水が流れるように見えるところからこう呼ばれる。中期後半の曾利式土器の初期に見られ、口縁部に4点づくのが普通である。環状の把手が重なるものやドーム状になるものがある。

**打製石斧**：(だせいせきふ) 手頃な大きさの礫あるいは礫の剥片を打ち欠いて作った石の斧。その用途として、球根やヤマイそのような根茎類などの植物質食料を掘り出す土掘り具であったと考えられている。この石器は中部高地の遺跡では多量に出土する傾向があり、焼き烟などの縄文中期植物栽培説を裏付ける有力な根拠とされている。

打製石斧はその形状から、たてざかくわち 短冊形・はたけいわち 條形・よどりょうわち 分胴形の3種類に大別でき、今回の調査では短冊形を呈すものが非常に多く出土している。

**磨製石斧**：(ませいせきふ) 素材となる原石を、おおまかに打ち欠き形を整えた後、砥石で研磨した石斧。おもに、樹木の伐採や木材の加工に用いられた石斧である。この斧を用いて縄文人は森を切り開き、家の建材などを確保したのであろう。

**磨石** (すりいし)・**凹石** (くぼみいし)・**敲石** (たたきいし)

; これらの石器はいずれも、河原などにある円礫を素材とした石器で、主に木の実(クリ・クルミ・トチ・ドングリなど)を砕いたり、すり潰して粉状にするために用いられた。このため、使用面が磨かれたような状態になったり、くぼんだり、でぼこになるので、このような名称がついた。

クリ・クルミ・トチ・ドングリなどの木の実は、全国の縄文遺跡でよく検出される植物遺存体である。アクぬきの技術を知っていた縄文人にとって木の実は保存がきき、シーズンが来れば毎年多量に収穫できるいわば、主食となるような食料であった。磨石・凹石・敲石などを用いて製粉された木の実は、だんごやパン状にして深鉢形の土器で煮たり、蒸したり、炉の火で焼いたりして調理され、縄文人の胃袋を充たしたのであろう。

**石皿** : 石皿は主に、クリ・クルミ・ドングリなどの木の実を粉碎・製粉する際、敲石・磨石などとともに用いられた石器で、後世の石臼のような機能が考えられている。

**石棒** : 長い棒状の磨製石器で、端部が男根状に整形された有頭のものと、円柱状の無頭のものがある。今回の調査では割れ口にたたいたあとが認められ、欠損した後敲石として使用された例もある。石棒は、火を受けて意図的に壊されたりする事例や、炉石に転用されたりする事例があることから、儀礼のなかでも火とのかかわりは深いと思われる。また、上坑など墓にかかる遺構からの出土事例も見られ、男性器を表現するものが多いことから、生死や豊饒にかかる祭りに用いられたという考え方が多い。しかし、上例と同様その具体的な用途は不明である。

**石鏃** (せきぞく)・**石匙** (いしあじ)

; 石鏃は「石製の矢じり」のことと、矢の先に装着して弓を用いて獲物をしとめる道具。石匙のうち小形で調整の細かいものは、動物の皮をはいだり、動物を解体するときのナイフとして用いられたと考えられている。

**須恵器** : 古墳時代の中頃(5世紀頃)から平安時代にかけて使われた硬質の焼き物。朝鮮半島から伝わった特殊な技術により西日本から製作され始め、全国に広まった。製作の特徴としてはロクロを使った成形と、窯を使った高温での焼成が挙げられる。

(林部 光)

# 目 次

図 絵 1	後呂遺跡イメージ図	
図 絵 2	後呂遺跡第15号住居跡出土遺物 №25・№26	
序 文	東八代広域行政事務組合代表理事	i
	中道町教育長	ii
本報告書全体の説明		iii
用語の説明		vii
目 次		x
表 目 次		xi
挿図目次		xi
写真目次		xii
第1章 遺跡の概況		1
第1節 地理的環境		1
第2節 歴史的環境		1
第2章 発掘調査から報告書刊行までの経緯		5
第3章 調査方法		7
第4章 基本層序		8
第5章 供養寺遺跡		12
第1節 調査結果の概要		12
第2節 住居跡		12
第3節 小 結		17
第6章 後呂遺跡		48
第1節 調査結果の概要		48
第2節 住居跡		48
第3節 墓穴状遺構		54
第4節 古 墳		55
第5節 小 結		79
第7章 第15号住居跡出土の№25及び№26とされる2つの人面装飾付土器について		182
第8章 後呂遺跡および山梨県内の古墳に伴う犠牲馬		185
第9章 後呂遺跡における自然科学分析		187
第10章 結		190
関係新聞記事抜刷		191
報告書概要		192

## 表 目 次

### 供養寺遺跡関係

第1表「土坑」一覧表 .....	13	第4表「土器・土製品の観察表」(No.2) .....	16
第2表「ピット」一覧表 .....	14	第5表「石器の観察表」 .....	17
第3表「土器・土製品の観察表」(No.1) .....	15		

### 後呂遺跡関係

第6表「土坑」一覧表 .....	54	第19表「土器・土製品の観察表」(No.12) .....	67
第7表「溝状造構」一覧表 .....	54	第20表「土器・土製品の観察表」(No.13) .....	68
第8表「土器・土製品の観察表」(No.1) .....	56	第21表「土器・土製品の観察表」(No.14) .....	69
第9表「土器・土製品の観察表」(No.2) .....	57	第22表「土器・土製品の観察表」(No.15) .....	70
第10表「土器・土製品の観察表」(No.3) .....	58	第23表「土器・土製品の観察表」(No.16) .....	71
第11表「土器・土製品の観察表」(No.4) .....	59	第24表「土器・土製品の観察表」(No.17) .....	72
第12表「土器・土製品の観察表」(No.5) .....	60	第25表「土器・土製品の観察表」(No.18) .....	73
第13表「土器・土製品の観察表」(No.6) .....	61	第26表「石器の観察表」(No.1) .....	74
第14表「土器・土製品の観察表」(No.7) .....	62	第27表「石器の観察表」(No.2) .....	75
第15表「土器・土製品の観察表」(No.8) .....	63	第28表「石器の観察表」(No.3) .....	76
第16表「土器・土製品の観察表」(No.9) .....	64	第29表「石器の観察表」(No.4) .....	77
第17表「土器・土製品の観察表」(No.10) .....	65	第30表「遺構等から出土した黒曜石の出土量」 .....	77
第18表「土器・土製品の観察表」(No.11) .....	66	第31表「動物遺体」観察表 .....	78
		第31表補図 馬の頭部(骨と歯の位置図) .....	78

## 挿 図

第1図 今回の調査地の位置図 .....	2
第2図 供養寺・後呂遺跡位置図 .....	3
第3図 供養寺・後呂遺跡周辺の遺跡地図 .....	4

### 供養寺遺跡関係

第4図 供養寺遺跡試掘溝設定図 .....	10
第5図 供養寺遺跡造構位置図 .....	11
第6図 第1号住居跡(No.1) .....	18
第7図 第1号住居跡(No.2) .....	19
第8図 第2号住居跡 .....	19
第9図 第3号住居跡 .....	20
第10図 第4号住居跡 .....	21
第11図 第1号土坑 .....	22
第12図 第2号土坑 .....	22
第13図 第3号土坑 .....	23
第14図 第4号土坑 .....	23
第15図 第5号土坑 .....	23
第16図 第6号土坑 .....	24
第17図 第7号土坑 .....	24
第18図 第8号土坑 .....	24
第19図 第9号土坑 .....	25
第20図 第10号土坑 .....	25
第21図 第11・12・13号土坑 .....	26
第22図 第14号土坑 .....	25
第23図 第15号土坑 .....	27
第24図 第16号土坑 .....	27
第25図 第17号土坑 .....	27
第26図 第1・2・3・4・5・6号ピット .....	28
第27図 第1号住居跡 出土土器・土製品(No.1) .....	29

第28図 第1号住居跡 山上土器・土製品(No.2) .....	30
第29図 第1号住居跡 出土土器・土製品(No.3) .....	31
第30図 第1号住居跡 出土土器・土製品(No.4) .....	32
第31図 第2号住居跡 出土土器・土製品 .....	32
第32図 第3号住居跡 出土土器 .....	32
第33図 第4号住居跡 出土土器・土製品(No.1) .....	32
第34図 第4号住居跡 山上土器・土製品(No.2) .....	33
第35図 第1号土坑 出土土器・土製品 .....	33
第36図 第8号土坑 出土土器・土製品 .....	34
第37図 第11号土坑 出土土器・土製品 .....	34
第38図 第13号土坑 出土土器・土製品 .....	34
第39図 第15号土坑 出土土器・土製品 .....	34
第40図 第6号ピット 出土土器・土製品 .....	34
第41図 グリッド 山上土器・土製品 .....	34
第42図 調査区内 山上土器・土製品 .....	34
第43図 第1号住居跡 山上石器 .....	35
第44図 第4号住居跡 山上石器 .....	35
第45図 第4号土坑 出土石器 .....	36
第46図 第8号土坑 出土石器 .....	36
第47図 第14号土坑 出土石器 .....	36
第48図 第15号土坑 出土石器 .....	36
第49図 グリッド 出土石器 .....	36

### 後呂遺跡関係

第50図(1)後呂遺跡調査地の詳細位置図 .....	45
第50図(2)後呂遺跡(A区・B区)造構位置図 .....	46

第 51回	後呂遺跡 (C区) 遺構位置図	47
第 52回	第1号住居跡	80
第 53回	第2号住居跡 (No.1)	80
第 54回	第2号住居跡 (No.2)	81
第 55回	第3号住居跡	81
第 56回	第4号住居跡	84
第 57回	第5号・6号・7号住居跡 (No.1)	82
第 58回	第5号・6号・7号住居跡 (No.2)	83
第 59回	第8号住居跡	84
第 60回	第9号住居跡	83
第 61回	第10号住居跡 (No.1)	85
第 62回	第10号住居跡 (No.2)	86
第 63回	第11号・12号・13号住居跡, 第5号土坑	87
第 64回	第14号住居跡	92
第 65回	第15号住居跡 (No.1)	88
第 66回	第15号住居跡 (No.2)	89
第 67回	第15号住居跡 (No.3)	90
第 68回	第15号住居跡 (No.4)	91
第 69回	第16号・17号住居跡	92
第 70回	第18号住居跡・第5号溝状遺構	93
第 71回	第1号上坑	94
第 72回	第2号土坑	94
第 73回	第3号土坑	94
第 74回	第4号土坑	94
第 75回	第6号土坑	95
第 76回	第7号土坑	95
第 77回	第8号上坑	95
第 78回	第9号上坑	96
第 79回	第10号土坑	96
第 80回	第11号・12号・13号土坑	96
第 81回	第1号溝状遺構	97
第 82回	第2号溝状遺構	97
第 83回	第3号溝状遺構	98
第 84回	第4号溝状遺構	98
第 85回	第1号竪穴状遺構	99
第 86回	第1号古墳	99
第 87回	第1号住居跡 出土土器・土製品	100
第 88回	第2号住居跡 出土土器・土製品	100
第 89回	第3号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	101
第 90回	第3号住居跡 出土土器・土製品 (No.2)	102
第 91回	第4号住居跡 出土土器・土製品	102
第 92回	第5号住居跡 出土土器・土製品	102
第 93回	第6号住居跡 出土土器・土製品	103
第 94回	第7号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	103
第 95回	第7号住居跡 出土土器・土製品 (No.2)	104
第 96回	第8号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	104
第 97回	第8号住居跡 出土土器・土製品 (No.2)	105
第 98回	第9号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	105
第 99回	第9号住居跡 出土土器・土製品 (No.2)	106
第100回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	106
第101回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.2)	107
第102回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.3)	108
第103回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.4)	109
第104回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.5)	110
第105回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.6)	111
第106回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.7)	112
第107回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.8)	113
第108回	第10号住居跡 出土土器・土製品 (No.9)	114
第109回	第11号住居跡 出土土器・土製品	115
第110回	第12号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	115
第111回	第12号住居跡 出土土器・土製品 (No.2)	116
第112回	第13号住居跡 山上土器・土製品	116
第113回	第11・12・13号住居跡 出土・括土器・土製品	117
第114回	第14号住居跡 出土土器・土製品	117
第115回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	117
第116回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.2)	118
第117回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.3)	119
第118回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.4)	120
第119回	第15号住居跡 山上土器・土製品 (No.5)	121
第120回	第15号住居跡 山上土器・土製品 (No.6)	122
第121回	第15号住居跡 山上土器・土製品 (No.7)	123
第122回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.8)	124
第123回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.9)	125
第124回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.10)	126
第125回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.11)	127
第126回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.12)	128
第127回	第15号住居跡 山上土器・土製品 (No.13)	129
第128回	第15号住居跡 山上土器・土製品 (No.14)	130
第129回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.15)	131
第130回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.16)	132
第131回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.17)	133
第132回	第15号住居跡 出土土器・土製品 (No.18)	134
第133回	第16号住居跡 出土土器・土製品	134
第134回	第17号住居跡 出土土器・土製品	134
第135回	第18号住居跡 出土土器・土製品 (No.1)	135
第136回	第18号住居跡 山上土器・土製品 (No.2)	136
第137回	第18号住居跡 出土土器・土製品 (No.3)	137
第138回	第3号上坑 出土土器・土製品	138
第139回	第4号上坑 出土土器・土製品	138
第140回	第5号上坑 出土土器・土製品 (No.1)	138
第141回	第5号土坑 出土土器・土製品 (No.2)	139
第142回	第6号土坑 出土土器・土製品	139
第143回	第7号土坑 出土土器・土製品	140
第144回	第8号土坑 出土土器・土製品	140
第145回	第9号土坑 出土土器・土製品	140
第146回	第10号土坑 山上土器・土製品	140
第147回	第11号土坑 山上土器・土製品	140
第148回	第12号土坑 山上土器・土製品	141
第149回	第13号土坑 山上土器・土製品	141
第150回	第1号溝状遺構 出土土器・土製品	141
第151回	第2号溝状遺構 出土土器・土製品	141
第152回	第3号溝状遺構 出土土器・土製品	141
第153回	第4号溝状遺構 出土土器・土製品	142
第154回	第5号溝状遺構 出土土器・土製品	142
第155回	第1号竪穴状遺構 出土土器・土製品	143
第156回	第1号古墳 出土土器・土製品 (No.1)	143
第157回	第1号古墳 出土土器・土製品 (No.2)	144
第158回	グリッド 出土土器・土製品 (No.1)	144
第159回	グリッド 出土土器・土製品 (No.2)	145
第160回	グリッド 出土土器・土製品 (No.3)	146

第161図	グリッド 山上土器・土製品 (No.4) .....147
第162図	グリッド 山上土器・土製品 (No.5) .....148
第163図	試掘坑 出上土器・土製品 .....148
第164図	C区内 出上土器・土製品 .....148
第165図	調査区内 出土土器・土製品 .....149
第166図	地表面 出土土器・土製品 .....149
第167図	第3号住居跡 出上石器 .....150
第168図	第6号住居跡 山上石器 .....150
第169図	第7号住居跡 出上石器 .....150
第170図	第8号住居跡 出土石器 (No.1) .....150
第171図	第8号住居跡 出土石器 (No.2) .....151
第172図	第9号住居跡 出土石器 .....151
第173図	第10号住居跡 出土石器 (No.1) .....152
第174図	第10号住居跡 出土石器 (No.2) .....153
第175図	第12号住居跡 出土石器 .....153
第176図	第14号住居跡 出土石器 .....153
第177図	第15号住居跡 出土石器 (No.1) .....154
第178図	第15号住居跡 出土石器 (No.2) .....155
第179図	第15号住居跡 出土石器 (No.3) .....156
第180図	第16号住居跡 出土石器 .....156
第181図	第18号住居跡 山上石器 (No.1) .....156
第182図	第18号住居跡 出土石器 (No.2) .....157
第183図	第5号土坑 出土石器 .....157
第184図	第11号土坑 出土石器 .....157
第185図	第5号溝状遺構 出土石器 .....157
第186図	第1号古墳 山上石器 (No.1) .....157
第187図	第1号古墳 山上石器 (No.2) .....158
第188図	グリッド 出土石器 .....158
第189図	第4試掘坑 出土石器 .....158
第190図	C区内 出土石器 .....158
第191図	調査区内 出土石器 .....159
第192図	後呂遺跡出土小型石器 (No.1) .....160
第193図	後呂遺跡出土小型石器 (No.2) .....161

### 論文関係

第194図	後呂遺跡第15号住居跡出土土器 (土器No.25・26) .....184
第195図	积迦堂遺跡及び九鬼II遺跡出土土器 .....184

## 写 真 目 次

### 供養寺遺跡関係

写真図版1	本発掘調査区調査完了後空撮写真 .....9
写真図版2	調査区近景 (調査前) 南から .....37
写真図版3	3026番地 試掘溝設置状況 .....37
写真図版4	3053番地 試掘溝設置状況 .....37
写真図版5	3068番地 試掘溝設置状況 .....37
写真図版6	3086番地1・3087番地1 試掘溝設置状況 .....37
写真図版7	第7試掘坑 土層状況 .....37
写真図版8	第9試掘坑 土層状況 .....37
写真図版9	第1号住居跡・第1号土坑検出状況 .....37
写真図版10	第1号住居跡 遺物出土状況 .....38
写真図版11	第1号住居跡 墓撫出土状況 .....38
写真図版12	第1号住居跡・第1号土坑完掘状況 .....38
写真図版13	第2号住居跡 炉址完掘状況 .....38
写真図版14	第2号住居跡 完掘状況 .....38
写真図版15	第3号住居跡 遺物出土状況 .....38
写真図版16	第3号住居跡 完掘状況 .....38
写真図版17	第4号住居跡 炉址検出状況 .....38
写真図版18	第4号住居跡 炉址半蔵状況 .....39
写真図版19	第4号住居跡 炉址完掘状況 .....39
写真図版20	第4号住居跡 完掘状況 .....39
写真図版21	第1号土坑 遺物出土状況 .....39
写真図版22	第1号土坑 遺物出土状況 .....39
写真図版23	第2号土坑 完掘状況 .....39
写真図版24	第3号土坑 完掘状況 .....39
写真図版25	第5号土坑 完掘状況 .....39
写真図版26	第6号土坑 完掘状況 .....40
写真図版27	第8号土坑 完掘状況 .....40
写真図版28	第11号土坑 完掘状況 .....40
写真図版29	第13号土坑 完掘状況 .....40
写真図版30	第14号土坑 完掘状況 .....40
写真図版31	第15号土坑 完掘状況 .....40
写真図版32	第16号土坑 完掘状況 .....40
写真図版33	第17号土坑 完掘状況 .....40
写真図版34	3069・3070番地2 ピット群検出状況 .....41
写真図版35	第1号ピット 完掘状況 .....41
写真図版36	第4号ピット 完掘状況 .....41
写真図版37	第5号ピット 完掘状況 .....41
写真図版38	第6号ピット 埋甕検出状況 .....41
写真図版39	第6号ピット 完掘状況 .....41
写真図版40	3017・3018番地 完掘状況 .....41
写真図版41	第1号住居跡 出土遺物 (No.1) .....41
写真図版42	第1号住居跡 出土遺物 (No.2) .....42
写真図版43	第3号住居跡 出土遺物 .....42
写真図版44	第4号住居跡 出土遺物 .....42
写真図版45	第1号土坑 出土遺物 .....42
写真図版46	第11号土坑 出土遺物 .....42
写真図版47	第14号土坑 出土遺物 .....42
写真図版48	第15号土坑 出土遺物 .....43
写真図版49	第6号ピット 出土遺物 .....43
写真図版50	グリッド 出土遺物 .....43
写真図版51	調査区内 出土遺物 .....43
写真図版52	作業風景 (遠景) .....43
写真図版53	作業風景 (近景) .....43

## 後呂遺跡関係

写真図版54	調査完了後空撮写真	44	写真図版99	第1号古墳 馬齒出土状況	167
写真図版55	調査区近景	162	写真図版100	第1号古墳 完掘状況	167
写真図版56	第1号住居跡 完掘状況	162	写真図版101	調査完了後空撮写真	168
写真図版57	第2号住居跡 遺物出土状況	162	写真図版102	第1号住居跡 出土遺物	169
写真図版58	第2号住居跡 完掘状況	162	写真図版103	第2号住居跡 出土遺物	169
写真図版59	第3号住居跡内土坑 遺物出土状況	162	写真図版104	第3号住居跡 出土遺物	169
写真図版60	第3号住居跡 完掘状況	162	写真図版105	第4号住居跡 出土遺物	169
写真図版61	第4号住居跡 完掘状況	162	写真図版106	第5号住居跡 出土遺物	170
写真図版62	第6号住居跡 炭化材検出状況	162	写真図版107	第6号住居跡 出土遺物	170
写真図版63	第6号住居跡 炭化材検出状況	163	写真図版108	第7号住居跡 山上遺物	170
写真図版64	第5・6・7号住居跡 完掘状況	163	写真図版109	第8号住居跡 出土遺物 (No.1)	170
写真図版65	第8号住居跡 遺物出土状況	163	写真図版110	第8号住居跡 出土遺物 (No.2)	171
写真図版66	第8号住居跡 石耕炉完掘状況	163	写真図版111	第9号住居跡 出土遺物	171
写真図版67	第8号住居跡 完掘状況	163	写真図版112	第10号住居跡 出土遺物 (No.1)	171
写真図版68	第9号住居跡 遺物出土状況	163	写真図版113	第10号住居跡 山上遺物 (No.2)	172
写真図版69	第9号住居跡 第4号土坑 完掘状況	163	写真図版114	第11号住居跡 山上遺物	172
写真図版70	第10号住居跡 遺物出土状況	163	写真図版115	第12号住居跡 出土遺物	173
写真図版71	第10号住居跡 遺物出土状況	164	写真図版116	第13号住居跡 出土遺物	173
写真図版72	第10号住居跡 埋甕出土状況	164	写真図版117	第14号住居跡 出土遺物	173
写真図版73	第10号住居跡 第6号土坑完掘状況	164	写真図版118	第15号住居跡 出土遺物 (No.1)	173
写真図版74	第11・12・13号住居跡・第5号土坑 遺物出土状況	164	写真図版119	第15号住居跡 出土遺物 (No.2)	174
写真図版75	第11・12・13号住居跡・第5号土坑 遺物出土状況	164	写真図版120	第15号住居跡 出土遺物 (No.3)	175
写真図版76	第5号土坑 遺物出土状況	164	写真図版121	第15号住居跡 出土遺物 (No.4)	176
写真図版77	第11・12・13号住居跡・第5号土坑 完掘状況	164	写真図版122	第15号住居跡 山上遺物 (No.5)	177
写真図版78	第14号住居跡 完掘状況	164	写真図版123	第17号住居跡 出土遺物	177
写真図版79	第15号住居跡 No.2 6出土状況	165	写真図版124	第18号住居跡 出土遺物 (No.1)	177
写真図版80	第15号住居跡 土壙検出状況	165	写真図版125	第18号住居跡 出土遺物 (No.2)	178
写真図版81	第15号住居跡 第1号古墳完掘状況	165	写真図版126	第4号土坑 出土遺物	178
写真図版82	第18号住居跡・第5号溝完掘状況	165	写真図版127	第5号土坑 出土遺物	178
写真図版83	第1号土坑 完掘状況	165	写真図版128	第6号土坑 出土遺物	178
写真図版84	第2号土坑 完掘状況	165	写真図版129	第7号土坑 出土遺物	178
写真図版85	第3号土坑 完掘状況	165	写真図版130	第8号土坑 山上遺物	178
写真図版86	第7号土坑 完掘状況	165	写真図版131	第10号土坑 山上遺物	178
写真図版87	第8号土坑 完掘状況	166	写真図版132	第11号土坑 出土遺物	179
写真図版88	第10号土坑 単独埋甕出土状況	166	写真図版133	第12号土坑 出土遺物	178
写真図版89	第10号土坑 完掘状況	166	写真図版134	第13号土坑 出土遺物	179
写真図版90	第1号溝 完掘状況	166	写真図版135	第3号溝 出土遺物	179
写真図版91	第2号溝 完掘状況	166	写真図版136	第4号溝 出土遺物	179
写真図版92	第3号溝 完掘状況	166	写真図版137	第5号溝 出土遺物	179
写真図版93	第4号溝 遺物出土状況	166	写真図版138	第1号竪穴状遺構 出土遺物	179
写真図版94	第4号溝 完掘状況	166	写真図版139	第1号古墳 出土遺物	180
写真図版95	第1号豎穴状遺構 完掘状況	167	写真図版140	グリッド 出土遺物	180
写真図版96	第1号古墳 周溝・葺石検出状況	167	写真図版141	試掘坑 出土遺物	181
写真図版97	第1号古墳 周溝内遺物出土状況	167	写真図版142	C区内 出土遺物	181
写真図版98	第1号古墳 周溝内遺物出土状況	167	写真図版143	調査区内 山上遺物	181
			写真図版144	第1号古墳 動物遺体	181

## 第1章 遺跡の概況

### 第1節 地理的環境

供養寺遺跡と後呂遺跡とはほぼ隣接した位置にある。ともに山梨県東八代郡中道町右左口地内に所在し、甲府盆地南縁に東西方向に横たわる曾根丘陵上、標高320m前後を測る位置に広がっている。西側に七覚沢川、北側に宮沢川、南側に七覚川が流れ、南方には御坂山塊が存在しており、付近は北西方向になだらかに傾斜する北斜面となるが、日照条件に恵まれた台地状地形の上に遺跡は存在する。

更に、両遺跡の西側には南アルプス（赤石山脈）、北側には八ヶ岳が眺望でき、自然環境に優れた地帯である。

付近一帯は肥沃な土壌であることから古くから畑作農業が栄んでいたが、500m東方に山梨県と静岡県とを結ぶ人動脈である国道358号線（甲府・精進湖線）が走り、交通上の要所でもあることから近年工場建設・宅地分譲などの開発が増加、これに伴っての発掘調査数も年々増える傾向にある。

### 第2節 歴史的環境

多くの遺跡を包蔵する曾根丘陵上のなかでも当両遺跡をのせる台地周辺には縄文時代を中心に著名な遺跡が存在する。

旧石器時代の遺産として、昭和59（1984）年、笛吹川農業水利事業国営幹線水路敷設工事に伴い、山梨県埋蔵文化財センターにより後呂遺跡の調査が実施された際、遺構外から黒曜石製のナイフ形石器1点が検出されている。

縄文時代の遺跡としては、昭和46（1971）年・59（1984）年・平成6（1994）年・平成8（1996）年の4回にわたり調査された上野原遺跡が後呂遺跡から700m東方の位置にある。中でも昭和46年の調査（原因：有料道路甲府・精進湖線建設工事 調査主体：中道町右左口遺跡発掘調査団）では、遺構の存在がまれな前期初頭（木鳥式併行期）の堅穴状遺構や前期後半（諸磯B～C式期）の住居跡が検出、注目されている。

また、上野原遺跡の東に隣接して城越遺跡が同台地最東端に広がっている。昭和43（1968）年に山梨大学教育学部歴史学教室が県から委託を受けて実施した学術調査では、敷石住居跡と石組み遺構が検出。平成4（1992）年には中道町教育委員会が調査を行い、深さ253cmを測る縄文時代中期後半の落とし穴が確認されている。

他にも二階遺跡（右左口区内）・村上遺跡（中畠区内）などがあり、後背地にある御坂山塊とこれら遺跡周辺の丘陵上の豊富な動植物資源を基盤とした縄文人の営みが看取できる。

弥生時代の遺跡として、東原遺跡・西原遺跡（ともに右左口善藤区内）など、縄文時代に比べるとかなり希薄ではあるが台地先端部付近を中心には存在する。

古墳時代になると前期集落跡・後期古墳が認められる。前期の集落跡として後呂遺跡・城越遺跡がある。また、後呂遺跡を囲むかのように左エ門塚・右エ門塚など、後期古墳が点在する。

奈良・平安時代の遺跡としては、村上遺跡・清水遺跡（心経寺区内）・上之原遺跡（心経寺区内）な

どが知られている。

以上のように、供養寺遺跡・後呂遺跡をのせる台地上にはたくさんの遺跡が認められる。これら遺跡の形態を考慮するに、地理的且歴史的背景を熟考し、駿河湾沿岸と甲府盆地とを最短距離で結ぶ古くからの道—中道往還—の存在が土器文化の流れなどに大きく影響していたように思われる。

(林部 光)

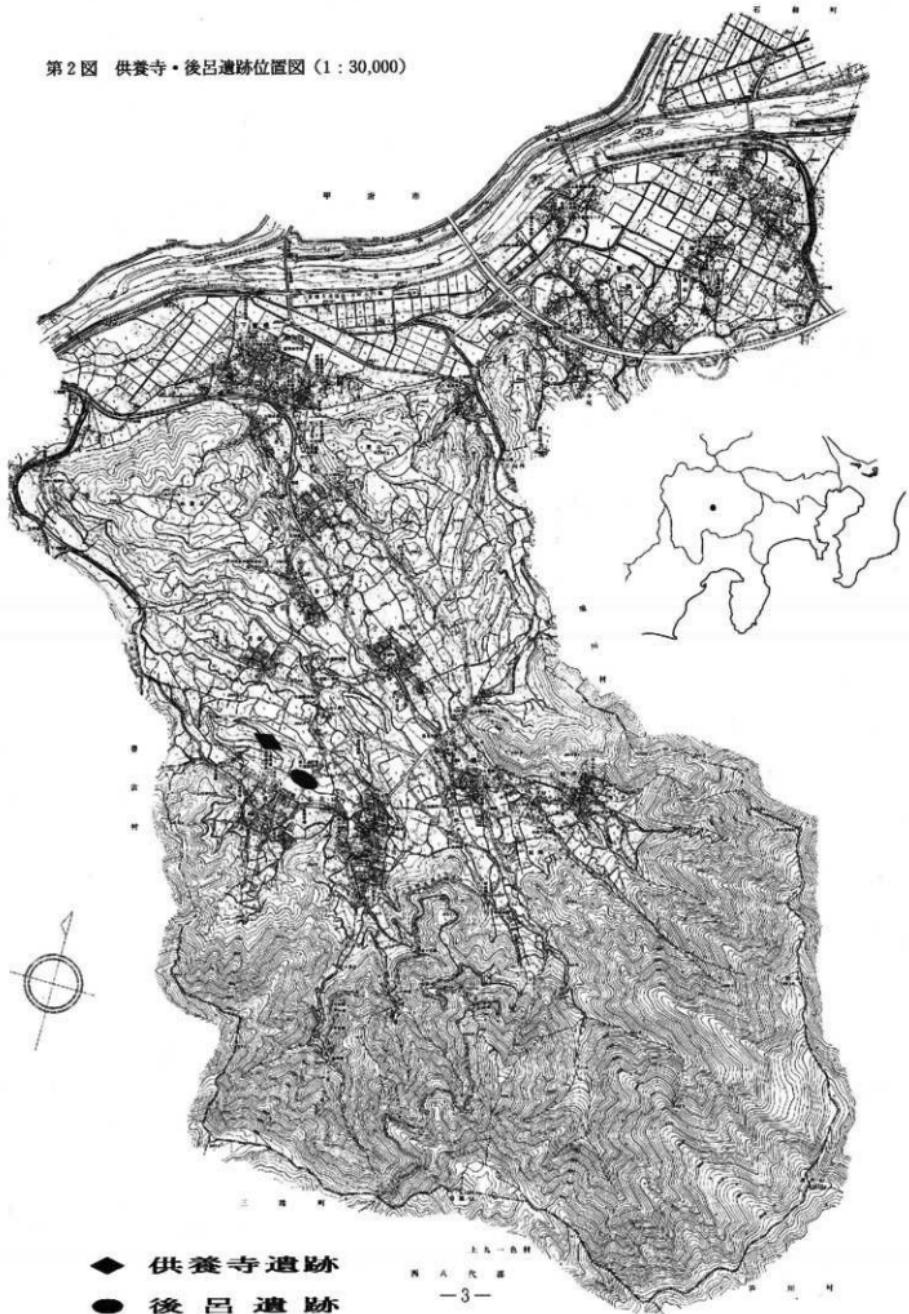
参考·引用文献

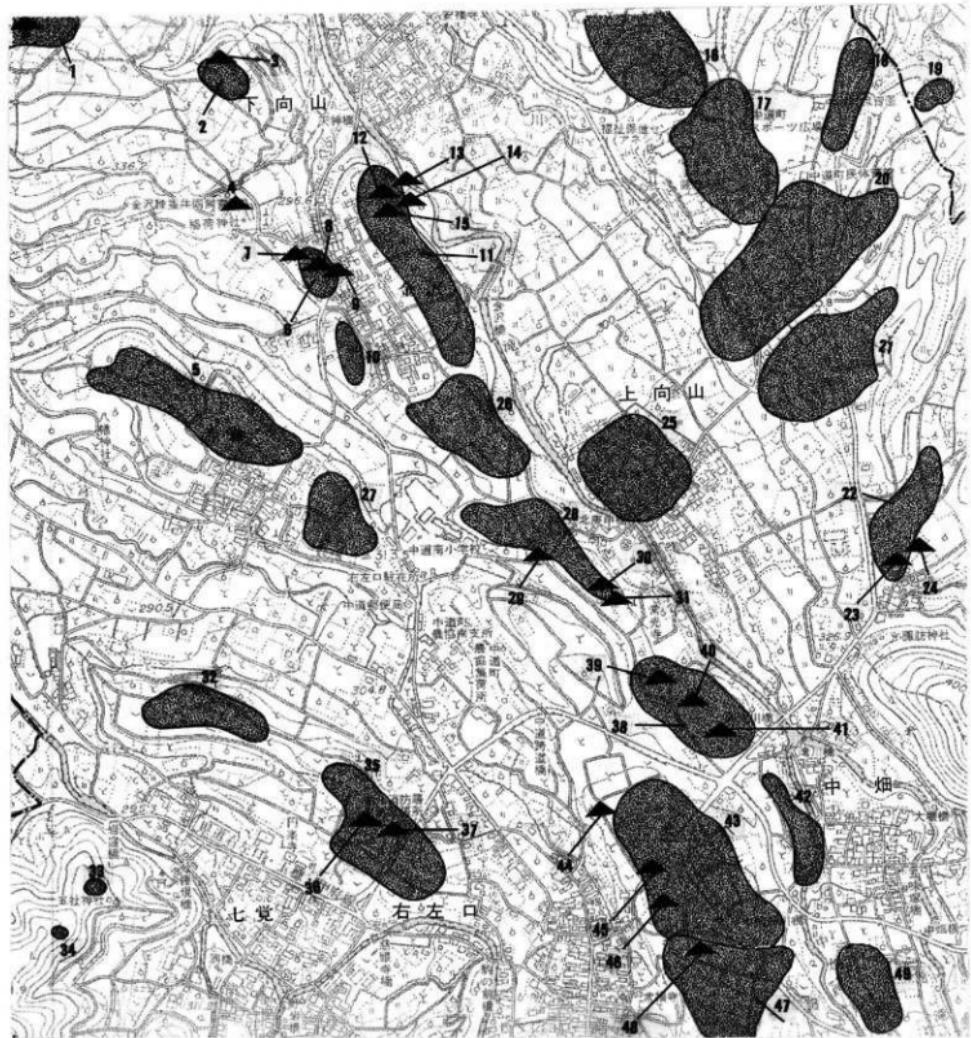
- |                 |                             |           |
|-----------------|-----------------------------|-----------|
| 中道町史編纂委員会       | 『中道町史』上                     | 1975      |
| (財) 京都府文化財保護基金  | 『文化財用語辞典』                   | 1976      |
| 山梨県教育委員会ほか      | 『一の沢西遺跡・村上遺跡・後呂遺跡・浜井場遺跡』    | 1986      |
| 山梨県教育委員会ほか      | 『駿迎堂Ⅰ』『駿迎堂Ⅱ』『駿迎堂Ⅲ』          | 1986・1987 |
| 山梨県教育委員会ほか      | 『上野原遺跡・智光寺遺跡・切附遺跡』          | 1987      |
| ジョージ・G・シンプソン    | 『馬と進化』                      | 1989      |
| 山梨県教育委員会        | 『上野原遺跡』                     | 1996      |
| 山梨県教育委員会ほか      | 『中谷遺跡』                      | 1996      |
| 山梨県教育委員会        | 『塩部遺跡』                      | 1996      |
| 中道町教育委員会        | 『上野原遺跡』                     | 1997      |
| 山梨県明野村教育委員会ほか   | 『下大内遺跡・屋敷添第2遺跡・中原遺跡』        | 1997      |
| 山梨県長坂町教育委員会     | 『別当西遺跡』                     | 1997      |
| 山梨県教育委員会        | 『大月遺跡』                      | 1997      |
| 佐野 隆            | 『曾利式土器終末期の編年』『八ヶ岳考古』        | 1997      |
| 林部 光            | 『後呂遺跡』（1997年度下半期遺跡発表会要旨）    | 1998      |
| 山梨県             | 『山梨県史 資料編1』原始・古代1 考古（遺跡）    | 1998      |
| 上野原遺跡発掘調査団      | 『山梨県東八代郡中道町上野原遺跡発掘調査報告書』    | 1998      |
| 山梨県若草町教育委員会ほか   | 『角力場第2遺跡』                   | 1998      |
| 山梨県教育委員会ほか      | 『甲ヶ原遺跡IV』                   | 1998      |
| 山梨県芦川村教育委員会     | 『堂所遺跡発掘調査報告書』               | 1999      |
| 小野正文・今福利恵・三田村美彦 | 『2 漢文時代の編年』                 |           |
|                 | 『山梨県史 資料編2』原始・古代2 考古（遺構・遺物） | 19        |



第1図 今回の調査地の位置図 (1:10,000)

第2図 供養寺・後呂遺跡位置図 (1 : 30,000)





1 米倉山A遺跡（旧石器・縄文・弥生・古墳時代）	18 猿久保遺跡（縄文・弥生・古墳時代）	35 後呂遺跡（縄文・弥生・古墳時代）
2 米倉山B遺跡（旧石器・縄文・弥生・古墳時代）	19 馬鹿塚遺跡（弥生・古墳時代）	36 右工門塚古墳
3 無名古墳	20 立石遺跡（旧石器・縄文・弥生・古墳時代）	37 左工門塚古墳
4 鹿塚古墳	21 北原遺跡（縄文・弥生・古墳時代）	38 松林遺跡（縄文・古墳時代）
5 西原遺跡（弥生・古墳時代）	22 洞山前市遺跡（縄文・古墳時代）	39 無名古墳
6 前山遺跡（縄文・古墳時代）	23 無名古墳	40 無名古墳
7 無名古墳	24 無名古墳	41 無名古墳
8 無名古墳	25 向丘山加賀路（室町時代）	42 向井遺跡（縄文時代）
9 無名古墳	26 下向山道遺跡（縄文・弥生・古墳・室町時代）	43 上野原遺跡（縄文・古墳時代）
10 植木坂遺跡（縄文・古墳時代）	27 現原遺跡（弥生・古墳時代）	44 無名古墳
11 金六天神遺跡（縄文・弥生・古墳時代）	28 向山道遺跡（縄文・弥生・古墳時代）	45 無名古墳
12 天神山古墳	29 無名古墳	46 無名古墳
13 無名古墳	30 無名古墳	47 城越遺跡（縄文・古墳・平安時代）
14 おばう塚古墳	31 無名古墳	48 無名古墳
15 おじょうれん古墳	32 供養寺遺跡（縄文・平安時代）	49 村上遺跡（縄文・平安時代）
16 上ノ平遺跡（縄文・弥生・古墳・平安時代）	33 丹奈寺行者堂跡（鎌倉・南北朝・室町時代）	
17 宮ノ上遺跡（縄文・弥生・古墳時代）	34 丹奈寺行者堂跡（鎌倉・南北朝・室町時代）	

第3図 供養寺・後呂遺跡周辺の遺跡地図 (1 : 10,000)

## 第2章 発掘調査から報告書刊行までの経緯

東八代郡では平成8年度に中道町右左口地内において東八代広域斎場建設が計画された。

そのため、事業主体である東八代広域行政事務組合（以下、広域）と中道町教育委員会とが事前協議を行ったところ、建設計画地が埋蔵文化財包蔵地であることを確認、遺跡の取り扱いについての協議をすることとなった。

当事業は広域的事業であることから、山梨県教育庁学術文化財課の指導に基づき、郡下8町村から成る東八代社会教育推進協会文化財担当者部会（事務局：東八代教育事務所）と事業主体者との協議がとり行われることとなった。

東八代郡では、このような広域的な発掘調査事例ではなく、県教育庁学術文化財課・教育事務所・事業主体者・郡下8町村教育委員会事務局により、日程等を調整しながら、以下の協議・対応が行われ、郡下教育委員会文化財担当者の協力により、調査を実施した。

平成8年 7月24日：広域から中道町教育委員会へ事業内容説明

中道町教育委員会から事業主体者へ遺跡調査概要説明

10月16日：教育事務所主催 担当者会議

11月 8日：教育事務所主催 担当者会議・広域主催 担当者会議

12月13日：教育事務所主催 担当者会議

平成9年 1月17日：教育事務所主催 担当者会議

1月31日：広域主催 郡下埋蔵文化財担当課長及び担当者会議

2月10日：広域主催 郡下埋蔵文化財担当課長及び担当者会議

3月13日：教育事務所主催 担当者会議

4月 8日：文化庁長官へ提出する「埋蔵文化財発掘の通知文」を中道町教育委員会が受理（供養寺遺跡）

4月 9日：供養寺遺跡現場立会（参加者：斎場建設事業地権者会代表者・事業主体・県教育庁学術文化財課・郡下埋蔵文化財担当者）

4月10日：文化庁長官へ提出する「埋蔵文化財発掘の通知文」を県が受理（後呂遺跡）

4月15日：県教育委員会から「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について」の通知文を中道町教育委員会が受理、広域へ伝達（供養寺遺跡・後呂遺跡）

4月21日：郡教育長部会に事業主体者から決定事項等の詳細説明

4月23日：郡管理職（郡下町村埋蔵文化財担当課長）部会に担当者派遣協力依頼

4月24日：広域主催 担当者会議

5月 1日：広域から各町村教育長へ供養寺遺跡発掘に伴う担当職員派遣申請書提出

5月 9日：中道町長・広域代表理事間で「発掘調査費用に関する協定書」を締結

5月 9日：文化庁長官へ「埋蔵文化財発掘調査の報告について」提出（供養寺遺跡）

5月12日：供養寺遺跡、地表面遺物採集調査（～5月13日）

5月14日：広域主催 担当者会議

5月19日：（午前）関係者全員により供養寺遺跡立会（地表面遺物採集調査結果報告）

(午後) 供養寺遺跡発掘調査開始

- 6月 6日；広域主催 課長・担当者会議（供養寺遺跡発掘調査途中経過報告）  
6月 16日；教育事務所主催 担当者会議  
7月 15日；広域主催 担当者会議（後呂遺跡現場予定地立会）  
7月 22日；文化庁長官へ提出する「埋蔵文化財発掘の通知文」を中道町教育委員会が受理（後呂遺跡）  
7月 22日；文化庁長官へ提出する「埋蔵文化財発掘の通知文」を県が受理（後呂遺跡）  
8月 12日；各町村教育長へ後呂遺跡発掘に伴う担当職員派遣申請書提出  
8月 20日；後呂遺跡発掘調査開始  
8月 29日；供養寺遺跡発掘調査終了  
9月 17日；文化庁長官へ「埋蔵文化財発掘調査の報告について」提出（後呂遺跡分）  
9月 17日；供養寺遺跡発掘調査終了に伴い、遺失物法関係書類を県教育長・南川府警察署長へ提出  
10月 22日；後呂遺跡発掘調査終了  
10月 22日；教育事務所主催 担当者会議  
（「平成9年度東八代郡生溝学習推進の集い臺」にて発表依頼を受ける。）  
10月 23日；県教育長へ「供養寺遺跡発掘終了報告書」提出  
10月 23日；後呂遺跡発掘調査終了に伴い、遺失物法関係書類を県教育長・南川府警察署長へ提出  
10月 24日；供養寺・後呂遺跡出土遺物等整理作業開始（於 中道町中央公民館）  
10月 30日；中道町より広域へ発掘調査費概算書提出  
10月 31日；県教育長へ「後呂遺跡発掘終了報告書」提出  
11月 14日；県と広域とで整理作業について協議  
11月 21日；広域主催 課長・担当者会議（発掘調査結果報告・整理作業協議）  
11月 28日；「平成9年度東八代郡生溝学習推進の集い」代表者会議  
12月 15日；「平成9年度東八代郡生溝学習推進の集い」役員会  
平成10年 2月 21日；「平成9年度東八代郡生溝学習推進の集い」にて発表  
3月 14日；県埋蔵文化財センター・山梨県考古学協会主催 1997年度下半期遺跡発表会  
3月 26日；整理作業一時中断（年度末調整）  
4月 1日；広域・中道町間で「東八代広域斎場建設事業地内埋蔵文化財に関する協定（平成10年度分）」を締結  
4月 1日；中道町・金沢養蚕組合間で「整理作業室賃貸借契約」を締結する。  
4月 3日；整理作業開始（於 中道町下向山地区旧金沢共同稚蚕飼育所）  
9月 28日～12月 7日；积迦堂遺跡博物館特別展に出土遺物出展  
平成11年 1月 7日；広域・中道町間で平成11年度業務について協議  
1月 29日；斎場内展示について、展示ケースの仕様に関する協議を担当者会と設計事務所とで行う。  
3月 9日；教育事務所主催 担当者会議（展示日程・方法等協議）

- 3月27日：出土遺物展示  
3月29日：斎場竣工式  
4月1日：広域・中道町間で「東八代広域斎場建設事業地内埋蔵文化財に関する協定（平成11年度分）」を締結  
8月1日：整理作業場を中道町中央公民館資料室に移動
- 平成12年 3月24日：報告書刊行  
3月31日：整理作業終了

※ 「平成9年度東八代郡生涯学習推進の集い」実施要項

1. 趣旨 生涯学習推進の集いを開催することにより、地域にねざした特色ある生涯学習の輪を広げ、心豊かなひとづくり、組織づくりを推進する。
2. 主 催 東八代郡社会教育推進協議会・東八代郡体育指導委員協議会
3. 後 援 東八代郡町村会・東八代郡町村教育委員会連合会・東八代地区町村体育協会連絡協議会  
東八代広域行政事務組合・石和町・石和町教育委員会
4. 協 力 東八代郡子どもクラブ指導者の会・東八代郡スポーツ少年団指導者連絡協議会
5. 会 場 石和町スコレーセンター 集会室
6. 参加者 町村教育委員会関係者・社会教育推進協議会関係者・体育指導委員協議会関係者  
体育協会関係者・青少年団体関係者・各種高齢者団体・その他一般の人

(林部 光)

### 第3章 調査方法

今回の調査は、山梨県教育厅学術文化財課の指導により、東八代郡下教育委員会埋蔵文化財担当者全員による協議に基づき、進められた。

供養寺遺跡については、地表面の遺物散布状況と、その地形から判断し、台地平坦部については「遺跡の規模」を確認する試掘調査、南北2つの台地によって形成された谷部については「遺跡の有無」を確認するための試掘調査を実施することに決定した。

つまり、斎場建設用地分31,724m<sup>2</sup>全面を対象として試掘調査をすることになったのである。

合計68本の試掘溝を設定後、重機・人力による遺構・遺物の確認作業を行った結果、68本中5本から遺構等の検出がみられ、約1,600m<sup>2</sup>を対象に本発掘調査を実施した。

更に、上層確認と旧石器時代の遺構・遺物の存在の有無を確認することを目的として、9か所に試掘坑を設定したが、遺物等は確認されなかった。

後円遺跡については、過去の調査結果から判断し、斎場進入路建設用地分2,690m<sup>2</sup>中、約1,6

0.0 m<sup>2</sup>を本発掘調査、残り約1,000 m<sup>2</sup>については試掘調査を行った。また、本発掘調査区は東西に極めて細長い形態であることから整理使官上調査区を3区（西よりA区・B区・C区）に分けて調査。更に、供養寺遺跡同様の目的で8か所に試掘坑を設定した。

調査の結果、試掘調査域からの遺構・遺物は確認されなかった。

(林部 光)

## 第4章 基本層序

第3章のとおり、土層確認と旧石器時代の遺構・遺物の存在の有無を確認することを目的とした試掘坑を供養寺遺跡で9か所、後凹遺跡で8か所、合計17か所設定した。

以下、供養寺遺跡第3試掘坑（台地頂上部付近、標高323m）と供養寺遺跡第9試掘坑（谷最深部、標高301m）を基本的な層序として紹介する。

(供養寺遺跡第3試掘坑)

地表面から

耕 作 土	0 cm	(植物痕・枯死した樹木痕が多い。粘性はない。暗褐色系の土壤)
暗褐色土層	- 2 0 cm	(上部は耕耘を受ける。粘性・締まりがある。遺物を若干数包含)
黒褐色土層	- 4 0 cm	(植物が分解した黒色系土壤で適度の粘性がある。遺物を多く包含)
褐 色 土 層	- 5 0 cm	(火山灰を含む橙黄褐色ローム層への漸移層)
	- 5 5 cm	(橙黄褐色ローム層)

(供養寺遺跡第9試掘坑) 写真図版8参照

地表面から

耕 作 土	0 cm	(近年運盛された土壤。暗褐色系の土壤)
疊混入暗褐色土層	- 3 0 cm	(近年運盛された土壤。φ1cm～φ5cm程の礫を包含)
酸化鉄混入青灰色粘土層	- 4 0 cm	(昭和期に耕作されていた水田の面。粘性が強い)
青 灰 色 粘 土 層	- 5 0 cm	(水分豊富)
酸化鉄混入青灰色粘土層	- 6 5 cm	(大正期以前に耕作されていた水田の面)
青 灰 色 粘 土 層	- 7 5 cm	(黄色味を持つ。粘性かなり強い)

(林部 光)

# 供養寺遺跡



3017番地  
3018番地

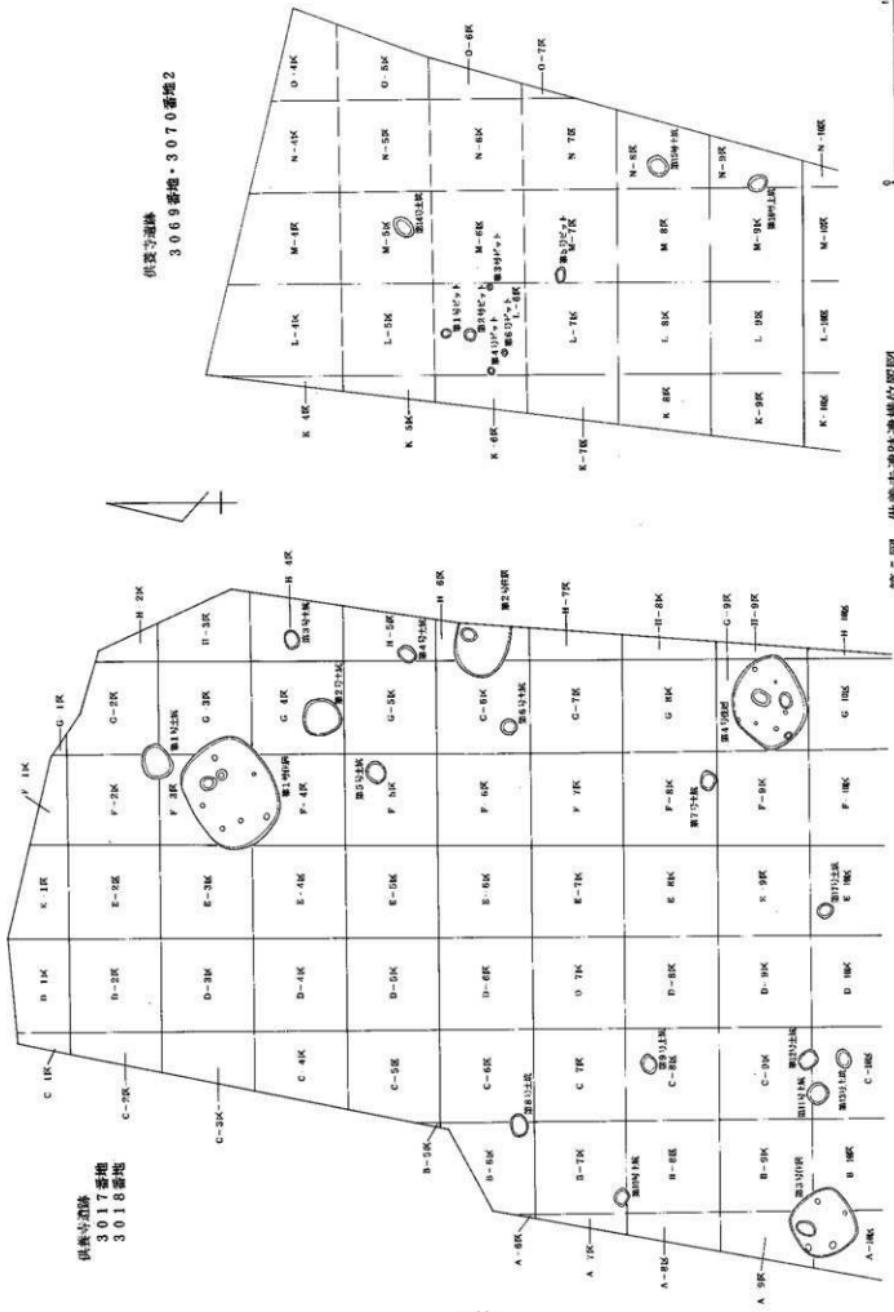
3069番地  
3070番地2

写真図版1 本発掘調査区調査完了後空撮写真  
南から

0  
50m

第4図 供養寺遺跡試掘溝設定図





第5図 供養寺遺跡構造位置図

## 第5章 供養寺遺跡

### 第1節 調査結果の概要

斎場建設用地全域を対象として設定した68本の試掘溝中5本から遺構・遺物が検出され、その部域については本発掘調査に移行した（「第4図 供養寺遺跡試掘溝設定図」を参照）。この本発掘調査によって確認された遺構はつぎのとおりである。

縄文時代中期の住居跡 4軒

縄文時代の土坑 17基

縄文時代のビット 6本

第2節以降、遺構別に報告していく。

尚、各遺構報告内の「位置」については、本発掘調査区を5m四方に区分けした際の「グリッド名」である（「第5図 供養寺遺跡遺構位置図」を参照）。

### 第2節 住居跡

#### 第1号住居跡

（遺構については第6・7図、遺物については第27・28・29・30・43図、

写真については写真図版9・10・11・12・41・42を参照）

位 置	E-3・F-3・F-4・G-3・G-4区
形 状・規 模	楕円形（長軸）635cm（短軸）480cm
床までの深さ	35.9cm～1.9cm
床 の 形 態	平坦
炉 の 形 態	地床炉（長軸）58cm（短軸）55cm（深さ）13.4cm
その他の施設	・柱穴が5か所で検出（深さ7.2.5cm～34.7cm・深さ平均4.9.56cm） ・住居内土坑1基検出（長軸8.3cm・短軸7.9cm・深さ5.6.3cm） ・南壁端に正位埋甕検出（遺物No.1） ・埋甕を出土させた穴の長軸4.2cm・短軸3.3cm・深さ2.2cm ・立石痕が認められる
時 期	縄文時代中期後半

#### 第2号住居跡

（遺構については第8図、遺物については第31図、写真については写真図版13・14を参照）

位 置	G-6・H-6区
形 状・規 模	（推定）楕円形（長軸）推定405cm（短軸）285cm
床までの深さ	27.9cm～12.3cm
床 の 形 態	凸凹あり
炉 の 形 態	右図が（長軸）9.0cm（短軸）7.3cm（深さ）1.5.7cm

その他の施設 柱穴不明  
時 期 縄文時代中期後半

### 第3号住居跡

(遺構については第9図、遺物については第32図、写真については写真図版15・16・43を参照)

位 置 A-9・A-10・B-9・B-10区  
形 状・規 模 不整円形 (長軸) 43.8cm (短軸) 34.7cm  
床までの深さ 15.0cm~3.5cm  
床 の 形 態 起伏あり  
炉 の 形 態 石材を1点伴う添石炉 (長軸) 11.4cm (短軸) 7.0cm (深さ) 5.3cm  
その他の施設 • 柱穴が4か所で検出 (深さ18.4cm~11.4cm・深さ平均15.15cm)  
• 炉址内でピット1か所検出 (長軸18cm・短軸16cm・深さ27cm)  
時 期 縄文時代中期後半

### 第4号住居跡

(遺構については第10図、遺物については第33・34・44図、

写真については写真図版17・18・19・20・44を参照)

位 置 G-9・H-9区  
形 状・規 模 楕円形 (長軸) 51.0cm (短軸) 39.0cm  
床までの深さ 18cm~1.7cm  
床 の 形 態 若干起伏あり  
炉 の 形 態 石圓炉 (長軸) 11.0cm (短軸) 9.5cm (深さ) 4.2.1cm  
その他の施設 • 柱穴が7か所で検出 (深さ9.6.9cm~14.5cm・深さ平均7.6.9cm)  
• 住居内土坑1基検出 (長軸6.1cm・短軸5.8cm・深さ2.0.5cm)  
• 炉址から北壁方向に配石検出  
• 石避け北側に敲石 (掲載石器No.5)  
時 期 縄文時代中期後半

第1表 「土 坑」一覧表

(単位: cm)

位 置	形 態	規 模			底の形態	備 考		
		平 面	断 面	長 軸	短 軸			
1号土坑	F-2・3,G-2・3	円 形	鍋底状	178	170	5 6. 0	平 坦	沿岸部の大製土器が検出。鍋坑
2号土坑	G-4	楕円形	瓶底状	230	195	4 0. 3	起伏あり	
3号土坑	H-4	不整円形	鍋底状	95	88	4 4. 1	平 坦	
4号土坑	G-5,H-5	円 形	U字状	95	78	3 0. 4	平 坦	
5号土坑	F-5	楕円形	鍋底状	123	101	2 4. 0	起伏あり	坑底に人頭大の石材有す

	位 置	形 態		規 模			底の形態	備 考
		平 面	断 面	長 軸	短 軸	深 さ		
6号土坑	G - 6	楕円形	U字状	88	80	18.3	平 坑	
7号土坑	F - 8・9	不整円形	U字状	104	90	26.8	起伏あり	
8号土坑	B-6,C-6	不整円形	鍋底状	118	96	24.3	平 坑	
9号土坑	C - 8	楕円形	U字状	100	84	26.0	起伏あり	
10号土坑	B - 7・8	円 形	鍋底状	82	75	17.6	テラスを有する	
11号土坑	C - 9・10	円 形	鍋底状	111	104	49.9	平 坑	
12号土坑	C - 9・10	不整円形	不整U字状	113	106	25.7	テラスを有する	
13号土坑	C - 10	楕円形	鍋底状	103	72	47.0	平 坑	
14号土坑	M - 5	楕円形	U字状	124	80	26.2	テラスを有する	上端部で奉人の石材を認める
15号土坑	N - 8	楕円形	U字状	114	100	16.7	起伏あり	上端部で奉大以上の石材を認める
16号土坑	M-9,N-9	楕円形	U字状	103	80	28.5	起伏あり	
17号土坑	E - 10	円 形	U字状	88	80	24.1	平 坑	

第2表 「ビット」一覧表

(単位: cm)

	位 置	形 態		規 模			底の形態	備 考
		平 面	断 面	長 軸	短 軸	深 さ		
1号ビット	L - 6	円 形	鍋底状	5.5	4.8	10.8~4.0	平 坑	
2号ビット	L - 6	不整椭円形	U字状	6.0	4.5	30.2~29.2	平 坑	
3号ビット	L - 6	不整円形	鍋底状	3.4	2.8	8.0~6.2	平 坑	
4号ビット	L - 6	不整円形	U字状	4.1	3.8	41.4~38.6	平 坑	
5号ビット	L-7,M-7	長楕円形	鍋底状	9.4	5.6	9.9~3.5	起伏あり	
6号ビット	L - 6	不整円形	U字状	4.2	3.6	6.7~3.6	起伏あり	正位埋甕

\*ビットについては、これらの位置関係ならびに6号ビットからの埋甕の検出などから判断し、「擾乱を受けた縄文時代中期の住居跡の柱穴」であった可能性が高い。

第3表 土器・土製品の観察表 (No.1) \*単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出上位置	形態	計測値				施文・整形等	色調	備考
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高	
第27図 1	1号住居	上器 深鉢	220						ヘラによる縦位沈線文
第27図 2	1号住居	土器 約手土器	150		86				底部木葉痕 内外面褐色
第27図 3	1号住居	上器 浅鉢	(292)		84	160			外山無文・底部木葉痕 内外山褐色
第27図 4	1号住居	上器 深鉢	150		(70)	172			縦位沈線文上に蛇行帶文 内山褐色・外山褐色
第27図 5	1号住居	土器 深鉢	190						縦位沈線文上に類似廣位二重沈線文 内外面暗褐色
第27図 6	1号住居	上器 深鉢	(400)						無文 内山褐色・外山褐色
第27図 7	1号住居	土器 深鉢							ヘラによる縦位沈線文上に斜位沈線文 内外面褐色
第27図 8	1号住居	上器 深鉢	(150)						波状口縁・横位・斜位沈線文・漏巻文 内外面暗褐色
第27図 9	1号住居	上器 深鉢	140						1層部に縦位沈線文以下縦位・斜位沈線文 内外面暗褐色
第28図10	1号住居	土器 深鉢					92		斜位沈線文
第28図11	1号住居	上器 深鉢					90		90 内外山褐色
第28図12	1号住居	土器 深鉢			52				52 内山褐色・外山褐色
第28図13	1号住居	土器 深鉢				(80)			90 内外山褐色
第28図14	1号住居	上器 深鉢					(90)		無文 内外山褐色
第28図15	1号住居	土器 深鉢							漏巻文・縦位沈線文 内外山褐色
第29図16	1号住居	土器 深鉢							変形降帶文間に縦位沈線文 内外山褐色
第29図17	1号住居	上器 深鉢							変形降帶文間に縦位沈線文 内外山褐色
第28図18	1号住居	土器 深鉢	(190)						口唇部に漏巻文 内山褐色・外山褐色 口縁装飾
第28図19	1号住居	土器 深鉢	(290)						口唇部に漏巻文、以下円文 内山褐色・外山褐色 口縁装飾
第28図20	1号住居	上器 深鉢	(430)						口唇部有孔円文 内山褐色・外山褐色 1層部装飾
第28図21	1号住居	土器 深鉢							口唇部有孔円文 内山褐色・外山褐色 口縁装飾
第28図22	1号住居	上器 深鉢	(260)						縦刻文 内外山褐色 墓入遺物
第28図23	1号住居	土器 深鉢	(430)						1層部に長横凹区画刻突文 内外山褐色 口縁装飾
第28図24	1号住居	土器 深鉢	(420)						口縁部下円文 内外山褐色
第28図25	1号住居	土器 深鉢	(420)						無文 内外山褐色
第29図26	1号住居	土器 深鉢	(310)						1層部にヘラによる縦位沈線文以下斜位沈線文 内外山褐色
第29図27	1号住居	土器 深鉢	(280)						漏巻文、半円彫区画間に縦位沈線文 内外山褐色
第29図28	1号住居	上器 深鉢	(300)						無文 内外山褐色
第29図29	1号住居	上器 深鉢	(400)						無文 内外山褐色
第29図30	1号住居	土器 深鉢	(220)						縦位沈線文上に蛇行沈線文 内外山褐色
第29図31	1号住居	土器 深鉢	(290)						縦位沈線文上に漏巻文 内外山褐色・外山褐色
第29図32	1号住居	土器 深鉢							横位・二重沈線文間に縦位沈線文 内外山褐色
第29図33	1号住居	土器 深鉢							横位・二重沈線文間に縦位沈線文 内外山褐色
第29図34	1号住居	上器 深鉢							縦位沈線文上に蛇行帶文 内外山褐色
第29図35	1号住居	土器 深鉢							漏巻文・沈線文・蛇行文 内外山褐色
第30図36	1号住居	土器 深鉢			(90)				縦位沈線文上に蛇行沈線文 内外山褐色
第30図37	1号住居	土器 深鉢			60				縦位沈線文・底部にクシによる整形痕 内外山褐色
第30図38	1号住居	上器 深鉢			(120)				漏巻文間に斜位沈線文 内外山褐色
第30図39	1号住居	土器 深鉢			(70)				無文 内外山褐色
第30図40	1号住居	土器 深鉢			(76)				ヘラによる縦位沈線文 内外山褐色
第30図41	1号住居	土器 深鉢			(80)				無文 内外山褐色
第30図42	1号住居	上器 深鉢			(90)				縦位沈線文 内外山褐色・粘赤色
第30図43	1号住居	土器 深鉢			(110)				縦位沈線文・底部にクシによる整形痕 内外山褐色
第30図44	1号住居	土器 深鉢			80				漏巻文間に斜位沈線文 内外山褐色
第30図45	1号住居	土器 深鉢			84				無文 内外山褐色
第30図46	1号住居	上器 深鉢			60				無文 内外山褐色
第30図47	1号住居	土器 深鉢			60				底部木葉痕 内外山褐色
第31図 1	2号住居	土器 深鉢	(260)						斜位沈線文・縞文 内外山褐色
第32図 1	3号住居	土器 浅鉢	(290)		60				無文 内外山明褐色
第33図 1	4号住居	上器 深鉢	164		(80)	182			口唇部下二重漏巻文、以下縦位・斜位沈線文・漏巻文 内外山褐色
第34図 2	4号住居	土器 浅鉢	(170)		(80)				口縁部横位沈線文、以下縦位沈線文 内外山褐色
第34図 3	4号住居	土器 深鉢			84				漏巻状・縦位沈線文・底部網代痕 内外山褐色
第34図 4	4号住居	土器 深鉢							無文 把手
第34図 5	4号住居	上器 深鉢							内外面褐色 把手
第34図 6	4号住居	土器 深鉢	(110)						横位沈線文 内外山褐色

第4表

土器・土製品の観察表 (No. 2) (単位:mm) / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考			
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高			
第34図 7	4号住居	土器	深鉢	(370)					無文	内外面褐色	
第34図 8	4号住居	土器	深鉢	(310)					無文	内外面褐色	
第34図 9	4号住居	土器	深鉢						縦刻文	内外面褐色	混入遺物
第34図10	4号住居	土器	深鉢	(240)					縦刻文	内外面褐色	LH装飾
第34図11	4号住居	土器	深鉢						クシによる縦位沈線文にヘラによる彫線文	内外面褐色・外縁褐色	
第34図12	4号住居	土器	深鉢?		(110)				無文	内外面褐色	
第35図 1	1号土坑	土器	深鉢	(360)		(130)	(375)		集合沈線文	内外面暗褐色	直文内中輪組
第35図 2	1号土坑	土器	深鉢	(280)					集合沈線文	内外面暗褐色	直文内中輪組
第35図 3	1号土坑	土器	深鉢	(270)					集合沈線文	内外面褐色・外縁褐色	直文内中輪組
第35図 4	1号土坑	土器	深鉢				(120)		底部爪痕あり	内縁褐色・外縁褐色	
第36図 1	8号土坑	土器	深鉢						ヘラによる整形痕あり	内外面暗褐色	把手
第36図 2	8号土坑	土器	深鉢	(120)					無文	直面褐色・彫刻地	
第36図 3	8号土坑	土器	深鉢	(120)					無文	内外面明褐色	
第36図 4	8号土坑	土器	深鉢	(150)					無文	内外面明褐色	
第37図 1	11号土坑	土器	深鉢						クシによる斜位沈線文	内外面褐色	
第37図 2	11号土坑	土器	深鉢						縦位沈線文に縦位蛇行沈線文	内外面褐色	
第38図 1	13号土坑	土器	深鉢						クシによる斜位沈線文	内外面褐色	
第39図 1	15号土坑	土器	深鉢						縦位沈線文に縦位蛇行沈線文	内外面褐色	
第40図 1	16号ピット	土器	深鉢	276					降帯文間に刻文文・彫文	直面褐色・彫刻地	土坑内埋置か
第41図 1	1グリッド	土器	深鉢	(300)						内外面暗褐色	C-1区
第41図 2	2グリッド	土器	深鉢	(300)					LH骨構位沈線文以下斜位沈線文	内縁褐色・外縁褐色	C-2区
第41図 3	3グリッド	土器	深鉢	(360)					無文	内外面褐色	G-5区
第41図 4	4グリッド	土器	深鉢				(50)			内外面赤褐色	G-6区
第41図 5	5グリッド	土器	深鉢						ヘラによる沈線	内外面褐色	G-底・LH地
第41図 6	6グリッド	土器	深鉢?	(280)					口唇部横位沈線文下に縦位沈線文	内外面暗褐色	301番地
第41図 7	7グリッド	土器	深鉢	(220)					縦位沈線文以下流線文	内縁褐色・外縁褐色	301番地
第41図 8	8グリッド	土器	深鉢	(220)					縦位沈線文以下斜位沈線文	内外面褐色	G-1区
第41図 9	9グリッド	土器	深鉢	(160)					無文	内外面褐色	301番地
第41図10	10グリッド	土器	深鉢	(190)					無文	内外面褐色	G-1区
第41図11	11グリッド	土器	深鉢			(60)			「ハ」の字文	内外面明褐色	G-1区
第41図12	12グリッド	土器	深鉢			(80)			「ハ」の字文	内外面褐色	G-1区
第41図13	13グリッド	土器	深鉢			130			ヘラによる凹形区画内に縦位沈線文	内外面褐色	G-1区
第41図14	14グリッド	土器	深鉢			(80)				内外面褐色	G-底・外縁
第42図 1	調査区内	土製品							近世の祭礼酒物(泥面子?)	内外面褐色	306番地
第42図 2	調査区内	土器	深鉢	(360)					無文	瓶形褐色・外縁褐色	3017番地
第42図 3	調査区内	土器	深鉢						ヘラによる円形区画文	内外面褐色	306番地
第42図 4	調査区内	土器	深鉢			(80)			底部木座痕	内外面暗褐色	3617番地
第42図 5	調査区内	土器	深鉢			(70)				内外面暗褐色	3069番地
第42図 6	調査区内	土器	坏	(160)					内外面ロクロ痕	内外面褐色	3091番地1
第42図 7	調査区内	土器	坏	(130)		(60)			外面部ロクロ痕	山形褐色・外縁褐色	3091番地1
第42図 8	調査区内	土器	坏	(210)					外面部ロクロ痕	内外面明褐色	3091番地1
第42図 9	調査区内	土器	坏	(90)		(58)			外面部ロクロ痕	内外面明褐色	3091番地1
第42図10	調査区内	土器	坏	(80)					外面部ロクロ痕	内外面明褐色	3091番地1
第42図11	調査区内	土器	坏	(130)					内外面ロクロ痕	内外面褐色	3091番地1
第42図12	調査区内	土器	坏	(120)						内外面褐色	3017番地
第42図13	調査区内	土器	坏	(160)					内外面ロクロ痕	内外面明褐色	3091番地1
第42図14	調査区内	土器	坏			(200)				内外面褐色	3094番地
第42図15	調査区内	土器	坏			(50)				内外面褐色	3091番地1
第42図16	調査区内	土器	坏						底部糸切痕	内外面褐色	3091番地
第42図17	調査区内	須恵器	大型壺						内外面ナデ	内縁褐色・外縁褐色	3091番地
第42図18	調査区内	須恵器	大型壺						内外面ナダ	内外面暗褐色	3091番地1
第42図19	調査区内	須恵器	壺						外面タキ	内縁褐色・外縁褐色	3091番地1

第5表

石器の観察表

※数値は残存値／( )内の数値は推定値

図番号	出土位置	種類	計測値				石材	形態	備考
			長さmm	幅mm	厚さmm	重量g			
第43図 1	1号住居	磨石	120	57	60	530.5		1面使用	
第43図 2	1号住居	磨凹石	109	70	37	390		凹石4面使用	全面磨痕あり
第43図 3	1号住居	磨凹石	103	78	35	420		凹石2面使用	全面磨痕あり
第43図 4	1号住居	磨石	(100)	52	90	610		2面使用	
第43図 5	1号住居	磨石	(58)	(82)	(85)	510		2面使用	
第43図 6	1号住居	敲石	166	58	56	670		2面使用	
第43図 7	1号住居	敲石	142	143	66	1,880			
第43図 8	1号住居	敲石	(103)	(151)	(36)	760			
第44図 1	4号住居	磨製石斧	73	45	9	96.5			
第44図 2	4号住居	磨石	111	87	42	610		全面使用	全面がよく使用されている
第44図 3	4号住居	敲石	157	87	52	910.5		1面使用	
第44図 4	4号住居	敲石	163	63	60	740.5		1面使用	焼成を受けている
第44図 5	4号住居	敲石	55	93	9	640	滑岩		
第45図 1	4号土坑	石匙	115	132	35	51.5			
第46図 1	8号土坑	磨凹石	(120)	76	38	510		凹石2面使用	全面磨痕あり
第47図 1	14号土坑	打製石斧	123	99	56	150			
2	14号土坑	石棒	103	112	96	1,970			写真図版47参照
第48図 1	15号土坑	磨凹石	135	68	56	740		凹石4面使用	全面磨痕あり
第48図 2	15号土坑	多孔石	108	269	45	1,290			
第49図 1	グリッド	磨石	100	34	33	1,700.5		敲石2面使用	L-6区・敲石併用・全面磨痕あり

## 第3節 小結

供養寺遺跡の立地環境は、標高300m前後の谷部をはさんで2舌の東西に延びる標高325m前後の台地部からなる。今回の調査は、その全域を対象に実施された。68本の試掘溝（トレンチ）を設定し、遺構・遺物の有無確認を行ったところ、北側の台地部に設定した5本のトレンチから縄文時代中期の遺構・遺物が出土したため、本発掘調査に移行した。その結果、縄文時代中期初頭の土坑が1基（第1号土坑）、縄文時代中期後半の堅穴住居跡4軒とピット6口、そして同時期と思われる土坑が16基という成果を得た。ただし、今回確認された堅穴住居跡は4軒であるが、L-6区に集中するピット群は、1軒分の住居の柱穴及び床面に埋設された埋臺と考えられるので、実際には5軒の住居跡が検出したことになる。後世に削平をうけて、堅穴の壁面が消失してしまったのだろう。

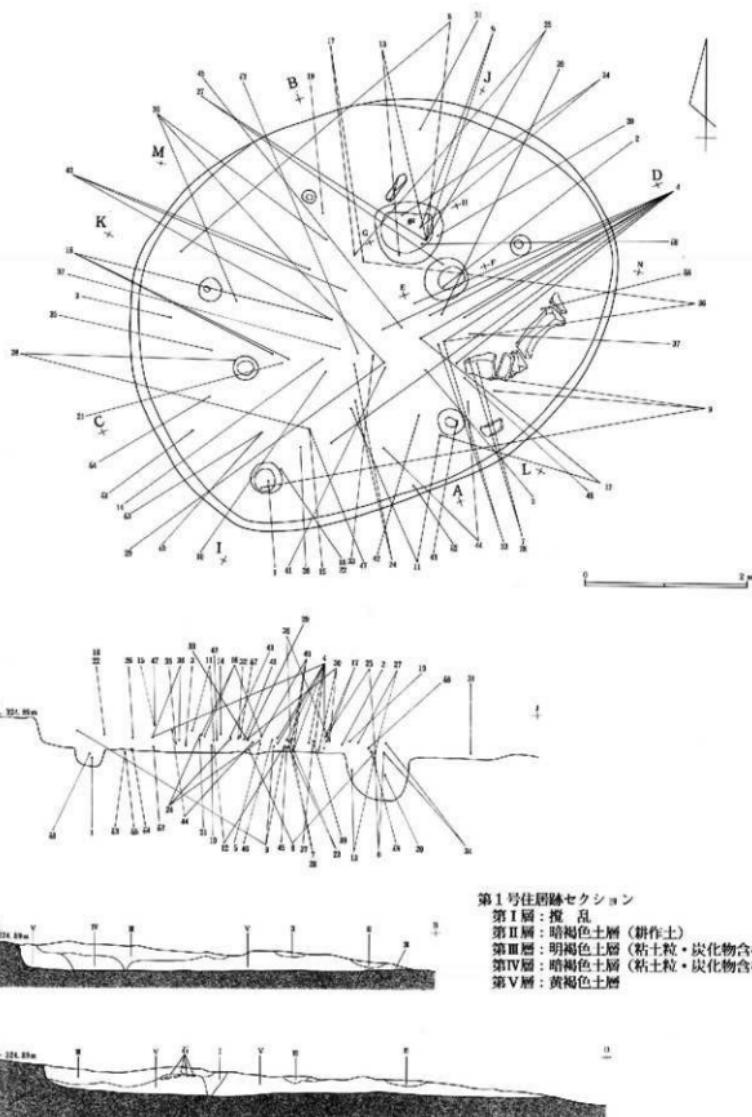
遺構が検出されなかった63本のトレンチのうち、数か所から土器を中心とする遺物が出土している。この中には、平安時代以降の土器が多く含まれている。本発掘調査では、これらの上器に併行する時期の遺構の検出は確認できなかった。しかし本遺跡に古刹七覚山円楽寺が南隣することを考えると、これらの上器群が円楽寺の歴史をたどるヒントになるのではないか。

円楽寺について今日残されている資料によると、大宝元（701）年、役行者小舟の創建にして、この寺より始めて富士登山の路が開けたとある。そして、平安時代には日本古来の原始的山岳信仰と仏教の密教的信仰とが集合され、それ以降、修験者たちの道場として栄えていたという記録がある。

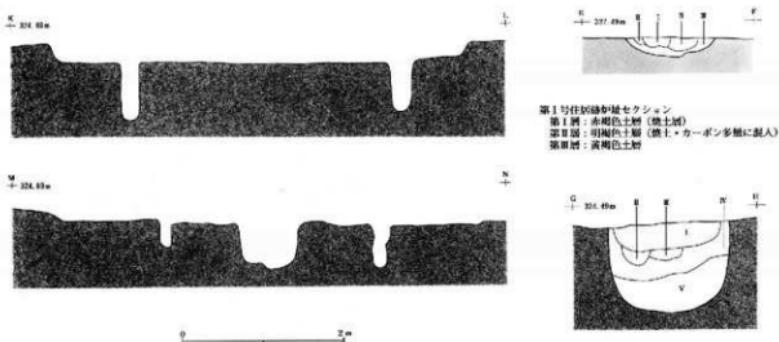
これらのことから、修験者たちの「生活の場」が円楽寺周辺にあったことは十分に考えられる。現在は、円楽寺後背の台地に大規模な墓地が広がっているが、おそらくこの地にあった「生活の場」の使われていた生活品が墓地造成等により谷部に落ち込み、それらが今回の調査により発見されたと推察される。

以上のように2舌の台地と谷部から形成される供養寺遺跡の変遷は、北側の台地で縄文時代中期初頭から中期後半にかけての集落が営まれ、平安時代以降になると、南側の台地で円楽寺に関連する土地利用があったと考えたい。そして、いずれの時代の人々も南北両側の台地にはさまれた谷部の湧水地から生活用水を得ていたのだろう。

（岡野秀典・林部光）



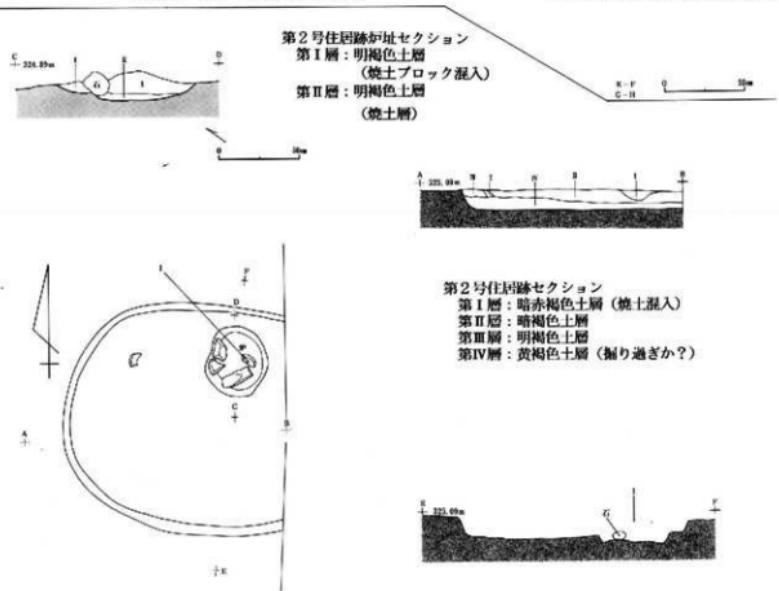
第6図 第1号住居跡 (No. 1)



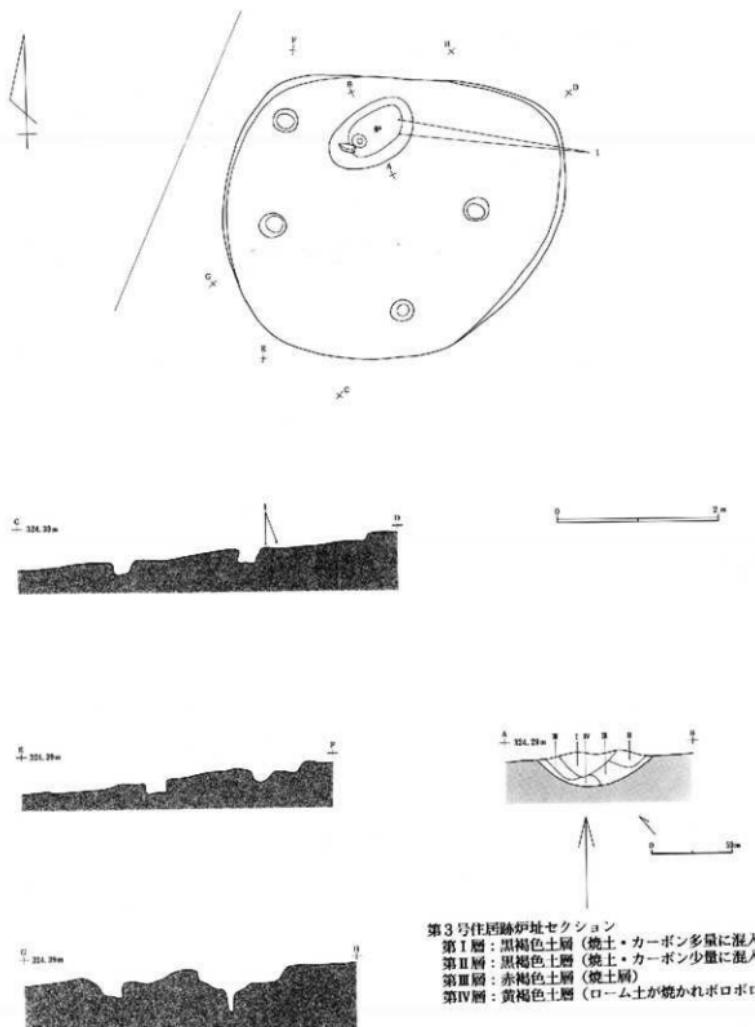
第7図 第1号住居跡 (No.2)

第1号住居跡セクション  
第I層：赤褐色土層（燒土層）  
第II層：明褐色土層（燒土・カーボン多量に混入）  
第III層：黄褐色土層

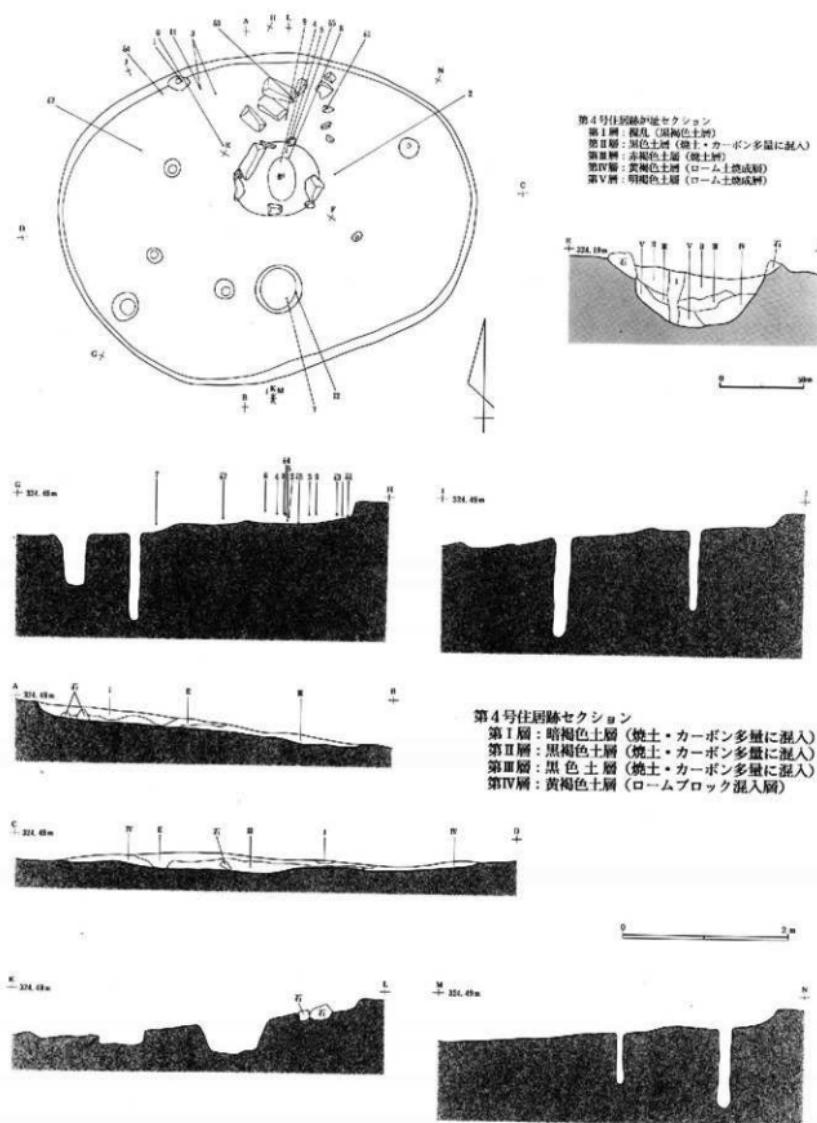
第1号住居跡内土坑セクション  
第I層：黒褐色土層  
第II層：黒色土層（燒土・カーボン多量に混入）  
第III層：黒褐色土層（燒土・カーボン多量に混入）  
第IV層：暗褐色土層（燒土・カーボン多量に混入）  
第V層：明褐色土層（燒土・カーボン多量に混入）



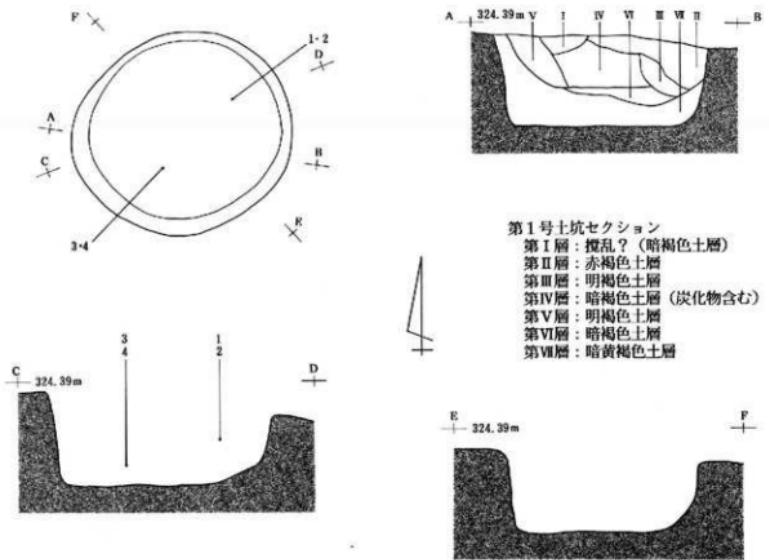
第8図 第2号住居跡



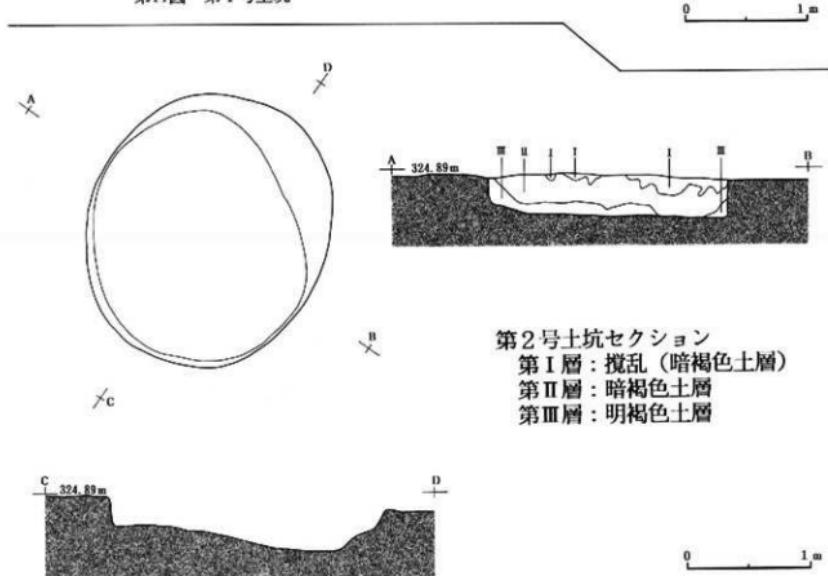
第9図 第3号住居跡



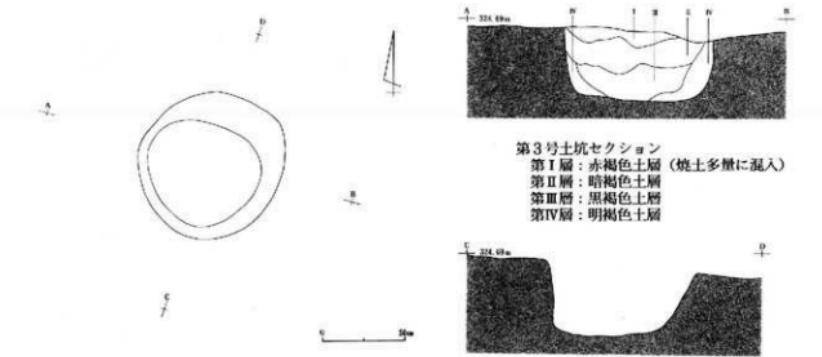
第10図 第4号住居跡



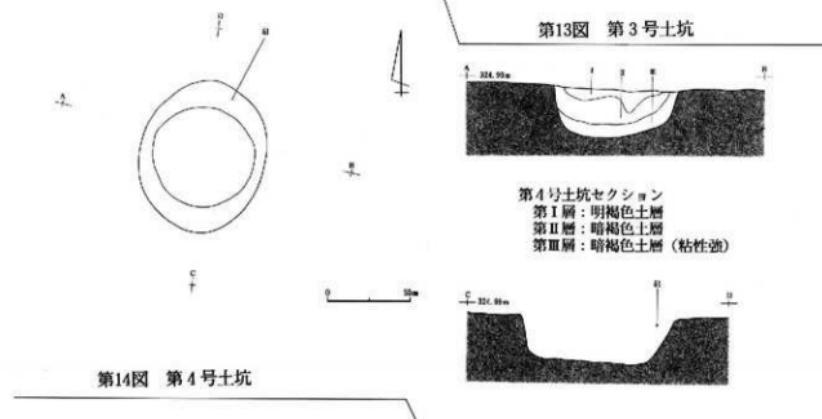
第11図 第1号土坑



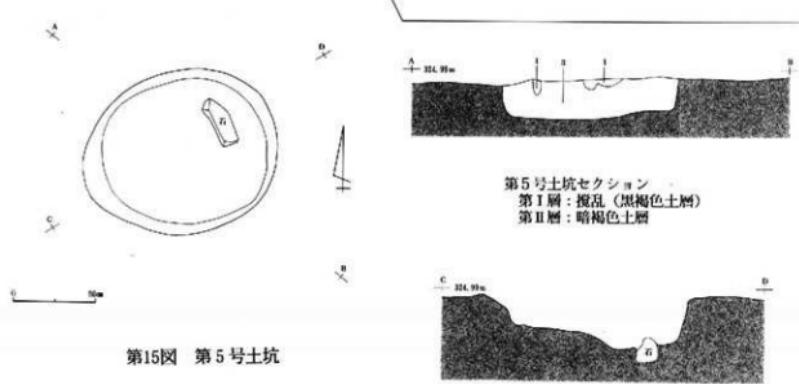
第12図 第2号土坑



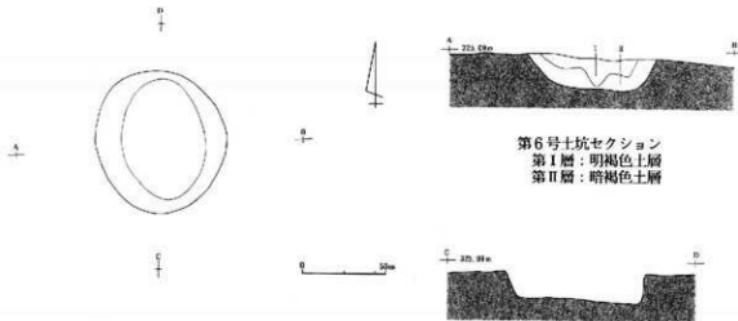
第13図 第3号土坑



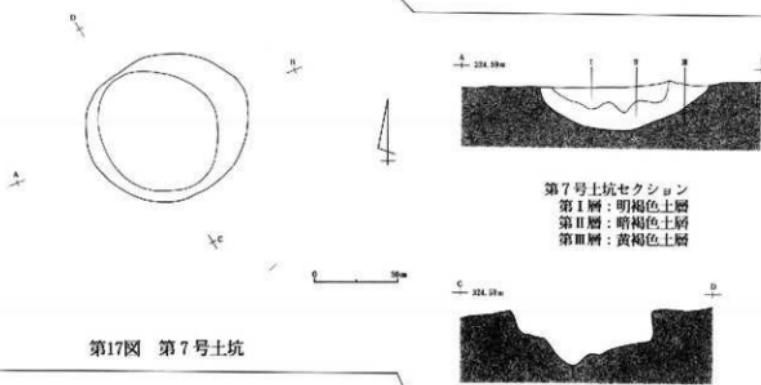
第14図 第4号土坑



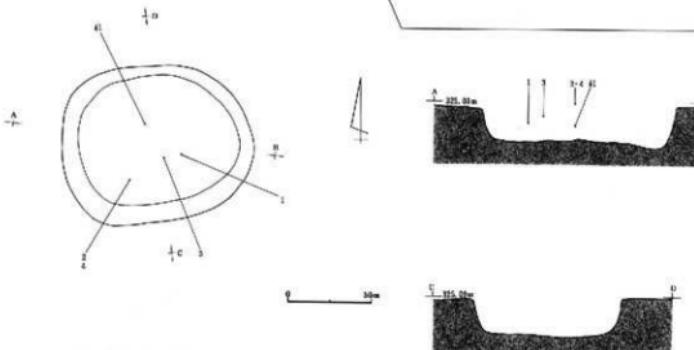
第15図 第5号土坑



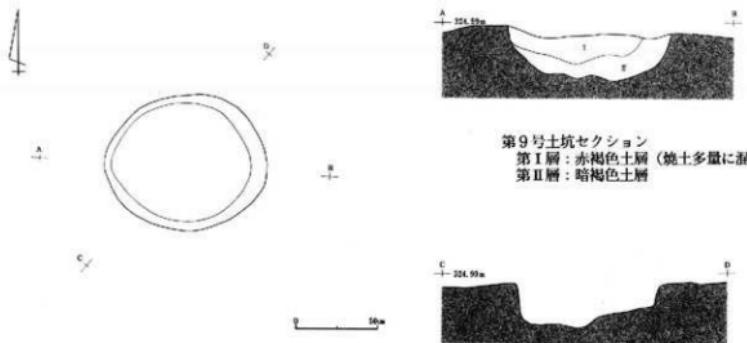
第16図 第6号土坑



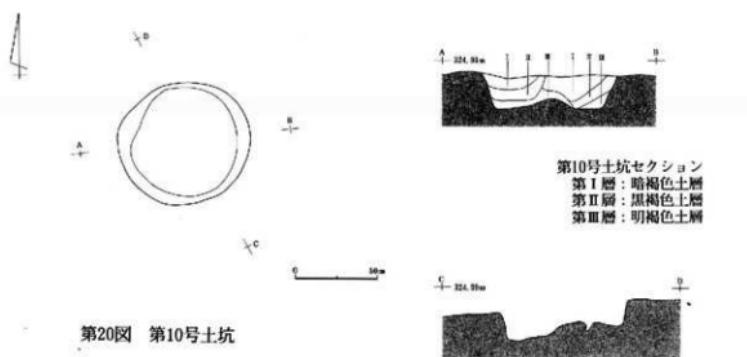
第17図 第7号土坑



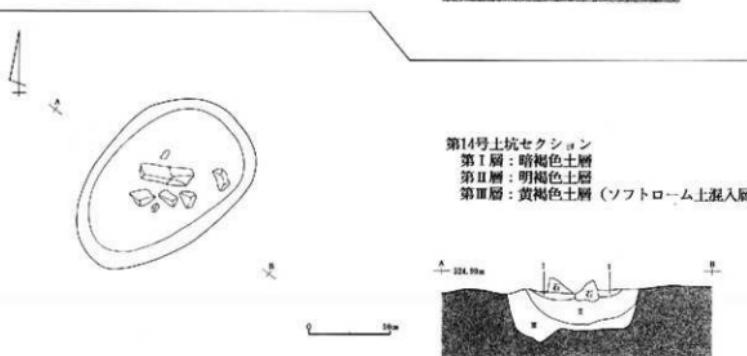
第18図 第8号土坑



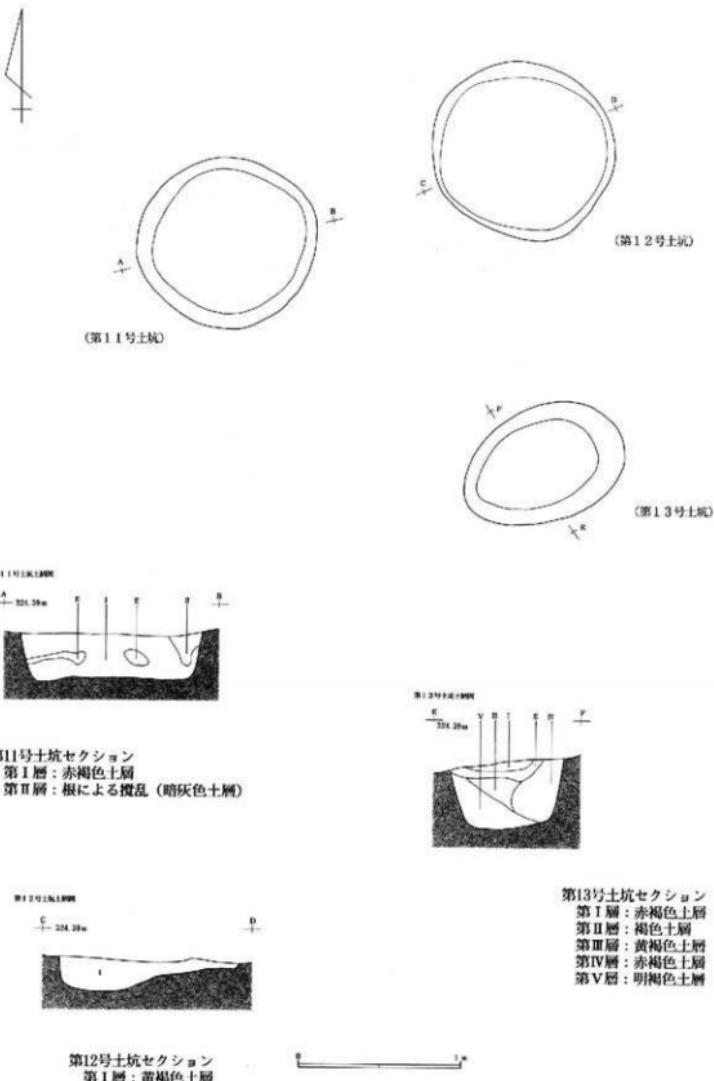
第19図 第9号土坑



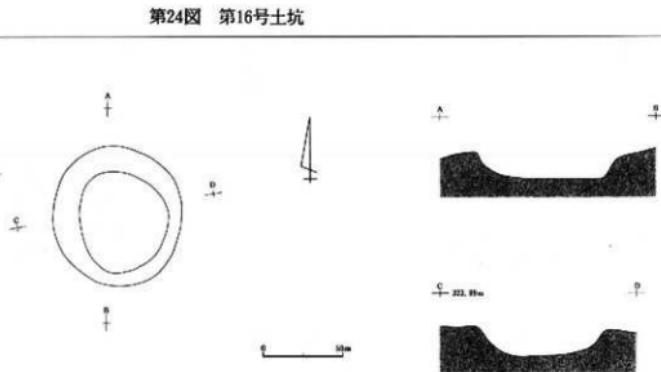
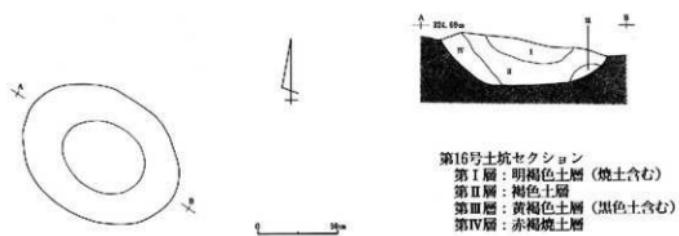
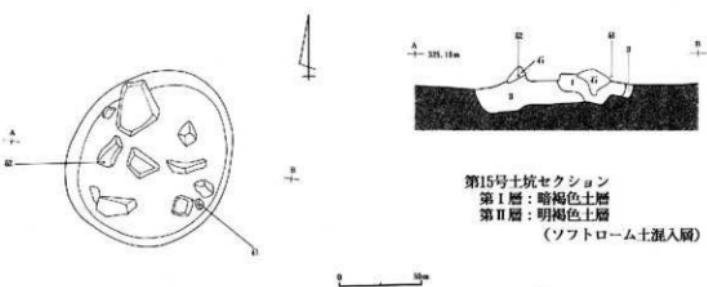
第20図 第10号土坑

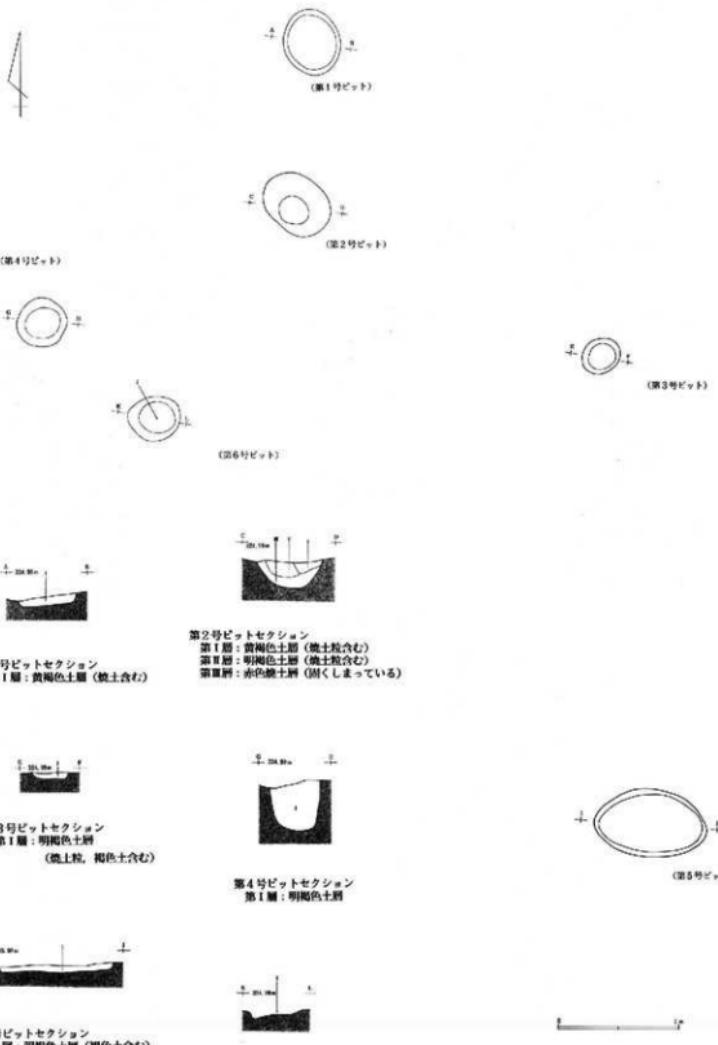


第22図 第14号土坑

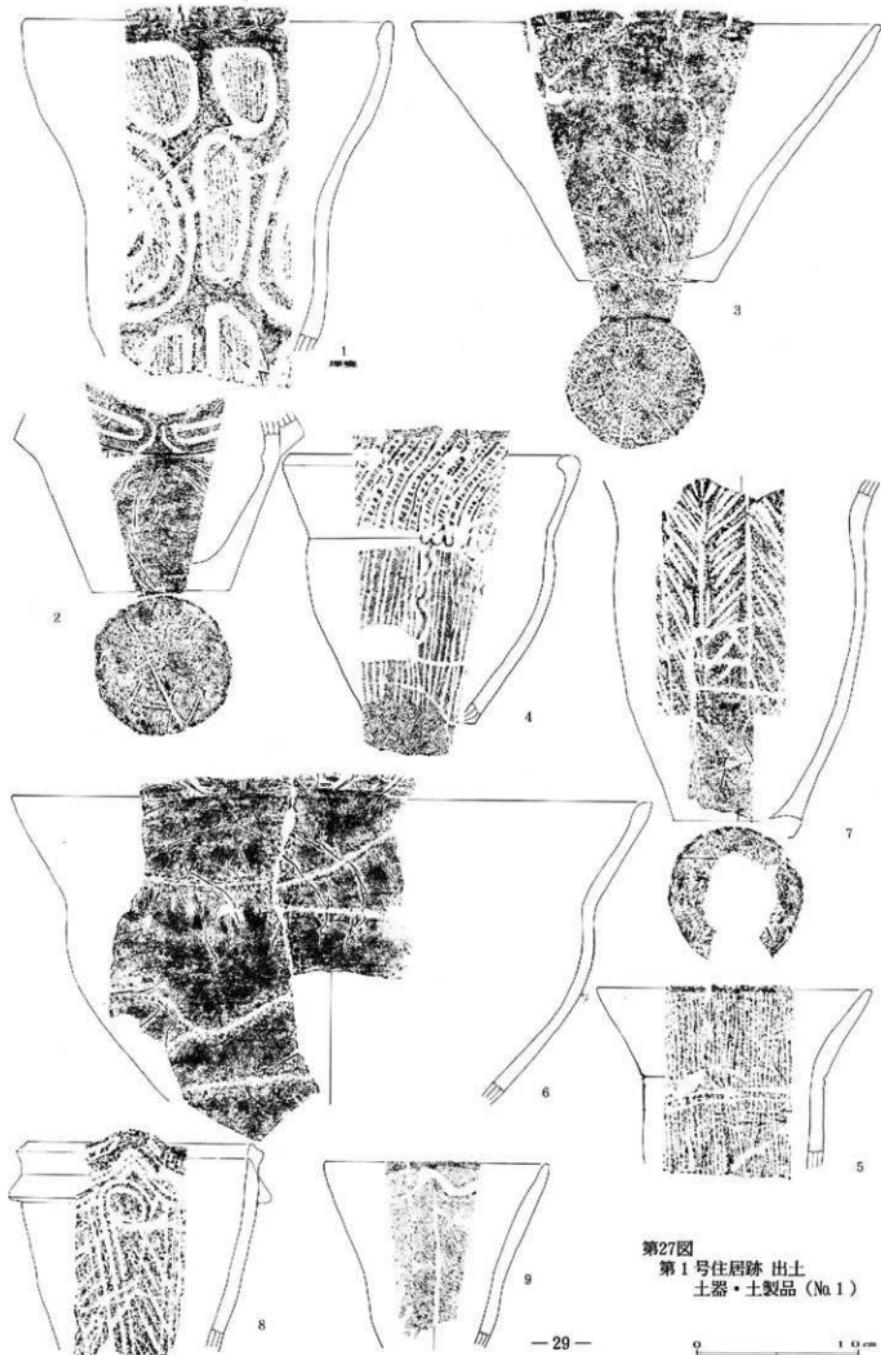


第21図 第11・12・13号土坑

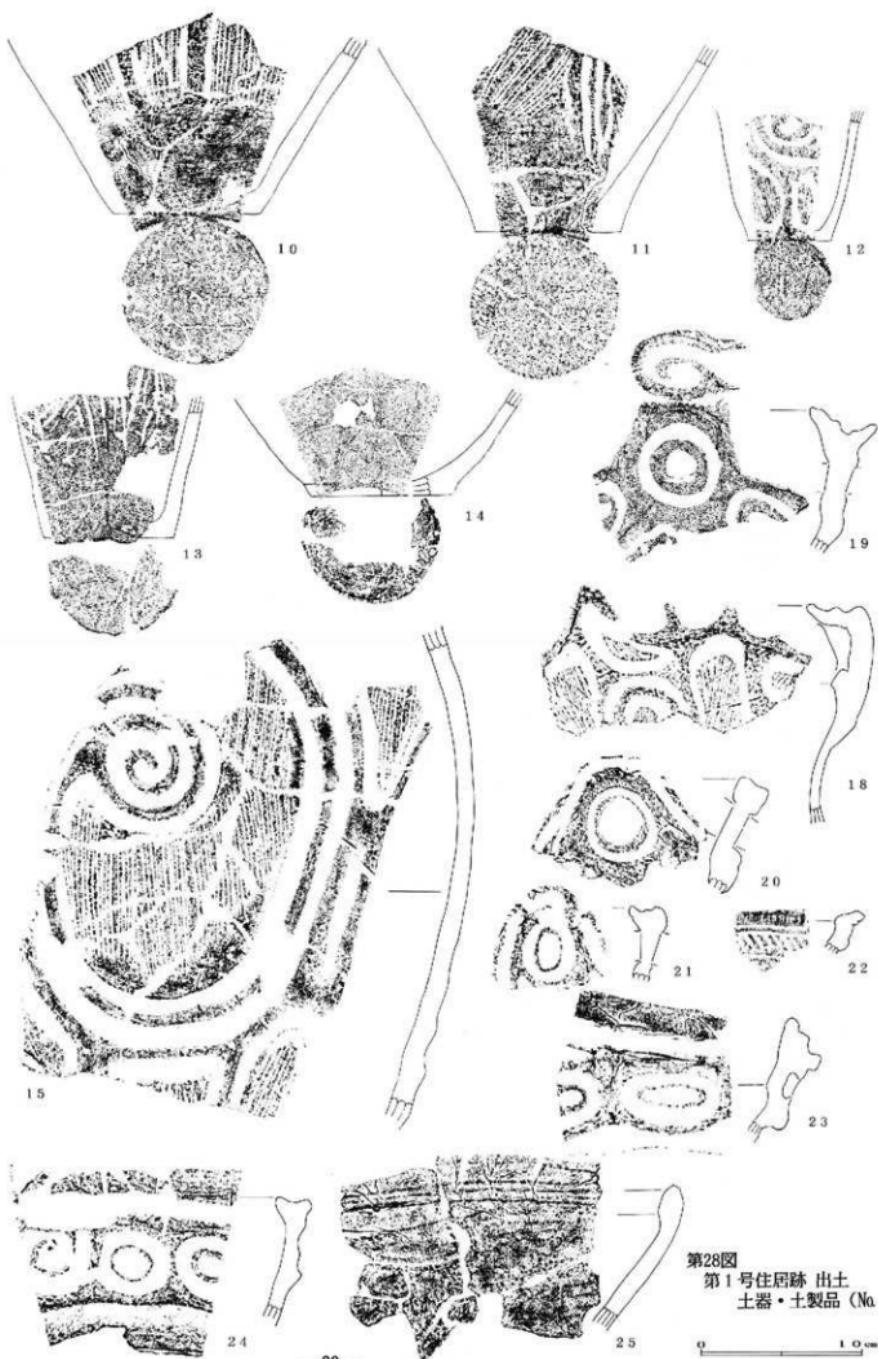




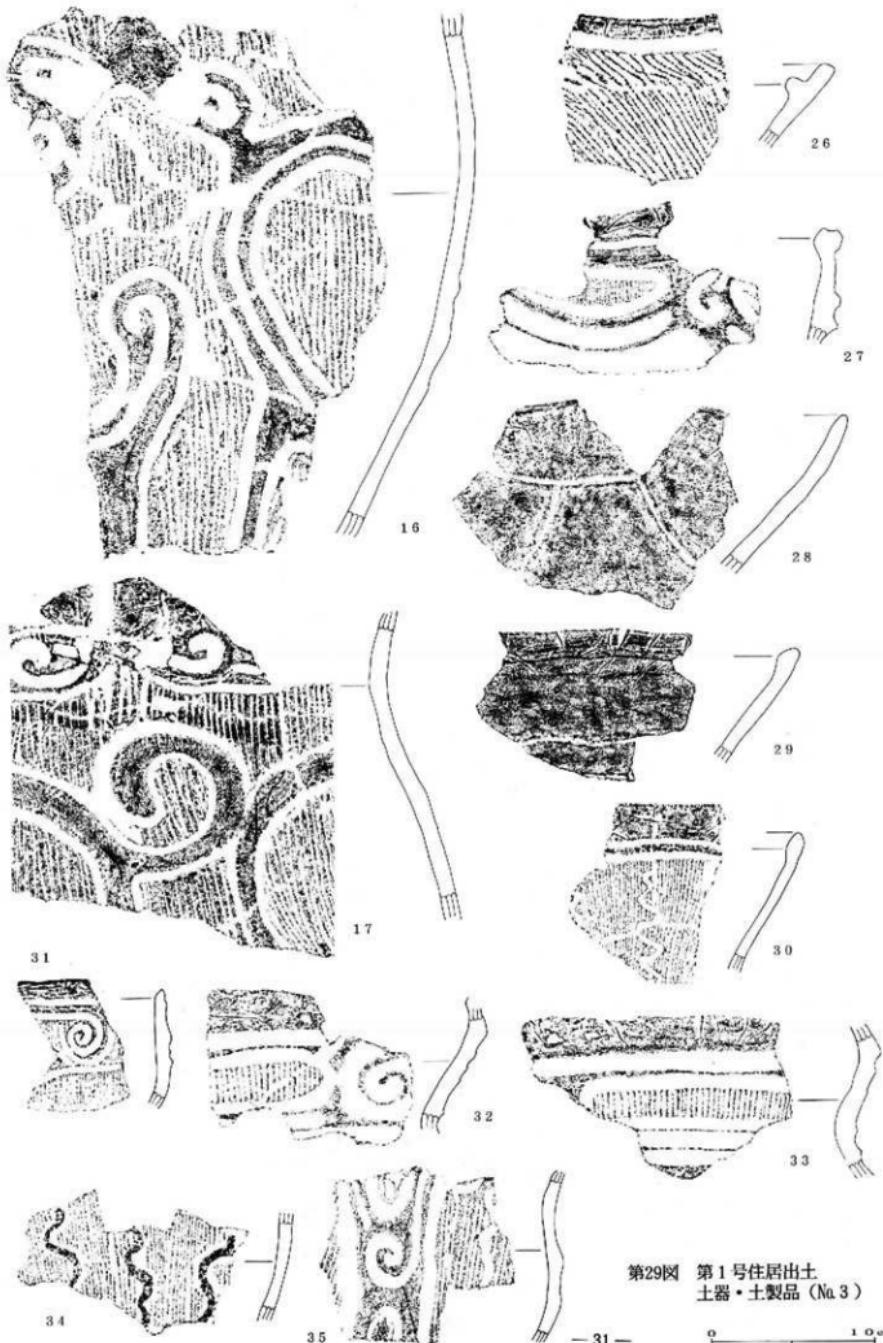
第26図 第1・2・3・4・5・6号ピット



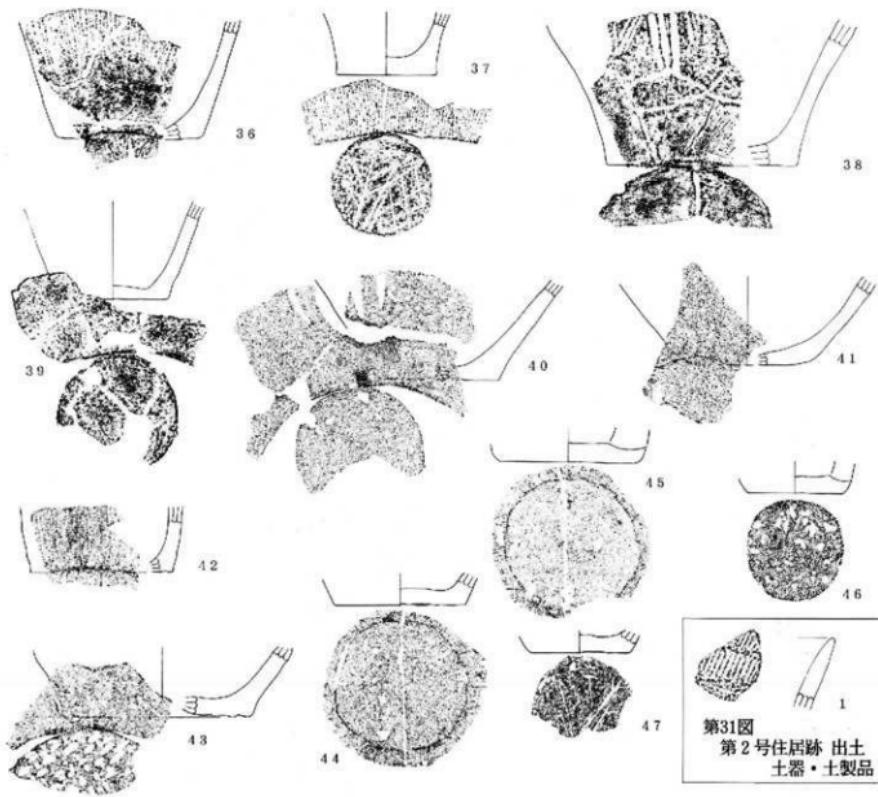
第27図  
第1号住居跡出土  
土器・土製品 (No.1)



第28図  
第1号住居跡出土  
土器・土製品(No.2)

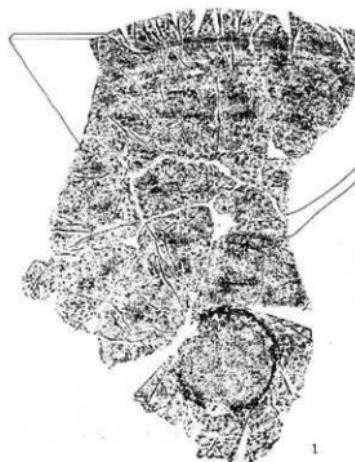


第29図 第1号住居出土  
土器・土製品(No.3)



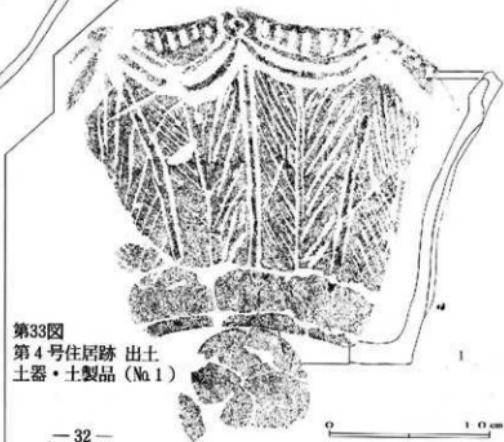
第31図  
第2号住居跡出土  
土器・土製品

第30図 第1号住居跡出土  
土器・土製品 (No. 4)



第32図 第3号住居跡出土  
土器・土製品

第33図  
第4号住居跡出土  
土器・土製品 (No. 1)

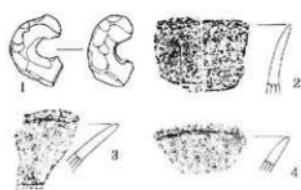




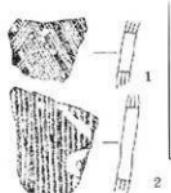
第34図  
第4号住居跡出土  
土器・土製品(No.2)



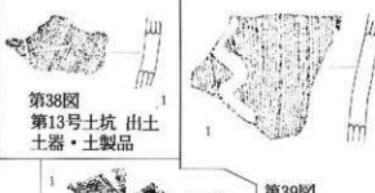
第35図 第1号土坑 出土土器・土製品



第36図 第8号土坑 出土  
土器・土製品



第37図 第11号土坑 出土  
土器・土製品



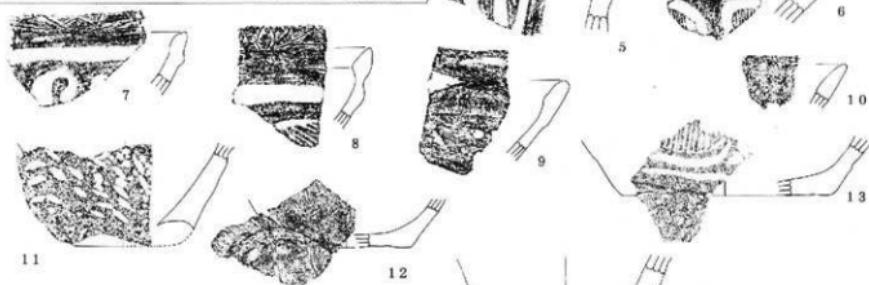
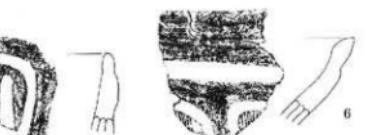
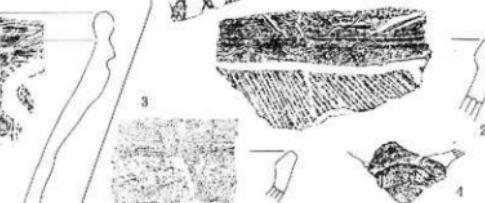
第38図  
第13号土坑 出土  
土器・土製品



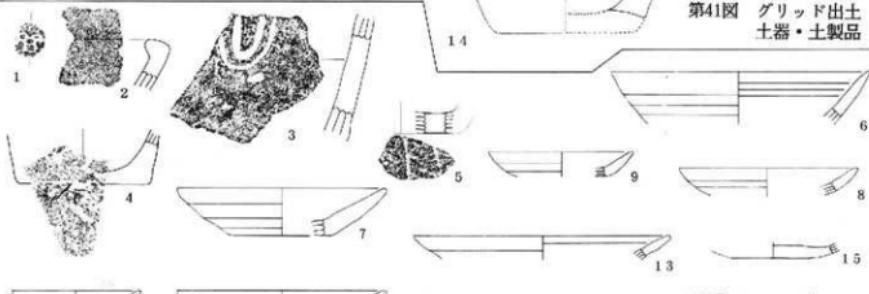
第39図  
第15号土坑 出土  
土器・土製品



第40図 第6号ピット 出土土器・土製品

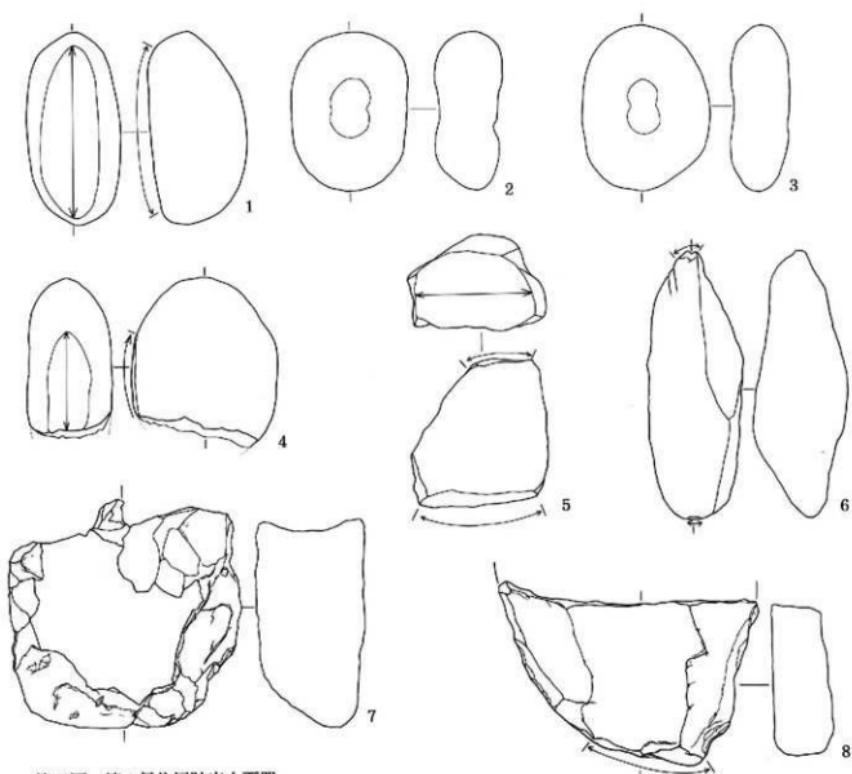


第41図 グリッド出土  
土器・土製品

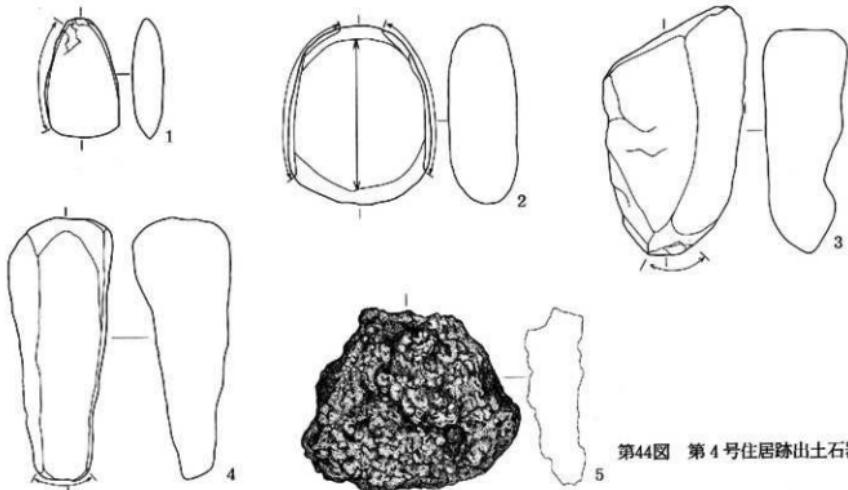


第42図 調査区内 出土土器・土製品

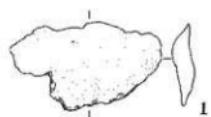




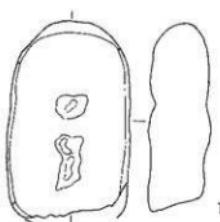
第43図 第1号住居跡出土石器



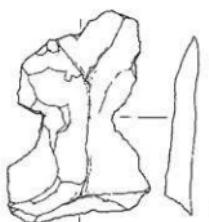
第44図 第4号住居跡出土石器



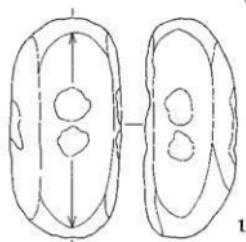
第45図 第4号土坑出土石器



第46図 第8号土坑出土石器

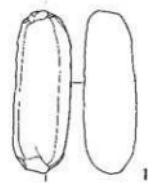


第47図 第14号土坑出土石器



第48図 第15号土坑出土石器

0 5 cm



第49図 グリッド出土石器



写真図版 2 調査区近景（調査前）南から



写真図版 3 3026番地 試掘溝設置状況



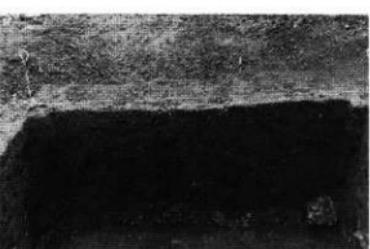
写真図版 4 3053番地 試掘溝設置状況



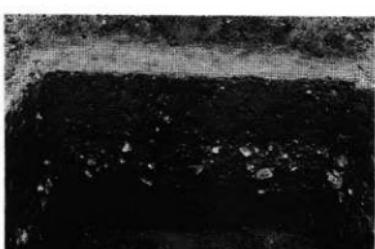
写真図版 5 3068番地 試掘溝設置状況



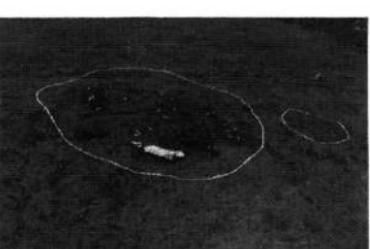
写真図版 6 3086番地1・3087番地1  
試掘溝設置状況



写真図版 7 第7試掘坑 土層状況



写真図版 8 第9試掘坑 土層状況



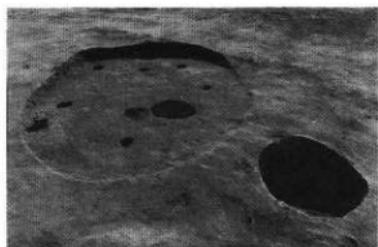
写真図版 9 第1号住居跡・第1号土坑検出状況



写真図版10 第1号住居跡 遺物出土状況



写真図版11 第1号住居跡 埋蔵出土状況



写真図版12 第1号住居跡・第1号土坑完掘状況



写真図版13 第2号住居跡 炉址完掘状況



写真図版14 第2号住居跡 完掘状況



写真図版15 第3号住居跡 遺物出土状況



写真図版16 第3号住居跡 完掘状況



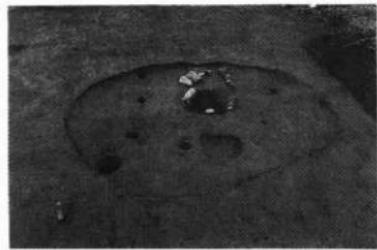
写真図版17 第4号住居跡 炉址検出状況



写真図版18 第4号住居跡 炉址半掘状況



写真図版19 第4号住居跡 炉址完掘状況



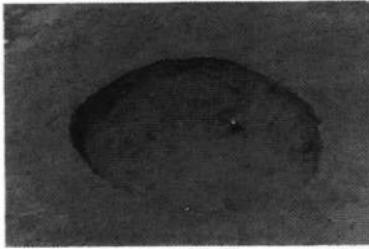
写真図版20 第4号住居跡 完掘状況



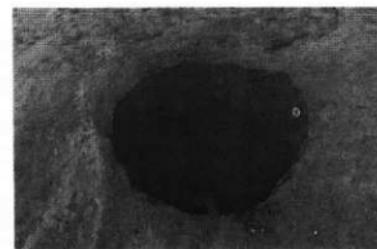
写真図版21 第1号土坑 遺物出土状況



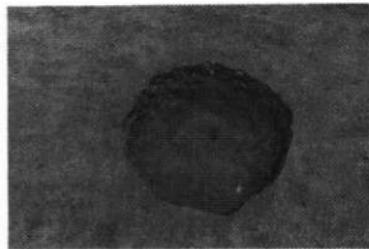
写真図版22 第1号土坑 遺物出土状況



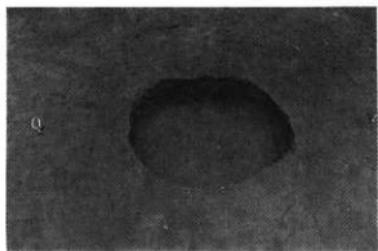
写真図版23 第2号土坑 完掘状況



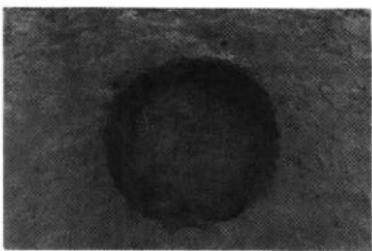
写真図版24 第3号土坑 完掘状況



写真図版25 第5号土坑 完掘状況



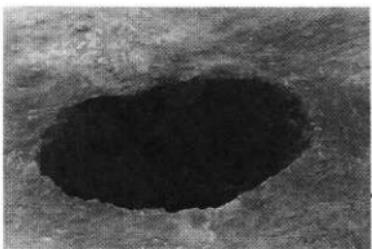
写真図版26 第6号土坑 完掘状況



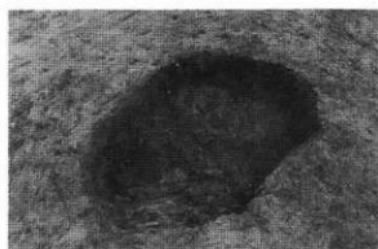
写真図版27 第8号土坑 完掘状況



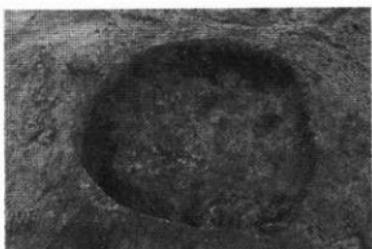
写真図版28 第11号土坑 完掘状況



写真図版29 第13号土坑 完掘状況



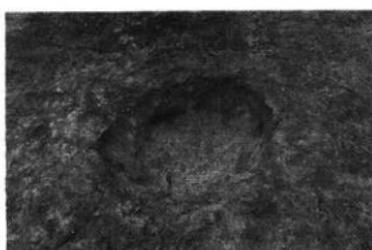
写真図版30 第14号土坑 完掘状況



写真図版31 第15号土坑 完掘状況



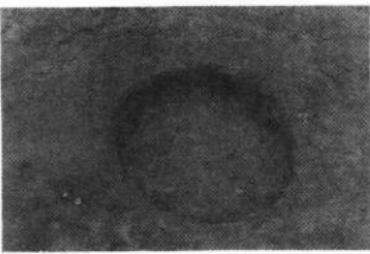
写真図版32 第16号土坑 完掘状況



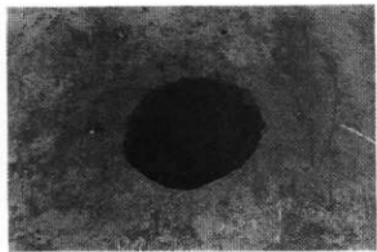
写真図版33 第17号土坑 完掘状況



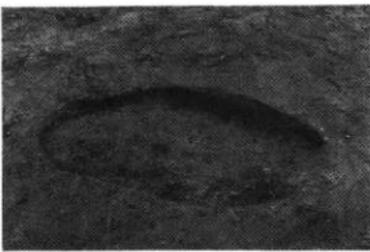
写真図版34 3069・3070番地 2 ピット群検出状況



写真図版35 第1号ピット 完掘状況



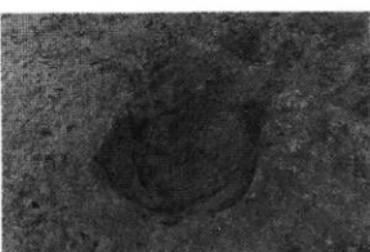
写真図版36 第4号ピット 完掘状況



写真図版37 第5号ピット 完掘状況



写真図版38 第6号ピット 埋甕検出状況



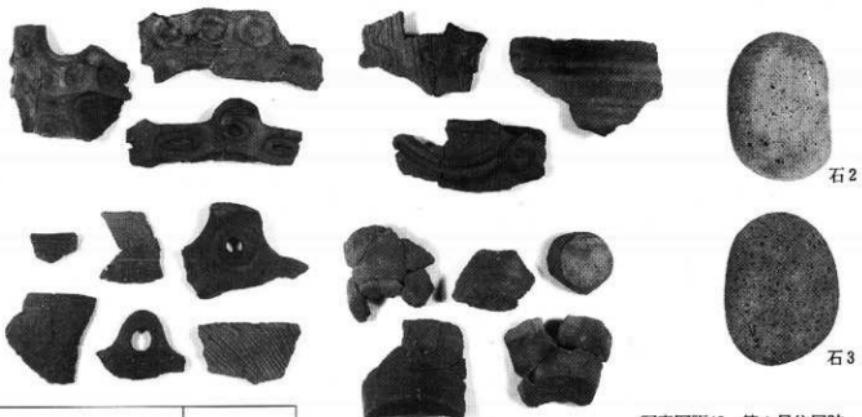
写真図版39 第6号ピット 完掘状況



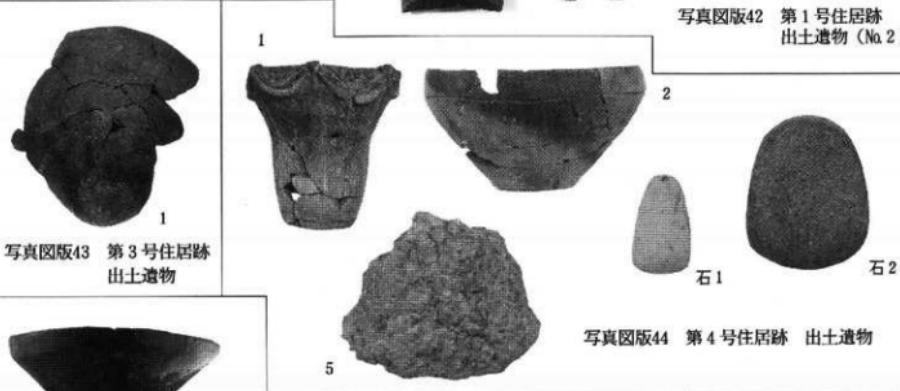
写真図版40 3017・3018番地 完掘状況



写真図版41 第1号住居跡  
出土遺物 (No. 1)

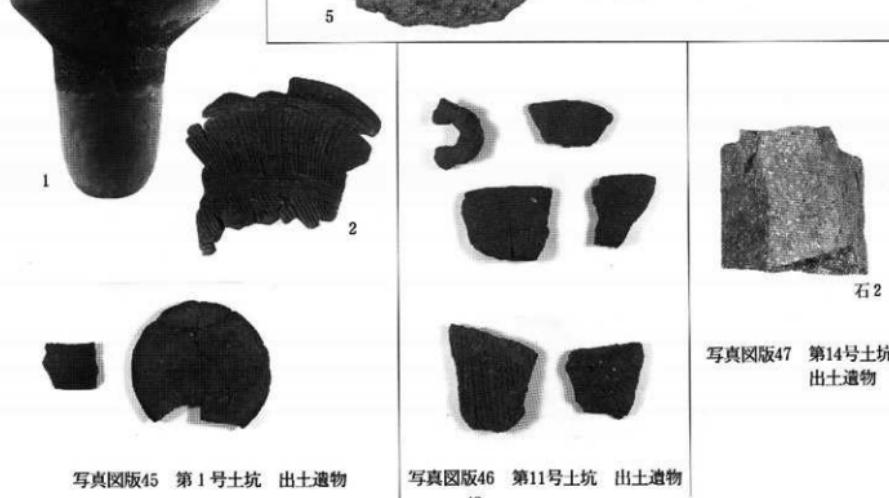


写真図版42 第1号住居跡  
出土遺物 (No. 2)



写真図版43 第3号住居跡  
出土遺物

写真図版44 第4号住居跡 出土遺物



写真図版45 第1号土坑 出土遺物

写真図版46 第11号土坑 出土遺物

写真図版47 第14号土坑  
出土遺物



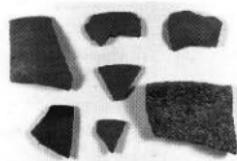
写真図版48 第15号土坑 出土遺物



写真図版49 第6号ピット 出土遺物



写真図版50 グリッド 出土遺物



写真図版51 調査区内 出土遺物

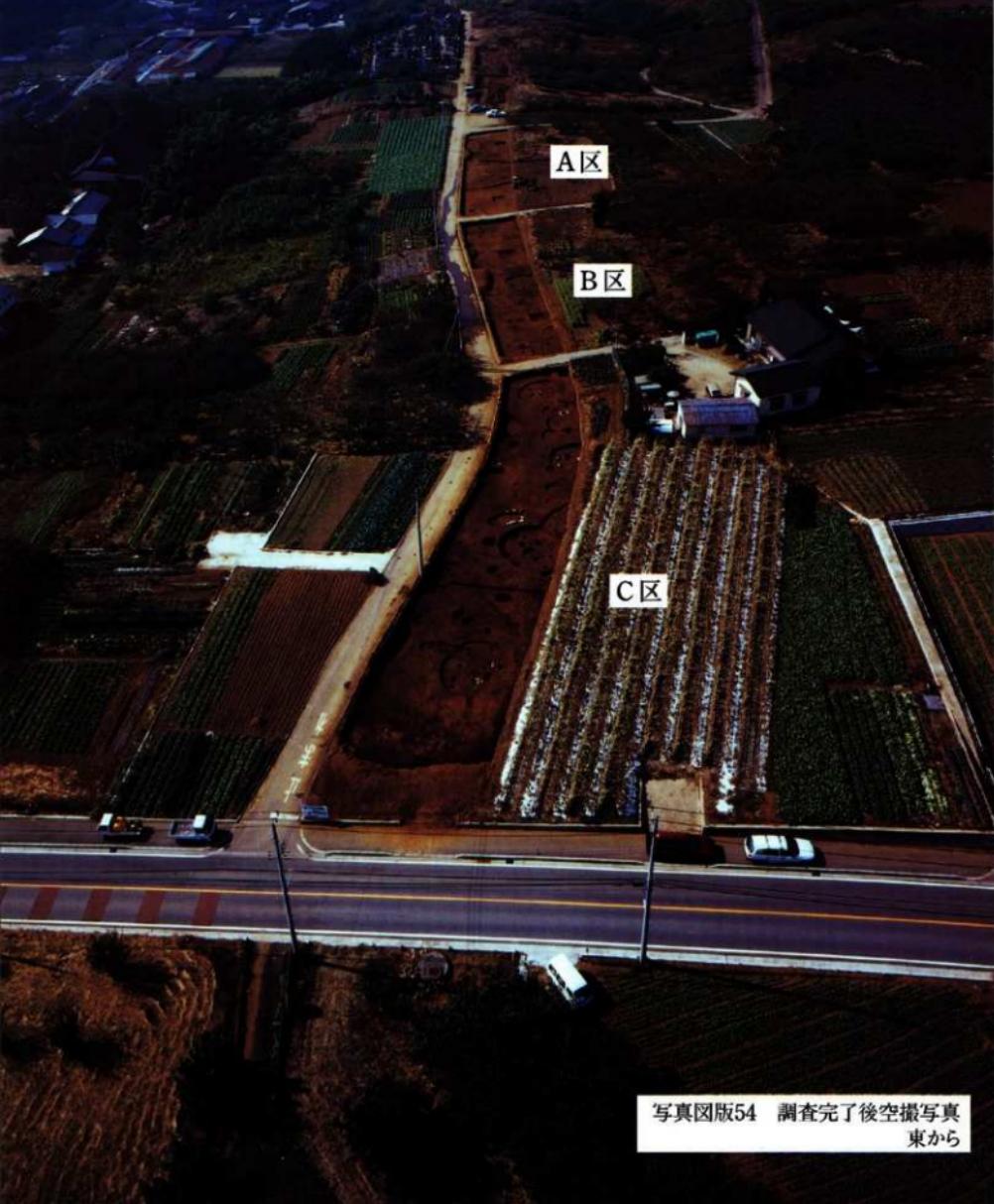


写真図版52 作業風景（遠景）



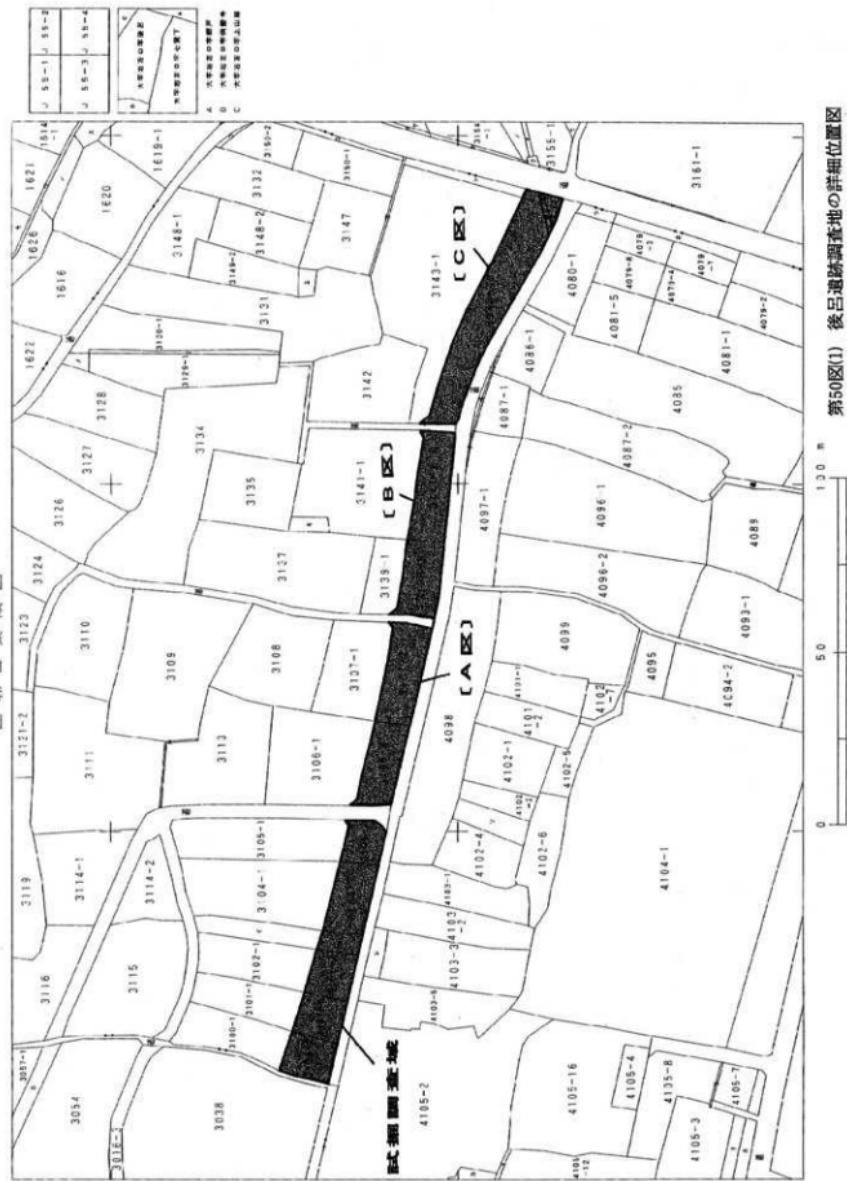
写真図版53 作業風景（近景）  
遺構検出のために水を撒く

# 後呂遺跡

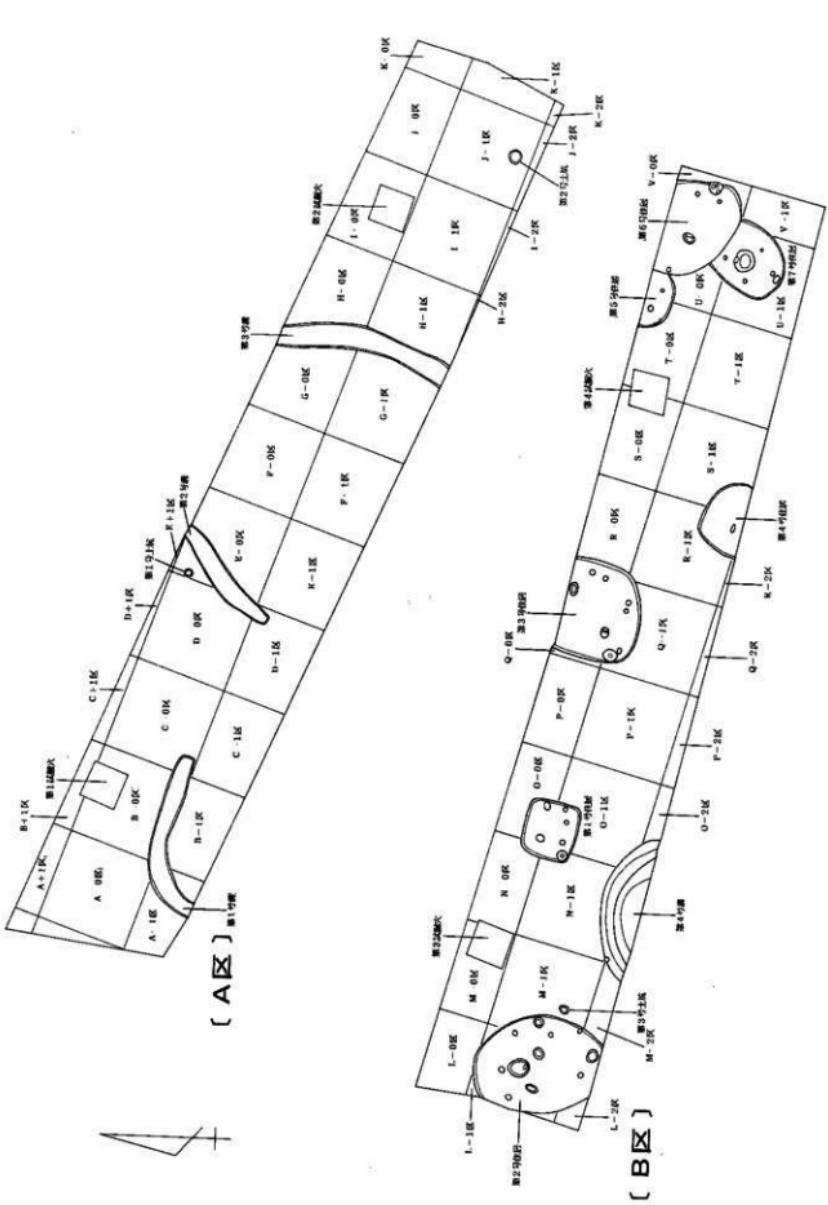


写真図版54 調査完了後空撮写真  
東から

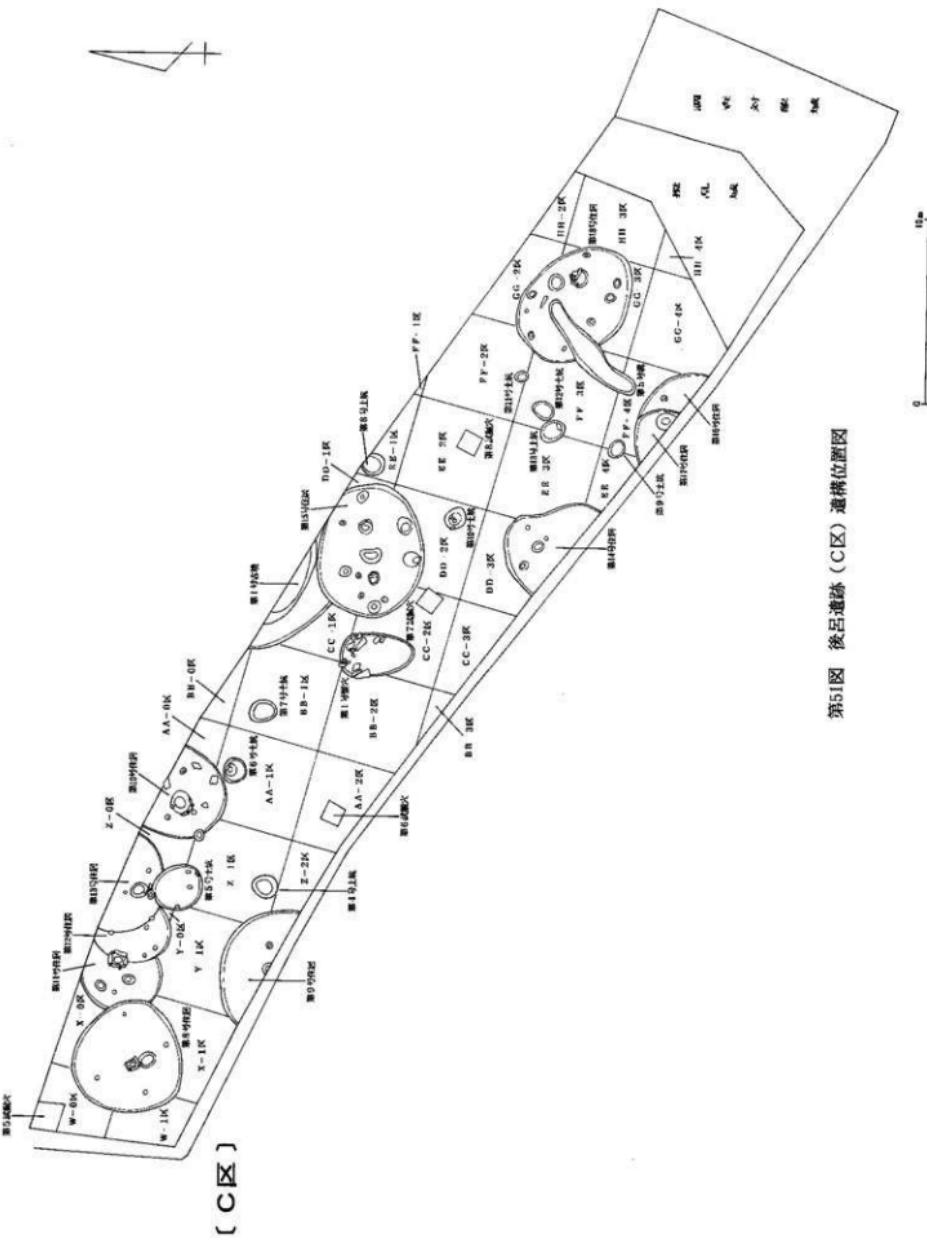
図 郡毎集成図



第50図(1) 後呂遺跡調査地の詳細位置図



第50図(2) 後呂遺跡(A区・B区)遺構位置図



第51図 後呂遺跡(C区)遺構位置図

## 第6章 後呂遺跡

### 第1節 調査結果の概要

第1章第2節で説明したとおり、後呂遺跡は昭和59年度に調査されている。極端に細長い調査区という条件ながら、縄文時代の住居跡3軒、土坑10基などの遺構をはじめ、多くの遺物が検出されている。今回の調査、斎場進入路建設事業地(2,690m<sup>2</sup>)内のうち、地表面に落ちている遺物量やその地形、さらに過去の調査結果から判断し、約2,000m<sup>2</sup>を調査面積とした。その内訳は前述のとおりである。実際の調査の結果、試掘調査では遺構・遺物は確認されなかったが、本発掘調査では調査地のほぼ全域から遺構等が確認されている。

当調査の原因は、道路の建設事業であり、調査区が細長い、更に、調査区内にある2本の農道の存在により、調査区が3区画に分断される。・・・このようなことから便宜上、本発掘調査区を3区画（西よりA区・B区・C区）とし、調査を進めた。

尚、前述のとおり、旧石器時代の遺構・遺物の確認を目的として、8か所に試掘坑を設定し、詳細に調査を行ったがこの時代の遺物等は検出されなかった（第5試掘坑では縄文時代の遺構と重なり、遺構重視の対応を行っているため、欠番となっている）。

以上のような調査により、確認された遺構はつぎのとおりである。

縄文時代中期の住居跡	10軒
弥生時代後期の住居跡	2軒
古墳時代初期の住居跡	5軒
時期不明の住居跡	1軒
縄文時代の土坑	10基
古墳時代の土坑	1基
時期不明の土坑	2基
古墳時代以降の溝状遺構	5本
時期不明の堅穴状遺構	1基
古墳	1基

第2節以後、遺構別に報告していく。

尚、各遺構報告内の「位置」については、本発掘調査区を5m四方に区分けした際の「グリッド名」である（〔第50図(2)・第51図 後呂遺跡遺構位置図〕を参照）。

（林部 光）

### 第2節 住居跡

#### 第1号住居跡

（遺構については第52図、遺物については第87図、写真については写真図版56・102を参照）

位 置 B区内(N-0・N-1・O-0・O-1区)

形 状・規 模 不整形方（長軸）368cm（短軸）291cm

床までの深さ	32. 5cm~11. 5cm	床の形態	起伏あり
炉の形態	地床炉(長軸)43cm(短軸)30cm(深さ)12. 6cm		
その他の施設	柱穴が4か所で検出(深さ36. 5cm~12. 0cm・深さ平均19. 5cm)		
柱穴	住居西コーナーに住居内土坑1基検出(長軸57cm・短軸43cm・深さ31. 9cm)		
時 期	古墳時代初頭		

#### 第2号住居跡

(遺構については第53・54図、遺物については第88・192図、写真については写真図版57・58・103を参照)

位 置	B区内(L-0・L-1・L-2・M-1・M-2区)
形 状・規 模	不整円形(長軸)推定650cm(短軸)推定600cm
床までの深さ	33. 7cm~3. 3cm
炉 の 形 態	地床炉(長軸)111cm(短軸)94cm(深さ)20. 6cm
その他の施設	柱穴が7か所で検出(深さ48. 7cm~10. 3cm・深さ平均27. 7cm)
	住居内土坑3基検出(長軸20cm・短軸16cm・深さ22. 2cm、長軸34cm・短軸28cm・深さ29. 4cm、長軸32cm・短軸18cm・深さ48. 7cm)
時 期	弥生時代後期後葉

#### 第3号住居跡

(遺構については第55図、遺物については第89・90・167・192図、写真については写真図版59・60・104を参照)

位 置	B区内(Q-0・Q-1・R-0・R-1区)
形 状・規 模	不整円形(長軸)推定560cm(短軸)推定520cm
床までの深さ	23. 4cm~6. 6cm
炉 の 形 態	地床炉(長軸)82cm(短軸)50cm(深さ)14. 2cm
その他の施設	柱穴が5か所で検出(深さ34. 2cm~6. 8cm・深さ平均25. 9cm)
	住居内土坑2基検出(長軸42cm・短軸30cm・深さ75. 3cm、長軸29cm・短軸18cm・深さ62. 7cm)
そ の 他	確認面以下著しい擾乱が認められる。他住居(縄文時代中期)との重複も考えられる。
時 期	弥生時代後期後葉

#### 第4号住居跡

(遺構については第56図、遺物については第91図、写真については写真図版61・105を参照)

位 置	B区内(R-1・R-2・S-1・S-2区)
形 状・規 模	不整円形(長軸)推定420cm(短軸)推定370cm
床までの深さ	12. 4cm~5. 5cm
炉 の 形 態	地床炉?(長軸)45cm(短軸)推定22cm(深さ)18. 6cm
その他の施設	中央に若干の焼土を認める
	柱穴不明
時 期	古墳時代初頭

第5号住居跡（第6号・第7号住居跡と重複）

(遺構については第57・58図、遺物については第92図、写真については写真図版64・106を参照)

位 置	B区内 (T-0・U-0区)
形 状・規 模	不整円形 (長軸) 推定330cm (短軸) 推定320cm
床までの深さ	9.5cm~1.0cm 床の形態 平坦
その他の施設	・柱穴が1か所で検出 (深さ30.4cm) ・正位埋甕検出 (遺物No.1)
時 期	縄文時代中期

第6号住居跡（第5号・第7号住居跡と重複）

(遺構については第57・58図、遺物については第93・168図、

写真については写真図版62・63・64・107を参照)

位 置	B区内 (U-0・V-0区)
形 状・規 模	不整長楕円形 (長軸) 推定645cm (短軸) 推定480cm
床までの深さ	18.8cm~0 床の形態 平坦
炉 の 形 態	石材を伴う地床炉
その他の施設	・柱穴が3か所で検出 (深さ32.6cm~28.4cm・深さ平均30.5cm) ・住居内土坑1基検出 (長軸79cm・短軸53cm・深さ50.4cm)
時 期	古墳時代初頭

第7号住居跡（第5号・第6号住居跡と重複）

(遺構については第57・58図、遺物については第94・95・169・192図、

写真については写真図版64・108を参照)

位 置	B区内 (U-0・U-1・V-1区)
形 状・規 模	長楕円形 (長軸) 推定480cm (短軸) 350cm
床までの深さ	19.8cm~3.4cm 床の形態 平坦
炉 の 形 態	石材を伴う地床炉 (長軸) 122cm (短軸) 108cm (深さ) 50.4cm
その他の施設	・柱穴が4か所で検出 (深さ36.4cm~15.6cm・深さ平均26.8cm) ・住居内土坑1基検出 (長軸38cm・短軸26cm・深さ24.7cm)
そ の 他	焼失住居
時 期	縄文時代中期

第8号住居跡（第11号住居跡と重複）

(遺構については第59図、遺物については第96・97・170・171・192図、

写真については写真図版65・66・67・109・110を参照)

位 置	C区内 (W-0・W-1・X-0・X-1区)
形 状・規 模	不整楕円形 (長軸) 616cm (短軸) 463cm
床までの深さ	24.1cm~3.7cm 床の形態 平坦
炉 の 形 態	石圓炉 (長軸) 83cm (短軸) 69cm (深さ) 55cm

- その他の施設
- 柱穴が4か所で検出（深さ24.6cm～14cm・深さ平均19.8cm）
  - 炉址際に住居内土坑1基検出（長軸84cm・短軸73cm・深さ21cm）
  - 石圓炉東コーナーに石棒立脚（掲載石器No11、写真図版66参照）

時 期 繩文時代中期

#### 第9号住居跡（昭和59年調査時の第2号住居址と同造構）

（造構については第60図、遺物については第98・99・172・192図、

写真については写真図版68・69・111を参照）

- 位 置 C区内（X-1・Y-1・Y-2・Z-1・Z-2区）  
 形状・規模 不整楕円形（長軸）推定690cm（短軸）推定620cm  
 床までの深さ 48.2cm～33.9cm 床の形態 平坦  
 炉 の 形 態 住居中央部に若干の焼土を認めるのみ  
 時 期 繩文時代中期

#### 第10号住居跡

（造構については第61・62図、遺物については第100・101・102・103・104・105・106・107・108・173・174・192図、写真については写真図版70・71・72・73・112・113を参照）

- 位 置 C区内（Z-0・Z-1・AA-0・AA-1区）  
 形状・規模 不整円形（長軸）推定620cm（短軸）推定500cm  
 床までの深さ 37.0cm～20.5cm 床の形態 平坦  
 炉 の 形 態 石圓炉（長軸）117cm（短軸）108cm（深さ）52.5cm  
 その他の施設
  - 柱穴が3か所で検出（深さ63cm～42cm・深さ平均50.3cm）
  - 逆位埋甕検出（遺物No17）
 そ の 他 遺物の出土状況から判断し、「土器捨て場」の可能性が高い。  
 時 期 繩文時代中期

#### 第11号住居跡（第8・12号住居跡と重複）

（造構については第63図、遺物については第109・192図、

写真については写真図版74・75・77・114を参照）

- 位 置 C区内（X-0・X-1・Y-0・Y-1区）  
 形状・規模 不整円形（長軸）推定480cm（短軸）推定400cm  
 床までの深さ 18.8cm～5.6cm 床の形態 平坦  
 炉 の 形 態 石圓炉（長軸）101cm（短軸）75cm（深さ）38.8cm  
 その他の施設
  - 柱穴が1か所で検出（深さ31.4cm）
  - 住居内上坑2基検出（長軸60cm・短軸52cm・深さ27.5cm、長軸60cm・短軸38cm・深さ35.4cm）
  - 石圓炉北コーナーに磨石立脚
 時 期 繩文時代中期

#### 第12号住居跡（第11・13号住居跡と重複）

(遺構については第63図、遺物については第110・111・175図)

写真については写真図版74・75・77・115を参照)

位 置	C区内 (Y-0・Y-1区)
形 状・規 模	正橢円形？ (長軸) 推定450cm (短軸) 推定380cm
床までの深さ	14.1cm~10.1cm 床の形態 平坦
その他の施設	柱穴が5か所で検出 (深さ64.3cm~24.2cm・深さ平均46.5cm)
時 期	縄文時代中期

#### 第13号住居跡（第12号住居跡・第5号土坑と重複）

(遺構については第63図、遺物については第112図)

写真については写真図版74・75・77・116を参照)

位 置	C区内 (Y-0・Z-1区)
形 状・規 模	隅丸方形 一辺推定500cm
床までの深さ	21.0cm~1.4cm 床の形態 平坦
炉 の 形 態	不明 (長軸) 58cm (短軸) 28cm (深さ) 19.6cm
その他の施設	・柱穴が2か所で検出 (深さ41.5cm・32.6cm) ・かげ際に住居内土坑1基検出 (長軸90cm・短軸77cm・深さ57cm)
時 期	古墳時代初頭

#### 第14号住居跡

(遺構については第64図、遺物については第114・176図)

写真については写真図版78・117を参照)

位 置	C区内 (DD-3・EE-3・EE-4区)
形 状・規 模	不整橢円形 (長軸) 推定600cm (短軸) 推定460cm
床までの深さ	52.5cm~31.0cm 床の形態 平坦
炉 の 形 態	地床炉 (長軸) 167cm (短軸) 51cm (深さ) 17.7cm
その他の施設	柱穴が3か所で検出 (深さ49.1cm~40.0cm・深さ平均44.5cm)
時 期	縄文時代中期

#### 第15号住居跡（第1号古墳と重複）

(遺構については第65・66・67・68図、遺物については第115・116・117・118・119・120・121・

122・123・124・125・126・127・128・129・130・131・132・177・178・179・192・193・194図)

写真については写真図版79・80・81・118・119・120・121・122を参照)

位 置	C区内 (CC-1・CC-2・DD-1・DD-2区)
形 状・規 模	橢円形 (長軸) 推定708cm (短軸) 推定555cm
床までの深さ	44.7cm~15.9cm 床の形態 平坦
炉 の 形 態	3か所で確認されている。便宜上番号を付け、以下で説明。
第1号炉跡	右側炉 (長軸) 85cm (短軸) 59cm (深さ) 27.5cm

第2号炉跡	地床炉（長軸）124cm（短軸）70cm（深さ）33.0cm
第3号炉跡	石圓炉（長軸）81cm（短軸）63cm（深さ）33.8cm
炉址平均	（長軸）97cm（短軸）64cm（深さ）31.4cm
その他の施設	・柱穴が8か所で検出（深さ91.9cm～24.9cm・深さ平均52.3cm） ・住居内土坑2基検出（長軸66cm・短軸60cm・深さ58.2cm, 長軸78cm・短軸68cm・深さ83.1cm）
その他の施設	遺物の出土状況から判断し、「土器捨て場」の可能性が高い。
時期	縄文時代中期

#### 第16号住居跡（第17号住居跡と重複）

（遺構については第69図、遺物については第133・180図を参照）

位置	C区X内（F F - 4 • G G - 4 区）
形状・規模	楕円形？（長軸）推定520cm（短軸）推定420cm
床までの深さ	21.9cm～12.8cm 床の形態 平坦
その他の施設	柱穴が1か所で検出（深さ36.1cm）
時期	不明

#### 第17号住居跡（第16号住居跡と重複）

（遺構については第69図、遺物については第134図、写真については写真図版123を参照）

位置	C区内（E E - 4 • F F - 4 区）
形状・規模	隅丸方形（長軸）推定310cm（短軸）推定270cm
床までの深さ	44.0cm～17.9cm 床の形態 平坦
その他の施設	住居内土坑1基検出（長軸87cm・短軸57cm・深さ55.5cm）
その他の施設	床面直上に粘土塊多量に検出（写真図版参照）
時期	古墳時代初頭

#### 第18号住居跡（第5号溝と重複）

（遺構については第70図、遺物については第135・136・137・181・182・193図、

写真については写真図版82・124・125を参照）

位置	C区内（F F - 2 • F F - 3 • G G - 2 • G G - 3 • H H - 3 区）
形状・規模	不整精円形（長軸）66.2cm（短軸）推定50.0cm
床までの深さ	26.6cm～6.2cm 床の形態 起伏あり
炉の形態	石圓炉（長軸）81cm（短軸）69cm（深さ）87.1cm
その他の施設	・柱穴が7か所で検出（深さ78.7cm～28.2cm・深さ平均57.4cm） ・住居内土坑2基検出（長軸79cm・短軸72cm・深さ39.8cm, 長軸50cm・短軸48cm・深さ73.2cm） ・石圓炉南側に右棒立脚（掲載石器No.6）
時期	縄文時代中期

第6表 「土坑」一覧表

(単位: cm)

位 置	形 態	規 模			底の形態	備 考
		平面形	断面形	長軸	短軸	
1号土坑 A区(E-0)	円 形 U字状	4 6	4 3	1 6. 7	平 坦	時期不明
2号土坑 A区(J-1)	円 形 不整U字状	7 2	6 8	1 8. 0	起伏あり	時期不明
3号土坑 B区(M-1)	不整円形 V字状	5 6	4 8	3 8. 5	起伏あり	縄文時代中期
4号土坑 C区(Z-1)	円 形 鍋底状	133	123	4 2. 6	起伏あり	縄文時代中期
5号土坑 C区(Y-0・1,Z-0・1)	楕円形 鍋底状	(285)	224	3 6. 4	平 坦	縄文中期・第13号住居跡と重複
6号土坑 C区(AA-1)	楕円形 V字状	131	9 4	6 0. 3	テラスあり	縄文時代中期・坑内より焼土検出
7号土坑 C区(BB-1)	円 形 鍋底状	127	110	3 4. 5	起伏あり	縄文時代中期
8号土坑 C区(EE-1)	楕円形 鍋底状	(129)	9 8	4 2. 4	平 坦	縄文時代中期
9号土坑 C区(EE-4,FF-4)	楕円形 U字状	9 6	7 6	1 7. 9	平 坦	縄文時代中期
10号土坑 C区(DD-2)	楕円形 U字状	8 6	6 5	2 2. 4	起伏あり	縄文時代中期・石材を用いた堅強埋置
11号土坑 C区(FF-2・3)	不整楕円形 鍋底状	125	103	4 2. 3	平 坦	縄文時代中期・中央に石材を認める
12号土坑 C区(FF-3)	不整楕円形 鍋底状	120	8 0	5 6. 8	平 坦	縄文時代中期
13号土坑 C区(EE-3,FF-3)	円 形 U字状	6 2	5 5	3 9. 7	平 坦	古墳時代初頭

第7表 「溝状遺構」一覧表

(単位: cm)

位 置	断面形態	規 模			底の形態	備 考
		最長幅	最短幅	深さ		
第1号溝 A区(A-0・1,B-0・1,C-0)	鍋底状	(125)	(90)	41.3	起伏あり	
第2号溝 A区(D-0・1,E-0・1)	鍋底状	(118)	(53)	40.9	起伏あり	
第3号溝 A区(G-0・1,H-0・1)	鍋底状	(140)	(95)	47.0	起伏あり	溝中部にピット1本検出
第4号溝 B区(M-2,N-1・2,O-1・2)	U字状	(198)	(95)	69.8	凸 凹	円形周溝壁か?
第5号溝 C区(FF-3・4,GG-3)	鍋底状	116	95	40.2	起伏あり	長さ690,第18号住居跡と重複

## 第3節 穴状遺構

C区のほぼ中央、BB-1・2、CC-1・2グリッドに位置する。平面プランはほぼ楕円形で、東西幅228cm、南北幅406cm、深さ15~25cmを測る。壁面は比較的緩やかに傾き、床面は多少の起伏は見られるが、ほぼ平坦で南側に向かって下がっていく。覆土は黒色土・暗褐色土・明褐色土の3層に分けられ、一部に植物の根による擾乱が見られる。

東壁際に30~60cm長の礫が5つ、西壁際に40~50cm長の礫が3つ、そして北側には、壁面から少し離れて10~45cm前後の礫が8つほど並んで置かれていた。これらの礫は明らかに人為的に遺構に作って据えられたものであるが、これらの石列がどのような役割をもつものかは不明である。

石が一方に縦長に並んでいるところは、古墳の横穴式石室の形状を思わせ、石室の基底部とも考えられるが、副葬品らしき遺物の山上もなく、造構をめぐるような周溝も確認できなかったので、石室とも認定することができず、性格不明の竪穴状造構として今回報告することにした。

出土遺物は、覆土から縄文土器が出士したが、おそらく混入品と思われ、時期も造構の性格も明らかにできるものは見つからなかった。

(岡野秀典)

#### 第4節 第1号古墳

C区のほぼ中央の北側、B B - 0・1、CC - 1、DD - 1 グリッドに位置する。南西部は第15号住居を切っている。周溝は全体の1/4ほどが検出したものと思われ、北側には調査区外に延びている。そして古墳の墳丘部は後世の耕作により削平されてしまったようだが、墳丘部には墓石に使われたと考えられる礫群が残存していた。使用された礫の一部に縄文時代の石器が再利用されているものもある。ただし表土はぎ作業の際、一部分の礫を削ってしまい、第86図に示した礫は当初、もう少し密に存在していたと思われる。

調査区内での古墳の規模は、東西幅が770cm、南北幅が260cmまで確認できる。周溝の幅は120~170cm、深さは20~25cmほどである。床面は外側に向かってやや下がる傾向にある。周溝の平面プランは弧を描き、本造構は直径10m前後の小円墳と思われる。土体部と思われる位置は調査区外にあるためにその構造は不明だが、恐らく、後期に属する横穴式石室の形態を有していたのではないかと推定される。C区のすぐ北側には左エ門塚、右エ門塚、と呼ばれる2基の後期古墳と思われる古墳が点在することを考えると、本古墳も後期築造の古墳との推測も許されるだろう。

出土遺物は周溝の覆土から混入品である縄文時代の土器・石器が出士しているが、古墳時代の土器は出土しなかったものの、古墳南東部の墳丘部から「馬歯」が出土している。第86図のように周溝から上層を中心に7点、墳丘部からは葺石にまぎれて12点の計19点が出土した。歯の部位がわかるのは5点だけで、後は不明である(第31表参照)。歯の咬耗度から推定して比較的若年齢の馬のようである(財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団 坂口一氏・井上昌美氏による助言)。これらの歯が同一個体のものはわからないが、やや散乱した分布状況は、墳丘が削平されていることを考えると搅乱されて散らばってしまった可能性が高く、墳丘部出土を中心に原位置を保っていないものの方が多いのではないか。この馬は葬送儀礼に伴って埋葬(供獻?)された馬の一部と思われるが、歯だけが出土したのは、頭部を供えたのか、頸部だけなのか、あるいは全身を埋葬したが腐食し、エナメル質の腐食しにくい歯の部分だけが残ったのかということについては不明である。

(岡野秀典)

第8表 土器・土製品の観察表 (No.1) 単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態 種別	計測値 器形	施文・整形等	色調	備考
			口径 脚径 底径 器高			
第87図1	1号住居	上器 深鉢	(140)	横位蛇行降帯文	内外山褐色	混入遺物
第87図2	1号住居	土器 高环	(120)	内面ヘラ、外面横ナデ	内外面明褐色	
第87図3	1号住居	土器 高环	120	内外面ヘラ、脚部ハケ	内外面明褐色	
第87図4	1号住居	土器 端	(230)	内外面継ヘラミガキ	内面褐色、外面褐色	
第87図5	1号住居	土器 台付壺	(200)	内面横ナデ、外面ナデ	内面黒褐色、外面黒褐色	S字状口縁
第87図6	1号住居	土器 环	(90)	外面ナデ	内外面明褐色	
第87図7	1号住居	土器 高环	(100)	内外面ヘラミガキ	内面褐色、外面褐色	
第87図8	1号住居	土器 台付壺		内面ヘラケズリ	内面褐色、前面褐色、副脚接合部	
第87図9	1号住居	土器 高环	(180)	内面ヘラケズリ、外面ヘラミガキ	内外面明褐色	
第87図10	1号住居	土器 端	(190)	外面ハケ	内面褐色、外面褐色	
第87図11	1号住居	土器 高环	(100)	外面ヘラミガキ・外面横ナデ	内外褐色、外面褐色	
第88図1	2号住居	土器 深鉢			内外面褐色	匙子、出入遺物
第88図2	2号住居	土器 台付壺			内外山暗褐色	口縁強、走み強
第88図3	2号住居	土器 台付壺	(220)	口唇部円形連続刺文、以下ハケ	内外山暗褐色	
第88図4	2号住居	土器 台付壺	(220)	内面横ヘラミガキ・外面ハケ	内面褐色、外面褐色	内面にス付着
第88図5	2号住居	土器 端	(130)	内外面ハケ	内面褐色、外面褐色	
第88図6	2号住居	土器 端	(220)	内面ヘラ、外面ハケ	内面褐色、外面褐色	
第88図7	2号住居	土器 台付壺	(150)	口唇部円形連続刺文、以下ハケ	内外面暗褐色	
第88図8	2号住居	土器 台付壺	(130)	内外面ハケ	内外面褐色	
第88図9	2号住居	土器 环	(100)		内外面褐色	内外面赤彩
第88図10	2号住居	土器 端		内面ハケ、外面ヘラミガキ	内面黒褐色、外面黒褐色	
第88図11	2号住居	土器 台付壺	(100)	内外面ハケ	内面黒褐色、外面黒褐色	
第88図12	2号住居	土器 台付壺	(130)	内外面ハケ	内外面褐色	
第88図13	2号住居	土器 端	(90)	内外面ハケ	内面褐色、外面褐色	
第88図14	2号住居	土器 端	(50)	内面ハケ	内外面明褐色	
第88図15	2号住居	土器 端	(90)	内外面ハケ	内面褐色、外面褐色	
第89図1	3号住居	土製品		縦41.5×横44×厚12	内面褐色、外面褐色	土製円盤
第89図2	3号住居	土製品		縦39×横35×厚14	内外面褐色	土製円盤
第89図3	3号住居	土器 深鉢	(200)	88 320	内面横褐色	内面横褐色
第89図4	3号住居	土器 深鉢			内面褐色、外面褐色	把手
第89図5	3号住居	土器 深鉢			内面褐色	口縁装飾
第89図6	3号住居	土器 深鉢			内面褐色	口縁装飾
第89図7	3号住居	土器 深鉢			内面褐色	口縁装飾
第89図8	3号住居	土器 深鉢			内面褐色	波状口縁
第89図9	3号住居	土器 深鉢	(380)	無文	内面外暗褐色	
第89図10	3号住居	土器 深鉢	(110)	ヘラによる横位沈線文下に斜位沈線文	内面褐色、外面褐色	
第89図11	3号住居	土器 深鉢	(310)	ヘラによる沈線文	内面褐色、外面褐色	
第89図12	3号住居	土器 深鉢	(330)	ヘラによる横位沈線文	内面褐色、外面褐色	
第89図13	3号住居	土器 深鉢	(310)	口唇部下端斜区画文	内外面褐色	
第89図14	3号住居	土器 深鉢	(190)	ヘラによる沈線文	内外面褐色	
第89図15	3号住居	土器 深鉢	(300)	無文	内面褐色、外面褐色	
第89図16	3号住居	土器 深鉢	(280)	口唇部下横位二重沈線文、以下鉤文	内面褐色、外面褐色	内面赤彩
第89図17	3号住居	土器 深鉢	(90)	内門部下横位二重沈線文、以下縦位沈線文	内外面褐色	内面赤彩
第89図18	3号住居	土器 深鉢	(420)		内外面赤褐色	
第89図19	3号住居	土器 深鉢		全面に斜位沈線文	内面褐色、外面褐色	
第89図20	3号住居	土器 深鉢		ヘラによる円文・クシによる「ハ」の字文	内外面暗褐色	
第89図21	3号住居	土器 深鉢		横位沈線文間に縞文	内面褐色	
第89図22	3号住居	土器 深鉢		横位蛇行降帯文	内面褐色	
第89図23	3号住居	土器 深鉢		クシによる横位沈線文上に蛇行沈線文	内面褐色、外面褐色	
第89図24	3号住居	土器 深鉢	70	連続「ハ」の字文	内外面褐色	
第89図25	3号住居	土器 深鉢	(70)	底部木葉模	内外面褐色	
第89図26	3号住居	土器 深鉢	(70)	横位沈線文間に縞文	内面褐色	
第89図27	3号住居	土器 深鉢	(90)	底部網文	内面褐色、外面褐色	
第89図28	3号住居	土器 深鉢	(90)	底部指痕度	内外面暗褐色	
第89図29	3号住居	土器 深鉢	(140)	無文	内面褐色、外面褐色	

第9表

土器・土製品の観察表 (No. 2)

単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値				施文・整形等	色調	備考
			種別	器形	口径	底径	器高		
第90図30	3号住居	土器	蓋	(106)	56	135	内面ハケ・ラミガキ、底邊木製痕・ヘタケズ	内面褐色、削面褐色	
第90図31	3号住居	土器	蓋	(104)	50	128	内外面ハケ・ラミガキ	内面褐色、削面褐色	
第90図32	3号住居	土器	高环	210	122		134	内外面ハラ	内外面褐色
第90図33	3号住居	土器	壺	(130)				内外面ハラ・内面指頭痕	内外面褐色
第90図34	3号住居	土器	台付甕	(180)			46	外面ハケ	内面褐色
第90図35	3号住居	土器	壺					内外面ナデ	内面褐色
第90図36	3号住居	土器	高环		(190)			内外面指頭痕	S字状口縁
第90図37	3号住居	土器	高环		(90)			内外面ハケ	内面褐色
第90図38	3号住居	土器	高环		(110)			内外面褐色	内面褐色
第90図39	3号住居	土器	台付甕		(110)			外側ハケ	内面褐色、削面褐色
第91図1	4号住居	土器	台付甕	(200)				外面ハケ	内外面褐色
第91図2	4号住居	土器	高环	(100)				外面ハケ	S字状口縁
第91図3	4号住居	土器	高环	(130)				内面ハケ・ラ・外面ハラ	内面褐色、削面褐色
第91図4	4号住居	土器	台付甕					外面ハケ	内面褐色
第91図5	4号住居	土器	台付甕		(110)				内面褐色
第91図6	4号住居	土器	台付甕		(120)			内面ハケ、外面ハラ	内面褐色、削面褐色
第91図7	4号住居	土器	深鉢	(180)				内外面褐色	内面褐色、削面褐色
第91図8	4号住居	土器	深鉢	(150)				内外面褐色	混入遺物
第91図9	4号住居	土器	深鉢	(290)				ヘラによる沈線文	内外面褐色
第91図10	4号住居	土器	深鉢	(250)				クシによる斜位沈線文	内外面褐色
第91図11	4号住居	土器	深鉢		(60)			綴文沈線文間に朱合刺突文	内面褐色、削面褐色
第92図1	5号住居	土器	深鉢	(200)				無文	内面褐色、削面褐色
第93図1	6号住居	土器	深鉢						埋甕
第93図2	6号住居	土器	鉢形ト盤	(290)					内面褐色
第93図3	6号住居	土器	深鉢	(140)					口縁部横位・希沈線文
第93図4	6号住居	土器	深鉢	(330)					内外面褐色
第93図5	6号住居	土器	深鉢	(250)					内面褐色
第93図6	6号住居	土器	深鉢	(240)					内面褐色、削面褐色
第93図7	6号住居	土器	深鉢	(260)					内面褐色、削面褐色
第93図8	6号住居	土器	深鉢	(300)					内面褐色
第93図9	6号住居	土器	深鉢		(70)			ヘラによる綴位沈線文	内面褐色、削面褐色
第93図10	6号住居	土器	レ付ト盤		(30)			ヘラによる綴位沈線文間に連院綴位沈線文	内面褐色、削面褐色
第93図11	6号住居	土器	特殊器台	60	100			綴文沈線文	内面褐色、削面褐色
第93図12	6号住居	土器	特殊器台	48	(148)		77	内外面ハケ	内外面褐色
第93図13	6号住居	土器	甕	(130)				内外面ハケ	内外面褐色、削面褐色
第93図14	6号住居	土器	壺	140				内外面ハケ	内外面褐色
第93図15	6号住居	土器	台付甕		80			内外面ハケ	内外面褐色
第93図16	6号住居	土器	甕?	(100)				内外面ハケ、外面ハケ・ヘラ	内外面褐色
第93図17	6号住居	土器	台付甕		(110)			内外面ハケ	内面褐色、削面褐色
第93図18	6号住居	土器	台付甕		(60)			内外面ハケ、外面ハケ・ヘラミガキ	内面褐色、削面褐色
第93図19	6号住居	土器	高环					内外面ハケ、外面ハケ	内外面褐色
第93図20	6号住居	土器	壺		(80)			内外面ハケ、底邊木製痕	内外面褐色
第93図21	6号住居	土器	甕?		56			底邊ハラケ以降ヘラミガキ	内外面褐色
第93図22	6号住居	土器	甕?		(40)			内外面ハラミガキ	内外面褐色
第93図23	6号住居	土器	台付甕		(90)			内外面ハケ	内外面褐色
第94図1	7号住居	土器	深鉢						内外面褐色
第94図2	7号住居	土器	深鉢	(130)				口唇部に長棒円凸面文	口縁装飾
第94図3	7号住居	土器	深鉢					内外面褐色	波状口縁
第94図4	7号住居	土器	深鉢					横位二重沈線文、以下刺突文	内面褐色、削面褐色
第94図5	7号住居	土器	深鉢					無文	内外面褐色
第94図6	7号住居	土器	深鉢	(170)					内外面褐色
第94図7	7号住居	土器	深鉢	(140)					内面褐色、削面褐色
第94図8	7号住居	土器	深鉢	(160)				ヘラによる綴位沈線文	内外面褐色
第94図9	7号住居	土器	深鉢					凹形刺突文	内外面褐色
第94図10	7号住居	土器	深鉢	(230)				溝巻文・波線文、以下刺突文	内面褐色、削面褐色

第10表 土器・土製品の観察表 (No. 3) 単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考	
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高	
第95図11	7号住居	土器 深鉢							縦位沈綴文・縄文に蛇行沈綴文 内面褐色・外面褐色
第95図12	7号住居	土器 深鉢							縦位沈綴文間に剥突文 内面褐色・外面褐色
第95図13	7号住居	土器 深鉢			(120)				無文 内面暗褐色
第95図14	7号住居	土器 深鉢			(60)				縦位沈綴文 内面褐色・外面褐色
第96図1	8号住居	土器 深鉢	(110)						ヘラによる沈綴文間に連続沈綴文 内面褐色・外面褐色
第96図2	8号住居	土器 深鉢			84				縦位沈綴文間に連続「ハ」の字文 内面褐色・外面褐色
第96図3	8号住居	土器 深鉢			70				ヘラによる縦位連続沈綴文 内面褐色・外面褐色
第96図4	8号住居	土器 深鉢	(380)						口唇部に三筋・港内面文・連続する點々 内面褐色・外面褐色
第96図5	8号住居	土器 深鉢	(430)						口唇部下長帯内面文に褐色文・縦位沈綴文 内面褐色・外面褐色
第96図6	8号住居	土器 深鉢	(240)						縦位沈綴文間に連続「フ」の字文 内面暗褐色
第96図7	8号住居	土器 深鉢	(310)						無文 内面褐色・外面褐色
第96図8	8号住居	土器 深鉢	(260)						口唇部横位に粘土貼付 内面暗褐色
第96図9	8号住居	土器 深鉢	(200)						口唇部縫合文・以下半裁竹管文 内面褐色
第96図10	8号住居	土器 深鉢	(150)						縦部・重沈綴文・以下縦位沈綴文 内面暗褐色
第96図11	8号住居	土器 深鉢	(400)						粘土縫による後帝文上に指頭窓痕・口唇部横位 内面暗褐色・外面褐色
第96図12	8号住居	土器 深鉢	(240)						口唇部横帯内面文・周辺に縦位沈綴文 内面暗褐色
第96図13	8号住居	土器 深鉢	(370)						貼付による沈綴文 内面暗褐色
第96図14	8号住居	土器 深鉢	(130)						口唇部横位沈綴文・以下縦位沈綴文 内面褐色・外面褐色
第96図15	8号住居	土器 深鉢	(240)						無文 内面暗褐色
第96図16	8号住居	土器 深鉢							刻みを有す円形区面文内にヘラによる沈綴文 内面褐色・外面褐色
第96図17	8号住居	土器 深鉢							沈綴文・満春文上に蛇行貼付文 内面褐色・外面褐色
第96図18	8号住居	土器 深鉢							蛇面突起 内面暗褐色
第97図19	8号住居	土器 深鉢							縦位沈綴文間に連続「ハ」の字文 内面褐色・外面褐色
第97図20	8号住居	土器 深鉢							ヘラによる方形区面文内に縄文 内面褐色・外面褐色
第96図21	8号住居	土器 深鉢	(120)						無文 内面褐色・外面褐色
第96図22	8号住居	土器 深鉢			(80)				内面暗褐色・外面褐色
第97図23	8号住居	土器 深鉢			(106)				無文 内面暗褐色
第97図24	8号住居	土器 深鉢			(170)				無文 内面暗褐色・外面褐色
第97図25	8号住居	土器 深鉢			(70)				縦文 内面褐色・外面褐色
第97図26	8号住居	土器 深鉢	(140)		(70)				口唇部内文・以下縦位沈綴文 内面褐色・外面褐色
第98図1	9号住居	土製品							解49×横(32)×厚14 内面暗褐色
第98図2	9号住居	土器	ミチャク鉢	(30)	(20)	28			内面へラケズリ・外面部頭痕 内面暗褐色
第98図3	9号住居	土器 深鉢			160				不整区面文内に縦刻文・他ヘラによる沈綴文 内面褐色・外面褐色
第98図4	9号住居	土器 深鉢	(210)						ヘラによる沈綴文 内面暗褐色
第98図5	9号住居	土器 深鉢	(170)						沈綴文 内面暗褐色
第98図6	9号住居	土器 深鉢	(360)						円形のくりぬき 内面褐色・外面褐色
第98図7	9号住居	土器 深鉢							内面褐色 内面暗褐色
第98図8	9号住居	土器 深鉢	(280)						無文 内面暗褐色
第98図9	9号住居	土器 深鉢							無文 内面暗褐色
第98図10	9号住居	土器 深鉢							ヘラによる沈綴文 内面暗褐色
第98図11	9号住居	土器 深鉢	(310)						ヘラによる横位沈綴文・以下縦位沈綴文 内面褐色・外面褐色
第98図12	9号住居	土器 深鉢	(210)						ヘラによる横位・重沈綴文・以下縦位沈綴文 内面暗褐色
第98図13	9号住居	土器 深鉢	(310)						無文 内面暗褐色
第99図14	9号住居	土器 深鉢	(130)						ヘラによる横位二重沈綴文・以上縦位沈綴文 内面暗褐色・外面褐色
第99図15	9号住居	土器 深鉢	(220)						無文 内面暗褐色
第99図16	9号住居	土器 深鉢	120						全面に縦文 内面黒褐色
第99図17	9号住居	土器 深鉢	(150)						ヘラによる沈綴文 内面褐色・外面暗褐色
第99図18	9号住居	土器 深鉢	(290)						ヘラによる沈綴文 内面褐色・外面暗褐色
第99図19	9号住居	土器 深鉢	(210)						ヘラによる沈綴文 内面褐色・外面暗褐色
第99図20	9号住居	土器 深鉢	(370)						満春文 内面褐色・外面褐色
第99図21	9号住居	土器 深鉢	(190)						無文 内面暗褐色
第99図22	9号住居	土器 深鉢	(290)						横位・縦位沈綴文 内面暗褐色
第99図23	9号住居	土器 深鉢	(170)						縦位・横位沈綴文 内面暗褐色
第99図24	9号住居	土器 深鉢							縦文上に粘土紐帶 内面暗褐色
第99図25	9号住居	土器 深鉢							ヘラによる横位・満春状沈綴文 内面暗褐色

第11表

土器・土製品の観察表 (No. 4)

※単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考
			口径	脚径	底径			
第99回26	9号住居	上 器 深 鉢				粘土紐による流線文	外面褐色	
第99回27	9号住居	土 器 深 鉢				ヘラによる円文	内山褐色・外面褐色	
第99回28	9号住居	土 器 深 鉢				ヘラによる施文	内面褐色・外表面褐色	
第99回29	9号住居	上 器 深 鉢				粘土紐による横位蛇行縫帶文	外面褐色・外表面褐色	
第99回30	9号住居	土 器 深 鉢				粘土紐による縦位蛇行縫帶文	内外面褐色	
第99回31	9号住居	土 器 深 鉢				蛇行・縫帶文上に刻み	内外面褐色	
第99回32	9号住居	上 器 深 鉢	(110)			圓文	内面深褐色・外表面褐色	
第99回33	9号住居	土 器 深 鉢	(120)			無文	内山褐色・外表面褐色	
第99回34	9号住居	土 器 深 鉢	(160)			無文	内外面褐色	
第99回35	9号住居	上 器 高 坩	(120)			内外面ヘラ	内外面明褐色	混入遺物
第99回36	9号住居	土 器 要?	(120)				内山褐色・外表面褐色	
第99回37	9号住居	土 器 台付蓋				外山ハケ、胴脚接合部延(50)	内山褐色・外表面褐色	混入遺物
第100回 1	10号住居	上 製品				縦53×横55×厚17	全面黒褐色	土偶(左足部)
第100回 2	10号住居	上 製品				縦51×横46×厚9	内面褐色	人型土偶
第100回 3	10号住居	土 製品				縦35×横38×厚10	内面褐色・外表面褐色	土製円盤
第100回 4	10号住居	土 製品				縦45×横48×厚12	内面褐色・外表面褐色	土製円盤
第100回 5	10号住居	上 製品				縦33×横(32)×厚10	内外面暗褐色	土製円盤
第100回 6	10号住居	土 製品				刺突文	内外面暗褐色	把手
第100回 7	10号住居	土 器 深 鉢				全周に圓文	内外面暗褐色	把手
第100回 8	10号住居	土 器 深 鉢				湯呑文	内外面暗褐色	口縁装飾
第100回 9	10号住居	上 器 深 鉢				ヘラによる沈線文	内外面暗褐色	把手
第100回10	10号住居	土 器 深 鉢				ヘラによる沈線文	内外面暗褐色	把手
第100回11	10号住居	土 器 深 鉢				ヘラによる沈線文, 把手あり	内面褐色・外表面褐色	口縁装飾
第101回12	10号住居	土 器 深 鉢				円形刺突文	内外面黑褐色	
第101回13	10号住居	上 器 深 鉢					内面深褐色・外表面褐色	有肩付ト墨
第101回14	10号住居	土 器 深 鉢	200	90	232	山唇部下粘土紐による貼付, 以下圓文	内外面暗褐色	
第101回15	10号住居	土 器 深 鉢	226	87	242	11脚部刺文・墨色, 以降沈線文上に蛇行	内面褐色・外表面褐色	底部木葉痕
第101回16	10号住居	上 器 深 鉢	146		(202)	全面に纏文, 一点突起	内面褐色・外表面褐色	摩擦・口縁装飾
第101回17	10号住居	上 器 深 鉢	(180)	(90)	(270)	樹脂条線	内外面暗褐色	摩擦・口縁装飾
第101回18	10号住居	土 器 深 鉢	116	70	164	口縫部沈線文以下粘土紐貼付, 以下圓文	内面褐色・外表面褐色	
第101回19	10号住居	土 器 浅 鉢	(338)	(90)	130	外面彫削条線	内外面暗褐色	丁寧な整形
第102回20	10号住居	上 器 大腹深鉢	458		(425)	沈線文上に蛇行貼付文・一重帶済墨文	内外面明褐色	6点把手
第102回21	10号住居	土 器 深 鉢	(380)	(100)	412	沈線文上に蛇行縫帶文	内外面暗褐色	強張張にスス付
第102回22	10号住居	土 器 深 鉢				全面に繩文	内面褐色・外表面褐色	把手
第102回23	10号住居	上 器 深 鉢				流線状区画文間に刻み	内面褐色・外表面褐色	内面にスス付
第102回24	10号住居	土 器 浅 鉢	(130)			流線状区画文間に圓文	内外面暗褐色	内外面彩
第102回25	10号住居	土 器 深 鉢				集合沈線文に流線・済巻状沈線文	内外面暗褐色	
第102回26	10号住居	上 器 深 鉢				済巻状沈線文に集合沈線文	内面褐色	
第103回27	10号住居	土 器 深 鉢				把手上に蛇行縫帶文・沈線文に斜撃状沈線文	内面褐色・外表面褐色	
第103回28	10号住居	土 器 深 鉢				済巻文内に放射状沈線文, 他刺突文	内外面暗褐色	把手軸
第103回29	10号住居	上 器 深 鉢	(246)	(120)	(310)	縦位二重沈線文間に斜位沈線文	内外面暗褐色	点点口縁装飾
第104回30	10号住居	土 器 浅鉢?	(358)			無文	内外面褐色	
第104回31	10号住居	土 器 深 鉢	(519)			蛇行縫帶文・済巻文	内面褐色	
第103回32	10号住居	上 器 深 鉢	(146)			済巻状沈線文, 以下縫帶・斜位・流線沈線文	内外面暗褐色	口縁装飾
第104回33	10号住居	土 器 深 鉢	(210)			U唇部下に貼付文, 以下口形・済巻状沈線文	内外面暗褐色	
第104回34	10号住居	土 器 深 鉢	(150)			ヘラによる沈線文	内外面褐色	口縁装飾
第104回35	10号住居	上 器 深 鉢				ヘラによる沈線文	内外面暗褐色	
第104回36	10号住居	土 器 深 鉢				済巻文・区画文	内面褐色・外表面褐色	點面口縁装飾
第104回37	10号住居	土 器 深 鉢	(110)			ヘラによる沈線文	内外面暗褐色	
第104回38	10号住居	土 器 深 鉢				口縫部下流線貼付文	内面褐色・外表面褐色	口縁装飾
第104回39	10号住居	土 器 深 鉢	(200)			横位連続縫狀降帶文	内外面暗褐色	
第104回40	10号住居	土 器 深 鉢	(180)			ヘラによる反縫凹円区画文内に刺突文	内外面暗褐色	内外面赤彩
第104回41	10号住居	土 器 深 鉢	(250)			彫削条線	内面褐色・外表面褐色	
第104回42	10号住居	土 器 浅 鉢	(300)			口縫洋・済巻状沈線文上に透款割文, 以下圓文	内外面褐色	
第104回43	10号住居	土 器 浅 鉢				口縫洋・済巻状沈線文上に透款割文, 以下圓文	内外面褐色	

第12表 土器・土製品の観察表 (No.5) 単位: mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態・計測値					施文・整形等	色調	備考
		種別	器形	口径	脚径	底径			
第105図44	10号住居	土器	深鉢	(520)			ヘラによる沈線文	内面褐色・外土黄色	把手痕
第105図45	10号住居	土器	深鉢				「縦位二重沈線文」以下斜位浅流線文	内面褐色・外土黄色	
第105図46	10号住居	土器	深鉢	(380)			縦位沈文上に半刀形刻文、他流線文	内面褐色・外土黄色	
第105図47	10号住居	土器	深鉢	(460)			ヘラによる斜位沈線文	内面褐色・外土黄色	
第105図48	10号住居	土器	深鉢	(450)			ヘラによる斜位沈線文	内外山暗褐色	
第105図49	10号住居	土器	深鉢	(330)			ヘラによる斜位沈線文	内外山暗褐色	
第105図50	10号住居	土器	深鉢	(120)			ヘラによる流線文	内面褐色・外土黄色	
第105図51	10号住居	土器	深鉢	(260)			ヘラによる斜位沈線文	内面褐色・外土黄色	
第105図52	10号住居	土器	深鉢	(90)			ヘラによる斜位沈文上に粘土貼による財付	内外面褐色	
第105図53	10号住居	土器	深鉢	(220)			口唇部下流線文	内面褐色・外苗褐色	
第105図54	10号住居	土器	深鉢	(320)			全面に纏文	内外山暗褐色	
第105図55	10号住居	土器	深鉢	(110)			ヘラによる沈線文	内外面暗褐色	
第105図56	10号住居	土器	深鉢	(210)			縫合状沈文以、以下縦位沈文間に刺突文	内面褐色・外苗褐色	口縫装飾
第105図57	10号住居	土器	深鉢	(150)			ヘラによる日文以ヘラによる縦位沈線文	内面褐色・外苗褐色	
第105図58	10号住居	土器	深鉢				ヘラによる酒巻状沈線文	内外面暗褐色	口縫装飾
第105図59	10号住居	土器	深鉢	(250)			U唇部凸状沈文、以下沈線文内に沈線文	内外面暗褐色	口縫装飾
第106図60	10号住居	土器	深鉢	(120)			ヘラによる沈線文、指頭圧痕	内外山暗褐色	
第106図61	10号住居	土器	深鉢	(190)			口唇部長柄円V内文・隆蒂、以下脚部	内面褐色・外苗褐色	
第106図62	10号住居	土器	深鉢				口唇部扁平上に直角脚部以沈線文に刺突文	内面褐色・外苗褐色	口縫装飾
第106図63	10号住居	土器	深鉢	(390)			脚部横位三項式沈線文、以下脚部	内外面明褐色	
第106図64	10号住居	土器	深鉢	(410)			脚部横位二重沈線文、以下脚部	内外面明褐色	
第106図65	10号住居	土器	深鉢	(240)			粘土貼付による長柄円V内文	内面褐色・外苗褐色	
第106図66	10号住居	土器	深鉢	(170)			U唇部粘土貼付による縦位沈文、以下脚部	内面褐色・外苗褐色	
第106図67	10号住居	土器	小型深鉢	(40)			U唇部横位二重沈文、以下脚部	内外山暗褐色	
第106図68	10号住居	土器	深鉢	(270)			細纏文	内面褐色・外苗褐色	
第106図69	10号住居	土器	深鉢	(310)			粘土貼による横位脚部文	外面暗褐色	
第106図70	10号住居	土器	深鉢	(120)			粘土貼付による縦位帝帶文	内外面暗褐色	
第106図71	10号住居	土器	深鉢	(240)			口唇部下へによる纏文、以下脚部	内外面暗褐色	
第106図72	10号住居	土器	深鉢	(310)			口唇部横文以、以下脚部V内文に横位沈文	内外山暗褐色	
第106図73	10号住居	土器	浅鉢?	(230)			粘土貼による横位脚部文、以下脚部	内面褐色・外苗褐色	
第106図74	10号住居	土器	深鉢	(120)			U唇部横文、以下長平行に刺突文、以下茎部	内面褐色・外苗褐色	内面化粧竹青
第106図75	10号住居	土器	深鉢	(190)			粘土貼葉裏に縫合脚部文、以下脚部	内面褐色・外苗褐色	
第106図76	10号住居	土器	深鉢	(300)			粘土紐による脚部縫合	内外山暗褐色	
第106図77	10号住居	土器	深鉢	(120)			無文	内外面暗褐色	
第106図78	10号住居	土器	深鉢	(320)			無文	内面褐色・外苗褐色	
第106図79	10号住居	土器	深鉢	(310)			無文	内外山暗褐色	
第107図80	10号住居	土器	深鉢	(300)			無文	内面褐色・外苗褐色	
第107図81	10号住居	土器	深鉢	(280)			無文	内外面暗褐色	
第107図82	10号住居	土器	深鉢	(310)			無文	内外面暗褐色	
第107図83	10号住居	土器	深鉢	(250)			無文	内外面暗褐色	
第107図84	10号住居	土器	浅鉢?				無文	内外面暗褐色	
第107図85	10号住居	土器	深鉢	(210)			無文	内外面暗褐色	
第107図86	10号住居	土器	深鉢	(110)			ヘラケズリ裂隙	内面褐色・外苗褐色	
第107図87	10号住居	土器	深鉢	(290)			全面に纏文	内外面暗褐色	
第107図88	10号住居	土器	浅鉢	(300)			全面に纏文	内外面黑褐色	
第107図89	10号住居	土器	深鉢	(190)			全面に纏文	内外山暗褐色	
第107図90	10号住居	土器	深鉢	(260)			ヘラによる区画文内に刺突文	内外面暗褐色	
第107図91	10号住居	土器	深鉢	(350)			縦位沈文上に蛇文・湍文	内面褐色・外苗褐色	
第107図92	10号住居	土器	浅鉢				ヘラによる沈線文	内山暗褐色・外山暗褐色	
第107図93	10号住居	土器	深鉢				湍線・湍状沈線文、他纏文・斜位沈文	内面褐色・外苗褐色	
第107図94	10号住居	土器	深鉢				蛇文上に円形刻文、以下横位沈線文	内面褐色・外苗褐色	
第107図95	10号住居	土器	深鉢				縦位沈文上に刺突文、以下縦位沈文	内山暗褐色・外山暗褐色	
第107図96	10号住居	土器	深鉢		86	(133)	ヘラによる横位・垂位・斜位・湍状沈线文	内外面暗褐色	底部ヘラズ?
第107図97	10号住居	土器	深鉢			104	(109) 斜位・縦位沈文	内面褐色・外苗褐色	「ハ」字?
第108図98	10号住居	土器	深鉢			106		内外山暗褐色	

第13表

### 土器・土製品の観察表（No. 6）

豪華位：四〇／（一）内の数値は推定値

番号	出土位置	形 種別	計測値			施文・整形等	色調備考
			口径	脚径	底径		
第108図 99	10号住居	土器	深鉢		98	底部網代底	内外面赤褐色
第108図100	10号住居	土器	深鉢		112	底部網代底?	内面褐色・外面部褐色
第108図101	10号住居	土器	深鉢		(96)	底部網代底	内面褐色・外面部褐色
第108図102	10号住居	土器	深鉢		100	縦位沈線文、底部ヘラケズリ	内外面褐色
第108図103	10号住居	土器	深鉢		50	底部指痕	内外面褐色
第108図104	10号住居	土器	深鉢		(100)	底部網代底	内外面褐色
第108図105	10号住居	土器	深鉢		94	底部網代底	内面褐色・外面部褐色
第108図106	10号住居	土器	深鉢		(120)	底部網代底	内面褐色・外面部褐色
第108図107	10号住居	土器	深鉢		(80)		内面暗褐色
第108図108	10号住居	土器	深鉢		104	縦文	内面褐色・外面部褐色
第108図109	10号住居	土器	深鉢		(110)	無文	内外面褐色
第108図110	10号住居	土器	深鉢?		(90)	底部木葉模	内外面褐色
第108図111	10号住居	土器	深鉢?		(60)	ヘラによる継位・斜位沈線文	内外面褐色
第109図 1	11号住居	土製品				縦38×横(27)×厚11	内外面褐色 土製円盤
第109図 2	11号住居	土器	深鉢	(170)		縦38×横(27)×厚11 縦位又に粘土貼付による施文・旋行済文	内外面褐色 口縁装飾
第109図 3	11号住居	土器	深鉢	(290)		横位沈線文	内外面褐色
第109図 4	11号住居	土器	深鉢	(330)		口縁部文、以下横位沈線文	内外面褐色
第109図 5	11号住居	土器	深鉢	(200)		無文	内面褐色・外面部褐色
第109図 6	11号住居	土器	深鉢			無文	内面褐色
第109図 7	11号住居	土器	深鉢		60		内面暗褐色
第109図 8	11号住居	土器	深鉢		(120)	縦文	内外面褐色
第109図 9	11号住居	土器	深鉢		(70)	無文	内面褐色・外面部褐色
第110図 1	12号住居	土製品				縦29×横29×厚9、ヘラによる沈線	内面褐色・外面部褐色 土製円盤
第110図 2	12号住居	土製品				縦27×横28×厚13	内面褐色 土製円盤
第110図 3	12号住居	土製品				縦48×横46×厚14	内外面褐色 土製凹盤
第110図 4	12号住居	土製品				縦50×横45×厚14、ヘラによる沈線	内外面暗褐色 土製円盤
第110図 5	12号住居	土製品				縦46×横45×厚12	内面褐色・外面部褐色 土製円盤
第110図 6	12号住居	土器	深鉢			縦48×横45×厚12 渦巻状沈線文・放射状沈線文	内面褐色・外面部褐色 土製装飾
第110図 7	12号住居	土器	深鉢			内面褐色	把手
第110図 8	12号住居	土器	深鉢			内面褐色	把手
第110図 9	12号住居	土器	深鉢			粘土貼付による施文	内面褐色
第110図 10	12号住居	土器	深鉢	(430)		縦文地に渦巻文	内面褐色
第110図 11	12号住居	土器	深鉢			ヘラによる横位・縦位・流線文	内面褐色・外面部褐色
第110図 12	12号住居	土器	深鉢		97	縦位・重疊帯文間に纏文、底部木葉模	内面褐色・外面部褐色
第110図 13	12号住居	土器	深鉢	(270)		横位・重疊帯文間に纏文	内面褐色
第111図 14	12号住居	土器	深鉢	(350)		口内部ヘラによるる沈線、以下無文	内面褐色・外面部褐色
第111図 15	12号住居	土器	深鉢			口部ヘラによる沈線	内面褐色・外面部褐色 土製装飾
第111図 16	12号住居	土器	深鉢	(490)		ヘラによる沈線	内面褐色・外面部褐色
第111図 17	12号住居	土器	深鉢			口縁部ヘラによる沈線文	内面褐色
第111図 18	12号住居	土器	浅鉢?	(360)		波状横帯文上に連続刻文	内面褐色
第111図 19	12号住居	土器	浅鉢	(450)		無文	内面赤褐色
第111図 20	12号住居	土器	深鉢	(406)		開文地に渦巻状横帯文	内面褐色・外面部褐色
第111図 21	12号住居	土器	深鉢	(250)		口部荷土量による横位開文、以下横位開文	内面褐色
第111図 22	12号住居	土器	深鉢	(200)		顎部横位・重疊線文、以下縦文	内面褐色・外面部褐色 N.0.13とペア
第111図 23	12号住居	土器	深鉢	(250)		口部横位沈線文、以下横帯文	内面褐色
第111図 24	12号住居	土器	深鉢	(480)		無文	内面赤褐色
第111図 25	12号住居	土器	深鉢			流線文・縦位沈線文	内面褐色・外面部褐色
第111図 26	12号住居	土器	深鉢			渦巻状沈線文上に報位・横位旋行済文	内面褐色
第111図 27	12号住居	土器	深鉢			縦位開文	内面褐色・外面部褐色
第111図 28	12号住居	土器	深鉢		(70)	縦位開文	内面褐色・外面部褐色
第111図 29	12号住居	土器	深鉢		(84)	内面褐色	内面褐色
第111図 30	12号住居	土器	深鉢		(110)		内面褐色
第111図 31	13号住居	土器	深鉢		(100)		内面褐色
第112図 1	13号住居	土器	深鉢	(100)		ヘラによる沈線文	内面暗褐色 混入遺物
第112図 2	13号住居	土器	深鉢	(340)		口縫部横位沈線文、以下不整円文	内面褐色 混入遺物

第14表 土器・土製品の観察表 (No. 7) 庫単位: mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考	
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高	
第112図	3 13号住居	土器 深鉢	(150)					無文	内外面黒褐色 泥入遺物
第112図	4 13号住居	上器 深鉢			(90)				内面褐色・外成褐色 泥入遺物
第112図	5 13号住居	土器 長頸甌	(118)		43	176	外面部ヘラミガキ	内面褐色	
第112図	6 13号住居	土器 高环	(140)				内外面明褐色		
第112図	7 13号住居	上器 台付甌					外面部ハケ接合部ヘラケズリ	内面暗褐色 脱酸接合部径40mm	
第113図	11~13号住居	土製品					縦(43)×横(30)×厚12	内外面暗褐色 上製円盤	
第113図	2 11~13号住居	土器 深鉢	(140)				無文	内外面暗褐色	
第113図	3 11~13号住居	土器 小型深鉢	(180)				口唇部・口縁部沈線文	内外面褐色	
第114図	1 14号住居	土製品					虹彩線	内外面暗褐色 上偶(副部)	
第114図	2 14号住居	土器 深鉢					口縁部付近の装飾部	内面褐色・外褐色 獸面把手	
第114図	3 14号住居	土器 深鉢					二角区画文・流線文	内外面暗褐色 口縫接合部	
第114図	4 14号住居	土器 深鉢					渦巻文	内外面暗褐色 口縫装饰	
第114図	5 14号住居	土器 深鉢	(410)				無文	内外面暗褐色 肥厚系上器	
第114図	6 14号住居	土器 深鉢	(270)				口唇部下連続刺文以降文様にへるる沈線文	内面褐色・外褐色	
第114図	7 14号住居	土器 深鉢	(260)				ヘラによる沈線文	内外面暗褐色	
第114図	8 14号住居	土器 深鉢	(270)				ヘラによる横部沈線文	内外面暗褐色	
第114図	9 14号住居	土器 深鉢	(320)				無文	内外面暗褐色 肥厚系上器	
第114図	10 14号住居	土器 深鉢	(320)				ヘラによる横部沈線文	内外面褐色	
第114図	11 14号住居	土器 深鉢	(200)				ヘラによる横部沈線文	内面褐色・外褐色	
第114図	12 14号住居	土器 深鉢	(300)				無文	内向褐色 外面褐色	
第114図	13 14号住居	土器 深鉢	(410)				口唇部ヘラによる沈線文, 以下繩文	内面褐色・外面褐色	
第114図	14 14号住居	土器 深鉢	(140)				ヘラによる横位二重沈線文	内外面暗褐色	
第114図	15 14号住居	土器 深鉢	(270)				ヘラによる沈線文	内外面暗褐色	
第114図	16 14号住居	土器 深鉢			(80)		ヘラによる斜位沈線文	内外面褐色	
第114図	17 14号住居	土器 深鉢			(110)		無文	内面褐色・外褐色	
第114図	18 14号住居	土器 深鉢			(100)		無文	内面褐色・外面褐色	
第114図	19 14号住居	土器 深鉢			(120)		無文	内外面明褐色	
第114図	20 14号住居	土器 深鉢			(76)		内面褐色・外山褐色	輪積痕	
第114図	21 14号住居	土器 台付甌	(170)				口唇部に連続刺文・外面部ハケ	内面褐色・外褐色 泥入遺物	
第114図	22 14号住居	土器 器台?					脚接合部径 (80)	内面褐色・外面褐色 泥入遺物	
第115図	1 15号住居	土製品					ヘラにより指を表現	内外面暗褐色 土真(瓦足)	
第115図	2 15号住居	土器 ニチニア土器	43	(28)	(30)		全面ヘラケズリ	内面暗褐色 口縫接合部	
第115図	3 15号住居	土器 ニチニア土器	(60)	(30)	32		全面ヘラケズリ	内面褐色・外面褐色	
第115図	4 15号住居	土製品					縦60×横60×厚15, 繩文	内山褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	5 15号住居	土製品					縦54×横51×厚11, 繩文	内山褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	6 15号住居	土製品					縦53×横51×厚18, 沈線文上に蛇文	内面褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	7 15号住居	土製品					縦56×横56×厚14, 無文	内山褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	8 15号住居	土製品					縦46×横46×厚14, 沈線	内山褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	9 15号住居	土製品					縦39×横41×厚16, 無文	内山褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	10 15号住居	土製品					縦36×横36×厚14, 繩文	内面褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	11 15号住居	土製品					縦41×横45×厚10, 繩文	内外面暗褐色 土製円盤	
第115図	12 15号住居	土製品					縦47×横44×厚15, 刺突文	内外面暗褐色 土製円盤	
第115図	13 15号住居	土製品					縦42×横46×厚9, 無文	内外面暗褐色 土製円盤	
第115図	14 15号住居	土製品					縦40×横40×厚9, 無文	内面褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	15 15号住居	土製品					縦34×横45×厚13, 沈線	内山褐色・外山褐色 土製円盤	
第115図	16 15号住居	土製品					縦38×横47×厚13, 繩文	内外面暗褐色 土製円盤	
第116図	17 15号住居	十製品					縦47×横51×厚10, 繩文	内面暗褐色 土製円盤	
第116図	18 15号住居	土製品					縦45×横46×厚12, 無文	内外面暗褐色 土製円盤	
第116図	19 15号住居	土製品					縦33×横35×厚10, 無文	内面褐色・外山褐色 土製円盤	
第116図	20 15号住居	土製品					縦39×横39×厚18, 無文	内外面暗褐色 土製円盤	
第116図	21 15号住居	土製品					縦29×横29×厚10, 繩文	内面褐色・外山褐色 土製円盤	
第116図	22 15号住居	土製品					縦49×横47×厚12, 無文	内面褐色・外山褐色 土製円盤	
第116図	23 15号住居	土製品					縦42×横46×厚12, 無文	内外面暗褐色 土製円盤	
第116図	24 15号住居	十製品					縦36×横35×厚12, 無文	内外面暗褐色 土製円盤	
第194図	25 15号住居	土器 深鉢	172				内折上部乳頭状大脚, 3点人面輪狀土基	内面明赤褐色	

第15表

土器・土製品の観察表 (No. 8)

※単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考			
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高			
第14回 26	15号住居	土器 深鉢							人面下部渦巻文、後削平行沈線、渦巻文 長折円区底文内に縦位沈線文、以下横文	内外面赤褐色 内外面暗褐色	人面把手
第16回 27	15号住居	土器 深鉢	230		(110)	333			長折円区底文内に縦位沈線文、以下横文	内外面暗褐色	1点口縁装飾
第16回 28	15号住居	土器 深鉢	230		(110)	334			縦位沈線文上に粘土紐貼付痕	内外面暗褐色	
第117回 29	15号住居	土器 深鉢	(174)		120	275			長折円区底文、溢巻文、以下横文、沈線文 内面褐色、外面褐色	内外面暗褐色	
第16回 30	15号住居	土器 深鉢	98		(198)				内面褐色、外面褐色 内面褐色、外面褐色	4点口縁装飾	
第117回 31	15号住居	土器 深鉢							満巻文、区画文、割頭圧痕、縦位沈線文 区画文、満巻文、割頭圧痕、以下横文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第16回 32	15号住居	土器 深鉢	150		(240)				区画文、溢巻文、唐草文、指頭圧痕、以下横文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第117回 33	15号住居	土器 小型深鉢	90		(150)				区画文内に渦巻文、指頭圧痕、以下横文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第117回 34	15号住居	土器 深鉢	(168)		(203)				長折円区底文、溢巻文、以下横文、沈線文 内面褐色、外面褐色	内外面暗褐色	内面にスカーフ
第117回 35	15号住居	土器 深鉢	(140)						円形縫合痕、刮痕、豪刷蛇行彫文、縦位沈線文	内外面暗褐色	
第117回 36	15号住居	土器 浅鉢	(426)		(210)	187			全面に縦文	内外面暗褐色	
第118回 37	15号住居	土器 深鉢	(178)						全面に縦文 内面褐色、外面褐色	4点口縁装飾	
第118回 38	15号住居	土器 深鉢							縦位沈線文上に円形刺突文、他幾文 連鎖文、満巻文、流線文、三角文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第118回 39	15号住居	土器 深鉢							沈線文内に横位蛇行彫文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第118回 40	15号住居	土器 浅鉢	(320)						隆帯文上に刻み、他全面に縦文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第118回 41	15号住居	土器 深鉢							隆帯文上に刻み、他全面に縦文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第118回 42	15号住居	土器 深鉢							連鎖文	内外面暗褐色	顔面把手
第118回 43	15号住居	土器 深鉢							渦巻文により髪を表現	内外面暗褐色	顔面把手
第118回 44	15号住居	土器 深鉢							指頭圧痕、流線文	内面褐色、外面褐色	顔面把手
第118回 45	15号住居	土器 深鉢	(280)						指頭圧痕、流線文	内面褐色、外面褐色	顔面把手
第118回 46	15号住居	土器 深鉢	(220)						流線文	内外面暗褐色	1段笠形
第119回 47	15号住居	土器 深鉢	(270)						刺突文	内外面暗褐色	1段笠形
第119回 48	15号住居	土器 深鉢	(210)						渦巻文、三角文、刺突文、流線文、圓文	内外面暗褐色	1段笠形
第119回 49	15号住居	土器 深鉢							内面褐色、外面褐色	1段笠形	
第119回 50	15号住居	土器 深鉢	(130)						渦巻文、流線文、刺突文	内外面暗褐色	口縁装飾
第119回 51	15号住居	土器 深鉢	(240)						内面褐色、外面褐色	口縁装飾	
第119回 52	15号住居	土器 深鉢							内面褐色、外面褐色	口縁装飾	
第119回 53	15号住居	土器 深鉢	(170)						流線文	内外面暗褐色	口縁装飾
第119回 54	15号住居	土器 深鉢							刻み	内外面褐色	把手
第119回 55	15号住居	土器 深鉢							縦位沈線文上に横位沈線文、把手上に刻み	内外面暗褐色	口縁装飾
第119回 56	15号住居	土器 深鉢							内面褐色、外面褐色	口縁装飾	
第119回 57	15号住居	土器 深鉢	(120)						連続刺突文	内外面暗褐色	1段笠形
第120回 58	15号住居	土器 深鉢							刺突文、流線文	内外面暗褐色	1段笠形
第120回 59	15号住居	土器 深鉢	(130)						内面褐色、外面褐色	口縁装飾	
第120回 60	15号住居	土器 深鉢							縦位沈線文、装飾上に「ハ」の字状刻文	内外面暗褐色	4点口縁装飾
第120回 61	15号住居	土器 深鉢							内面褐色、外面褐色	把手	
第120回 62	15号住居	土器 深鉢							沈線文	内外面暗褐色	口縁装飾
第120回 63	15号住居	土器 深鉢							貼付、刺突文、縦文	内外面暗褐色	口縁装飾
第120回 64	15号住居	土器 深鉢							三角区渦巻文、高巻文、流線文、以下横文	内外面褐色	口縁装飾
第120回 65	15号住居	土器 深鉢							内面褐色	口縁装飾	
第120回 66	15号住居	土器 深鉢	(180)						縦位沈線文	内外面暗褐色	1段笠形
第120回 67	15号住居	土器 深鉢	(210)						内面褐色、外面褐色	口縁装飾	
第120回 68	15号住居	土器 深鉢	(150)						内面褐色、外面褐色	口縁装飾	
第120回 69	15号住居	土器 深鉢							渦巻文	内外面暗褐色	口縁装飾
第120回 70	15号住居	土器 小型深鉢							内面褐色、外面褐色	内外面暗褐色	
第120回 71	15号住居	土器 深鉢	(380)						内面褐色、外面褐色	内外面暗褐色	
第120回 72	15号住居	土器 深鉢							内面褐色	口縁装飾?	
第120回 73	15号住居	土器 深鉢							内面褐色、外面褐色	口縁装飾	
第120回 74	15号住居	土器 深鉢	(190)						粘土紐貼付上に「ハ」の字状刻文	内外面暗褐色	1段笠形?
第121回 75	15号住居	土器 深鉢							内面褐色	口縁装飾?	
第121回 76	15号住居	土器 深鉢	(280)						内面褐色	口縁装飾	
第121回 77	15号住居	土器 深鉢							U部唇に格子彫頭圧痕、以下流線文、渦巻文	内外面暗褐色	口縁装飾
第121回 78	15号住居	土器 深鉢							内面褐色	口縁装飾	
第121回 79	15号住居	土器 深鉢	(80)						横位・縦位沈線文	内外面暗褐色	把手
第121回 80	15号住居	土器 深鉢	(80)						内面褐色、外面褐色	有孔把手土器	

第16表

土器・土製品の観察表 (No. 9)

単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態				計測値	施文・整形等	色調備考
		種別	器形	口径	脚径	底径		
第121図 81	15号住居	土器	深鉢	(116)			補修孔?	暗褐色・青褐色・有孔土器
第121図 82	15号住居	土器	深鉢	(100)			隆帶上に円形指頭圧痕	黒褐色・朱褐色・口縁装飾
第121図 83	15号住居	土器	深鉢				沈線文	青褐色・朱褐色・口縁装飾
第121図 84	15号住居	土器	深鉢				溝巻状沈線文・区画文内に沈線文	内外面暗褐色・波状口縁
第121図 85	15号住居	土器	深鉢	(250)			ヘラによる沈線文・刻み	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 86	15号住居	土器	深鉢				隆帶上に「逆ハ」の字を示す刻み	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 87	15号住居	土器	深鉢				ヘラによる沈線文間に刻文	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 88	15号住居	土器	深鉢	(300)			隆帶上に「逆ハ」の字を示す刻み	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 89	15号住居	土器	深鉢	(120)			軋上縁による隆帶	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 90	15号住居	土器	深鉢				口唇部に長楕円刺突文	内外面暗褐色・波状口縁?
第121図 91	15号住居	土器	深鉢	(130)			区画文	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 92	15号住居	土器	深鉢				粘土縁による蛇行隆帯文	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 93	15号住居	土器	深鉢				紙版沈線文・以卜三角文・流線文	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 94	15号住居	土器	深鉢				ヘラによる沈線文内に精円指頭圧痕	内外面暗褐色・口縁装飾
第121図 95	15号住居	土器	深鉢				二叉文・円文・刻み	内外面暗褐色・波状口縫?
第121図 96	15号住居	土器	深鉢				ヘラによる継文・横位沈線文	青褐色・朱褐色・波状口縫
第121図 97	15号住居	土器	深鉢				「义」文以下区画内に継位沈線文	内外面暗褐色・波状口縫
第122図 98	15号住居	土器	深鉢				流線文	内外面暗褐色・口縁装飾
第122図 99	15号住居	土器	深鉢				ヘラによる沈線文	青褐色・朱褐色・口縁装飾
第122図 100	15号住居	土器	深鉢				ヘラによる沈線文	内外面暗褐色・口縁装飾
第122図 101	15号住居	土器	深鉢				ヘラによる沈線文	内外面暗褐色・口縁装飾
第122図 102	15号住居	土器	深鉢				口唇部に弱巻状沈線文・以下沈線文	内外面暗褐色・口縁装飾
第122図 103	15号住居	土器	盤型土器	(160)			「U」字形・渦巻状沈線文	内外面暗褐色・波状口縫
第122図 104	15号住居	土器	深鉢?	(130)			口縁部に渦巻状隆帯文	内外面暗褐色
第122図 105	15号住居	土器	深鉢	(120)			隆帶上全面に刻み・二角文・円文	内外面暗褐色
第122図 106	15号住居	土器	深鉢?	(370)			ヘラによる流線文	内外面暗褐色
第122図 107	15号住居	土器	深鉢	(310)			ヘラによる流線文	内外面暗褐色
第122図 108	15号住居	土器	深鉢	(210)			ヘラによる流線文	内外面暗褐色
第122図 109	15号住居	土器	盤型土器	(250)			円形区画文内に横位沈線文	内外面暗褐色
第122図 110	15号住居	土器	浅鉢	(310)			口唇部下隆帶上に横位長楕円刺突文	内外面暗褐色
第122図 111	15号住居	土器	浅鉢	(270)			口唇部下横位沈線文・以卜横位長楕円刺突文	内外面暗褐色
第122図 112	15号住居	土器	深鉢	(120)			隆帶上文に刻み・渦巻状沈線文	青褐色・朱褐色
第122図 113	15号住居	土器	深鉢	(140)			流線文間全面に纏文	内外面暗褐色
第122図 114	15号住居	土器	浅鉢				横位沈線文に横位沈線文・一周丸文・刻み	青褐色・朱褐色・口縁装飾
第122図 115	15号住居	土器	浅鉢	(110)			U字彌文・以下溝文・流線文・沈線文	青褐色・朱褐色
第122図 116	15号住居	土器	浅鉢	(160)			横位沈線文間・半円状沈線文・二文	内外面暗褐色
第123図 117	15号住居	土器	深鉢	(180)			ヘラによる沈線文	内外面暗褐色
第123図 118	15号住居	土器	深鉢	(170)			区画文内に継位沈線文・横円形刺突文	内外面暗褐色
第123図 119	15号住居	土器	浅鉢	(180)			溝巻状縁帶文	内外面暗褐色
第123図 120	15号住居	土器	深鉢	(220)			ヘラによる機位・継位沈線文	内外面暗褐色
第123図 121	15号住居	土器	深鉢	(350)			ヘラによる機位・継位沈線文	青褐色・朱褐色
第123図 122	15号住居	土器	深鉢	(320)			ヘラによる機位・継位沈線文	内外面暗褐色
第123図 123	15号住居	土器	深鉢	(230)			ヘラによる機位・継位・継位沈線文	内外面暗褐色
第123図 124	15号住居	土器	深鉢	(330)			ヘラによる斜位沈線文	青褐色・朱褐色
第123図 125	15号住居	土器	深鉢	(306)			ヘラによる斜位沈線文	内外面暗褐色
第123図 126	15号住居	土器	深鉢	(400)			口唇部下横位沈線文	青褐色・朱褐色・口縁装飾痕
第123図 127	15号住居	土器	深鉢				溝文帶上に横位沈線文・纏文・爪形文	青褐色・朱褐色
第123図 128	15号住居	土器	浅鉢	(120)			溝巻状隆帶・区画文内に透刺刺突文	青褐色・朱褐色
第123図 129	15号住居	土器	浅鉢	(180)			ヘラによる沈線文	内外面暗褐色
第123図 130	15号住居	土器	深鉢	(260)			ヘラによる機位・継位沈線文	青褐色・朱褐色
第123図 131	15号住居	土器	深鉢	(110)			半円形沈線文に長楕円刺突文	内外面暗褐色
第123図 132	15号住居	土器	深鉢	(290)			ヘラによる沈線文・円形刺突文	青褐色・朱褐色
第123図 133	15号住居	土器	深鉢	(120)			コ唇部下横位沈線文上に刺突文・以下横位沈線文	内外面暗褐色
第123図 134	15号住居	土器	浅鉢?	(270)			ヘラによる沈線文・周辺刺突文・継位沈線文	内外面暗褐色
第123図 135	15号住居	土器	深鉢	(230)			横位・二重沈線文間に継位沈線文	内外面暗褐色

第17表

土器・土製品の観察表 (No.10)

単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値	施文・整形等	色調備考	
		種別	器形	口径 脚径 底径	器高	
第125図136	15号住居	土 器	深鉢	(170)	ヘラによる沈線文	外面暗褐色
第125図137	15号住居	上 器	深鉢	(370)	口部横に縦文、以下横底直線	外面暗褐色
第125図138	15号住居	下 器	器 台	(130)		外面褐色
第125図139	15号住居	土 器	深 鉢	(130)	頭部横位沈線文、以下細縞文	外面褐色
第125図140	15号住居	土 器	深 鉢	(240)	頭部横位沈線文、以下縞文	外面暗褐色
第125図141	15号住居	上 器	深 鉢	(260)	ヘラによる沈縞文	内褐色・外表面褐色
第125図142	15号住居	土 器	浅 鉢	(110)	頭部横位沈線文、以下縞文	外面暗褐色
第125図143	15号住居	土 器	浅 鉢	(240)	縞文	内褐色・外表面褐色
第125図144	15号住居	上 器	深 鉢	(130)	全面上縞文	外面暗褐色
第125図145	15号住居	土 器	深 鉢	(180)	ヘラによる縦位沈線文間に縞文	外面暗褐色
第125図146	15号住居	土 器	深 鉢	(140)	蛇行沈線文間に縞文	外面暗褐色
第125図147	15号住居	上 器	深 鉢	(100)	全面上縞文	内褐色・外表面褐色
第125図148	15号住居	土 器	深鉢?	(240)	全面に縞文	内褐色・外表面褐色
第125図149	15号住居	土 器	深 鉢	(100)	縞文、刻み・蛇文	内褐色・外表面褐色
第125図150	15号住居	土 器	深 鉢	(230)	ヘラによる沈縞文間に縞文	外面暗褐色
第125図151	15号住居	土 器	深 鉢	(130)	円文・沈線文間に縞文	波状口縁
第125図152	15号住居	土 器	浅鉢?	(140)	蛇文	内褐色・外表面褐色
第125図153	15号住居	土 器	深鉢?	(190)	無文	外面暗褐色
第125図154	15号住居	上 器	深 鉢	(90)	頭部に横位沈線文	内褐色・外表面褐色
第125図155	15号住居	土 器	深 鉢	(310)	無文	外面暗褐色
第125図156	15号住居	土 器	深 鉢	(225)	無文	外面暗褐色
第125図157	15号住居	土 器	深 鉢	(225)	横位沈線文	内外黒褐色
第125図158	15号住居	上 器	深 鉢	(250)	無文	内褐色・外表面褐色
第125図159	15号住居	土 器	深 鉢	(110)	口部に横位沈線文	内褐色・外表面褐色
第125図160	15号住居	土 器	深 鉢	(170)	無文	外面暗褐色
第125図161	15号住居	土 器	深 鉢	(260)	無文	内外暗褐色
第125図162	15号住居	土 器	深 鉢	(230)	無文	内外暗褐色
第125図163	15号住居	土 器	深 鉢	(270)	無文	内褐色・外表面褐色
第125図164	15号住居	上 器	深 鉢	(350)	無文	内褐色・外表面褐色
第125図165	15号住居	土 器	深 鉢	(290)	無文?	内外暗褐色
第125図166	15号住居	土 器	深 鉢	(280)	蛇文	外面褐色
第125図167	15号住居	上 器	深 鉢	(140)	無文	内外暗褐色
第125図168	15号住居	土 器	深 鉢	(110)	横位沈線文	外面暗褐色
第125図169	15号住居	土 器	深 鉢		山形輪廓横位沈線文、以下斜位沈線文	外面暗褐色
第125図170	15号住居	上 器	深 鉢?	(220)	圓文地に縦位蛇行帶文	内褐色・外表面褐色
第125図171	15号住居	土 器	台付甕	(150)	外面部	内褐色・外表面褐色
第125図172	15号住居	土 器	深 鉢		縦位沈線文上に蛇行帶文	外表面褐色
第125図173	15号住居	上 器	深 鉢		円形降帯文・長滑内削突文	内褐色・外表面褐色
第125図174	15号住居	土 器	深 鉢		長滑内削突文に沈線文・刺文	内褐色・外表面褐色
第125図175	15号住居	土 器	深 鉢?	(280)	逆縞文間に縦位沈線文・刺文	内表面暗褐色
第125図176	15号住居	上 器	深 鉢		全面に縞文	内褐色・外表面褐色
第125図177	15号住居	土 器	深 鉢		全面に沈線文・横位連続突文	内褐色・外表面褐色
第125図178	15号住居	土 器	深 鉢		全面に縞文	内褐色・外表面褐色
第125図179	15号住居	上 器	深 鉢	(210)	連続・角位面上に長滑内削突文	内褐色・外表面褐色
第125図180	15号住居	土 器	深 鉢		助筋にヘラによる沈線文、以下全面に縞文	内褐色・外表面褐色
第125図181	15号住居	土 器	深 鉢		頭部全面に縞文	内表面褐色
第125図182	15号住居	上 器	深 鉢		半円内削突文に縦位沈線文・滑丹指添延痕	内表面褐色
第125図183	15号住居	土 器	深 鉢		凸凹文・円形削突文	内褐色・外表面褐色
第125図184	15号住居	土 器	深 鉢		横位沈線文に長滑内削突文	内褐色・外表面褐色
第125図185	15号住居	上 器	深 鉢		豊富な縞文・長滑内削突文・蛇文・漫文	内褐色・外表面褐色
第125図186	15号住居	土 器	深 鉢		溝文文・腰帶上に連続する刺文	内表面褐色
第125図187	15号住居	土 器	深 鉢		横位帶文、以下全面に縦位沈線文	内表面褐色・外表面褐色
第125図188	15号住居	土 器	深 鉢		半円内削突文に縦位沈線文	内表面褐色・外表面褐色
第125図189	15号住居	土 器	深 鉢		花文・刺文、以下縞文	内褐色・外表面褐色
第125図190	15号住居	上 器	深 鉢			

第18表 土器・土製品の観察表 (No.11) ※単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考			
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高			
第127図191	15号住居	上器	縦深鉢						粘土縫による隆帶間に縄文	外面暗褐色	
第127図192	15号住居	土器	深鉢						降帯区画文上に円形指頭状痕	内山褐色・外面暗褐色	
第127図193	15号住居	土器	深鉢						縦位沈縋文上に渦巻状隆帶文	内山褐色・外面暗褐色	
第127図194	15号住居	上器	深鉢						円文・隆帶文上に長縫円彫痕付・縫位沈縋文	内面暗褐色	
第127図195	15号住居	土器	深鉢						縫部以下沈縋区画文内に縄文・指頭圧痕	内面暗褐色・外面暗褐色	
第127図196	15号住居	土器	深鉢						菱形区画文・縦位沈縋文	内外面暗褐色	
第127図197	15号住居	土器	深鉢						菱形区画文・円形指頭圧痕	内外面暗褐色	脚部尖端装飾
第127図198	15号住居	土器	深鉢						縦位沈縋文以下横位・縦位沈縋文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第127図199	15号住居	土器	深鉢						縦位沈縋文以下横位・縦位沈縋文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第127図200	15号住居	土器	深鉢						縦位沈縋文	内面暗褐色	
第127図201	15号住居	土器	深鉢						集合円形輪蒂文	内外面暗褐色	内面赤彩
第127図202	15号住居	上器	深鉢						斜位輪蒂文・横位ボタン状點付文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第128図203	15号住居	土器	深鉢	150		120			長縫円区画文内に横位蛇文	内面暗褐色・外面暗褐色	内面に炭化物付着
第128図204	15号住居	土器	深鉢			(83)	飼縄繩文			内面暗褐色	内面暗褐色
第128図205	15号住居	土器	深鉢			120	(125)			内面暗褐色	内面暗褐色
第128図206	15号住居	上器	深鉢			(140)				内面暗褐色	内面暗褐色
第128図207	15号住居	土器	深鉢			(130)				内面暗褐色	底部ケズリ装飾
第128図208	15号住居	土器	深鉢			(130)				内面暗褐色	
第128図209	15号住居	土器	深鉢			180			全面に縄文、二段底部	内面暗褐色・外面暗褐色	内面・側面装飾
第129図210	15号住居	土器	深鉢			(140)			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	内面・側面装飾
第129図211	15号住居	上器	小型深鉢			(200)	(107)		ヘラによる沈縋・長縫円指頭圧痕	内面暗褐色	
第129図212	15号住居	土器	小型深鉢			84	(80)		全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	丁寧な整形
第129図213	15号住居	土器	小型深鉢			86			全面に縄文	内面暗褐色	
第129図214	15号住居	土器	小型深鉢			66			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	内面に炭化物付着
第129図215	15号住居	土器	深鉢			(80)			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	内面に炭化物付着
第129図216	15号住居	土器	深鉢			(120)			全面に縄文?	内面暗褐色	内面にスズ付着
第129図217	15号住居	土器	深鉢			126			縄文	内面暗褐色	内面にスズ付着
第129図218	15号住居	土器	深鉢			(192)			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第129図219	15号住居	土器	深鉢			(78)			全面に縄文	内面暗褐色	
第130図220	15号住居	土器	深鉢			(100)			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図221	15号住居	土器	深鉢			(120)			飼縄繩文	内面暗褐色	
第130図222	15号住居	土器	深鉢			(150)			全面に縄文	内面暗褐色	
第130図223	15号住居	土器	深鉢			(90)			無文・内面ヘラ彫痕痕著	内面暗褐色	
第130図224	15号住居	土器	深鉢			(60)			縦位沈縋文	内面暗褐色	内面に炭化物付着
第130図225	15号住居	土器	深鉢			(160)			無文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図226	15号住居	土器	深鉢			(110)			ヘラによる沈縋	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図227	15号住居	土器	深鉢			(100)			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	内面に炭化物付着
第130図228	15号住居	土器	深鉢			(64)			縄文	内面暗褐色	内面にスズ付着
第130図229	15号住居	土器	深鉢			84			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図230	15号住居	土器	深鉢			(160)			爪形文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図231	15号住居	土器	深鉢			(100)			全面に縄文	内面暗褐色	
第130図232	15号住居	土器	深鉢			(80)			飼縄繩文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図233	15号住居	土器	深鉢			(220)			全面に縄文	内面暗褐色・外面暗褐色	内面に炭化物付着
第130図234	15号住居	土器	深鉢			(70)			縄文	内面暗褐色	
第130図235	15号住居	土器	深鉢			(100)			無文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図236	15号住居	土器	深鉢			(100)			ケズリ縁著	内面暗褐色・外面暗褐色	
第130図237	15号住居	土器	深鉢			(80)			外面・底部クシケズリ	内面暗褐色	
第131図238	15号住居	土器	深鉢			(120)			無文	内面暗褐色	
第131図239	15号住居	土器	深鉢			(80)			ヘラによる沈縋	内面暗褐色・外面暗褐色	
第131図240	15号住居	土器	深鉢			(60)			粘土盤貼付により底部作成	内面暗褐色	
第131図241	15号住居	土器	深鉢			(90)			無文	内面暗褐色・外面暗褐色	
第131図242	15号住居	土器	深鉢			(120)			無文	内面暗褐色	
第131図243	15号住居	土器	深鉢			(100)			高台付、底部に指頭圧痕	内面暗褐色・外面暗褐色	内面にスズ付着
第131図244	15号住居	土器	深鉢			(110)				内面暗褐色・外面暗褐色	
第131図245	15号住居	土器	小型深鉢			(120)			無文	内面暗褐色・外面暗褐色	
						56			ヘラによる縦位沈縋文	内面暗褐色・外面暗褐色	

第19表 土器・土製品の観察表 (No.12) 單位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考	
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高	
第131図246	15号住居	上	器	小深鉢			52		内面褐色、外面褐色
第131図247	15号住居	上	器	深鉢		(100)		無文	内外面暗褐色
第131図248	15号住居	上	器	深鉢		(90)			内外面赤褐色
第131図249	15号住居	上	器	深鉢		(100)			内外面暗褐色
第131図250	15号住居	上	器	深鉢					無文
第131図251	15号住居	上	器	深鉢		(140)			内外面暗褐色
第131図252	15号住居	土	器	深鉢		(150)		底部網代痕	内山褐色、外山褐色
第131図253	15号住居	上	器	深鉢		(130)		横位・巣位方向に刻み	内面褐色、外面褐色
第131図254	15号住居	上	器	深鉢		(100)		無文	内面褐色、外面褐色
第131図255	15号住居	上	器	深鉢		(90)		縦上に指頭圧痕	内面褐色、外山褐色
第131図256	15号住居	上	器	深鉢		(70)		鈴文・区画文・沈線・刻み	内外面暗褐色
第131図257	15号住居	土	器	深鉢		(90)		無文	内外面暗褐色
第131図258	15号住居	上	器	深鉢		(90)		無文	内外面暗褐色
第131図259	15号住居	土	器	深鉢		(160)		鷺文	内外面暗褐色
第131図260	15号住居	上	器	深鉢		(130)		沈線	内面褐色、外山褐色
第132図261	15号住居	土	器	深鉢		(100)		無文	内面褐色、外山褐色 内面に朱物付
第132図262	15号住居	上	器	深鉢		(100)		ヘラによる巣位連続沈線文	内面褐色、外山褐色
第132図263	15号住居	土	器	深鉢		(130)		ヘラによる円形沈線文内に刻み	内面褐色、外山褐色
第132図264	15号住居	土	器	深鉢		(60)		ヘラによる巣位連続沈線文	内山褐色、外山褐色
第132図265	15号住居	土	器	深鉢		(80)		無文	内外面暗褐色
第133図 1	16号住居	上	器	深鉢				ヘラによる沈線	内外面褐色
第133図 2	16号住居	土	器	深鉢	(160)			無文	口縁装飾
第133図 3	16号住居	土	器	深鉢				巣位沈線上に横位・巣位蛇行縫帶文	内外面明褐色
第134図 1	17号住居	土	器	浅鉢	(170)			口部横位・重連駆刺文文、以下鷺文	内面褐色、外山褐色
第134図 2	17号住居	上	器	壺	(80)	63	155	外面ハケ整形後タチミガキ	内山褐色、外山褐色
第134図 3	17号住居	土	器	壺	(130)			内面細ハケ、外面粗ハケ	内面明褐色
第134図 4	17号住居	土	器	壺	(250)			外外面ハケ・ヘラミガキ	内外面明褐色
第134図 5	17号住居	上	器	壺		32		西面ハケ・外面ヘラミガキ・底部ヘラケズ	内面褐色、外山褐色
第134図 6	17号住居	上	器	壺	(170)			内外面ハケ	内山褐色、外山褐色
第134図 7	17号住居	土	器	壺	(160)			内外面ハケ	内面褐色
第134図 8	17号住居	土	器	高杯		(160)		内面ハケ・外面ハケ・ヘラミガキ	内面褐色、外山褐色
第134図 9	17号住居	上	器	台付壺		(130)		内外面ハケ	内面赤褐色
第134図 10	17号住居	土	器	台付壺		(110)		内外面ハケ	内面明褐色
第135図 1	18号住居	土	器	大型深鉢	(470)			沈線文上に横位蛇行縫帶文	内外面暗褐色
第135図 2	18号住居	土	十	十製品			(200)	継30×横81×厚12	上製円盤
第135図 3	18号住居	上	器	深鉢	(274)			口部下連続状刺突文、以下沈線	内外面暗褐色
第135図 4	18号住居	土	器	深鉢	170			流線文内に集合比拵・鶴形状沈線文	内外山暗褐色
第135図 5	18号住居	土	器	深鉢	(190)			区画文内に巣位集合沈線	内外面暗褐色
第135図 6	18号住居	土	器	大型深鉢				巣位沈線文上に巣位蛇行縫帶文	内外面暗褐色
第135図 7	18号住居	土	器	壺台		(124)			内面褐色、外山褐色
第135図 8	18号住居	土	器	深鉢					内外面褐色
第135図 9	18号住居	土	器	深鉢					内面褐色、外山褐色
第135図 10	18号住居	土	器	深鉢					把手
第135図 11	18号住居	土	器	深鉢					内面褐色、外山褐色
第135図 12	18号住居	上	器	深鉢					把手
第136図 13	18号住居	土	器	深鉢	(290)			山唇部に円文、以卜山南文内に巣位沈線文	内面褐色、外山褐色
第136図 14	18号住居	土	器	浅鉢	(240)			斜位沈線文上に斜位縫帶文	内山褐色、外山褐色
第136図 15	18号住居	上	器	深鉢	(200)			口部横位沈線文、以下巣位漏巻状縫帶文	内面褐色、外山褐色
第136図 16	18号住居	土	器	深鉢	(390)			半円内画文内に綱位沈線文、以下鷺文	内面褐色、外山褐色
第136図 17	18号住居	土	器	深鉢	(240)			無文	内面褐色、外山褐色
第136図 18	18号住居	土	器	深鉢				沈線文	内面褐色、外山褐色
第136図 19	18号住居	土	器	深鉢				漏巻状沈線文	内外面暗褐色
第136図 20	18号住居	土	器	深鉢				円形の刻み、横位沈線文	内外面褐色
第136図 21	18号住居	上	器	深鉢	(170)			画文による口縁装飾、透続刺突文	内外面暗褐色
第136図 22	18号住居	土	器	深鉢	(310)			斜位沈線文上に綱位蛇行沈線文	内外面暗褐色
								横位沈線文	内外面暗褐色

第20表 土器・上製品の観察表 (No.13) 単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値				施文・整形等	色調	備考
			種別	口径	脚径	底径			
第136図 23	18号住居	土器 深鉢	(170)				横位沈線文、以下細線文	内外山褐色	有孔(底部)
第136図 24	18号住居	土器 深鉢	(240)				口唇部横位沈線文、以下斜位沈線文	内外面明褐色	瓶向尖起
第136図 25	18号住居	土器 深鉢	(300)				無文	内面褐色・外面褐色	
第136図 26	18号住居	土器 深鉢	(160)				口唇部横位一重沈線文、以下斜位彫造条縫	内面褐色・外面褐色	内面に炭化物付
第136図 27	18号住居	土器 深鉢	(320)				無文	内面褐色	
第136図 28	18号住居	土器 浅鉢	(120)				無文	内外面黒褐色	
第136図 29	18号住居	土器 深鉢	(340)				ヘラによる横位沈線文	内外面暗褐色	
第136図 30	18号住居	土器 浅鉢?	(270)				綾文地に土手紐による隆帯	釉褐色・外褐色	
第136図 31	18号住居	土器 深鉢	(260)				口唇部横位沈線文	内外面褐色	
第136図 32	18号住居	土器 深鉢	(250)				綾文地に円形刻文	内外面褐色	
第136図 33	18号住居	土器 深鉢					有孔跨付土器?	内外面灰褐色	外側赤色
第136図 34	18号住居	土器 深鉢					頭部に横位沈線文、他綾文	内外面暗褐色	
第136図 35	18号住居	土器 深鉢	(90)				横位オタン貼付	内外面明褐色	
第136図 36	18号住居	土器 深鉢					横位・綾文蛇行帶文	内面褐色・外面褐色	
第136図 37	18号住居	土器 深鉢					溝巻状隆帯文間に斜位沈線文	内面褐色・外山褐色	
第136図 38	18号住居	土器 深鉢					斜位沈線文間に羅位蛇行沈線文	内面褐色・外褐色	
第137図 39	18号住居	土器 深鉢					綾文蛇行帶文間に横位沈線文	内面褐色・外褐色	
第137図 40	18号住居	土器 深鉢					輪位沈線文間に羅位蛇行帶文	内面褐色・外褐色	
第137図 41	18号住居	土器 深鉢					斜位横曲条縫線上に羅位蛇行沈線文	内面褐色・外褐色	
第137図 42	18号住居	土器 深鉢					無文	内面褐色・外前褐色	
第137図 43	18号住居	土器 深鉢					無文	内外面褐色	
第137図 44	18号住居	土器 深鉢					ヘラによる綾位沈線文	内外面褐色	
第137図 45	18号住居	土器 深鉢					縦位沈線文	内面褐色・外褐色	内面にスリット
第137図 46	18号住居	土器 深鉢					底部に砂粒残る	内外面褐色	内面にスリット
第137図 47	18号住居	土器 深鉢					無文	内外面褐色	
第137図 48	18号住居	土器 深鉢					無文	内外山暗褐色	
第137図 49	18号住居	土器 深鉢					無文	内面褐色・外面褐色	
第137図 50	18号住居	土器 深鉢					底部をヘラで整形	内面褐色・外面褐色	
第137図 51	18号住居	土器 深鉢					無文	内外面褐色	
第137図 52	18号住居	土器 深鉢					ヘラによる沈線文	内外面褐色	
第138図 1	3号土坑	土器 深鉢					ヘラによる沈線文	内外面褐色	波状口縫
第139図 1	4号土坑	土器 浅鉢	(110)				口唇部ヘラによる横位沈線文	内外面褐色	
第139図 2	4号土坑	土器 深鉢	(280)				ヘラによる横位沈線文の上に縦位連続沈線文	内外面明褐色	
第139図 3	4号土坑	土器 深鉢					綾文地に縦位雲形文・蛇行帶文、刻み	内外山暗褐色	
第139図 4	4号土坑	土器 深鉢					縦位帶文上に横位點付文、横位蛇行帶文	内面褐色・外面褐色	
第139図 5	4号土坑	土器 深鉢					底部ヘラミガキ	内外面褐色	
第139図 6	4号土坑	土器 高坏	(110)				内面ヘラケズリ・外面ヘラミガキ	内外山明褐色	混入遺物
第139図 7	4号土坑	土器 高坏	(120)				内面ヘラケズリ・外面ハケ	内外面明褐色	混入遺物
第140図 1	5号土坑	上製品					縫28×横33×厚11	内外面暗褐色	製刃盤
第140図 2	5号土坑	土器 深鉢	(260)				清文式に進行雲帶文、以下横位沈線文・系文	内面黑色・外前褐色	
第140図 3	5号土坑	土器 深鉢					二叉文・刻み	内面褐色・外面褐色	口縫裝飾
第140図 4	5号土坑	土器 深鉢					流線文	内外面暗褐色	
第140図 5	5号土坑	土器 深鉢					無文	内外面褐色	把手
第140図 6	5号土坑	土器 深鉢	(350)				無文	内外山暗褐色	口縫裝飾
第140図 7	5号土坑	土器 深鉢					横位沈線文	内外面暗褐色	
第140図 8	5号土坑	土器 深鉢	(250)				無文	内外面暗褐色	
第140図 9	5号土坑	土器 深鉢	(300)				横位隆帶文、以下綾文	内外面黑色	
第140図 10	5号土坑	土器 深鉢	(460)				区画文・刻み	内外面褐色	
第140図 11	5号土坑	土器 深鉢	(180)				無文	内外山褐色	肥厚系土器
第140図 12	5号土坑	土器 深鉢	(190)				頭部に横位蛇行貼付文	内面褐色・外褐色	
第141図 13	5号土坑	土器 台器?	(150)				無文	内外面暗褐色	
第141図 14	5号土坑	土器 深鉢					ヘラによる沈線文	内外山黑褐色	口縫裝飾
第141図 15	5号土坑	土器 深鉢	(340)				ヘラによる横位沈線文	内面褐色・外面褐色	
第141図 16	5号土坑	土器 浅鉢?	(310)				口縫部直立・口縫文以下横位帶文に連續弧形文	内外面暗褐色	
第141図 17	5号土坑	土器 深鉢	(180)				無文	内外面褐色	

第21表

土器・土製品の観察表 (No.14)

※単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調備考		
			種別	器形	口径	脚径			
第141図 18	5号土坑	土器	深鉢	(230)			横位二重沈線文間に格円文	内面褐色・外面銀色	
第141図 19	5号土坑	土器	浅鉢	(180)			口唇部横位連續平底竹管文、以下縦文	内面褐色・外面銀色	
第141図 20	5号土坑	土器	深鉢	(330)			無文	内外面暗褐色 内面赤	
第141図 21	5号土坑	土器	深鉢				横位蛇行貼付文、以下斜位貼付文	内外面褐色	
第141図 22	5号土坑	土器	深鉢				横位沈線文、縱位沈線文、蛇行貼付文	内面褐色・外面銀色	
第141図 23	5号土坑	土器	深鉢				流線文、蛇行貼付文、縱位沈線文	内外面褐色	
第141図 24	5号土坑	土器	深鉢				粘土貼付により底部を補強	内面褐色・外面銀色	
第141図 25	5号土坑	土器	深鉢			(90)		内外面黑褐色	
第141図 26	5号土坑	土器	深鉢			(80)		内面褐色・外面銀色	
第141図 27	5号土坑	土器	深鉢			(150)		内面褐色・外面銀色	
第141図 28	5号土坑	土器	深鉢			(110)		内面褐色・外面銀色	
第142図 1	6号土坑	土器	深鉢	(280)			ヘラによる横位二重沈線文	内外面褐色	
第142図 2	6号土坑	土器	深鉢	(190)			ヘラによる横位沈線文	内外面褐色	
第142図 3	6号土坑	土器	深鉢	(110)			ヘラによる横位沈線文	内外面黒褐色	
第142図 4	6号土坑	土器	浅鉢	(50)			連続円形刺突文	内外面暗褐色	
第142図 5	6号土坑	土器	深鉢	(250)			無文	内外面褐色	
第142図 6	6号土坑	土器	深鉢				「ハ」の字文・流線文・縦位沈線文	内外面暗褐色	
第142図 7	6号土坑	土器	深鉢				「ハ」による沈線文に縦位集合沈線文	内外面褐色	
第142図 8	6号土坑	土器	深鉢			(100)		内面黒色・外面銀色	
第142図 9	6号土坑	土器	深鉢			(110)		内外面褐色	
第143図 1	7号土坑	土器	深鉢				ヘラによる流線文	内外面暗褐色	
第143図 2	7号土坑	土器	深鉢				渦巻文	内外面暗褐色	
第143図 3	7号土坑	土器	深鉢				ヘラによる区画文方に「ハ」の字文・流線文	口縁装飾	
第143図 4	7号土坑	土器	深鉢	(80)			長柄円錐刺文	内外面暗褐色	
第143図 5	7号土坑	土器	深鉢			(90)		底部貼付痕	内外面褐色
第144図 1	8号土坑	土器	深鉢	(240)			口唇部に沈線文、以下長柄円錐刺文・亂文	内外面褐色	
第144図 2	8号土坑	土器	深鉢	(80)			無文	内外面褐色	
第144図 3	8号土坑	土器	深鉢				斜位沈線文	内面銀色・外銀色	
第144図 4	8号土坑	土器	深鉢			(90)		縦文	内面黒色・外銀色
第145図 1	9号土坑	土器	深鉢	(70)			円錐な整形	内外面暗褐色 内面赤	
第146図 1	10号土坑	土器	大型深鉢	548			縦位沈線文に渦巻文・蛇行縫合文・丸把手	内外面褐色 单独埋蔵	
第147図 1	11号土坑	土器	深鉢	(110)			横位連續円形刺突文、以下模位沈線文・亂文	内外面褐色	
第147図 2	11号土坑	土器	深鉢	(200)			無文	内外面褐色	
第147図 3	11号土坑	土器	深鉢	(90)			細麗文上に粘土粒による蛇行縫合帶	内外面褐色	
第147図 4	11号土坑	土器	深鉢	(140)			ヘラによる沈線文	内外面褐色	
第147図 5	11号土坑	土器	深鉢	(190)			無文	内面黒色・外面銀色	
第147図 6	11号土坑	土器	深鉢	(120)			ヘラによる沈線文	内外面黒褐色 波状口縁?	
第147図 7	11号土坑	土器	深鉢				把手手上に円形刺突文	内面銀色・外面銀色 把手	
第147図 8	11号土坑	土器	深鉢			(60)		無文	内外面褐色
第147図 9	11号土坑	土器	蓋	(150)			内外面ハケ	内外面明暗色 混入遺物	
第148図 1	12号土坑	土器	深鉢	176			(219) 游文・区画文・「ハ」の字文・点口縁装飾	内外面暗褐色 面に鉛附着	
第148図 2	12号土坑	土器	深鉢	(130)			無文、有孔把手土器?	内面黒色・外面銀色 内外面赤	
第148図 3	12号土坑	土器	深鉢				ヘラによる横位・縦位沈線文	内面黒色・外面銀色 細状口縁	
第148図 4	12号土坑	土器	深鉢	(300)			無文	内面銀色・外面銀色	
第148図 5	12号土坑	土器	深鉢	(270)			無文	内外面褐色	
第148図 6	12号土坑	土器	深鉢	(80)			無文、有孔把手土器?	内外面褐色 内外面赤	
第148図 7	12号土坑	土器	浅鉢	(150)			口唇部横位沈線文、以下粗面文	内面銀色・外面銀色	
第148図 8	12号土坑	土器	深鉢	(230)			無文	内外面褐色	
第148図 9	12号土坑	土器	深鉢	(200)			無文	内外面暗褐色 肥厚系土器	
第148図 10	12号土坑	土器	深鉢				ヘラによる不整区画文内に縦文	内外面黒褐色 口縁装飾	
第148図 11	12号土坑	土器	深鉢				縫帶による十字文	内外面暗褐色	
第148図 12	12号土坑	土器	深鉢				縦位沈線文上に縦位蛇行沈線文	内面黒色・外面銀色	
第148図 13	12号土坑	土器	深鉢				横位蛇行縫合文	内外面褐色	
第148図 14	12号土坑	土器	深鉢			(110)		無文、外銀色	
第148図 15	12号土坑	土器	深鉢			(90)		内面黒色・外面銀色	
第149図 1	13号土坑	土器	深鉢	(70)			無文	内面銀色・外面銀色 混入遺物	

第22表 土器・土製品の観察表 (No.15) 単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態 種別	器形	計測値 口径 脚径 底径	施文・整形等	色調	備考
第149図	2 13号上坑	上器	深鉢		底部貼付痕	内外山褐色	混入遺物
第149図	3 13号土坑	土器	甕	(160)	内面ヘラミガキ, 外面ハケ	内外山褐色	折返口縁
第149図	4 13号土坑	土器	高环	(130)		内外面明褐色	
第149図	5 13号土坑	上器	高环		内面ヘラケズリ, 外面ヘラミガキ	内外面褐色	
第150図	1 1号溝	土器	深鉢		ヘラによる三角区画文内に三叉文	内外面褐色	波状口縁
第150図	2 1号溝	土器	深鉢	(110)	無文	内外面褐色	混入遺物
第151図	1 2号溝	土器	深鉢	(170)	無文	内外面褐色	混入遺物
第151図	2 2号溝	土器	高环	(160)	内面ヘラミガキ, 外面ナデ	内外面暗褐色	
第151図	3 2号溝	土器	高环	(110)	内外面ロクロ痕跡	内外面明褐色	
第152図	1 3号溝	土器	深鉢		ヘラによる沈線	内外面暗褐色	混入遺物
第152図	2 3号溝	土器	高杯	(210)	内面ヘラミガキ, 外面ヘラケズリ	内外面明褐色	
第152図	3 3号溝	土器	壺		難部のみ, 内外面ハケ	内外面明褐色	前面にスリ付
第152図	4 3号溝	土器	高环	40	全面ヘラ整形	内外山明褐色	
第152図	5 3号溝	土器	高环			内外山褐色	糊接合部
第152図	6 3号溝	土器	高杯	(140)	内面ヘラケズリ, 外面ヘラミガキ	内外面明褐色	
第153図	1 4号溝	土器	深鉢	(140)	有孔跨付土器?	内外面暗褐色	混入遺物
第153図	2 4号溝	土器	深鉢	(150)	無文	内外山褐色	波状口縁
第153図	3 4号溝	土器	深鉢	(110)	底部代痕	内外面褐色	混入遺物
第153図	4 4号溝	土器	塊	(80)	外面部ナデ	内外面明褐色	
第153図	5 4号溝	土器	壺	(60)	内外山ナデ	内外面暗褐色	
第154図	1 5号溝	土器	深鉢		把手, 両側にヘラによる沈線	内外面暗褐色	18号住居人遺物
第154図	2 5号溝	土器	深鉢	(90)	黒褐色石包入, 無文	内外山暗褐色	18号住居人遺物
第154図	3 5号溝	土器	深鉢	(270)	口部に横位二重沈線文, 以下側位沈線文	内外山暗褐色	18号住居人遺物
第154図	4 5号溝	土器	深鉢	(280)	ヘラによる横位沈線文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	5 5号溝	土器	深鉢	(210)	ヘラによる横位沈線文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	6 5号溝	土器	深鉢		波状口縁, 滴巻文・縦位沈線文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	7 5号溝	土器	深鉢	(200)	横位沈線文以降垂直線上に蛇行沈線文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	8 5号溝	土器	浅鉢	(190)	全面に纏文	内外面暗褐色	16号住居人遺物
第154図	9 5号溝	土器	深鉢	(290)	横位沈線文間に縦位沈線文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	10 5号溝	土器	深鉢	(90)	流線文内に纏文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	11 5号溝	土器	深鉢	(150)	続長統稍円刺突文	内外面暗褐色	16号住居人遺物
第154図	12 5号溝	土器	深鉢	(110)	粘土貼付による縦位縫帶	内外面暗褐色	16号住居人遺物
第154図	13 5号溝	土器	深鉢		纏文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	14 5号溝	土器	深鉢		蛇行降帯文・縦位沈線文	内外面暗褐色	16号住居人遺物
第154図	15 5号溝	土器	深鉢		縦位沈線文・縫帶上に刻み	内外面暗褐色	16号住居人遺物
第154図	16 5号溝	土器	深鉢		縦位沈線文に縦位蛇行沈線文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	17 5号溝	土器	深鉢	110	縦位降帯間に縦位集合沈線	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	18 5号溝	土器	深鉢	(180)	纏文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	19 5号溝	土器	深鉢	(100)	底部斜片状, 全面に纏文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	20 5号溝	土器	深鉢	90	不整円形区画文内に縦位沈線文	内外山暗褐色	16号住居人遺物
第154図	21 5号溝	土器	壺	(170)	内外面ハケ	内外面明褐色	
第154図	22 5号溝	土器	高环	(130)	内面ハケ	内外面明褐色	外面赤彩
第154図	23 5号溝	土器	壺	(130)	内面ヘラミガキ, 外面ハケ	内外面明褐色	
第154図	24 5号溝	土器	壺	(160)	内外面ハケ	内外面明褐色	折返口縁
第154図	25 5号溝	土器	壺	(150)	外面部ハケ	内外面明褐色	
第154図	26 5号溝	土器	高环	(150)	外面部ヘラミガキ	内外面暗褐色	外面赤彩
第155図	1 1号堅穴	土器	深鉢	(80)	流線文	内外山褐色	内外山褐色
第155図	2 1号堅穴	土器	深鉢		無文	内外山褐色	外面褐色
第155図	3 1号堅穴	土器	深鉢	(120)	ヘラによる横位・縦位沈線文	内外面褐色	
第155図	4 1号堅穴	土器	深鉢	(230)	無文	内外山褐色	外面褐色
第155図	5 1号堅穴	土器	深鉢	(140)	無文	内外山褐色	外面褐色
第155図	6 1号堅穴	土器	深鉢	(120)	I縫帶に横位二重圓形刺突文, 以下区画文内に縦位	内外山褐色	16号住居人遺物
第155図	7 1号堅穴	土器	深鉢	(140)	全面に纏文	内外山褐色	外面褐色
第155図	8 1号堅穴	土器	深鉢	(150)	口部横位沈線文, 以下縦位逃続沈線文	内外面暗褐色	波状口縁
第155図	9 1号堅穴	土器	深鉢		縫帶縫帶上に半折竹管文, 以下細纏文	内外山褐色	外面褐色

第23表

## 土器・土製品の観察表 (No.16)

※単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考	
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高	
第155図 10	1号窓穴	上 器 深 鉢							縦位沈線文上に継位蛇行縫合文 内面褐色、外面褐色
第155図 11	1号窓穴	十 器 深 鉢			(170)				無文 内外面赤褐色
第155図 12	1号窓穴	土 器 深 鉢					(120)		無文 内外面暗褐色
第156図 1	1号古墳	土 器 大型深鉢	(320)		(170)	(507)			42.3mm装飾、北緯を有す長都門式圓文 内面褐色、外面褐色
第156図 2	1号古墳	土 器 浅 鉢	(390)		(150)	(135)			口唇部に押升縫合 内面褐色、外面褐色
第156図 3	1号古墳	土 器 深 鉢							全面粗雑な縄文 内面褐色、外面褐色
第157図 4	1号古墳	上 製品							土製円盤、絶13×横45×厚13 内面褐色、外面褐色
第157図 5	1号古墳	土 器 深 鉢							把手、無文 内外面暗褐色
第157図 6	1号古墳	土 器 深 鉢							口唇部、手平・半円形内面に継位連續沈線文 内外面暗褐色
第157図 7	1号古墳	上 器 深 鉢							口唇装飾、底部に刺込み 内面褐色、外面褐色
第157図 8	1号古墳	土 器 深 鉢							II継發縫、継位・斜位連續沈線文 内外面暗褐色
第157図 9	1号古墳	土 器 深 鉢	(130)						口唇部装飾縄文、以「継位沈線文」標示上に刻み 内面褐色、外面褐色
第157図 10	1号古墳	上 器 深 鉢	(260)						無文 内面褐色、外面褐色
第157図 11	1号古墳	上 器 深 鉢	(190)						II継發長焰門式圓文内に継位沈線文、以下圓文 内外面暗褐色
第157図 12	1号古墳	土 器 浅鉢?	(140)						口唇部縫合沈線文、以下継位連續沈線文 内面褐色、外面褐色
第157図 13	1号古墳	土 器 深 鉢	(170)						波状U縫合、底降帯上に継続沈線文 内外面暗褐色
第157図 14	1号古墳	土 器 深 鉢	(130)						直形U縫合、継位沈線文 内外面暗褐色
第157図 15	1号古墳	土 器 深 鉢	(280)						粘土縫合付、無文 内外面暗褐色
第157図 16	1号古墳	土 器 深 鉢							流線文 内面褐色、外面褐色
第157図 17	1号古墳	土 器 深 鉢							粘土縫合付による継位連續蛇行文 内外面暗褐色
第157図 18	1号古墳	土 器 深 鉢							全面に縄文 内外面明褐色
第157図 19	1号古墳	土 器 深 鉢			(80)				内面褐色、外面褐色 内面褐色、外面褐色
第157図 20	1号古墳	上 器 深 鉢			(150)				底降帯代裏 内面褐色、外面褐色
第157図 21	1号古墳	上 器 深 鉢			(100)				向面褐色、背面褐色 内面褐色、外面褐色
第158図 1	グリッド	七 器 台付縫			(80)				内外面明褐色 内外面明褐色
第158図 2	グリッド	土 器 瓢	(180)						内外面明褐色 内外面明褐色
第158図 3	グリッド	上 器 深 鉢	(180)						無文 内外面暗褐色
第158図 4	グリッド	土 器 深 鉢	(190)						不整区画文 内外面暗褐色
第158図 5	グリッド	土 器 深 鉢							Q底、D脚 内外面暗褐色
第158図 6	グリッド	上 器 深 鉢							溝文 内外面暗褐色
第158図 7	グリッド	土 器 深 鉢							全面に縄文 内面褐色、外面褐色
第158図 8	グリッド	土 器 深 鉢	(290)						無文 内外面暗褐色
第158図 9	グリッド	上 器 壺			(60)				内外面ハケ、底部木葉痕 内面褐色、外面褐色
第159図 10	グリッド	土 器 小型壺			(40)				内外面明褐色 内外面明褐色
第159図 11	グリッド	土 器 深 鉢	(140)						横位連續円形縫合文、以下継位沈線間に縄文 内外面明褐色
第159図 12	グリッド	土 器 深 鉢	(280)						ヘラによる沈線 内面褐色、外面褐色
第159図 13	グリッド	土 器 壺			(60)				R-2区 内外面明褐色
第159図 14	グリッド	土 器 深 鉢	(240)						無文 内外面明褐色
第159図 15	グリッド	土 器 深 鉢			(120)				S-1区 内外面明褐色
第159図 16	グリッド	上 器 深 鉢			(90)				T-2区 内外面暗褐色
第159図 17	グリッド	土 器 深 鉢							ヘラによる沈線 内外面暗褐色
第159図 18	グリッド	土 器 深 鉢	(170)						V底、W縫 横位縫合上に半裁竹管文 内外面暗褐色
第159図 19	グリッド	上 器 深 鉢	(400)						不整区画文間に縄文、底降帯上に刻み 内面褐色、外面褐色
第159図 20	グリッド	土 器 台付縫			(140)				外面部 内外面褐色
第159図 21	グリッド	土 器 深 鉢	(140)						全面に縄文 内外面暗褐色
第159図 22	グリッド	上 器 深 鉢	(260)						I1斜部縫合位連續沈線文 内外面褐色
第159図 23	グリッド	土 器 深 鉢	(130)						Y-1区 内外面明褐色
第159図 24	グリッド	土 器 深 鉢							「ハ」の字文 内面褐色、外面褐色
第159図 25	グリッド	上 器 深 鉢							Y-1区 内外面暗褐色
第159図 26	グリッド	土 器 深 鉢							縫帶上に刻み 内外面暗褐色
第159図 27	グリッド	土 器 深 鉢							口唇部横位沈線文、以下継位連續沈線文 内外面暗褐色
第159図 28	グリッド	上 器 深 鉢							口唇部横位沈線文、以下継位連續沈線文 内外面褐色
第159図 29	グリッド	土 器 深 鉢							継位・斜位沈線文上に蛇行縫合文 内面褐色、外面褐色
第159図 30	グリッド	土 製品							縫(30)×横(50)×厚14 内外面明褐色
第159図 31-1	グリッド	上 器 深 鉢							不整区画文内に「ハ」の字文 内外面明褐色

第24表

土器・土製品の観察表 (No.17)

単位:mm / ( ) 内の数値は推定値

図番号	出上位置	形態	計測値			施文・整形等	色調	備考			
			種別	器形	口径	脚径	底径	器高			
第159図31-2	グリッド	土製品							銅・右足部、腰みのを表現	内外面明褐色 CG-3区・土偶	
第159図32	グリッド	土器	深鉢						中央に刺文文	外面暗褐色 EB-3区・把手	
第159図33	グリッド	土器	深鉢	(200)					口唇部粘土層による又当文内に口形刺文	内外面・外腹側面 AA-3区・所持品	
第159図34	グリッド	土器	深鉢				(80)			内面褐色・呑吸器裏色	△△-1区
第159図35	グリッド	土器	深鉢						溝巻文・ニ叉文	内面褐色・外筋裏色	△△-3区・口唇部
第159図36	グリッド	土器	深鉢						中央にヘラによる沈縫	内外面褐色	△△-3区・口唇部
第159図37	グリッド	土器	深鉢						溝巻文による口唇部折下による沈縫	内外面暗褐色	△△-2区
第160図38	グリッド	土器	小型深鉢	(120)					口唇部に横位蛇行帶文、以下細繩文	内外面暗褐色	AA-3区
第160図39	グリッド	土器	深鉢						口縁斜斬、斜位・横位沈縫文に粘土絆帶	内外面暗褐色	AA-1・2区
第160図40	グリッド	土器	深鉢	(140)					口唇部・底部・外腹側面	△△-2区	
第160図41	グリッド	土器	深鉢	(520)					無文、肥厚系土器	内外面暗褐色	△△-2区
第160図42	グリッド	土器	深鉢	(390)					ヘラによる整形痕顯著	内腹側・外筋裏色	AA-2区
第160図43	グリッド	土器	小型深鉢						溝巻文	内外面暗褐色	AA-3区・輪縫
第160図44	グリッド	土器	深鉢						縦位沈縫文間に斜位沈縫文	内腹側・外筋裏色	△△-2区
第160図45	グリッド	土器	深鉢				(160)		無文	内外面褐色	AA-2区
第160図46	グリッド	土器	深鉢				(70)			内外面暗褐色	AA-2区
第160図47	グリッド	土器	高环				(150)		内面ヘラミガキ・外面ハケ	内外面褐色	△△-2区
第160図48	グリッド	土器	深鉢	(300)					肥厚系土器	内外面褐色	BB-2区
第160図49	グリッド	土器	深鉢	(200)					口唇部流線文	内外面暗褐色	BB-2区
第160図50	グリッド	土器	深鉢	(250)					縦位沈縫文間に横位沈縫文	内腹側・外筋裏色	BB-2区
第160図51	グリッド	土器	深鉢				(120)		底部砂粒残る	内外面明褐色	BB-2区
第160図52	グリッド	土器	深鉢				(110)		底部網代張	外腹側面・外筋裏色	BB-2区
第160図53	グリッド	土器	深鉢				(90)		内腹側・外筋裏色	BB-2区	
第160図54	グリッド	土製品							右手	内外面暗褐色	CC-3区・土偶
第160図55	グリッド	土器	大型深鉢						口唇部装飾部にニ叉文	内腹側・外筋裏色	CC-3区・輪縫
第160図56	グリッド	土器	深鉢						溝巻文	内外面暗褐色	CC-3区・斜口縫
第160図57	グリッド	土器	深鉢						内外面暗褐色	CC-3区・輪縫	
第160図58	グリッド	土器	深鉢	(260)					縦位沈縫文	内腹側・外筋裏色	CC-3区
第160図59	グリッド	土器	深鉢						口唇部巻状沈縫文	内外面褐色	CC-3区・重複面
第161図60	グリッド	土器	深鉢				78		ヘラによる縦位沈縫文間に縦位集合沈縫	内腹側・外筋裏色	CC-3区
第161図61	グリッド	土器	深鉢				(100)			内外面暗褐色	DD-1区
第161図62	グリッド	土器	高环	(100)						内外面明褐色	DD-1区
第161図63	グリッド	土器	深鉢	(170)					流線文上に縦位蛇行隆帯文	内腹褐色・外筋色	DD-2区
第161図64	グリッド	土器	深鉢	(280)					無文	内腹褐色・外筋裏色	DD-2区・斜口縫
第161図65	グリッド	土器	深鉢						縦位沈縫文・流線文	内外面暗褐色	DD-3区・輪縫
第161図66	グリッド	土器	深鉢						口唇部沈縫文・縫美文・以下横位沈縫文・覆文	内外面褐色	DD-3区・輪縫
第161図67	グリッド	土器	深鉢	(300)						内面褐色・外筋裏色	DD-4区・褐色上着
第161図68	グリッド	土器	浅鉢?				(110)		無文	内腹褐色・外筋裏色	DD-2区
第161図69	グリッド	土器	深鉢				(120)		底部網代張?	内腹褐色・外筋裏色	EE-2区
第161図70	グリッド	土器	深鉢				(80)			内腹褐色・外筋裏色	EE-2区
第161図71	グリッド	土器	深鉢	(450)					無文、肥厚系土器	内腹褐色・外筋裏色	EE-3区
第161図72	グリッド	土器	深鉢	(360)					口唇部へラによる横位沈縫文・以下闊文	内腹褐色・外筋裏色	EE-3区
第161図73	グリッド	土器	深鉢						ヘラによる斜位沈縫文	内外面暗褐色	EE-3区
第161図74	グリッド	土器	深鉢	(150)					粘土層による口唇部裏面の間に菱形・斜位沈縫文	内外面暗褐色	EE-3区
第161図75	グリッド	土器	深鉢				(80)		底部網代張	内面褐色・外筋裏色	EE-3区
第161図76	グリッド	土器	台付甕	(160)					外面ハケ・S字状口縫	内外面褐色	EE-3区
第161図77	グリッド	土器	深鉢	(170)					口唇部ヘラによる溝巻文・横位沈縫文	内腹褐色・外筋裏色	FF-3区・輪縫
第161図78	グリッド	土器	深鉢	(390)					無文	内外面暗褐色	FF-4区
第161図79	グリッド	土器	深鉢	(250)					ヘラによる不整区画文内に編文	内腹褐色・外筋裏色	FF-3区
第161図80	グリッド	土器	深鉢	(190)					口唇部ヘラによる優位...布化薪文・以下前垂綱・外筋裏色	内腹褐色・外筋裏色	FF-3区
第161図81	グリッド	土器	深鉢						ヘラによる沈縫	内腹褐色・外筋裏色	FF-4区
第161図82	グリッド	土器	高环	(150)					内面ヘラミガキ・外面ハケズリ	内外面明褐色	GG-3区
第161図83	グリッド	土器	深鉢	(270)					無文	内腹褐色・外筋裏色	GG-4区
第162図84	グリッド	土器	深鉢				(70)		輪縫痕顯著	内外面暗褐色	GG-4区
第162図85	グリッド	土器	深鉢				(80)			内外面赤褐色	GG-4区

第25表

土器・土製品の観察表 (No.18)

単位:mm / ( )内の数値は推定値

図番号	出土位置	形態別	器形	計測値			施文・整形等	色調	備考
				口径	脚径	底径			
第162図 86	グリッド上	土器	小型鉢	(110)					内外面明褐色 GG-4区
第162図 87	グリッド上	土器	深鉢			(60)	底部へラケズリ		内外面暗褐色 IIII-1区
第163図 1	試掘坑	土製品					横40×横35×厚8	内外面褐色・角山褐色	
第163図 2	試掘坑	土器	深鉢	(420)			無文	内外面暗褐色	第2試掘坑
第163図 3	試掘坑	土器	深鉢	(330)			無文	内外面褐色	第4試掘坑
第163図 4	試掘坑	土器	深鉢	(190)			ヘラによる沈縫文間に斜位集合沈縫	内面褐色・外面褐色	第6試掘坑
第163図 5	試掘坑	土器	深鉢			(170)	ヘラによる縦位沈縫文	内面褐色・外面褐色	第6試掘坑
第163図 6	試掘坑	土器	深鉢				把手(尖部)にヘラによる沈縫、他縫文	内外面暗褐色	把手(尖部)・口縫文
第163図 7	試掘坑	土器	深鉢	(180)			ヘラによる沈縫	内外面暗褐色	第6試掘坑
第163図 8	試掘坑	土器	深鉢				粘土紙による口縫装飾	内面褐色・外面褐色	第6試掘坑
第163図 9	試掘坑	土器	深鉢	(130)			口縫文へによる横位二重縫文・下斜位沈縫文	内外面暗褐色	第6試掘坑
第163図 10	試掘坑	土器	深鉢				頭部に蛇を表現	内外面暗褐色	内面褐色・外面褐色
第164図 1	C IX内	上製品					縦27×横28×厚12	内外面褐色	土製円盤
第164図 2	C区内	土器	深鉢				上面両端に刻み	内外面暗褐色	把手
第164図 3	C区内	土器	深鉢				ヘラによる円文	内面褐色・外面褐色	内面褐色・口縫文
第164図 4	C区内	土器	浅鉢	(220)			全面に御縫文	内面褐色	
第164図 5	C区内	土器	深鉢	(100)			口縫文へによる円文内に3点円形刺突文	内面褐色・外面褐色	
第164図 6	C区内	土器	深鉢				「ハ」の字文	内外面褐色	修正痕
第164図 7	C区内	土器	深鉢				押型文系土器	内外面暗褐色	
第164図 8	C区内	土器	高環	(210)			外側へラミガキ	内外面褐色	
第165図 1	調査区内	土製品						内外面褐色	上属(左足部)
第165図 2	調査区内	上製品					縦(70)×横(75)×厚14	内面褐色・外面褐色	大型土製円盤
第165図 3	調査区内	土器	深鉢					内外面褐色	把手
第165図 4	調査区内	土器	深鉢				「横縫縫文」に斜位・円文・斜位沈縫文	内外面暗褐色	縫縫装飾
第165図 5	調査区内	土器	深鉢				「横縫縫文」以下斜位沈縫文	内外面暗褐色	縫縫装飾
第165図 6	調査区内	土器	深鉢				口縫装飾上に圓巻文、以下縫文	内面褐色・外面褐色	口縫装飾
第165図 7	調査区内	土器	深鉢	(320)			口縫部横位・重円形刺突文	内外面褐色	
第165図 8	調査区内	土器	深鉢	(180)			口縫部溝亜文、以・縫位・斜位沈縫文	内面褐色・外面褐色	
第165図 9	調査区内	土器	深鉢	(220)			口縫部沈縫文、直上に円文、以下斜位沈縫文	内面褐色・外面褐色	
第165図 10	調査区内	土器	深鉢				区画文内に斜位沈縫文	内面褐色・外面褐色	把手
第165図 11	調査区内	土器	深鉢				口縫部溝亜文・両面文内に縦位集合沈縫	内外面褐色	
第165図 12	調査区内	土器	深鉢				ヘラによる流縫文	内外面暗褐色	修正痕
第165図 13	調査区内	土器	深鉢				被位沈縫文間に斜位沈縫文・粗雑な施文	内面褐色・外面褐色	
第165図 14	調査区内	土器	深鉢	(120)			無文	内外面暗褐色	
第165図 15	調査区内	土器	台付壺	(110)			内外面ハケ	内外面明褐色	
第166図 1	地表	土器	台付壺				内面へラケズリ・外面ハケ	内外面明褐色	縫縫合部塗装

第26表

石器の観察表 (No. 1)

章数値は残存値／( )内の数値は推定値

図番号	出土位置	種類	計測値				石材	形態	備考
			長さmm	幅mm	厚さmm	重量g			
1	2号住居	赤色顔料	36	34	27	38.6			写真図版103参照
2	2号住居	赤色顔料	39	40	15	31.2			写真図版103参照
3	2号住居	赤色顔料				480			分析資料・写真図版なし
4	2号住居	赤色顔料	29	32	19	18.4			写真図版103参照
5	2号住居	赤色顔料	59	42	24	81			写真図版103参照
6	2号住居	赤色顔料	36	25	20	15.8			写真図版103参照
第192回	7号住居	石鐵	19	14	10	0.5	黒曜石		
第192回	8号住居	石鐵	22	14	9	0.7	黒曜石		
第167回	3号住居	打製石斧	18.5	27	23	31.4			
第167回	2号住居	石斧	138	120	55	1,430			
第192回	3号住居	石錐	20	14	12	1.1	黒曜石		
1	4号住居	砥石	135	110	53	240	蛭石		写真図版105参照
2	4号住居	赤色顔料	51	34	33	70			写真図版なし
第168回	1号住居	磨石	73	64	14	120			
第168回	2号住居	磨石	47	59	23	94.5			
第168回	3号住居	石皿	196	290	46	3,300			
4	6号住居	赤色顔料	78	52	49	170			写真図版なし
第169回	1号住居	乳棒	(158)	61	38	510			
第169回	2号住居	磨製石斧	(76)	57	31	230			
第169回	3号住居	磨石	(107)	75	53	630			
第169回	4号住居	磨凹石	(127)	66	44	630			
第169回	5号住居	磨石	97	101	17	210			
第169回	6号住居	磨石	51	44	19	41.2			
第169回	7号住居	石匙	123	66	17	150			
第192回	8号住居	石鐵	(13)	(17)	1.5	0.5	黒曜石		
第170回	8号住居	打製石斧	103	40	17	83			
第170回	8号住居	磨石	(159)	111	34	980			
第170回	3号住居	磨石	49	108	71	580			
第170回	4号住居	磨石	105	92	18	240			
第171回	5号住居	磨石	(72)	(66)	53	370			
第171回	6号住居	磨石	(64)	66	61	260			
第171回	7号住居	磨石	(62)	76	52	390			
第171回	8号住居	磨石	101	60	47	440			
第171回	9号住居	敲石	130	139	33	990			
第171回	10号住居	石皿	(96)	(192)	88	1,250			
第171回	11号住居	石棒	(197)	90	102	3,000			
第192回	12号住居	打製石斧	76	30	7.5	24.8			
第192回	13号住居	石鐵	(13)	(15)	2	0.6	黒曜石		
第192回	1号住居	打製石斧	(63)	40	18	61.5			
第172回	2号住居	磨石	(42)	60	25	85.5			
第172回	3号住居	磨凹石	94	80	46	490.5			
第172回	4号住居	磨石	100	58	42	400			
第172回	5号住居	敲石	(57)	51	49	220			
第172回	6号住居	磨石	(69)	(85)	(41)	260			
第172回	7号住居	敲石	(161)	94	49	1,010			
第172回	8号住居	敲石?	(66)	52	24	120			
第192回	9号住居	石鐵	(14)	15	3	0.9	黒曜石		
第173回	1号住居	打製石斧	133	67	27	300			
第173回	2号住居	石匙	(85)	(46)	9	55.5			
第173回	3号住居	乳棒	(85)	(53)	(41)	210			
第173回	4号住居	磨石	(104)	107	74	1,090			
第173回	5号住居	小型石皿	(93)	(103)	49	690			
第173回	6号住居	磨石	(82)	60	48	400			
第173回	7号住居	磨石	(87)	120	21	350			
第173回	8号住居	磨凹石	80	71	58	500			

第27表

石器の観察表 (No. 2)

※数値は残存値／( )内の数値は推定値

図番号	出土位置	種類	計測値			石材	形態	備考	
			長さmm	幅mm	厚さmm				
第173図 9	10号住居	磨凹石	(70)	99	50	420	凹石 2面使用	全面磨痕あり	
第173図 10	10号住居	凹石	119	92	19	480	凹石 4面使用	敲石併用・敲石上ト2面使用	
第173図 11	10号住居	磨凹石	168	128	107	3,000	凹石 2面使用	全面磨痕あり	
第173図 12	10号住居	磨凹石	76	70	42	270	凹石 3面使用	全面磨痕あり	
第173図 13	10号住居	敲石	72	111	22	310	1面使用	把手付	
第173図 14	10号住居	磨石	147	89	111	1,710	1面使用		
第173図 15	10号住居	磨凹石	(87)	77	41.5	500	1面使用	敲石併用?	
第174図 16	10号住居	敲石	(79)	87	27	260	1面使用		
第174図 17	10号住居	石皿	(248)	(146)	(53)	1,930	1面使用		
第174図 18	10号住居	敲石	79	80	22	200	1面使用		
第174図 19	10号住居	石皿	(122)	(118)	(50)	1,220	1面使用		
第192図 20	10号住居	打製石斧	59	37	8	17.2			
第192図 21	10号住居	石匙	63	55	9.5	37			
	22	10号住居	赤色顔料	46	49	58	260	写真図版なし	
第192図 23	10号住居	石鍼	15	13.5	3	0.9	黒曜石		
第192図 24	11号住居	石錐	82	30	4	32.6			
第192図 25	11号住居	石匙	50	57	8.5	26			
第175図 1	12号住居	打製石斧	108	54	21	190.5			
第175図 2	12号住居	磨石	139	55	60	700	1面使用		
第175図 3	12号住居	磨石	(50)	42	(42)	110	残存部1面使用	凹石併用?	
第175図 4	12号住居	敲石	(193)	62	52	1,110			
第175図 5	12号住居	多孔石	161	149	73	3,500	1面使用	全面を磨って整形か?	
第176図 1	14号住居	打製石斧	102	59	20	140			
第176図 2	14号住居	磨石	72	51	37	190	全面使用		
第177図 1	15号住居	打製石斧	124.5	50	13	230			
第177図 2	15号住居	打製石斧	75	57	17	110			
第177図 3	15号住居	打製石斧	116	62	20	195			
第177図 4	15号住居	打製石斧	111	63	16	150			
第177図 5	15号住居	打製石斧	100	47	18.5	130			
第177図 6	15号住居	打製石斧	111	70	27	230			
第177図 7	15号住居	打製石斧	82	42	9	46.6			
第177図 8	15号住居	打製石斧	81	43	17	76			
第177図 9	15号住居	打製石斧	(74)	(48)	20	79.5			
第177図 10	15号住居	磨製石斧	(89.5)	(51)	(33.5)	230		よく研磨されている	
第177図 11	15号住居	磨製石斧	(65)	(34.5)	(15)	27			
第177図 12	15号住居	磨製石斧	(52.5)	(42)	(10)	28.8			
第177図 13	15号住居	乳棒	(137)	(51)	(34)	360			
第177図 14	15号住居	乳棒	(75)	(47)	(26)	150			
第177図 15	15号住居	磨凹石	(111)	(96)	(53.5)	820	凹石 2面使用	全面磨痕あり	
第177図 16	15号住居	四石	116	74	43	580	2面使用		
第177図 17	15号住居	凹石	(82)	(105.5)	(35)	600	2面使用		
第177図 18	15号住居	磨石	(89)	(88)	(52)	510	全面使用		
第177図 19	15号住居	凹石	132	62	45	380		3面2点使用・1面1点使用	
第177図 20	15号住居	磨凹石	(106)	(77)	(61.5)	660	磨石 2面使用	凹石 4面使用	
第177図 21	15号住居	磨石	80	62.5	49	350	全面使用	凹石併用?	
第177図 22	15号住居	磨石	(70.5)	(104)	(54)	460	全面使用		
第178図 23	15号住居	磨凹石	95	62	43	310	凹石 3面使用	磨石 1面使用	
第178図 24	15号住居	磨凹石	(117)	(70)	(49)	640	凹石 2面使用	敲石併用・磨石全面・敲石1面使用	
第178図 25	15号住居	磨石	(75)	(64)	(60)	360	2面使用		
第178図 26	15号住居	磨石	(61.5)	(66)	(87)	420	全面使用		
第178図 27	15号住居	磨石	(67)	(72)	(49.5)	330	2面使用		
第178図 28	15号住居	磨石	(76)	(70)	(67.5)	445	全面使用		
第178図 29	15号住居	磨凹石	70	56	35.5	160	凹石 2面使用	全面磨痕あり	
第178図 30	15号住居	磨石	(75)	(64)	95	460	1面使用	凹石併用	
第178図 31	15号住居	磨凹石	(92.5)	(66.5)	(58)	430	磨石全面使用		

第28表

石器の觀察表 (No. 3)

率数値は残存値／( )内の数値は推定値

図番号	出土位置	種類	計測値				石材	形態	備考
			長さmm	幅mm	厚さmm	重量g			
第178回 32	15号住居	磨凹石	(72)	(97)	(34.5)	320		凹石 2面使用 全面磨痕あり	
第178回 33	15号住居	磨凹石	(59)	(74)	(43)	220		凹石 1面使用 全面磨痕あり	
第178回 34	15号住居	磨石	(76)	(66)	(57)	330		2面使用	
第178回 35	15号住居	凹石	110	83	45.5	400		2面使用	
第178回 36	15号住居	凹石	116	181	36.5	800		1面使用	
第178回 37	15号住居	凹石	80	67	29	200		1面使用	
第178回 38	15号住居	敲石	165	155	67	1,980		1面使用	
第178回 39	15号住居	敲石	176	103.5	50	890		1面使用	
第179回 40	15号住居	敲石	114	142	32	655			
第179回 41	15号住居	敲石	116	209	78	1,930		1面使用	
第179回 42	15号住居	石皿	115	134	75	1,220		1面使用	
第192回 43	15号住居	石匙	73	95	13	100			
第192回 44	15号住居	石匙	39	79	10	34.4			
第192回 45	15号住居	石匙	39	64	9	22.6			
第192回 46	15号住居	石匙	67	37	6	21.8			
47	15号住居	石匙	35	49	6	8.9			
48	15号住居	長石(原石)	59	43	34	86			
第179回 49	15号住居	打製石斧	114	46	11	100			
第179回 50	15号住居	磨凹石	98	70	48	380		凹石 2面使用 全面磨痕あり	
第179回 51	15号住居	磨石	119	100	88	1,280		全面使用	
52	15号住居	溶岩(原石)	143	115	78	1,340			
53	15号住居	水晶(原石)	116	87	83	1,000			
第179回 54	15号住居	石皿	310	270	(80)	10,000		1面使用	よく使用されている
第193回 55	15号住居	石鍬	(8)	(13)	2	0.3	黒曜石		
第193回 56	15号住居	石鍬	22	19	3	0.8	黒曜石		
第193回 57	15号住居	石鍬	28	19	4	1.4	黒曜石		
第193回 58	15号住居	石鍬	17.5	13	2	0.4	黒曜石		
第193回 59	15号住居	石鍬	15	11	2	0.2	黒曜石		
第193回 60	15号住居	石鍬	20	12	5	1.1	黒曜石		
第193回 61	15号住居	石鍬	16	(13)	2	0.3	黒曜石		
第193回 62	15号住居	石鍬	25	17	11	3.9	黒曜石		
第193回 63	15号住居	石鍬	22	16	4	1.4	黒曜石		
第193回 64	15号住居	石鍬	26	19	7	3.3	黒曜石		
第193回 65	15号住居	石匙	28	39	8	5.6	黒曜石		
第180回 1	16号住居	磨石	(45)	77	60	280		2面使用	
第181回 1	18号住居	打製石斧	128	43	20.5	160			
第181回 2	18号住居	磨製石斧	135	55	31	410		2面使用?	敲石併用?
第181回 3	18号住居	磨凹石	98	80.5	43	520		全面使用	
第181回 4	18号住居	凹石	106	83	35.5	450		2面使用	
第181回 5	18号住居	石皿	135	160	60	1,240		1面使用	多孔石併用?
第182回 6	18号住居	石棒	(274)	(112)	(111)	4,000			
第193回 7	18号住居	打製石斧	(64)	(31)	14	32.6			
第193回 8	18号住居	石鍬	(12.5)	(12.5)	3	0.1			
第193回 9	18号住居	ナイフ	(53)	(18)	3	4.4			
第183回 1	5号上坑	磨石	(84)	(72)	47	450		全面使用	焼成受痕あり
第183回 2	5号上坑	乳棒	163	56	39	510		2面使用	焼成石斧併用?
第183回 3	5号上坑	乳棒	134	45.5	32	330.5			
第184回 1	11号上坑	打製石斧	(141)	(60)	(29)	330			
第184回 2	11号上坑	磨石	(53.5)	(79)	(48)	250		3面使用	凹石併用?
第193回 1	3号溝	石匙	(24)	(70)	(7)	13.6			
第185回 1	5号溝	敲石	(135)	(196)	(57)	900		1面使用	18号住居混入遺物
第185回 2	5号溝	黑曜石(原石)	(127)	(87)	(44)	550			十基の中に載入・15号住居混入遺物
第193回 1	1号堅穴	石鍬	21.5	15	3.5	0.8	水晶		
第193回 2	1号堅穴	石鍬	23	17	3.5	1.1	黒曜石		
第186回 1	1号古墳	打製石斧	(104.5)	(45.5)	(11)	69.5			15号住居混入遺物

第29表 石器の観察表 (No. 4) ※数値は残存値／( )内の数値は推定値

図番号	出土位置	種類	計測値				石	形態備考
			長さmm	幅mm	厚さmm	重量g		
第186回 2	1号古墳	打製石斧	103	54.5	23	215		15号住居混入遺物
第186回 3	1号古墳	打製石斧	99.5	50	21	150		15号住居混入遺物
第186回 4	1号古墳	打製石斧	80	52	19	125		15号住居混入遺物
第186回 5	1号古墳	乳棒	95.5	40.5	28.5	150		15号住居混入遺物
第186回 6	1号古墳	磨石	104.5	156.5	66	820	1面使用	15号住居混入遺物
第186回 7	1号古墳	磨石	(94)	(61)	(38.5)	350	全面(7面使用)	15号住居混入遺物
第186回 8	1号古墳	磨石	88.5	78	50.5	395	全面使用	15号住居混入遺物
第186回 9	1号古墳	磨石	(114)	(64.5)	(69.5)	520	1面使用	15号住居混入遺物
第187回 10	1号古墳	凹石	88	50.5	33	200	4面使用	15号住居混入遺物
第187回 11	1号古墳	敲石	93	103.5	60	685	1面使用	15号住居混入遺物
第187回 12	1号古墳	敲石	104	77.5	45	500	1面使用	15号住居混入遺物
第187回 13	1号古墳	敲石	150	95	72	1,190	1面使用	15号住居混入遺物
第187回 14	1号古墳	敲石	155	92	40	810	1面使用	15号住居混入遺物
第187回 15	1号古墳	敲石	209	113	95.5	3,500	1面使用	15号住居混入遺物
第193回 16	1号古墳	石匙	45.5	59	7	21.6, チャート		15号住居混入遺物
第188回 1	グリッド	磨石	65.5	56.5	54.5	220	全面使用	M-1区
第188回 2	グリッド	磨石	89	109	15	180	片面使用	X-1区
第188回 3	グリッド	磨石	45	38	35.5	74.5	全面使用	Z-2区
第188回 4	グリッド	磨凹石	(76)	(62)	(47)	350	凹石2面使用	CC-3区・全面磨痕あり
第188回 5	グリッド	打製石斧	(125.5)	(75)	(19.5)	245		DD-1区
第193回 6	グリッド	打製石斧	75	56	12	48.2		FF-3区
第188回 7	グリッド	磨石	111	92	62	865	全面使用	III-5区
第189回 1	第4号掘塙	磨石	98.5	67	39	480	全面使用	久須部磨面使用
第190回 1 C区内	凹石	137	58	39.5	315	1面使用		
第191回 1 調査区内	多孔石	143	160	128	3,000	1面使用		
第191回 2 調査区内	磨凹石	(104)	(58)	(37.5)	225	磨石2面使用	凹石2面使用	
第191回 3 調査区内	磨凹石	149	80	40	600	磨石1面使用	凹石2面使用	
第191回 4 調査区内	磨石	(125)	(64)	(83)	600	溶岩	全面使用	

第30表 後呂遺跡の遺構等から出土した黒曜石の出土量

(単位: g)

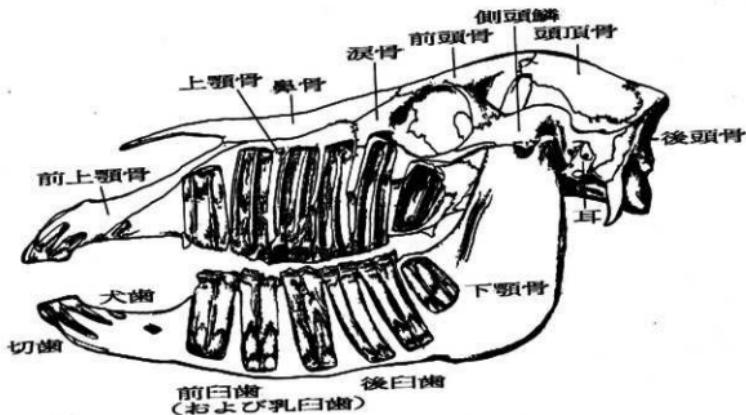
遺構名等	製品類	原石・剥片類	総重量	遺構名等	製品類	原石・剥片類	総重量
第1号住居跡	0	16.4	16.4	第4号土坑	0	0.7	0.7
第2号住居跡	1, 2	4, 9	6.1	第5号土坑	0	9.0	9.0
第3号住居跡	1, 1	14.1	15.2	第6号土坑	0	1.1	1.1
第4号住居跡	0	2.8	2.8	第7号土坑	0	1.4	1.4
第6号住居跡	0	3.6	3.6	第11号土坑	0	6.8	6.8
第7号住居跡	0.5	45.6	46.1	第12号土坑	0	1.8	1.8
第8号住居跡	0.6	67.1	67.7	第1号溝	0	9.1	9.1
第9号住居跡	0.9	18.4	19.3	第2号溝	0	4.5	4.5
第10号住居跡	0.9	53.9	54.8	第3号溝	0	2.8	2.8
第11号住居跡	0	1.5	1.5	第4号溝	0	2.5	2.5
第12号住居跡	0	6.5	6.5	第5号溝	0	55.3	55.3
第15号住居跡	18.7	195.3	214.0	第1号巣穴	1.1	1.0	2.1
第17号住居跡	0	2.0	2.0	グリッド一括	0	35.3	35.3
第18号住居跡	5.0	21.3	26.3	総重量	30.0	1,082.8	1,112.8

第31表

動物遺体觀察表

(第86図参照)

	出 土 位 置		種 類	部 首	別 位 置	備 考
	造 構 名	位 置				
骨 1	第 1 号 古 墳	葺 石 内	馬	齒	不 明	
骨 2	第 1 号 古 墳	周 溝 内	馬	齒	不 明	
骨 3	第 1 号 古 墳	周 溝 内	馬	齒	不 明	
骨 4	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	
骨 5	第 1 号 古 墓	周 溝 内	馬	齒	上 の 左	写真図版144①参照
骨 6	第 1 号 古 墓	周 溝 内	馬	齒	不 明	
骨 7	第 1 号 古 墓	周 溝 内	馬	齒	不 明	
骨 8	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	切 齒	
骨 9	第 1 号 古 墓	周 溝 内	馬	齒	右 白 齒	写真図版144②参照
骨 10	第 1 号 古 墓	周 溝 内	馬	齒	不 明	
骨 11	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	上 の 左	写真図版144③参照
骨 12	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	
骨 13	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	
骨 14	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	上 の 左	写真図版144④参照
骨 15	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	
骨 16	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	
骨 17	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	
骨 18	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	写真図版144⑤参照
骨 19	第 1 号 古 墓	葺 石 内	馬	齒	不 明	



第31表補図 馬の頭部（骨と歯の位置図）

## 第5節 小 結

今回の調査は、極端に細長く、しかも2, 000 m<sup>2</sup>という極めて狭い範囲ではあったが、前述したとおりの成果を得た。調査に着手する前、地表面にある遺物を採集した際には縄文時代、中でも中期後葉「曾利式期」の集落跡である可能性が高いと想定していたが、実際の調査により、後呂遺跡は、曾利式期以前の井戸尻式期から始まり、曾利式期を中心とした比較的大規模な集落跡であることが判明した。確認された多くの遺構・遺物の中で特に注目されるのは、使われなくなった住居を「土器捨て場」として活用した例が2か所（第10・15号住居跡）で見られたことであり、併せてこの遺構から出土した上器・土製品のバリエーションである。中でも、ヘビ・カエル・鳥などの小動物から始まり、犬や猿までをも表現した土器の出土例が多く見られることである。このことは、「後呂ムラ」のムラびとたちが、付近の山・川からの恩恵を受け、豊かな生活を営んでいたことが自然に想像されよう。

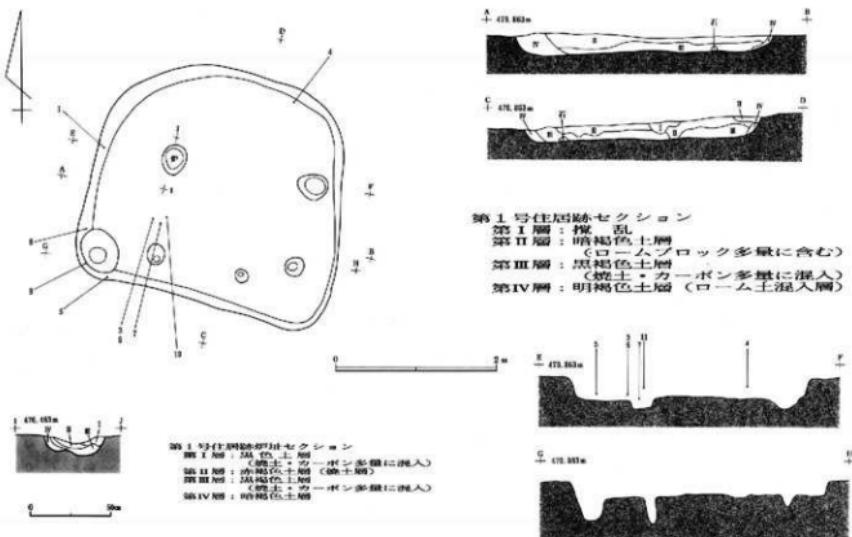
また、遺跡全域から山上した石器も種類が豊富で、なかでも打製石斧・磨石・凹石・敲石の出土量が比較的多いことがわかる。これらの石器は、いずれも主として植物質食料の採取や加工に用いられたと考えられることから、かれらの生業活動のなかで、植物質食料の獲得（確保）の占める割合が非常に高かったことが想像される。

加えて、第30表で示したとおり、黒曜石の原石や剥片が各遺構から出土していることも興味深い。黒曜石製品の製作は、それぞれの住居内で行われていたのであろうか？

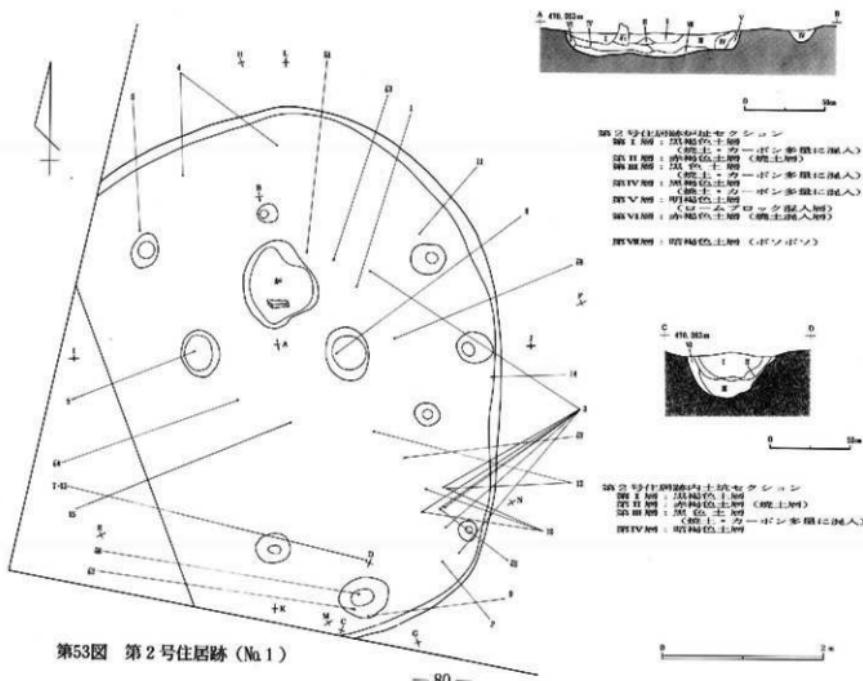
縄文時代以降の遺構としては、弥生時代ならびに古墳時代の住居跡、古墳などが検出された。これら各遺構から出土した土器を詳観したところ、弥生時代の住居跡は後期に、古墳時代の住居跡は前期に比定された。これらには時間差があまりないことから縄文時代中期以降、集落の形跡は消えるが、再度、この時代にまとまって人々の生活が営まれていたことも判明したのである。

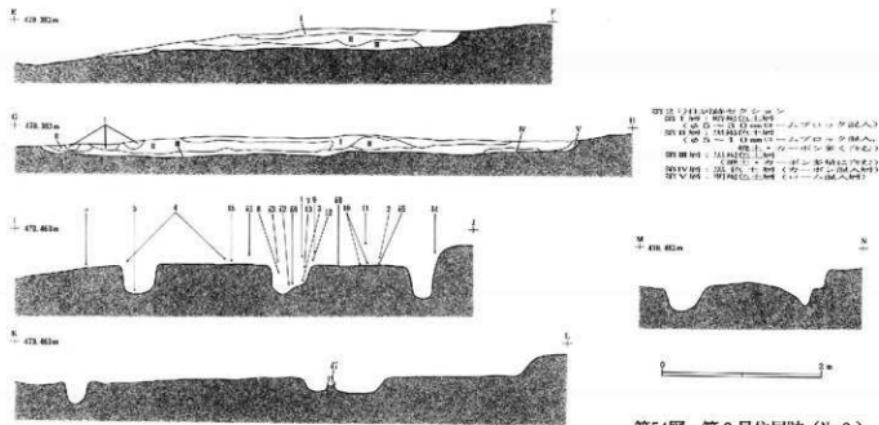
更に、古墳時代後期に属すると考えられる小円墳が新たに1基検出されていることから、付近にはこの時代の集落が存在することも想定される。注目すべきはその古墳から検出された馬歯である。第8章に記されているとおり後呂遺跡から出土した馬歯を鑑定していただいた結果、老齢馬ではないことが判明したことにより、大陸での葬送儀礼が取り入れられた可能性が高いことも考えられるのである。

（林部 光）

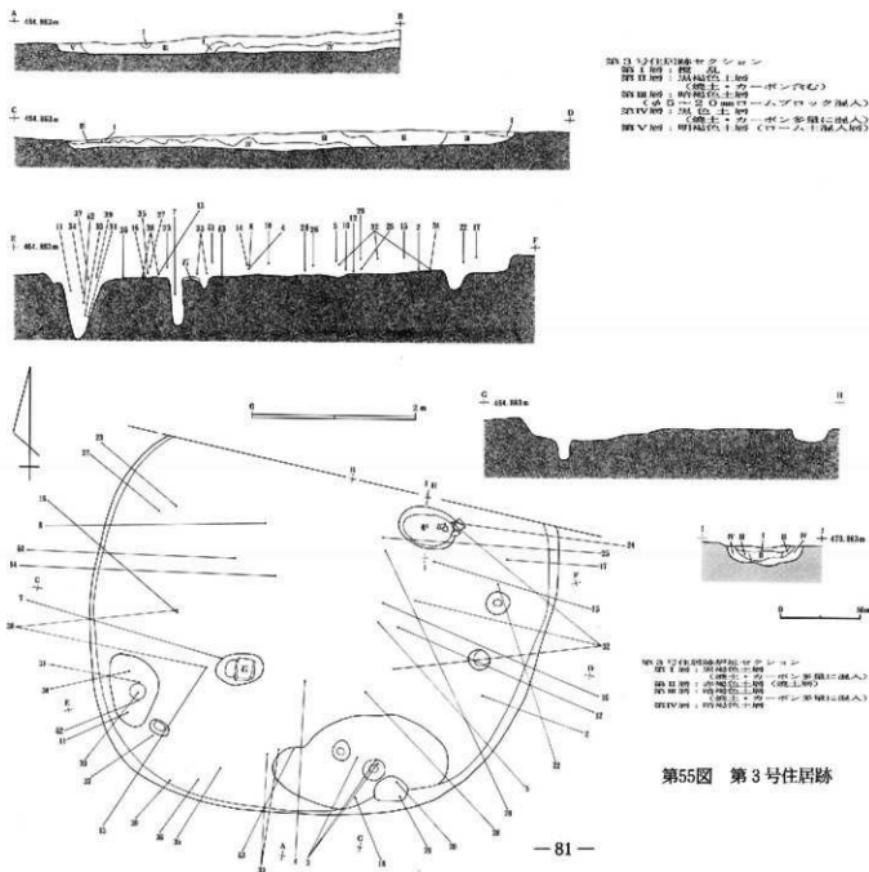


第52図 第1号住居跡

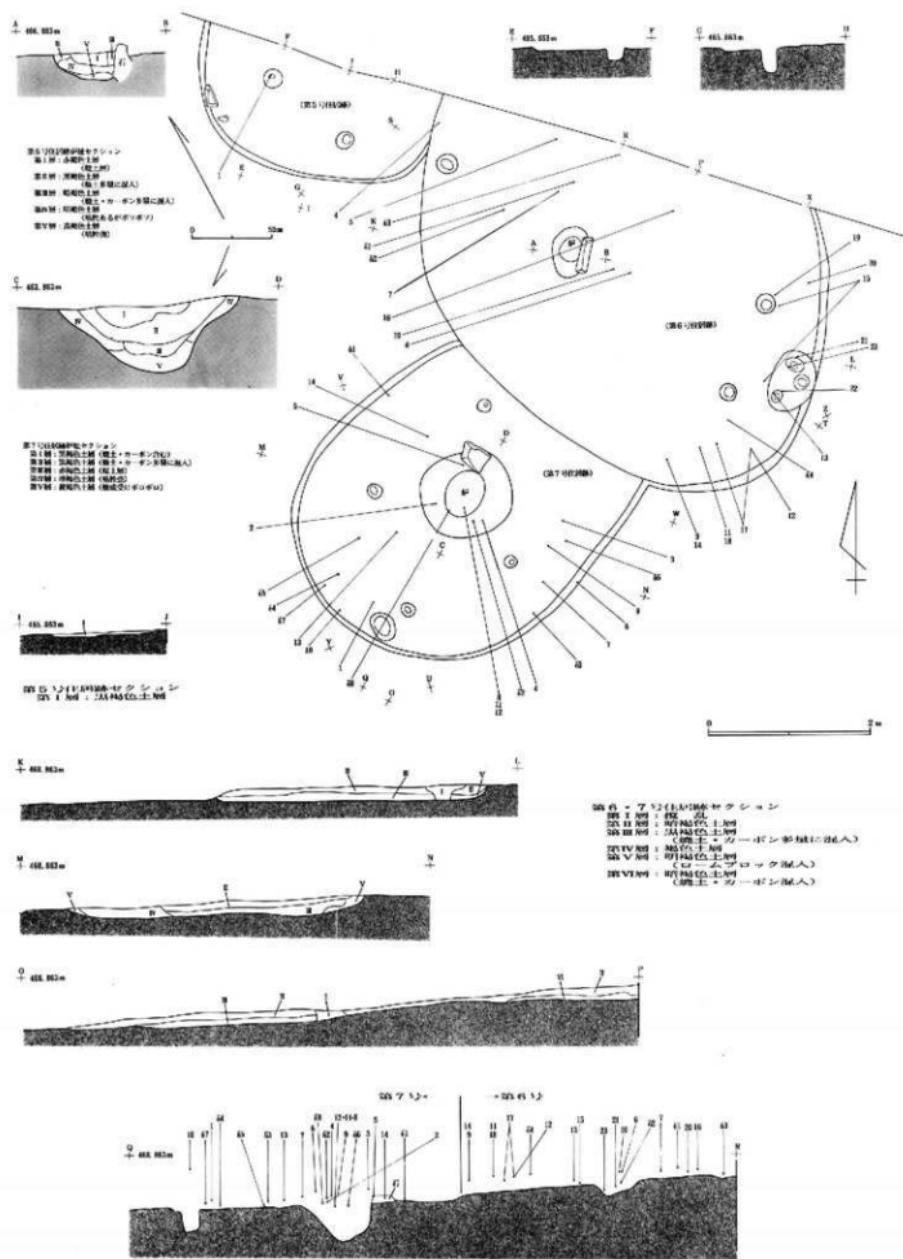




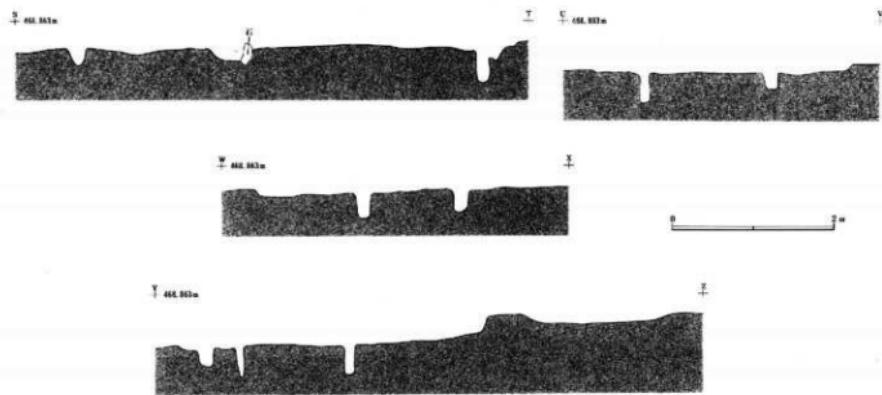
第54図 第2号住居跡 (No.2)



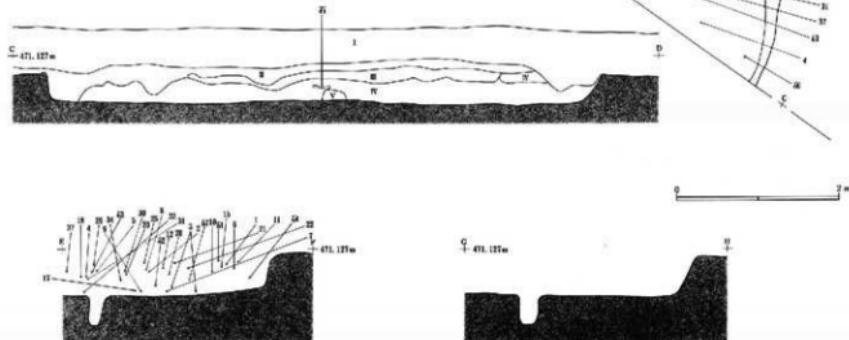
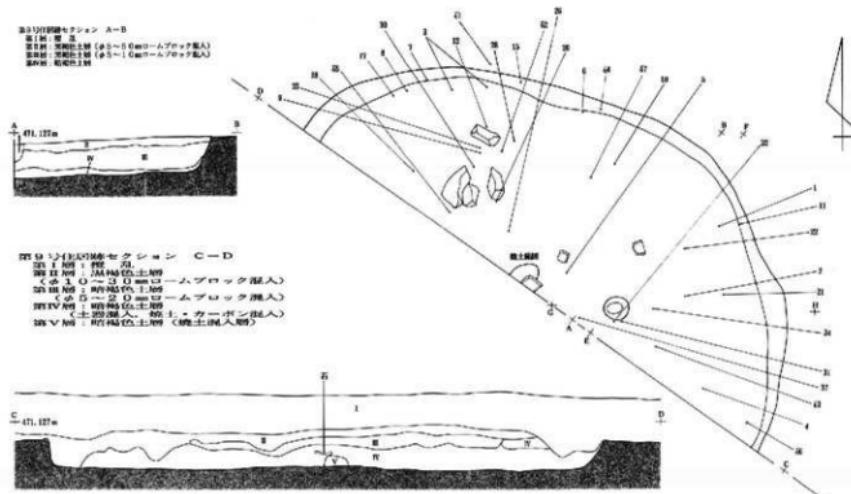
第55図 第3号住居跡



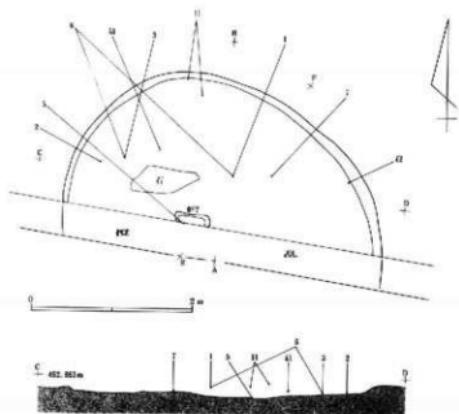
第57図 第5号・6号・7号住居跡 (No.1)



第58図 第5号・6号・7号住居跡 (No.2)



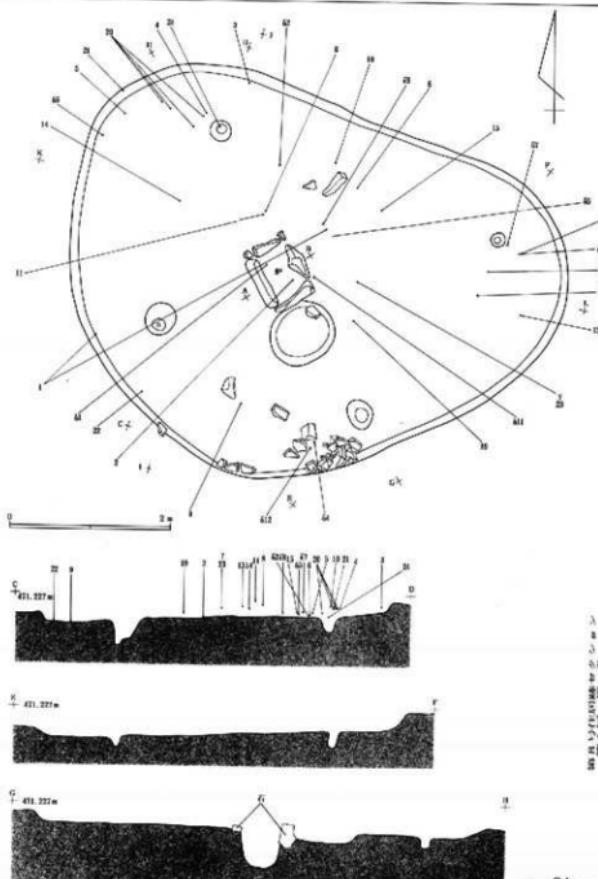
第60図 第9号住居跡



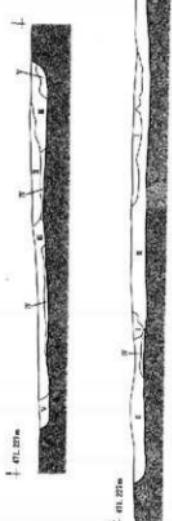
第 I 段：鶴 鳥  
第 II 段：斑鳩(魚)土飼  
第 III 段：鳴鳩(魚)土飼  
第 IV 段：明鳩(魚)土飼  
第 V 段：明鳩(魚)土飼  
(ソフトローイング入門)



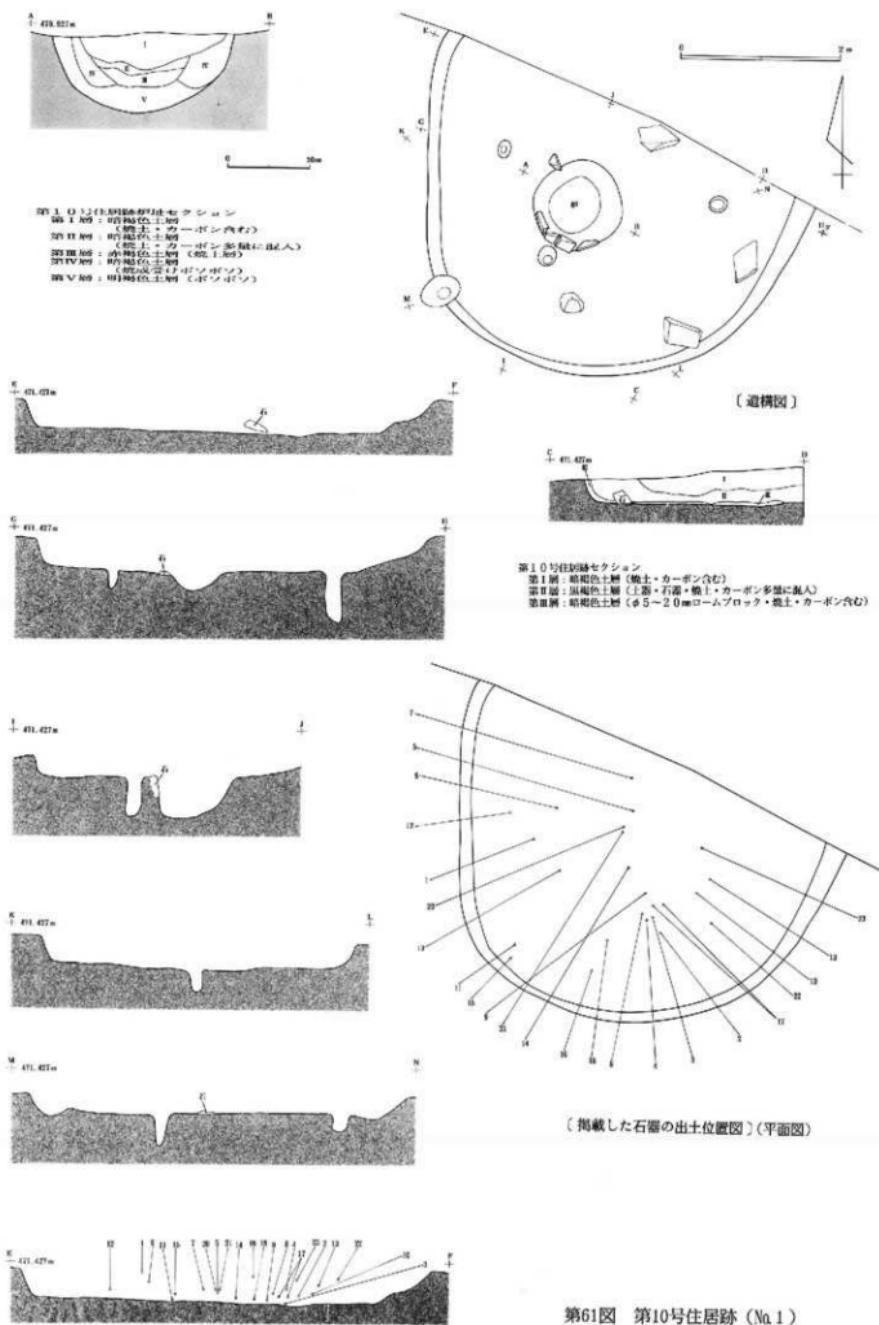
### 第56図 第4号住居跡



403	第Ⅰ層：明褐色土層 第Ⅱ層：黑褐色土層 第Ⅲ層：明褐色土層 （施用及受け水ボソソ） 第Ⅳ層：赤褐色土層 （壤土層） 第Ⅴ層：褐土色土層 （ボンボソソ）
410	



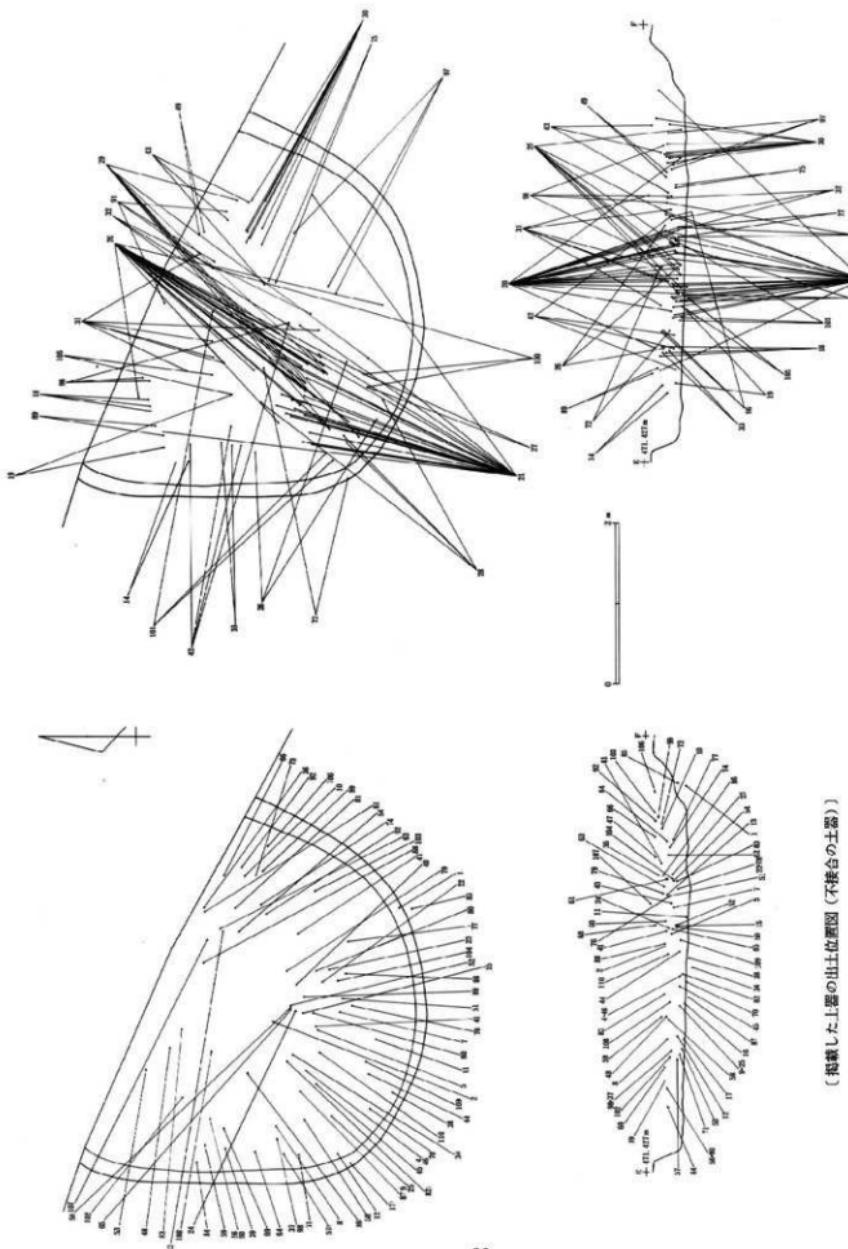
第59図 第8号住居跡

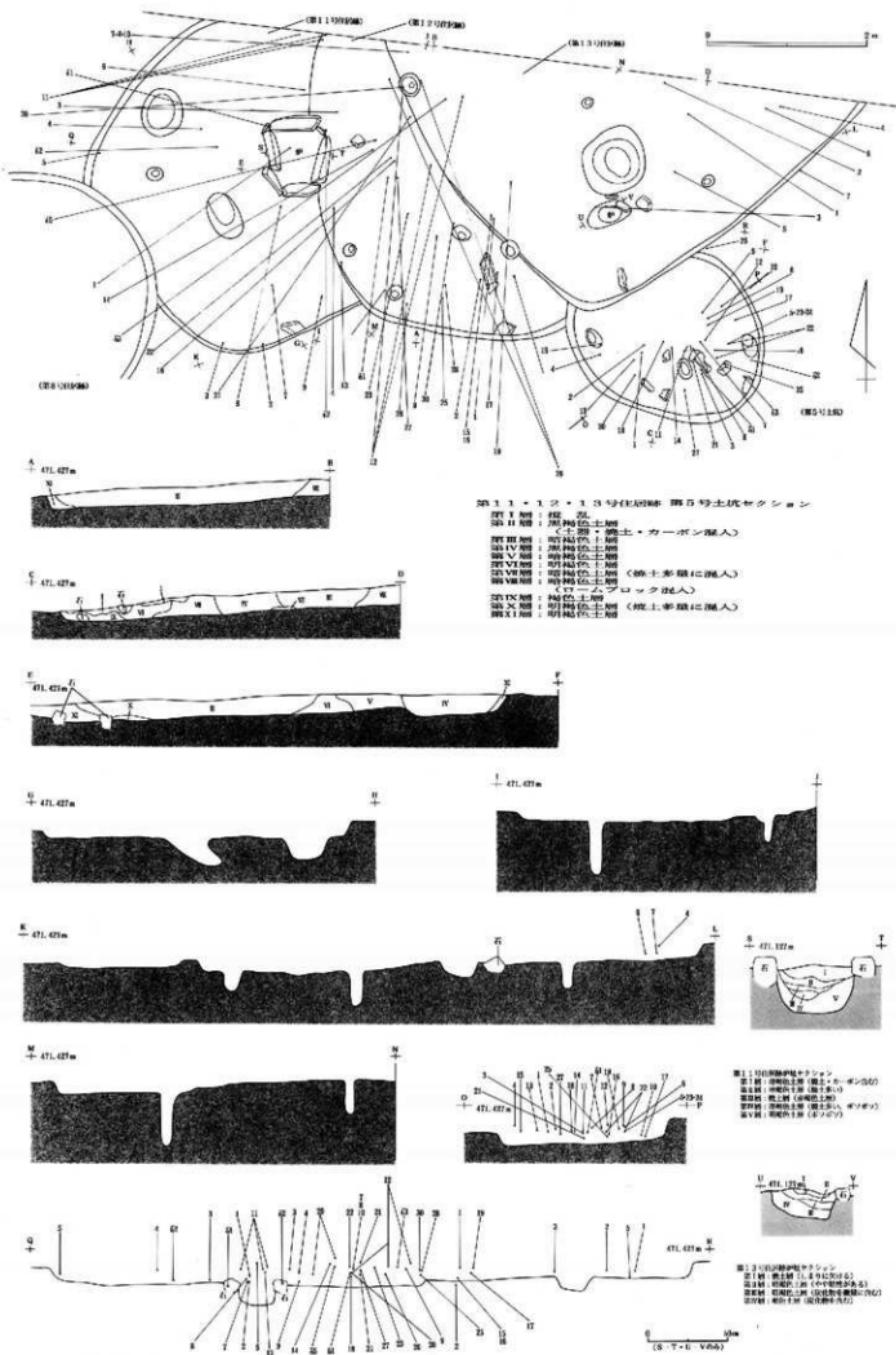


(複数した土器の出土位置図(接合された土器))

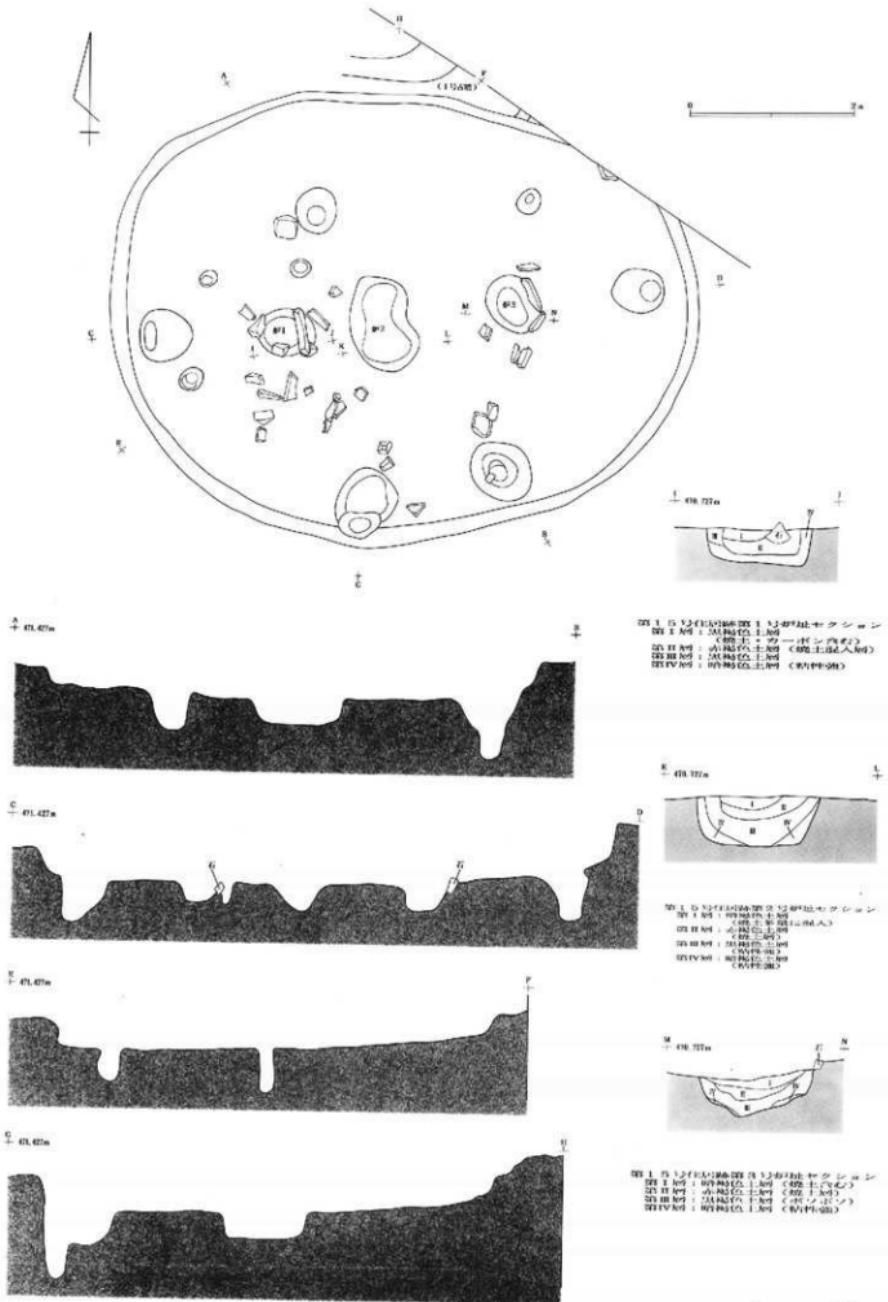
第62図 第10号住居跡(No.2)

(複数した土器の出土位置図(不接合の土器))

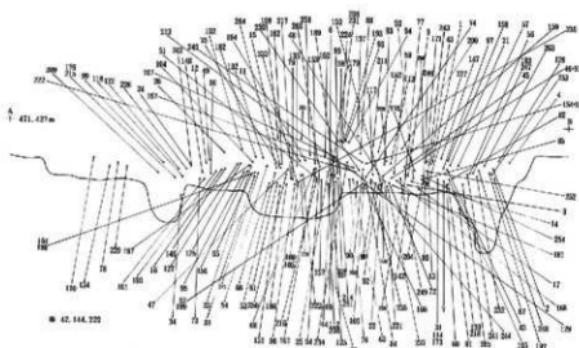
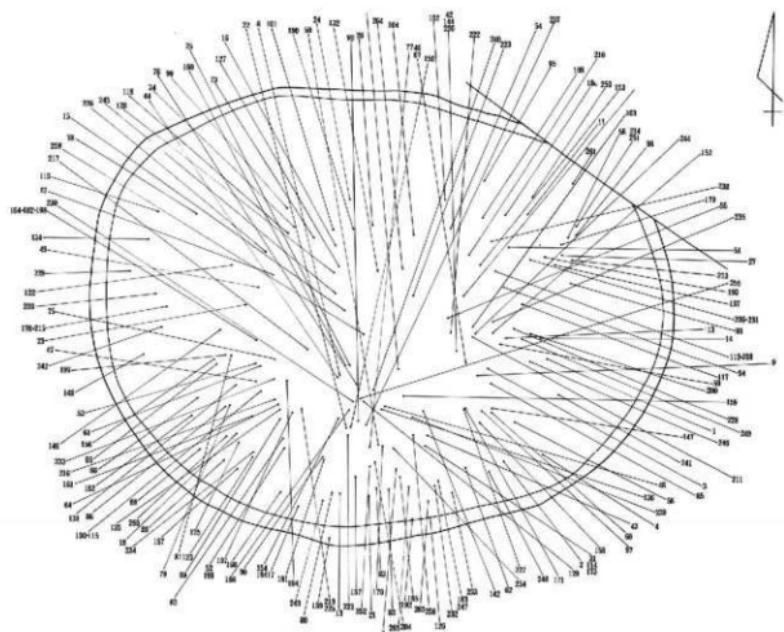




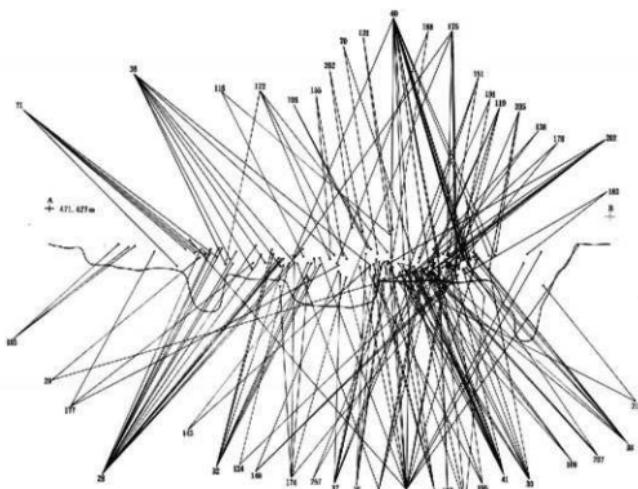
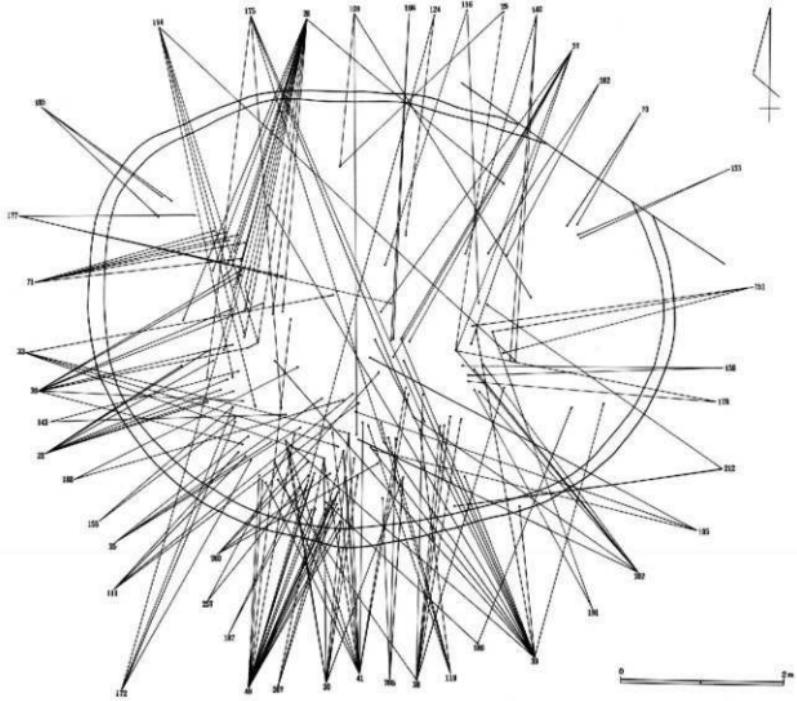
第63図 第11号・12号・13号、第5号土坑



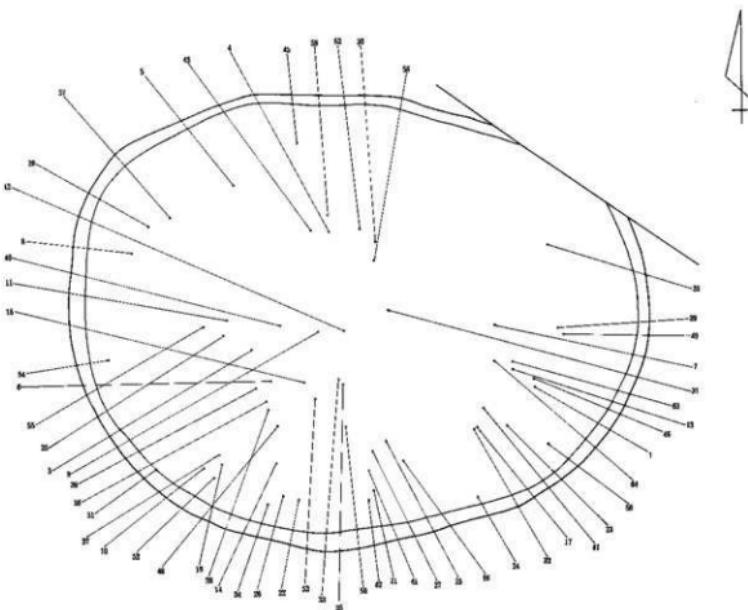
第65図 第15号住居跡 (No. 1)



第66図 第15号住跡 (No. 2)

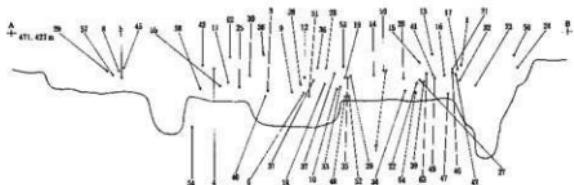


〔掲載した土器の出土位置図（接合された土器）〕

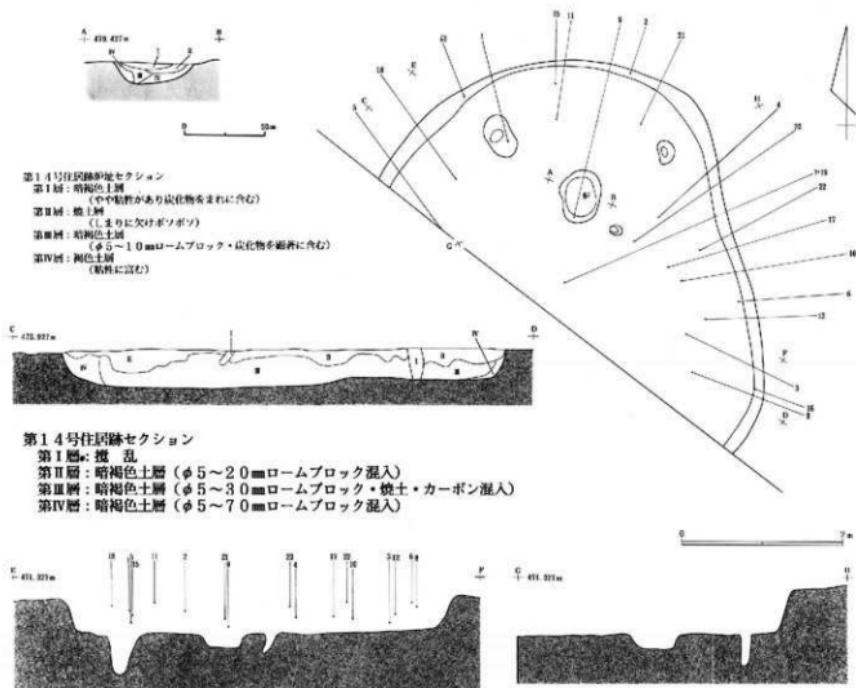


〔掲載した土器の出土位置図（不接合の土器）〕

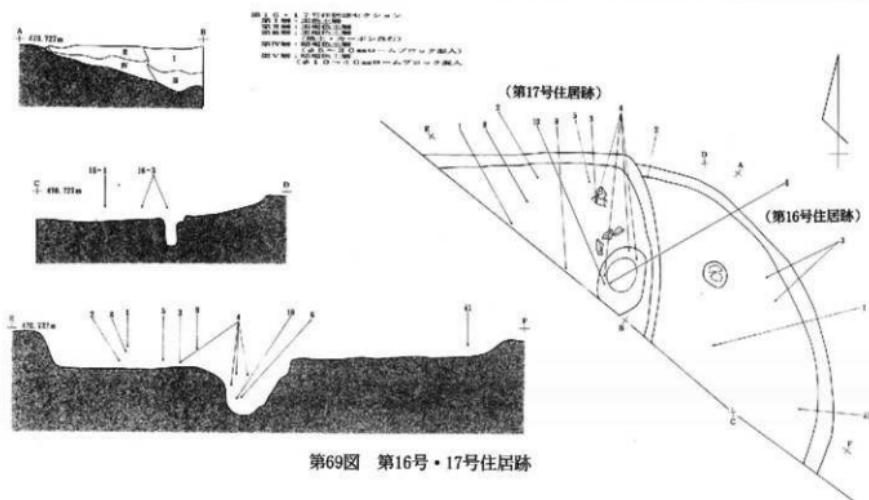
6 20



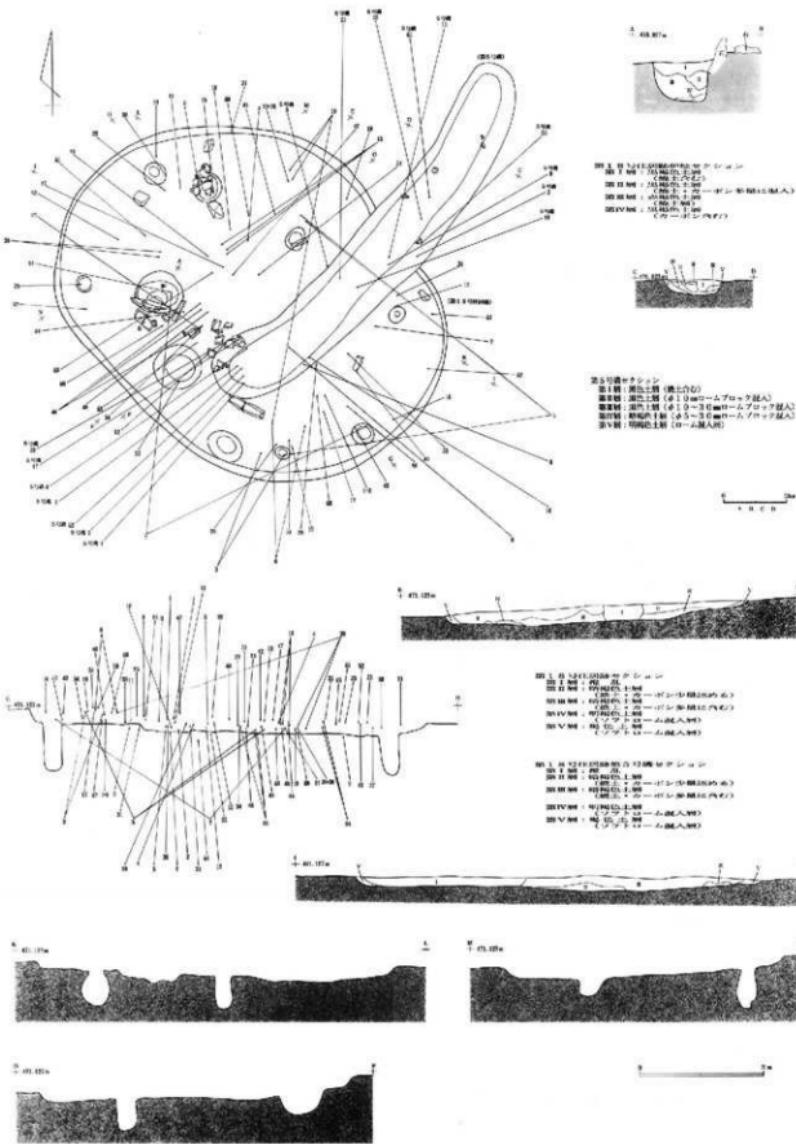
第68図 第15号住居跡（No.4）



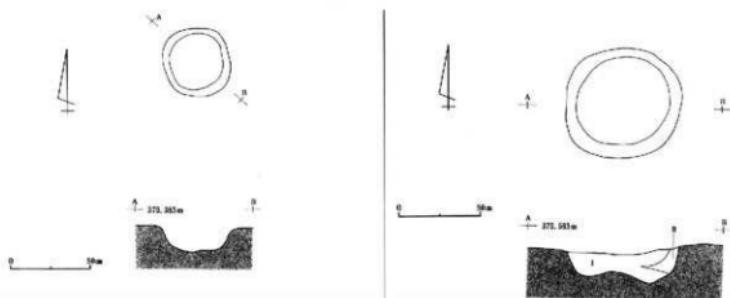
第64図 第14号住居跡



第69図 第16号・17号住居跡

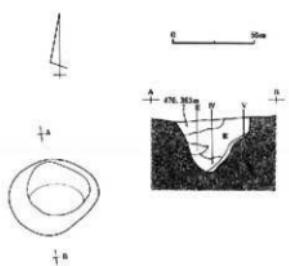


第70図 第18号住居跡・第5号溝状遺構



第71図 第1号土坑

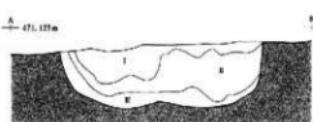
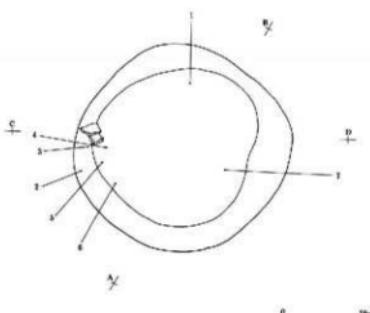
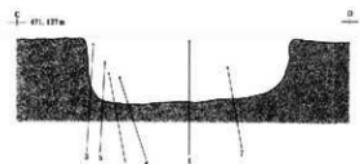
第71号土坑セクション  
第I層：灰褐色土層  
第II層：暗褐色土層  
(ロームブロック埋入)



第72図 第2号土坑

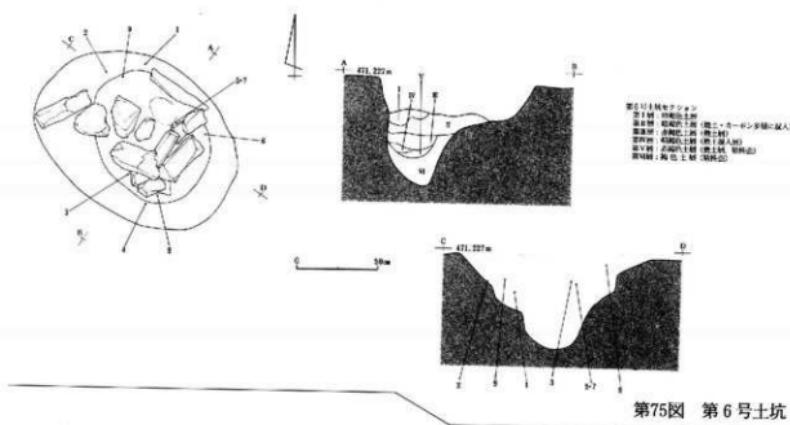
第72号土坑セクション  
第I層：灰褐色土層  
第II層：暗褐色土層  
第III層：黒色土層  
第IV層：灰褐色土層  
第V層：暗褐色土層  
(ロームブロック埋入)

第73図 第3号土坑

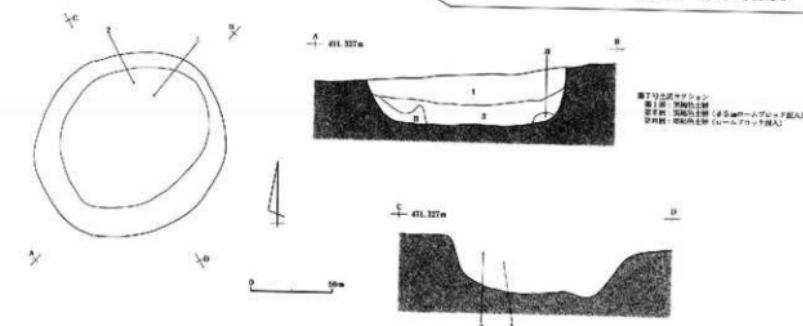


第4号土坑セクション  
第I層：黒色土層  
第II層：黒褐色土層  
第III層：暗褐色土層

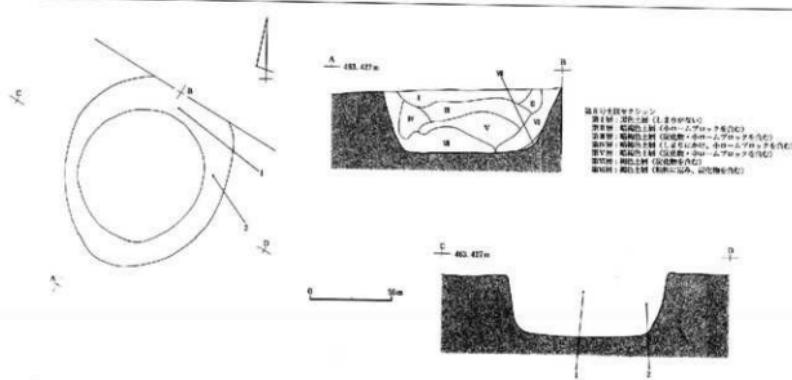
第74図 第4号土坑



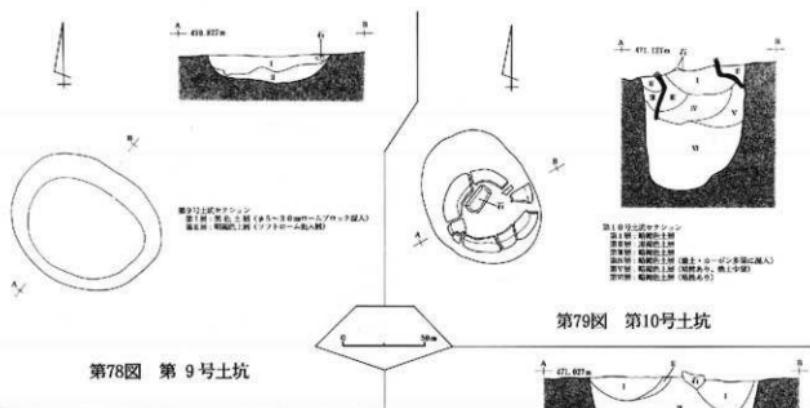
第75図 第6号土坑



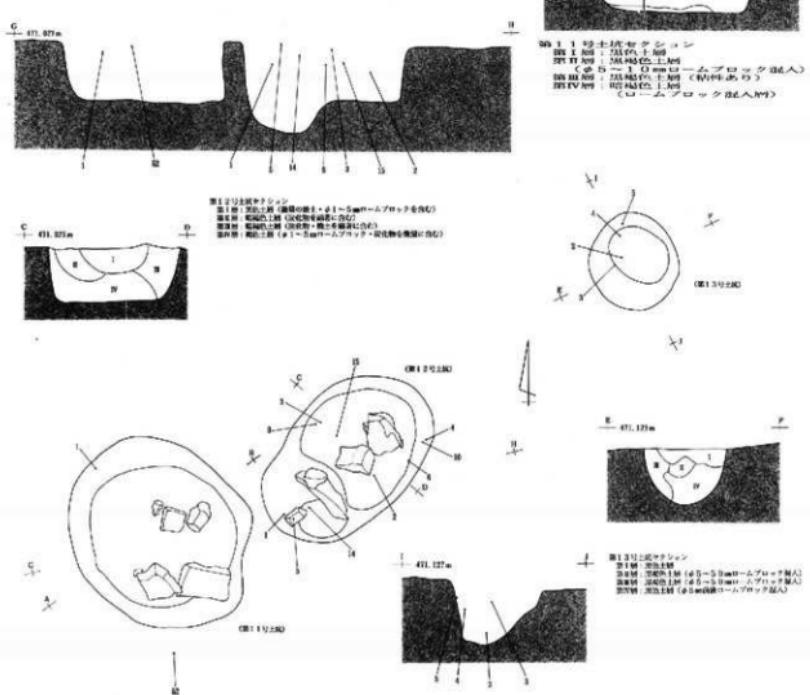
第76図 第7号土坑



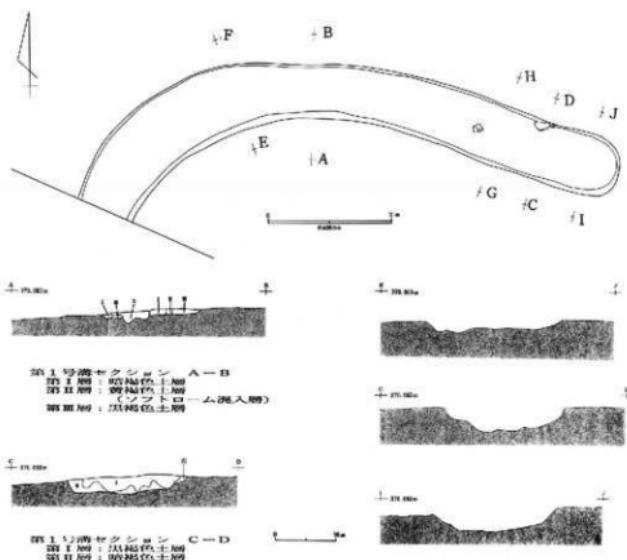
第77図 第8号土坑



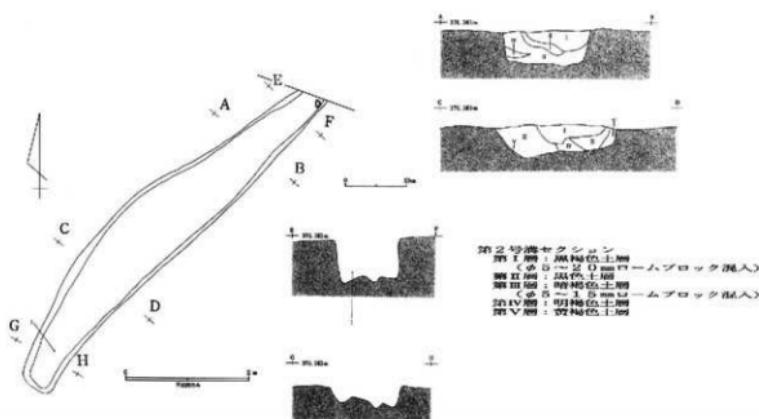
第79図 第10号土坑



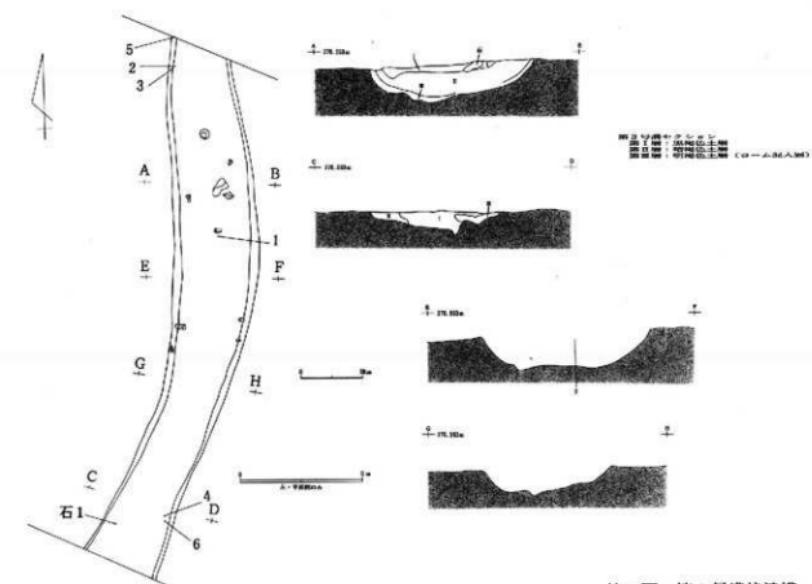
第80図 第11号・12号・13号土坑



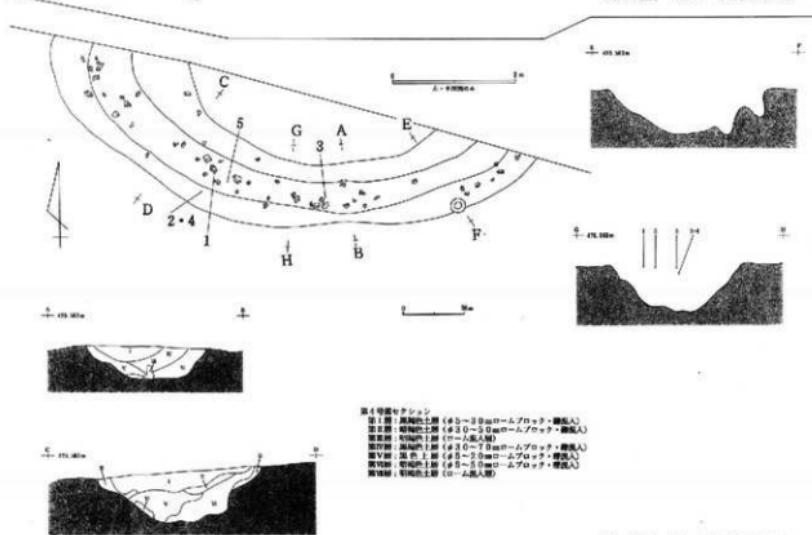
第81図 第1号溝状遺構



第82図 第2号溝状遺構

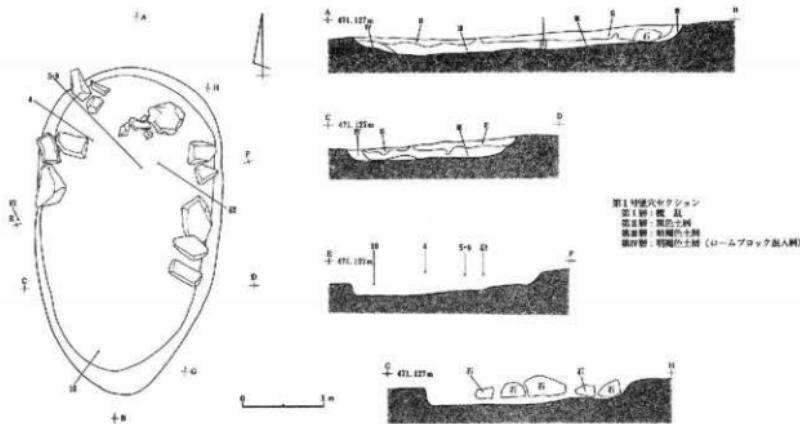


第83図 第3号溝状造構

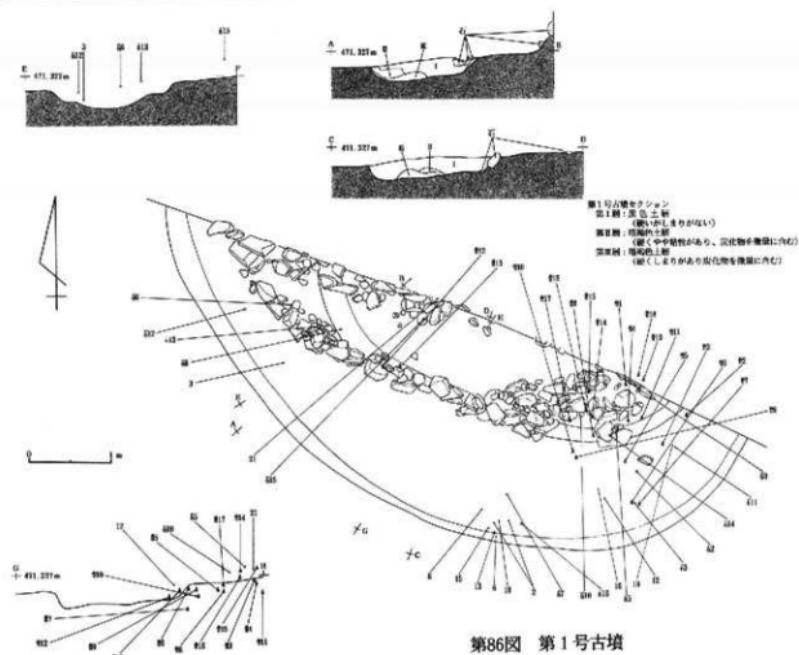


第84図 第4号溝状造構

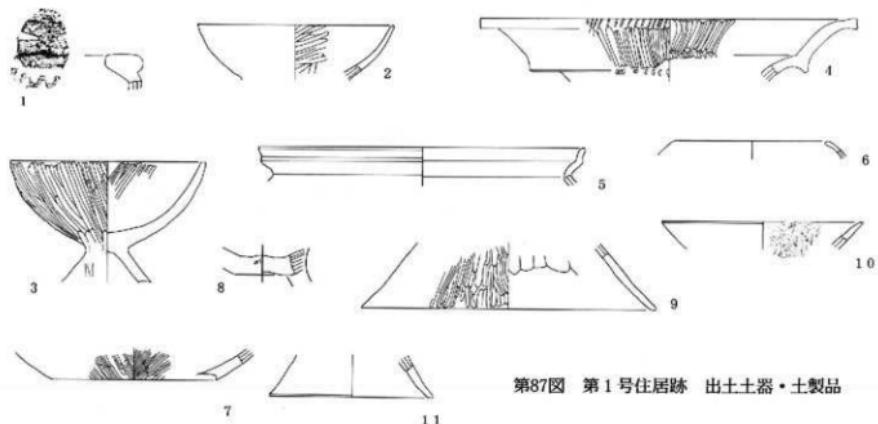
第4号溝状構成  
1. 岩場地土層 (±3~3.5mロームブロック・露風入)  
2. 岩場地土層 (±3.5~4.0mロームブロック・露風入)  
3. 岩場地土層 (ハーナ入出)  
4. 岩場地土層 (±3.0~3.5mロームブロック・露風入)  
5. 岩場地土層 (±2.5~3.0mロームブロック・露風入)  
6. 岩場地土層 (±2.0~2.5mロームブロック・露風入)  
7. 岩場地土層 (±1.5~2.0mロームブロック・露風入)  
8. 岩場地土層 (±1.0~1.5mロームブロック・露風入)



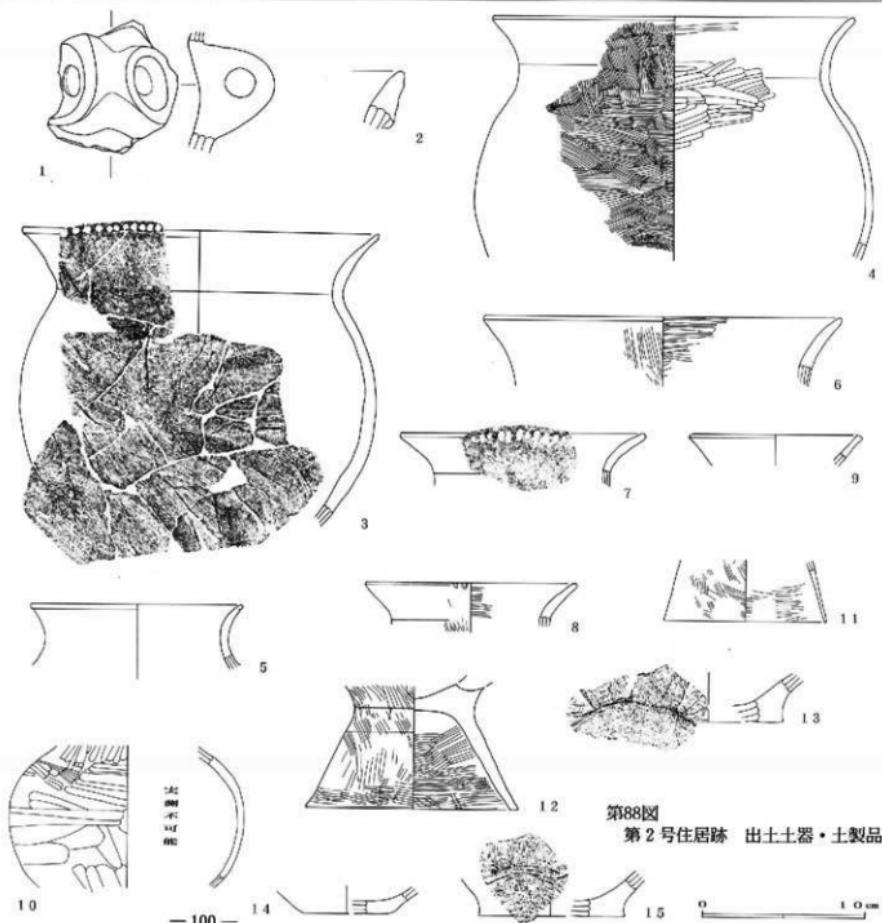
第85図 第1号竪穴状遺構



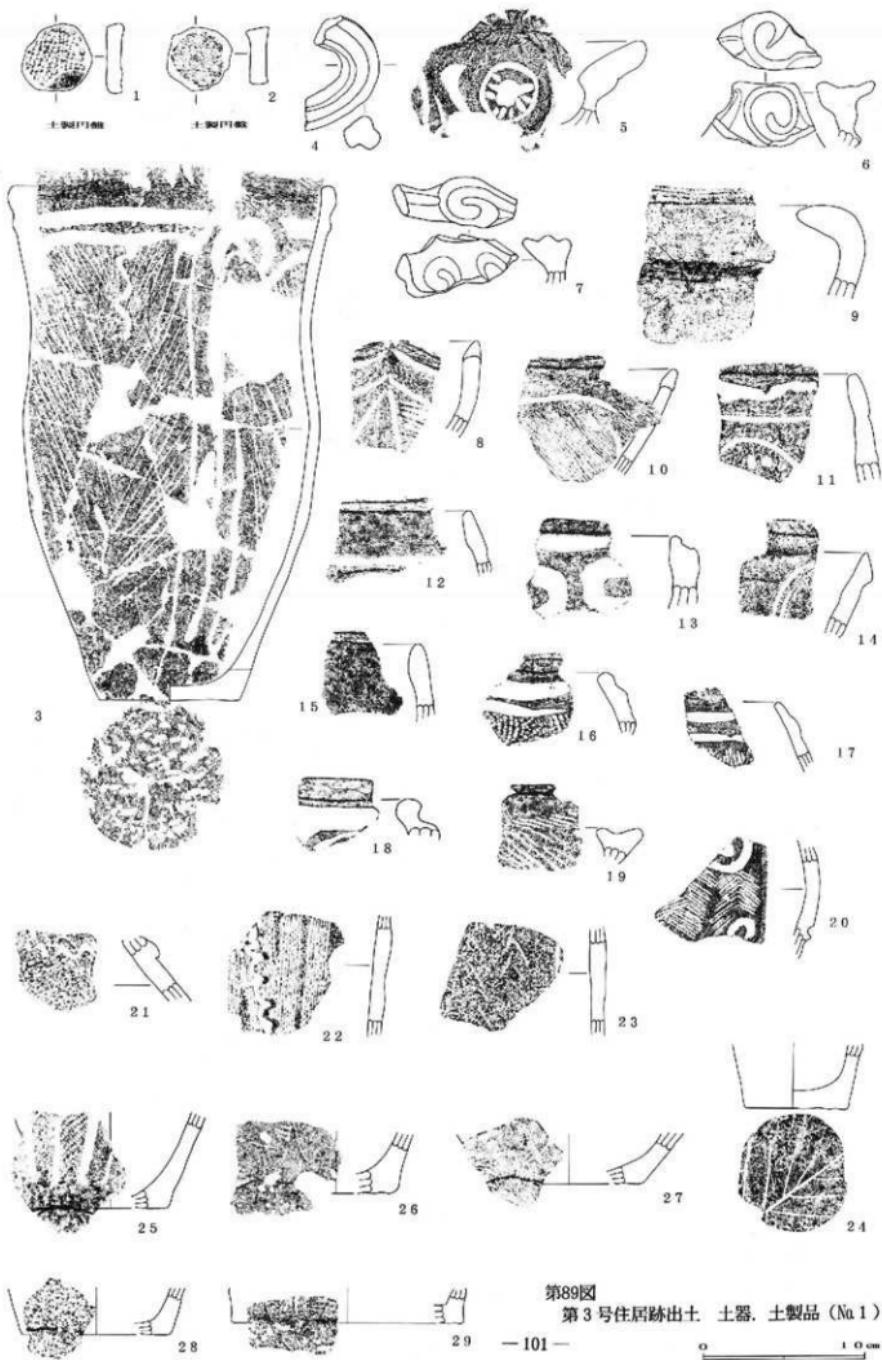
第86図 第1号古墳



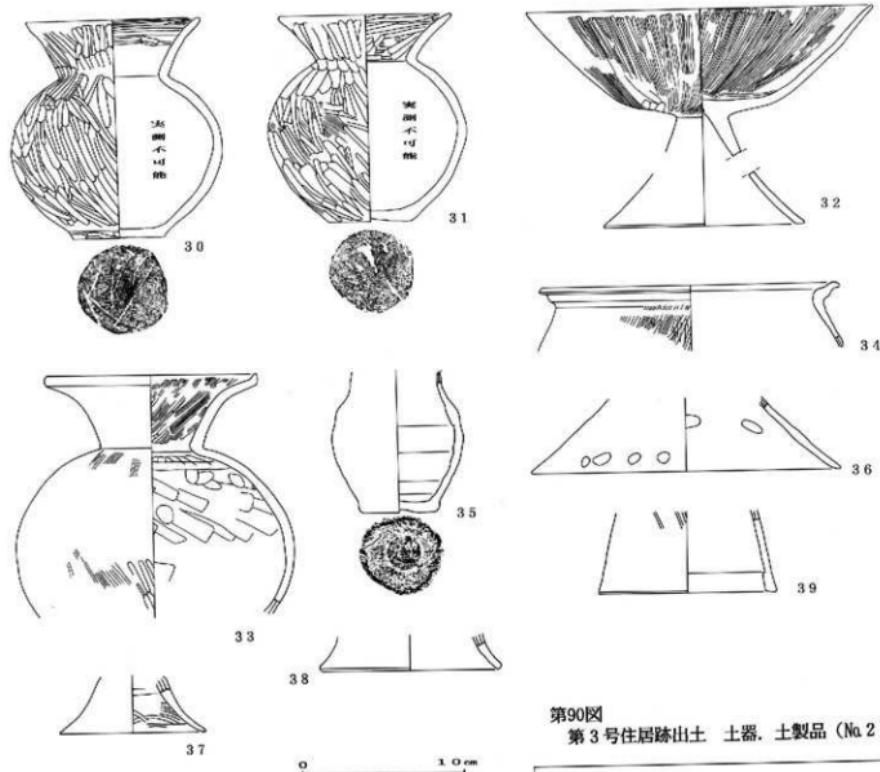
第87図 第1号住居跡 出土土器・土製品



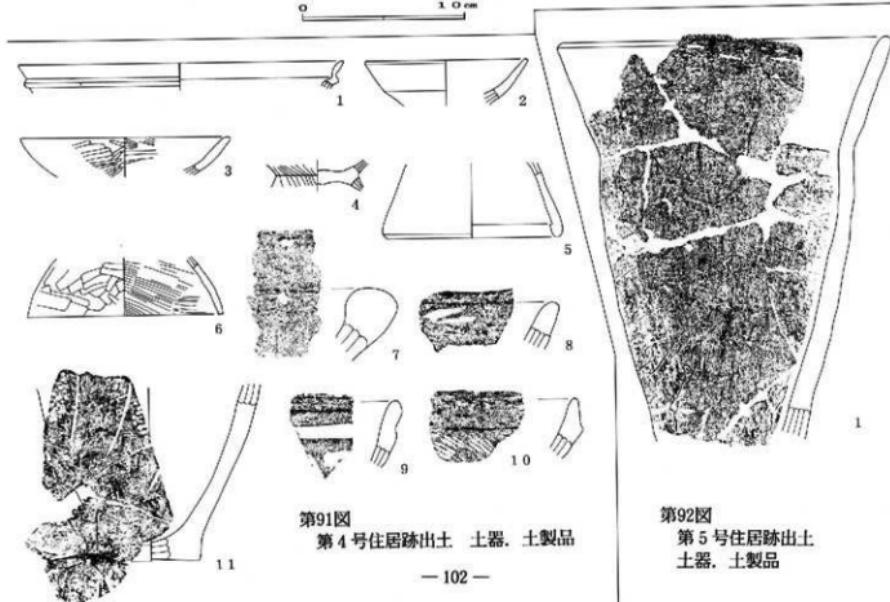
第88図 第2号住居跡 出土土器・土製品



第89図  
第3号住居跡出土 土器、土製品 (No.1)

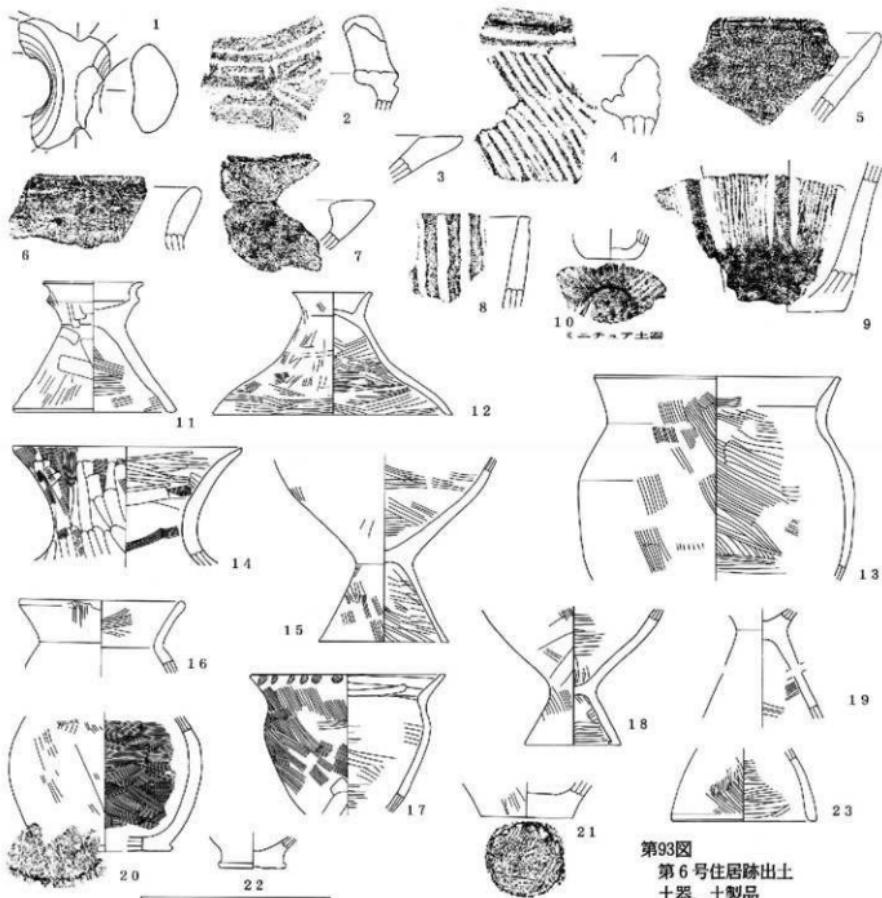


第90図  
第3号住居跡出土 土器、土製品 (No. 2)

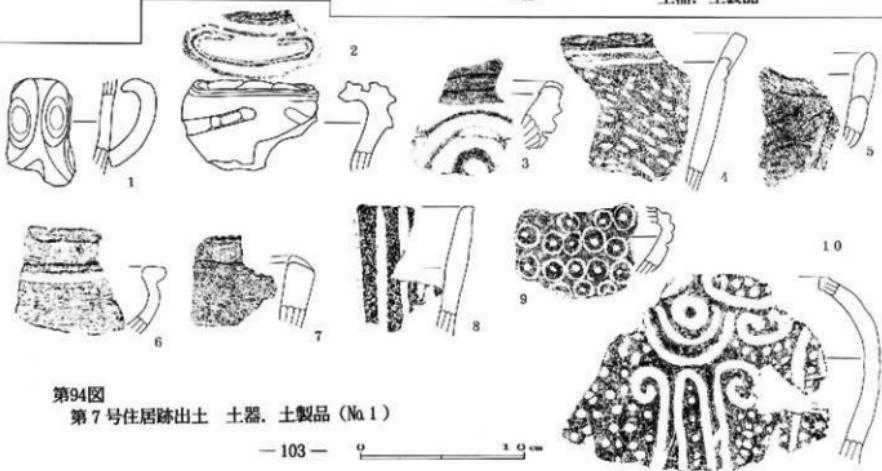


第91図  
第4号住居跡出土 土器、土製品

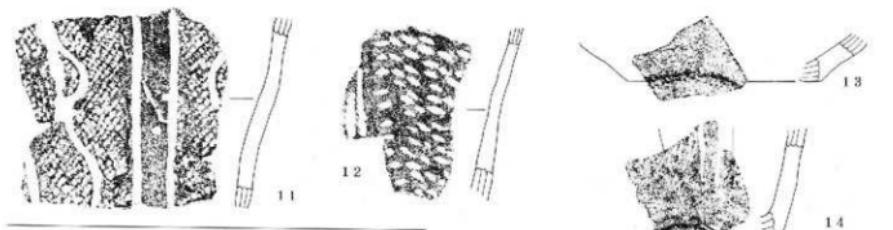
第92図  
第5号住居跡出土  
土器、土製品



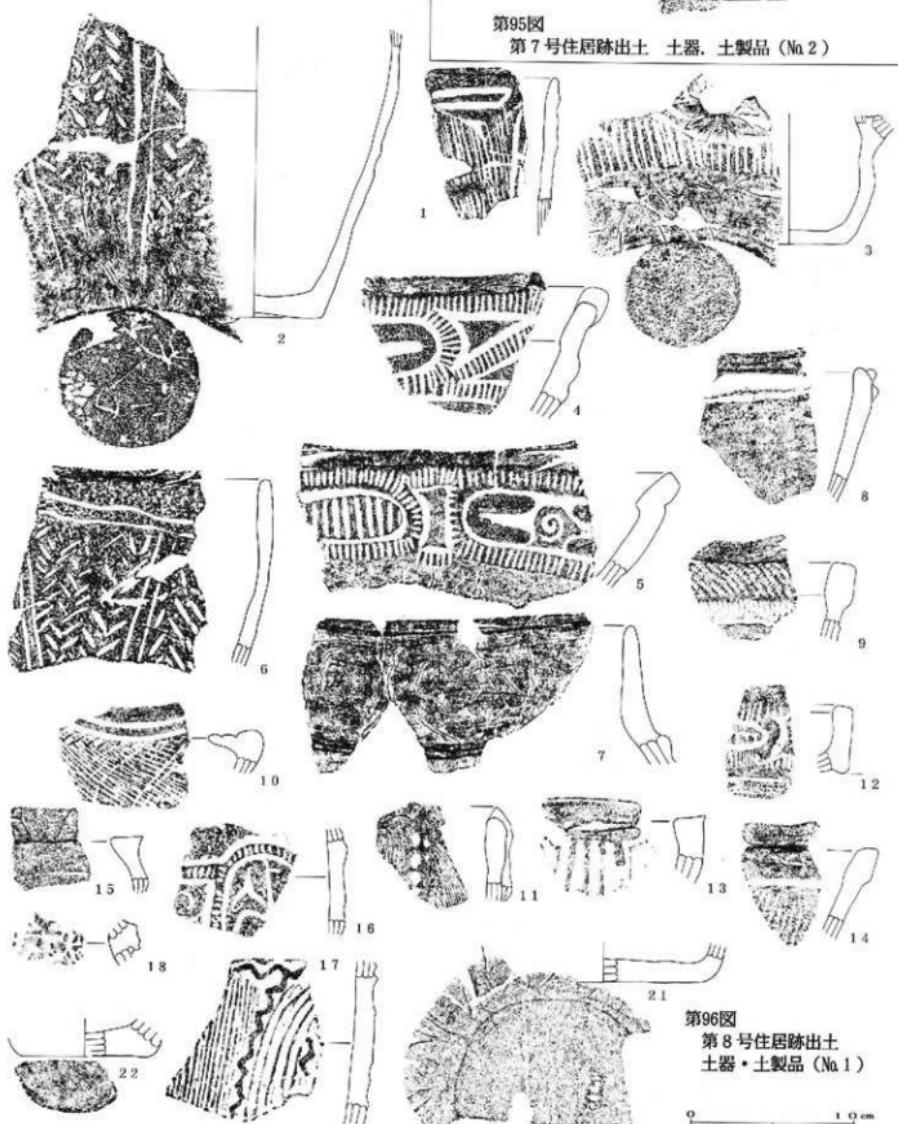
第93図  
第7号住居跡出土  
土器、土製品



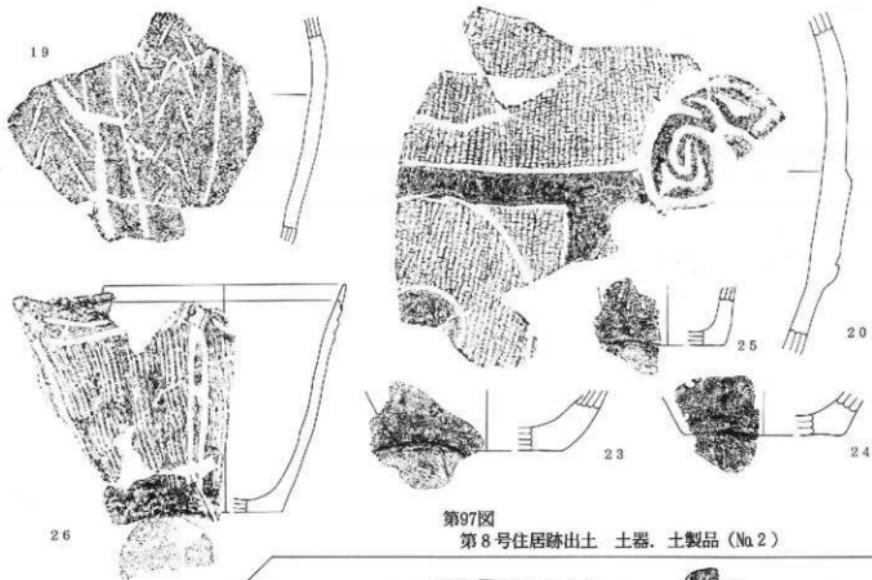
第94図  
第7号住居跡出土  
土器、土製品 (No. 1)



第95図  
第7号住居跡出土 土器、土製品 (No. 2)



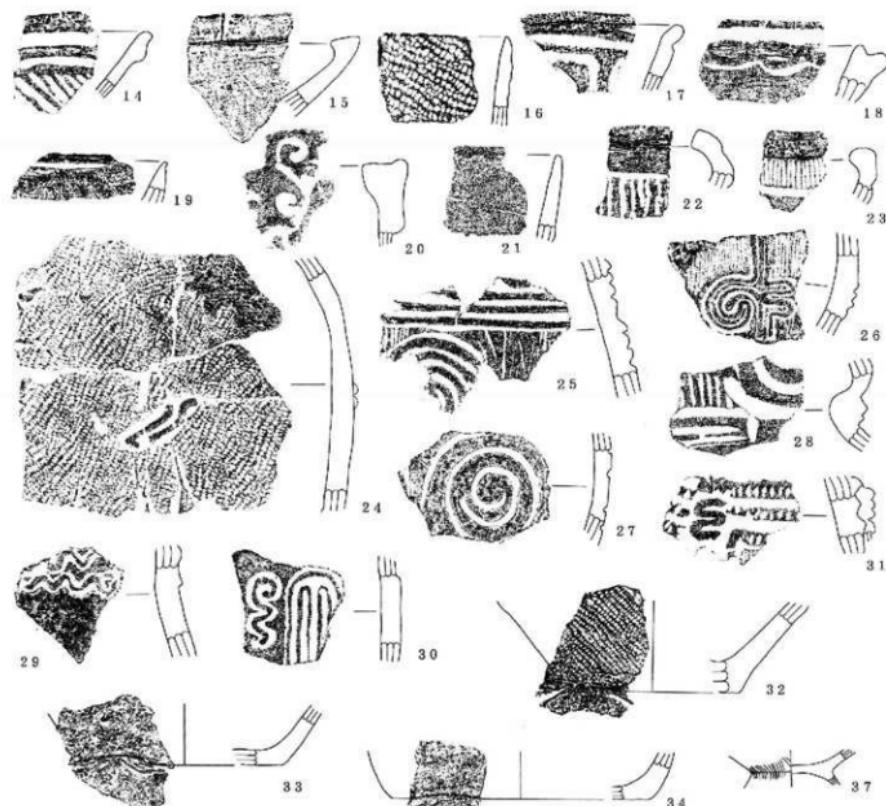
第96図  
第8号住居跡出土  
土器・土製品 (No. 1)



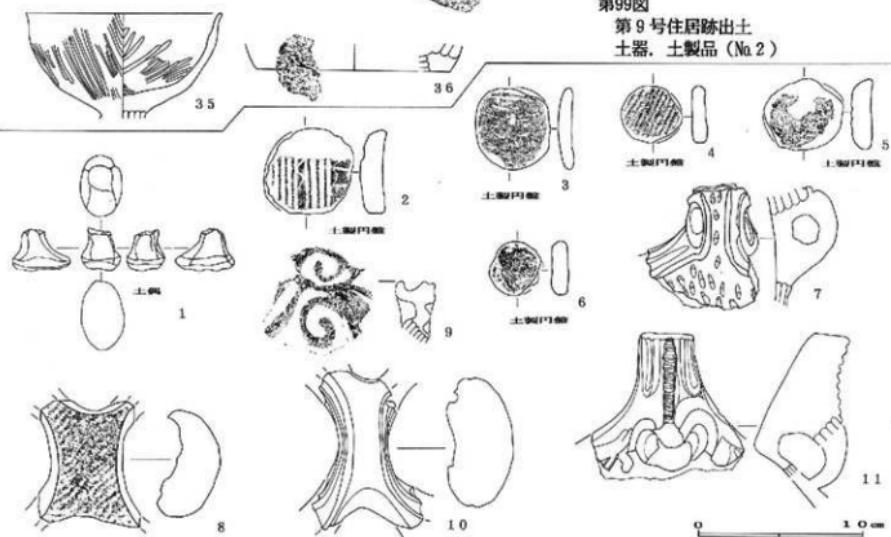
第97図  
第8号住居跡出土 土器、土製品 (No. 2)



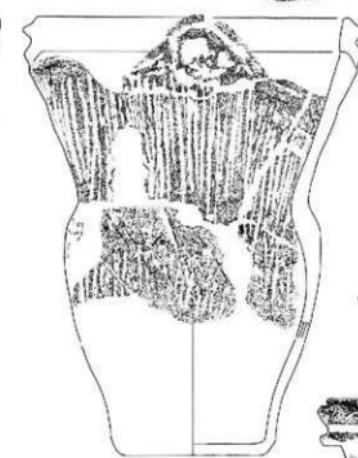
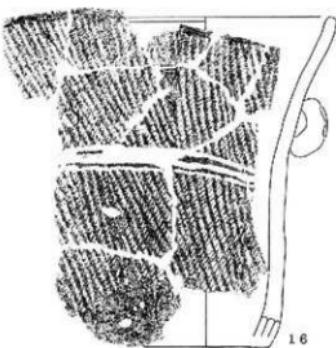
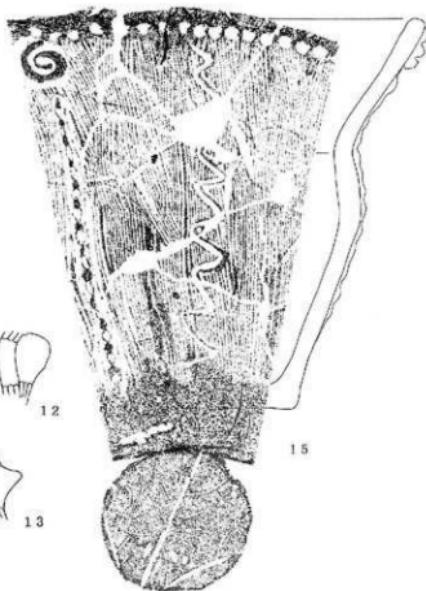
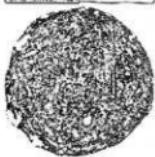
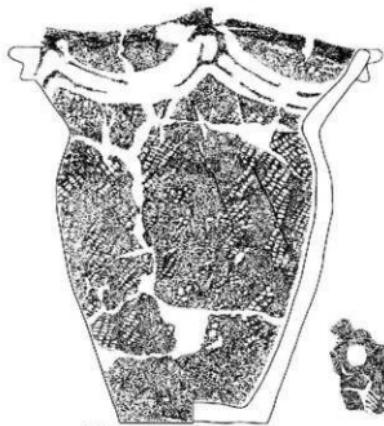
第98図  
第9号住居跡出土 土器、土製品 (No. 1)



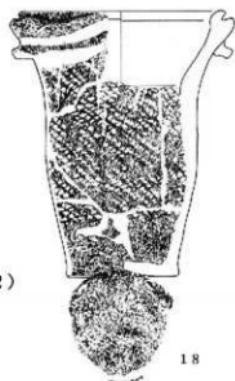
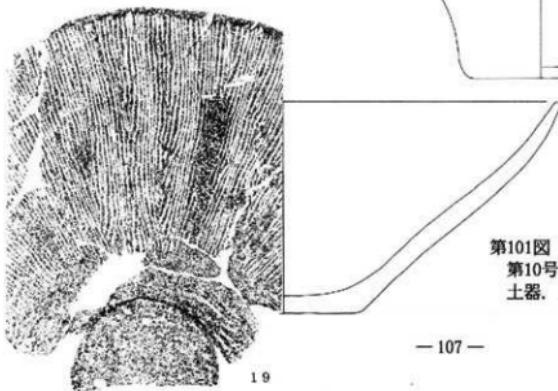
第99図  
第9号住居跡出土  
土器、土製品(No.2)



- 106 - 第10号住居跡出土 土器、土製品(No.1)



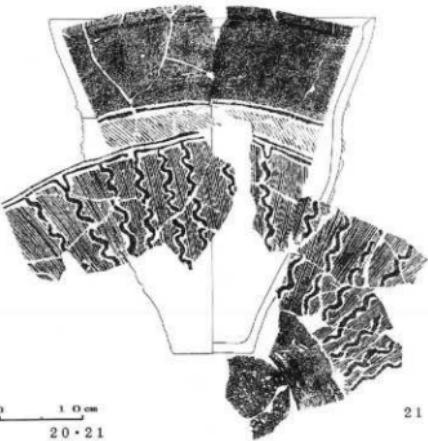
1.0 cm



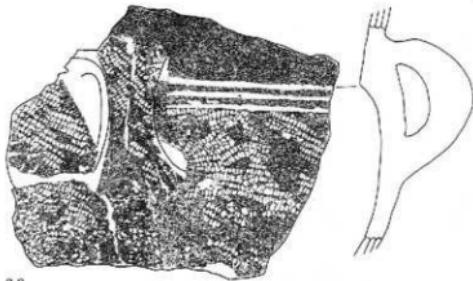
第101図  
第10号住居跡出土  
土器、土製品(No.2)



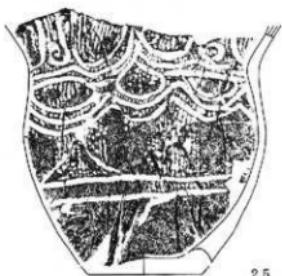
20



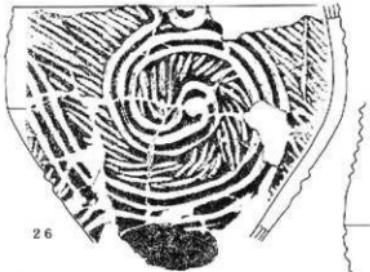
21

0 1.0 cm  
20-21

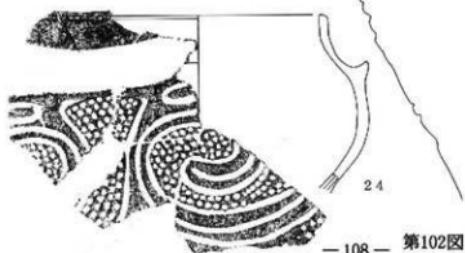
22



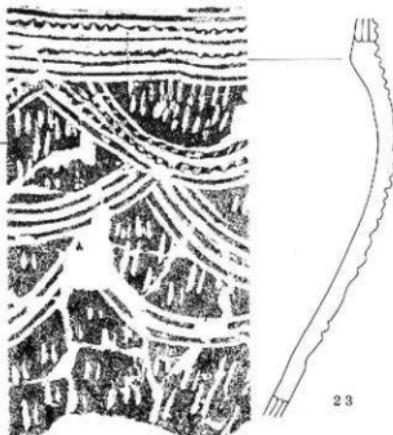
25

0 1.0 cm  
22-26

26



24



23

- 108 - 第102図 第10号住居跡出土 土器、土製品 (No. 3)

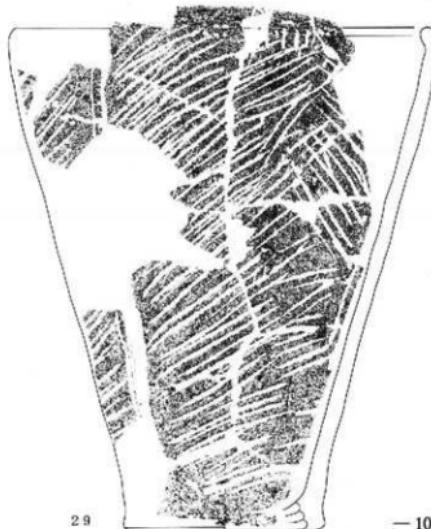


27

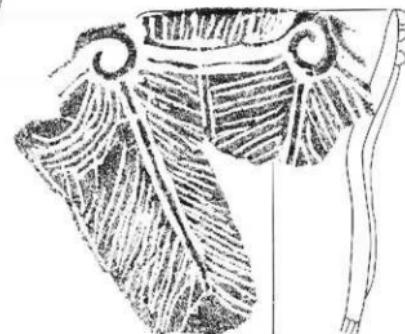
0 1.0 cm



28

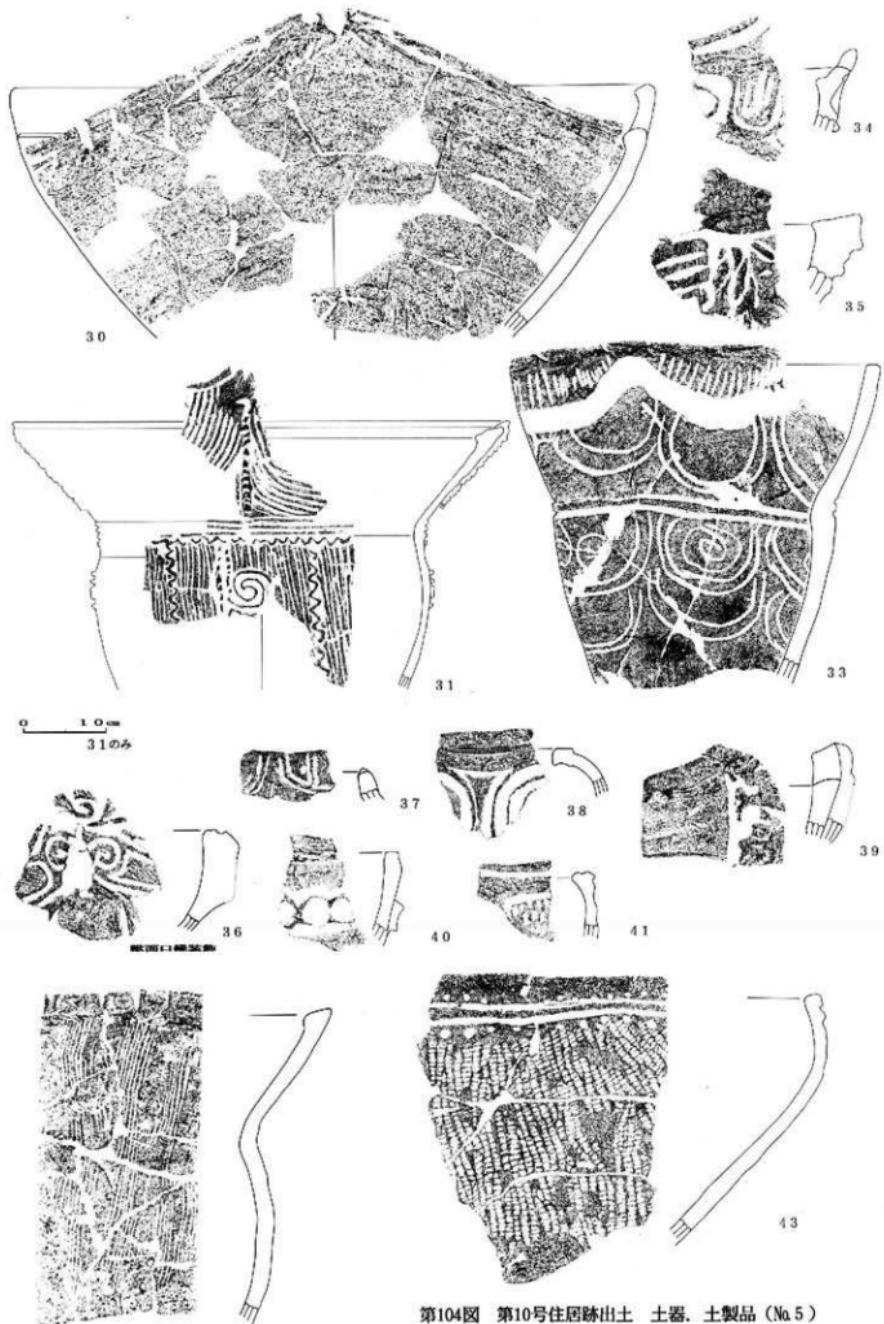


29

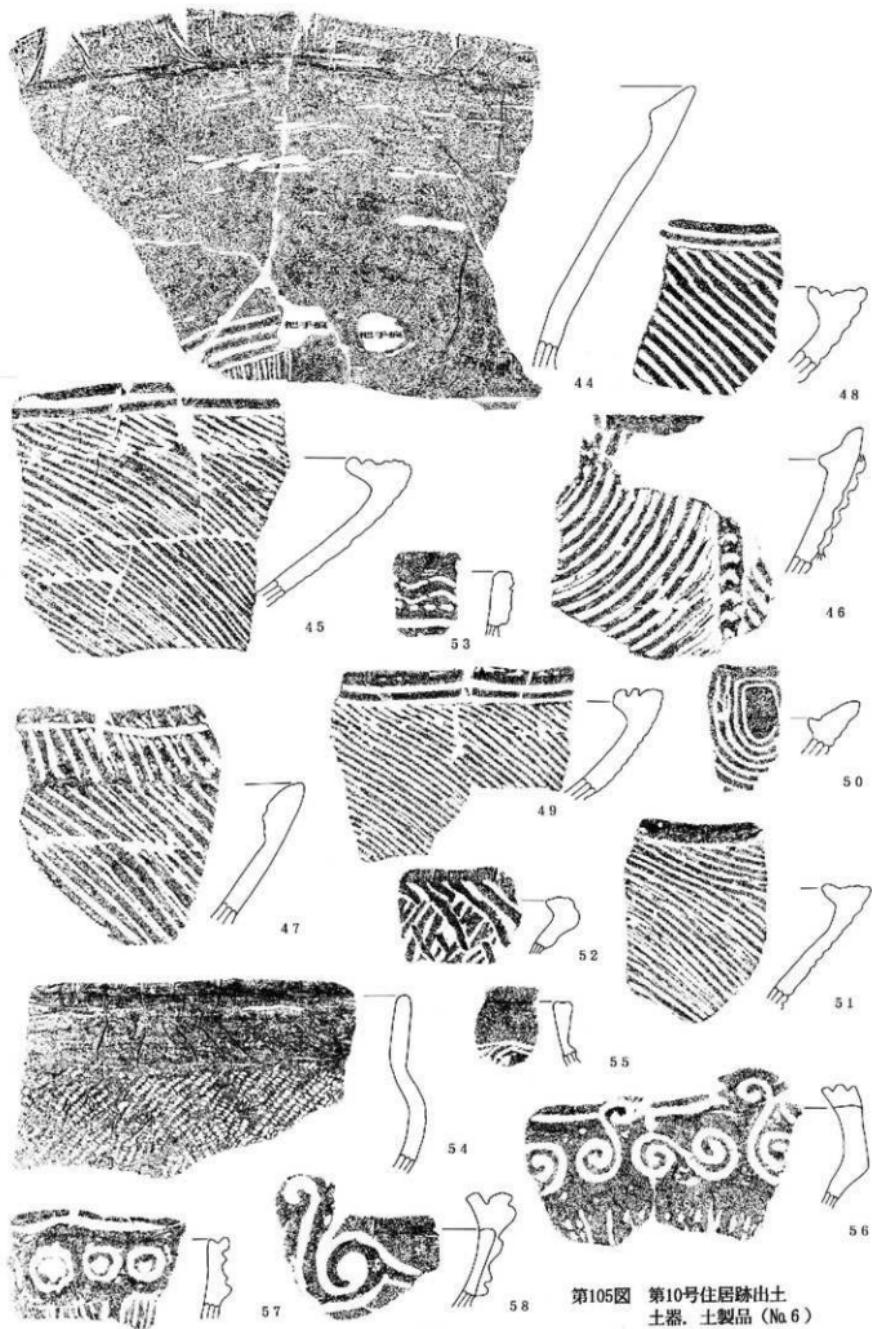


30

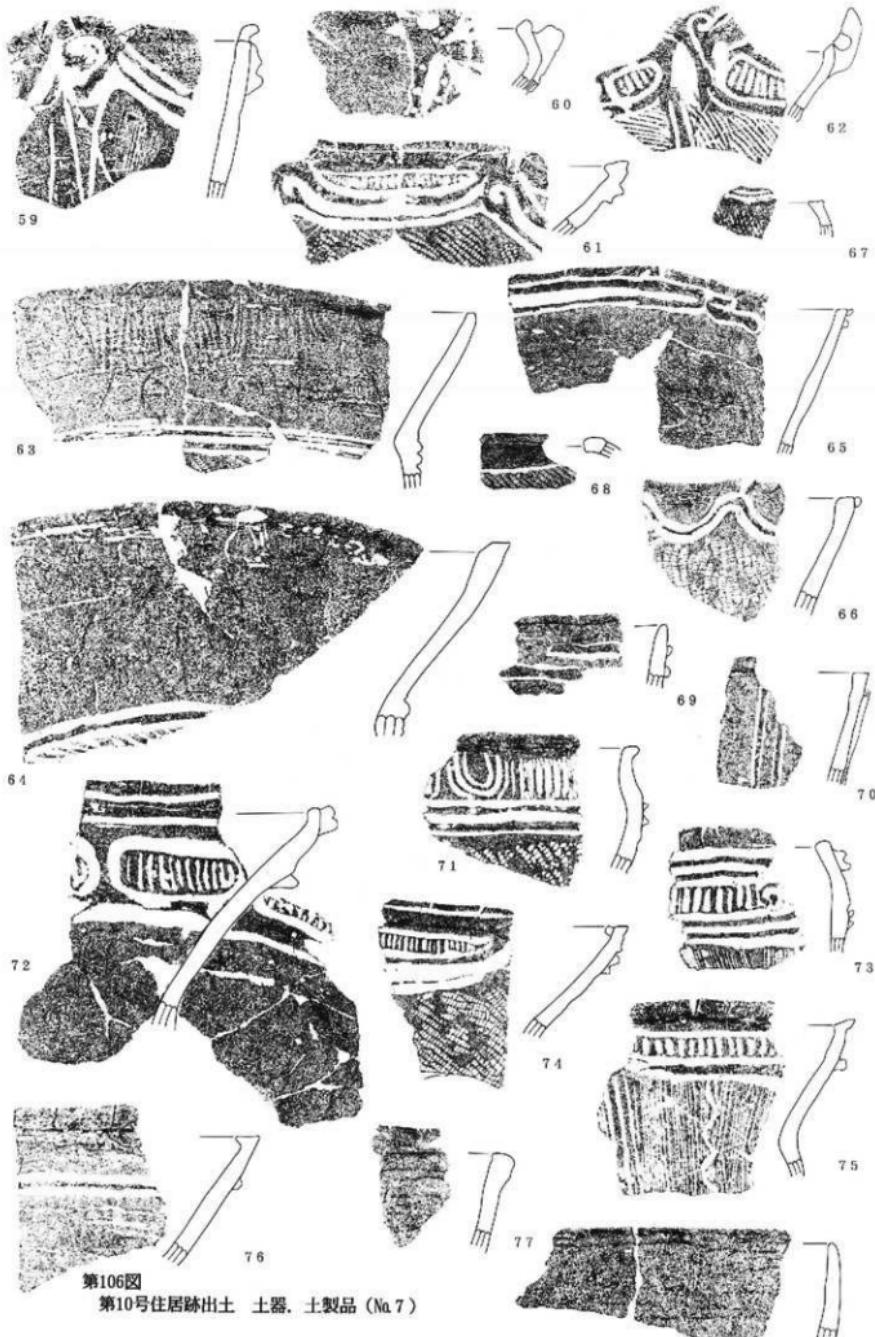
第103図 第10号住居跡出土 土器、土製品 (No.4)



第104図 第10号住居跡出土 土器、土製品 (No. 5)

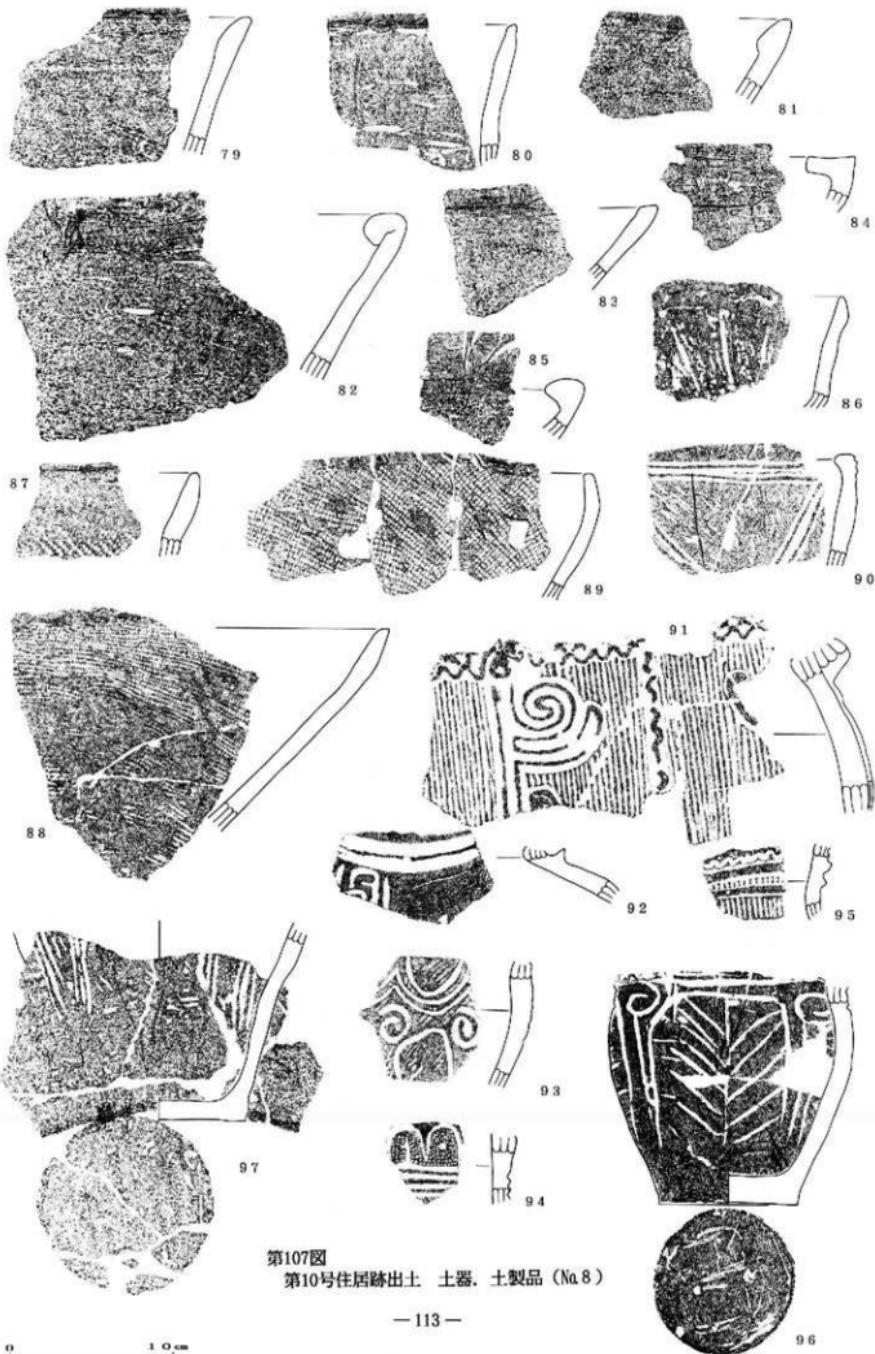


第105図 第10号住居跡出土  
土器、土製品 (No. 6)

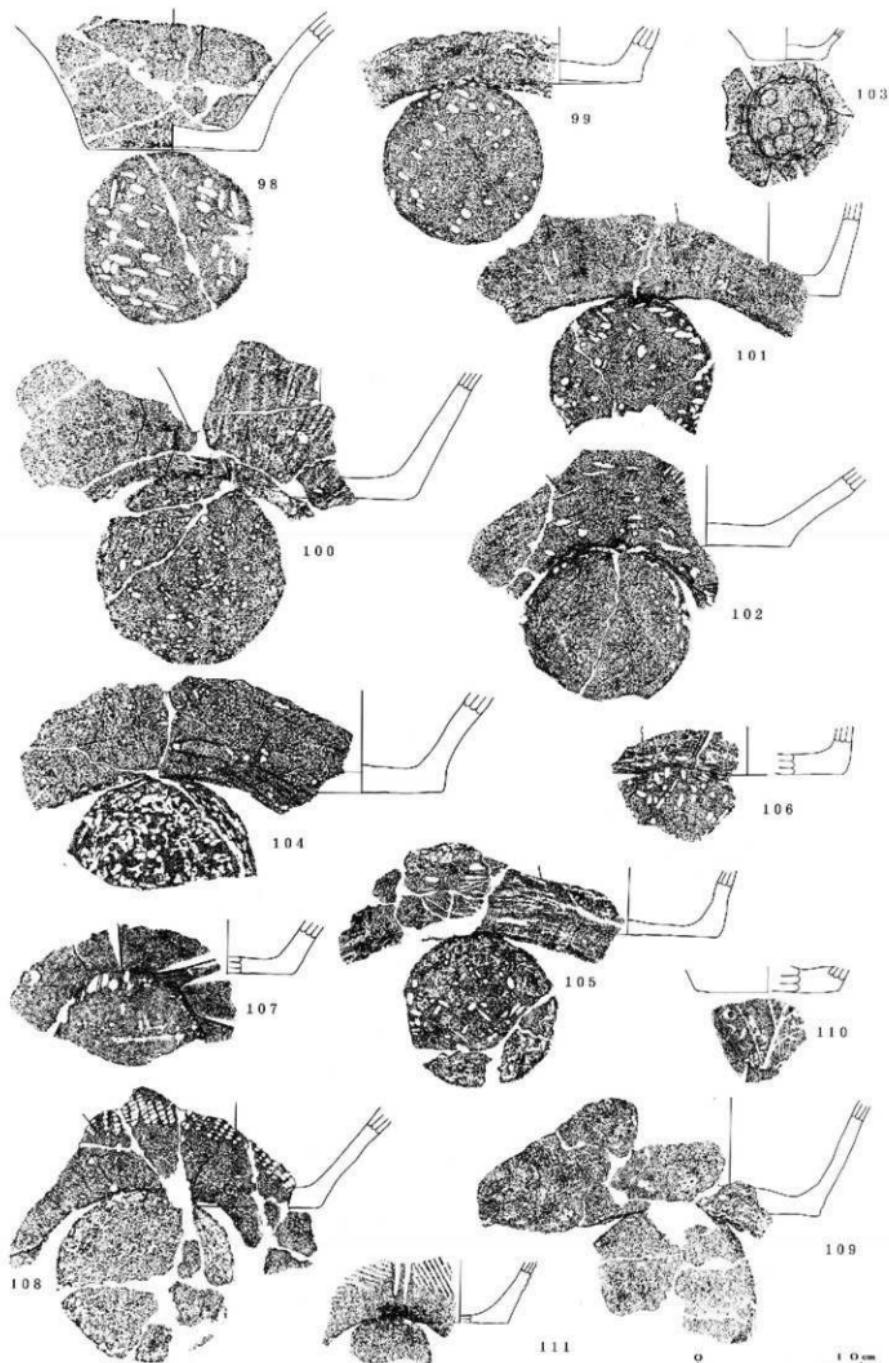


第106図

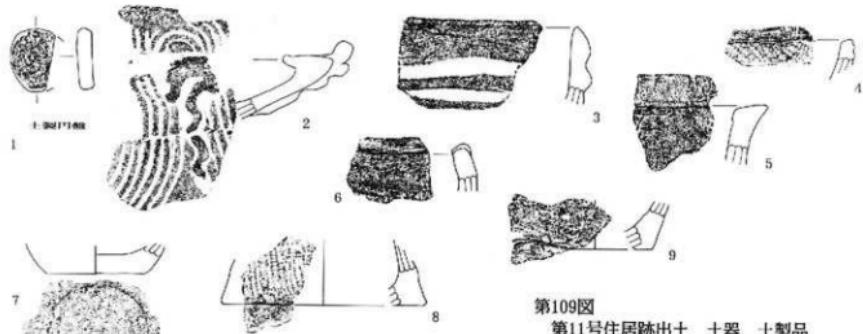
第10号住居跡出土 土器、土製品 (No. 7)



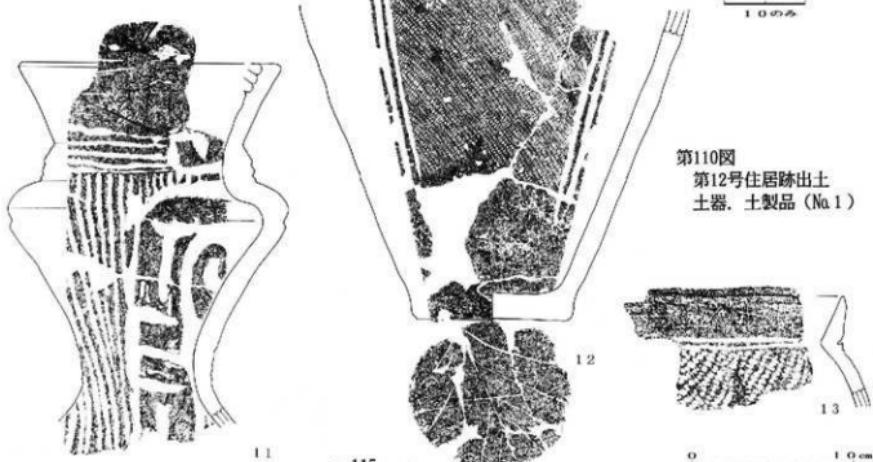
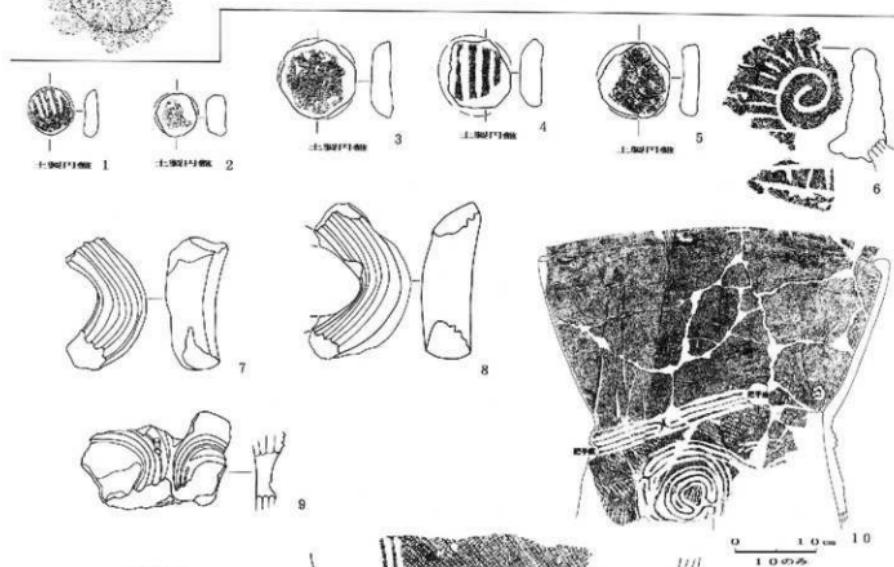
第107図  
第10号住居跡出土 土器、土製品 (No. 8)



第108図 第10号住居跡出土 土器、土製品 (No. 9)



第109図  
第11号住居跡出土 土器、土製品



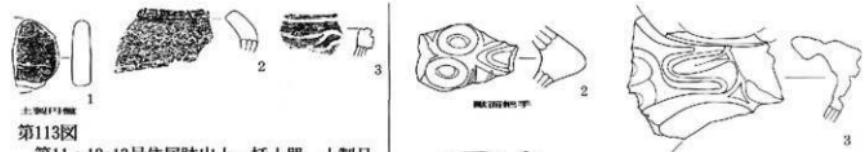
第110図  
第12号住居跡出土  
土器、土製品 (No.1)



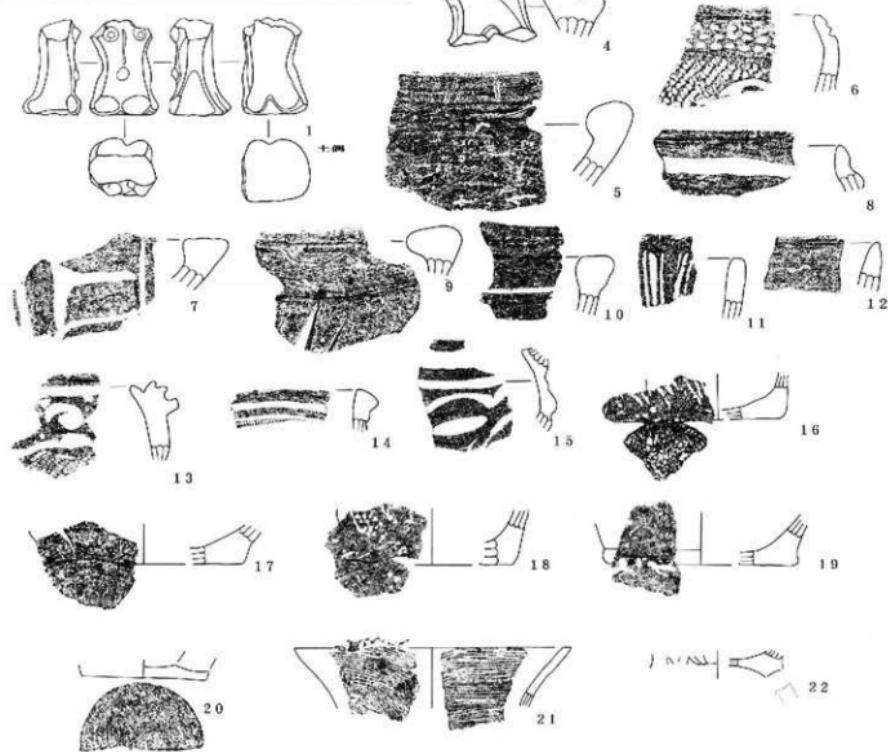
第111図  
第12号住居跡出土  
土器・土製品(No.2)



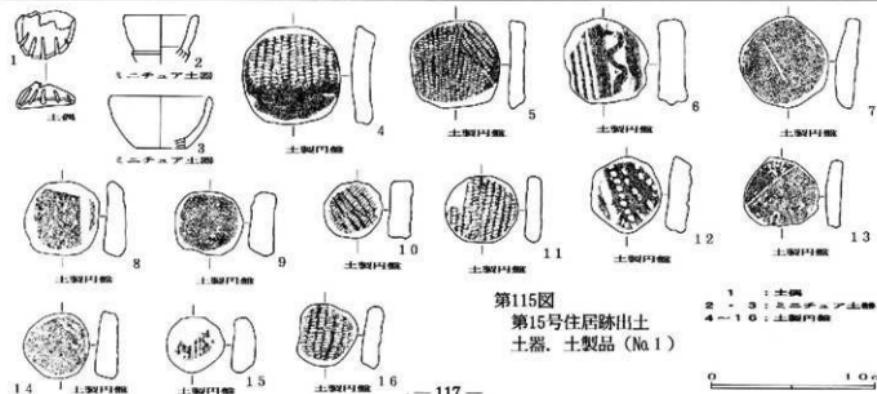
第112図  
第13号住居跡出土  
土器・土製品



第11・12・13号住居跡出土一括土器、土製品



第114図 第14号住居跡出土 土器、土製品

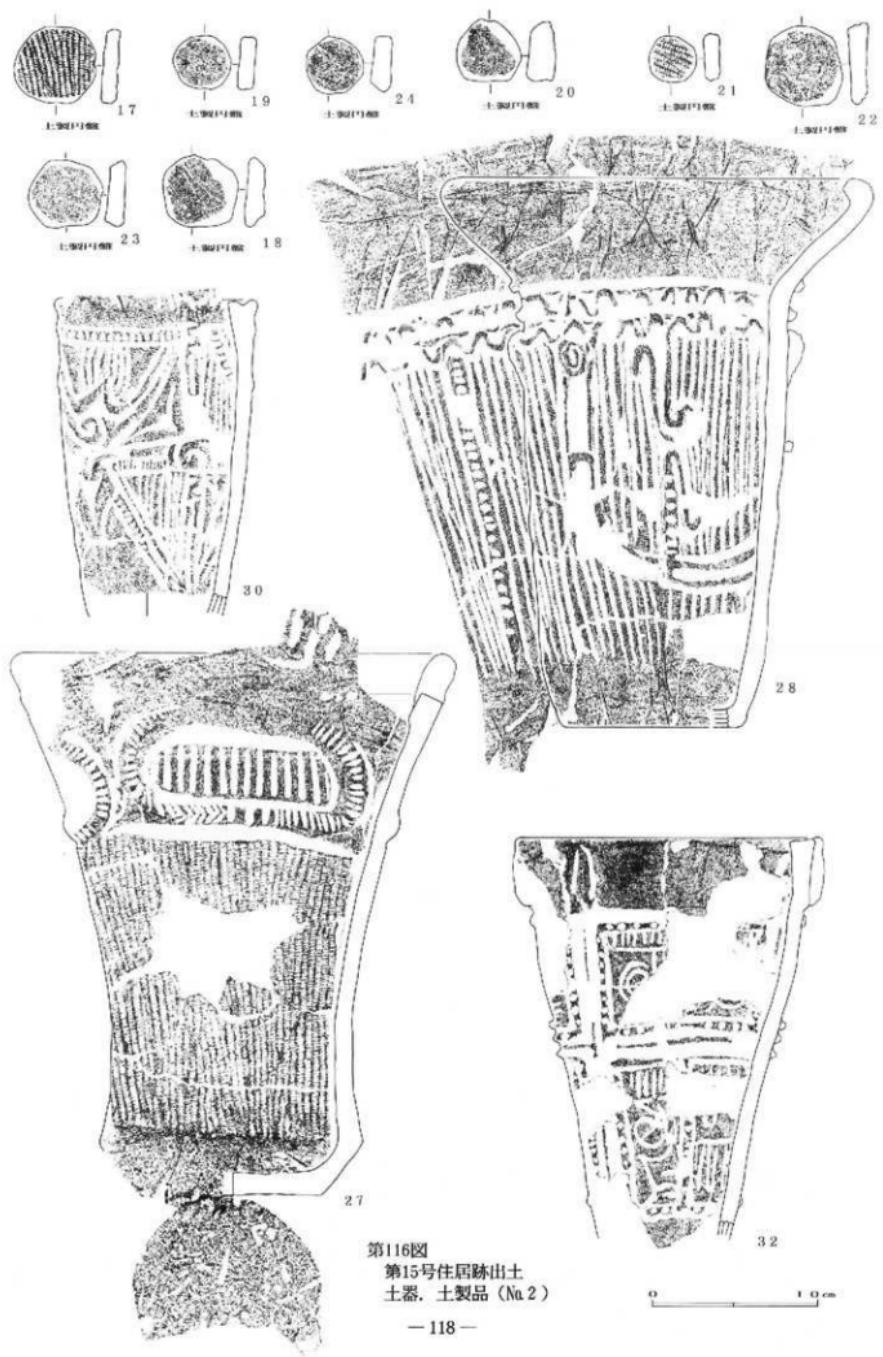


第115図  
第15号住居跡出土  
土器、土製品 (No. 1)

1 : 土器  
2 : 3 : ニニチニア土器

4 ~ 10 : 土製内盤

0 1.0 cm



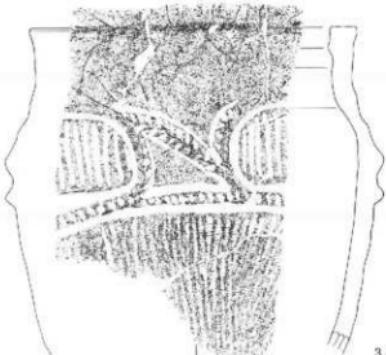
第116図  
第15号住居跡出土  
土器、土製品（No.2）



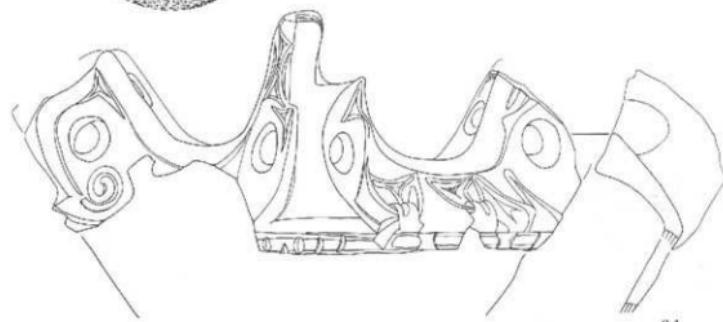
2.9



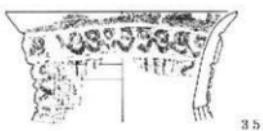
3.3



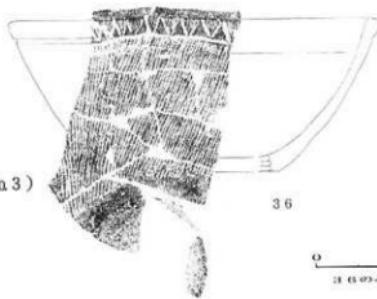
3.4



3.1



3.5

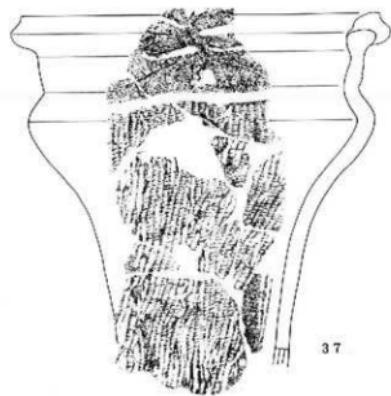


3.6

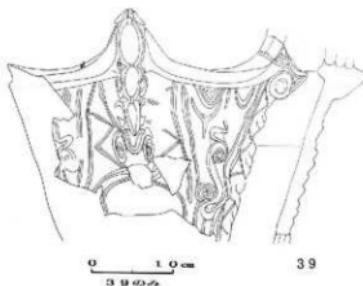
第117図 第15号住居跡出土 土器、土製品(No.3)

0 1.0 cm

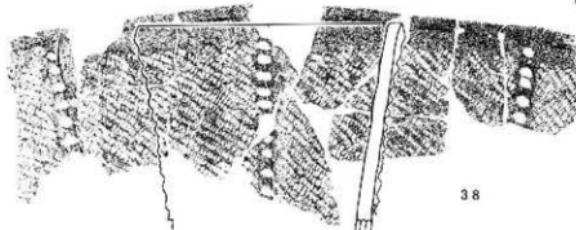
0 1.0 cm  
3.6 cm



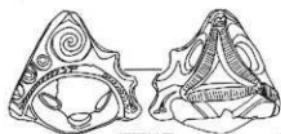
37



39

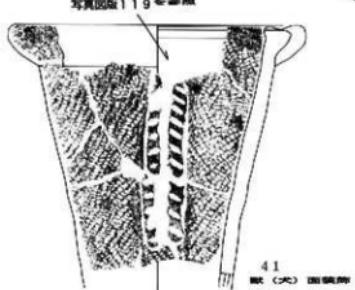


38

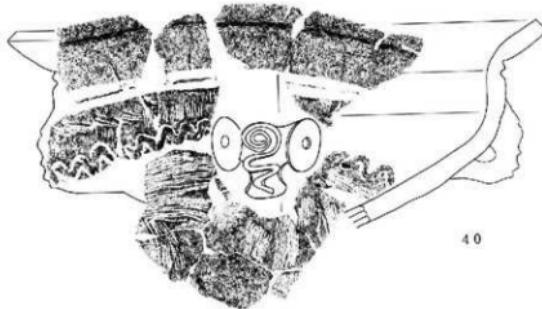


43

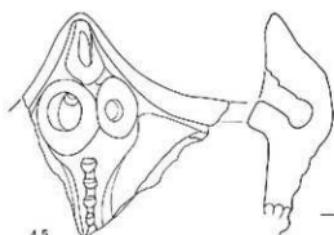
第118図  
第15号住居跡出土  
土器、土製品(No.4)



41

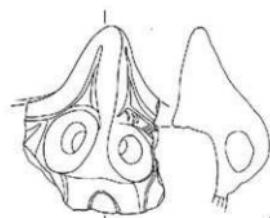


40



45

- 120 -



46

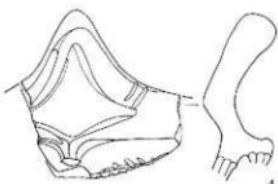
0 1.0 cm



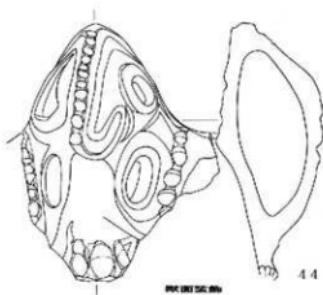
4.2



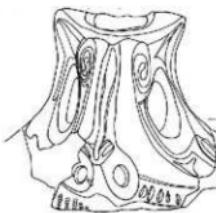
4.4



4.7



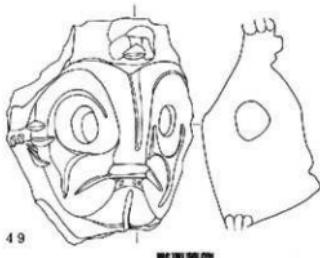
4.9



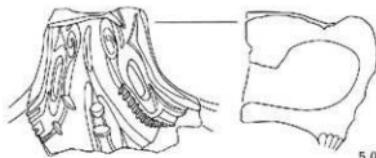
5.1



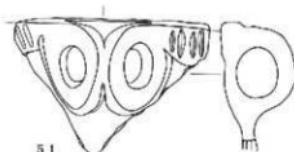
5.2



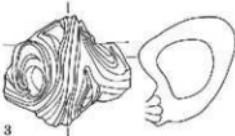
5.3



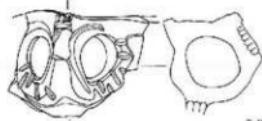
5.4



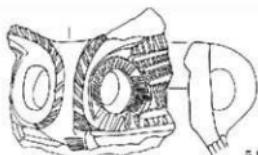
5.5



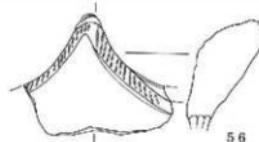
5.6



5.7

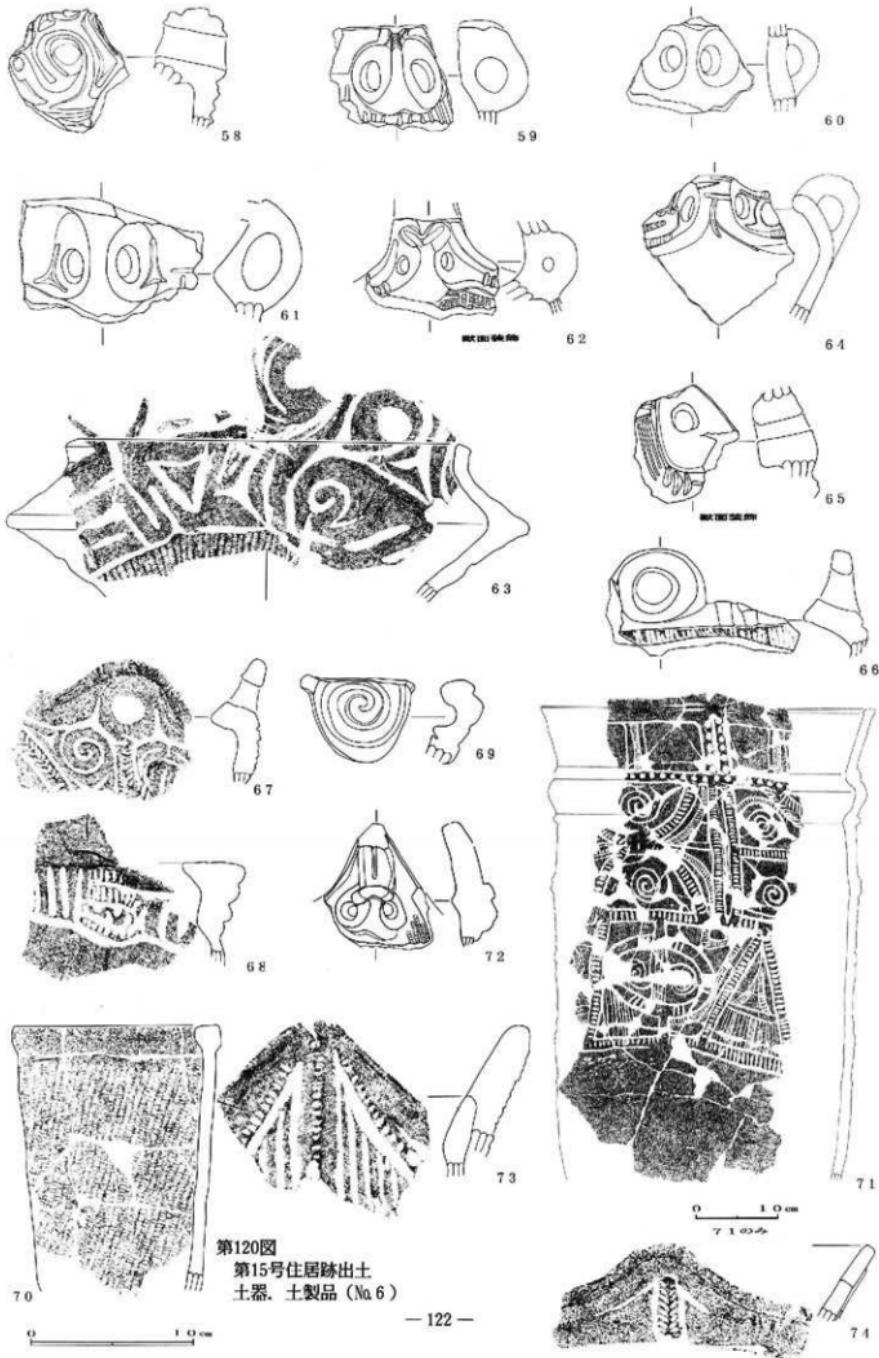


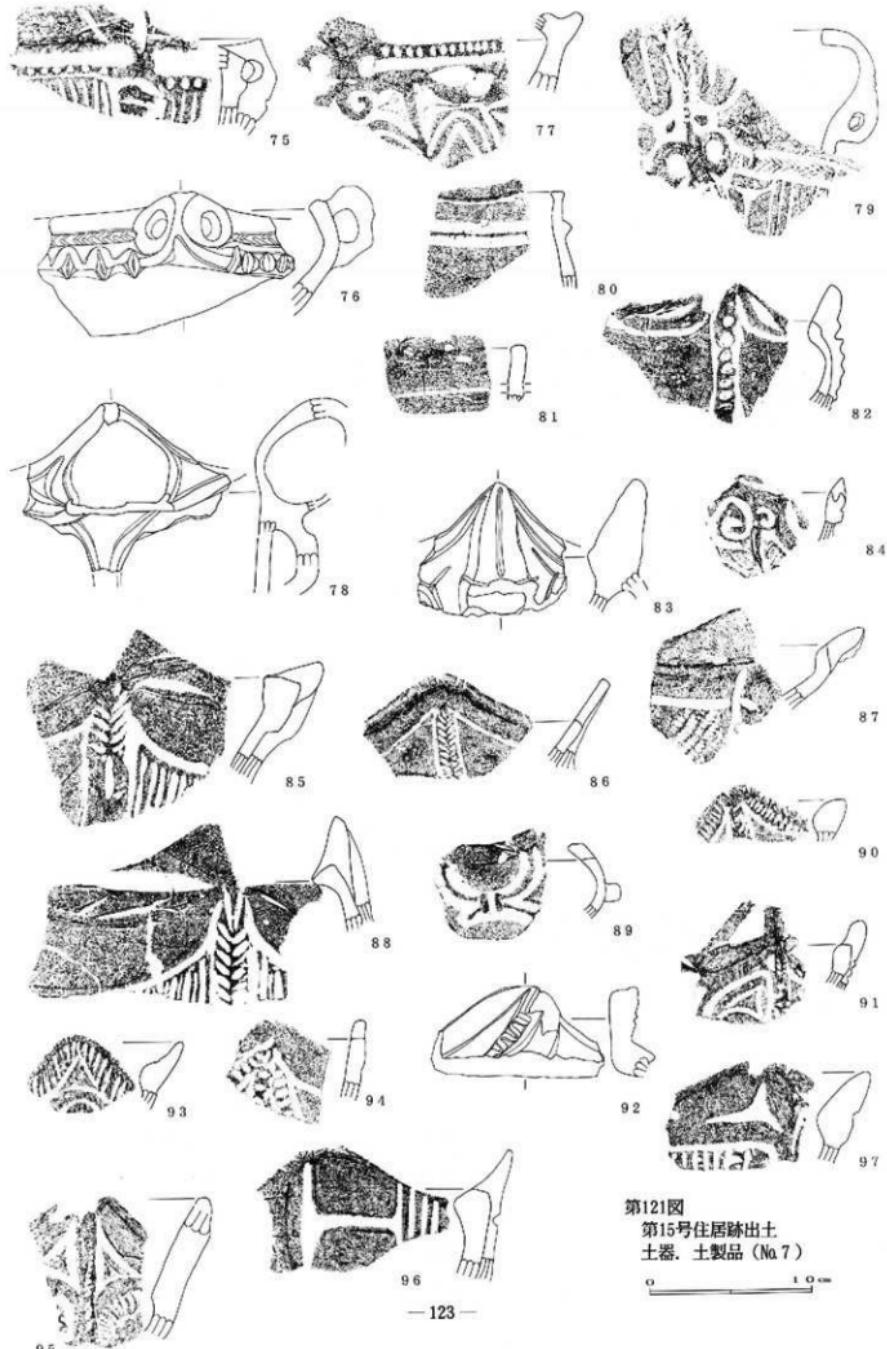
5.8



5.9

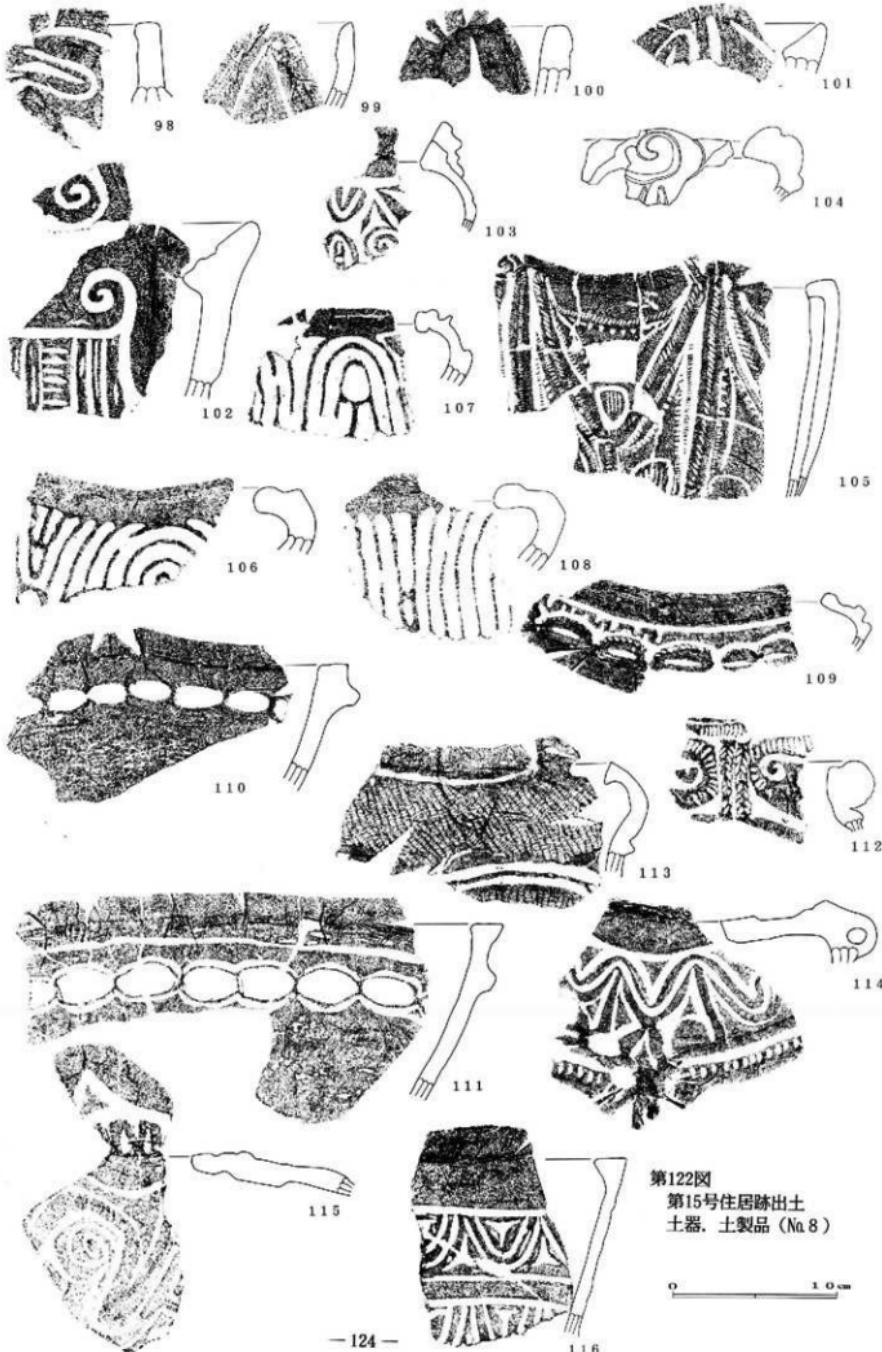
第119図 第15号住居跡出土 土器、土製品(No.5)



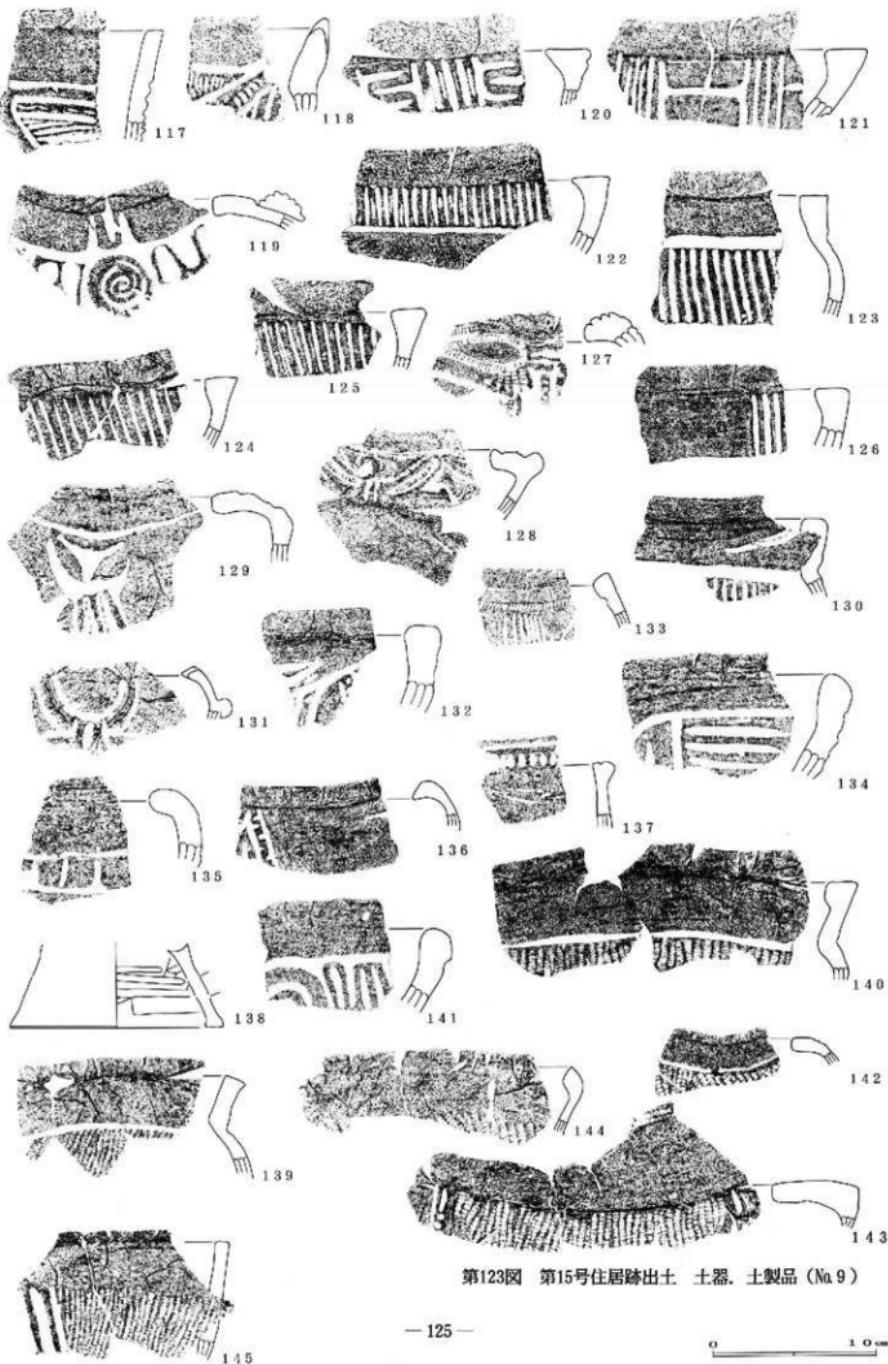


第121図  
第15号住居跡出土  
土器、土製品(No.7)

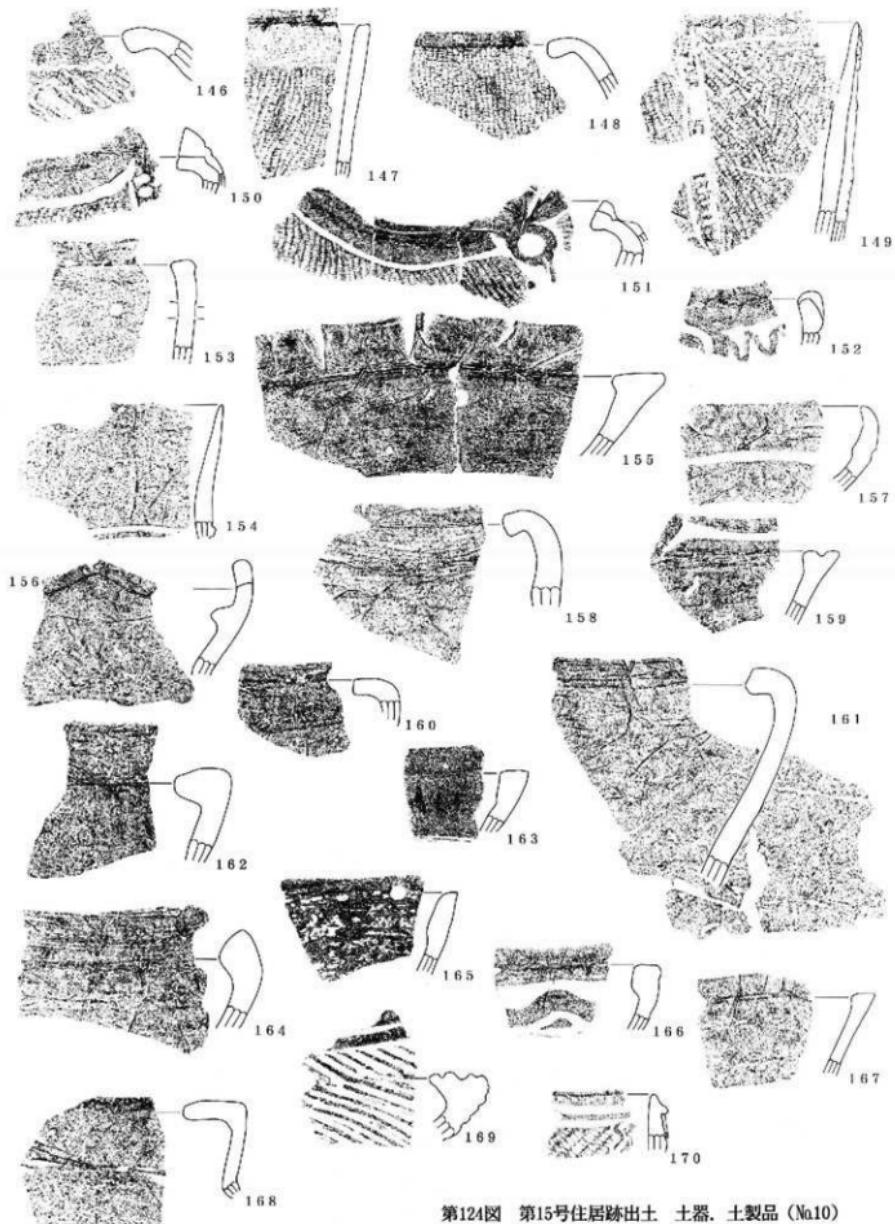
0 10 cm



第122図  
第15号住居跡出土  
土器、土製品 (Na. 8)

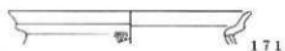


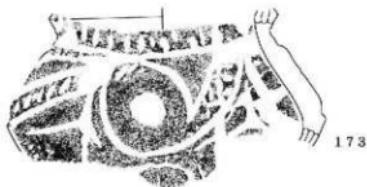
第123図 第15号住居跡出土 土器、土製品(No.9)



第124図 第15号住居跡出土 土器、土製品 (Na10)

0 10 cm





173



174



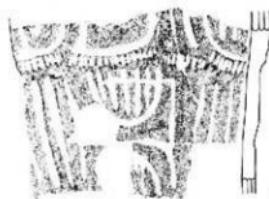
175



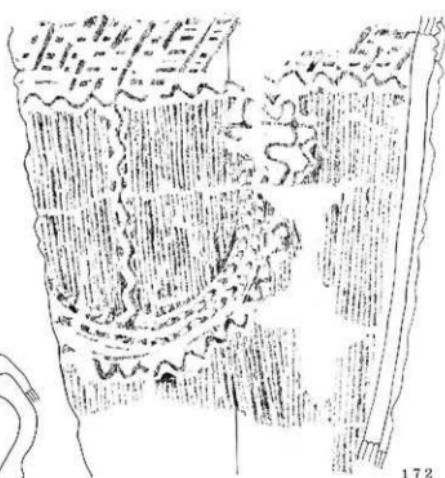
176



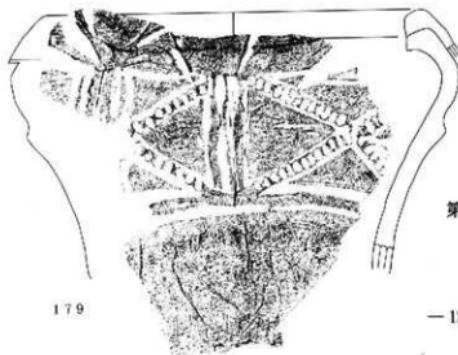
176



177



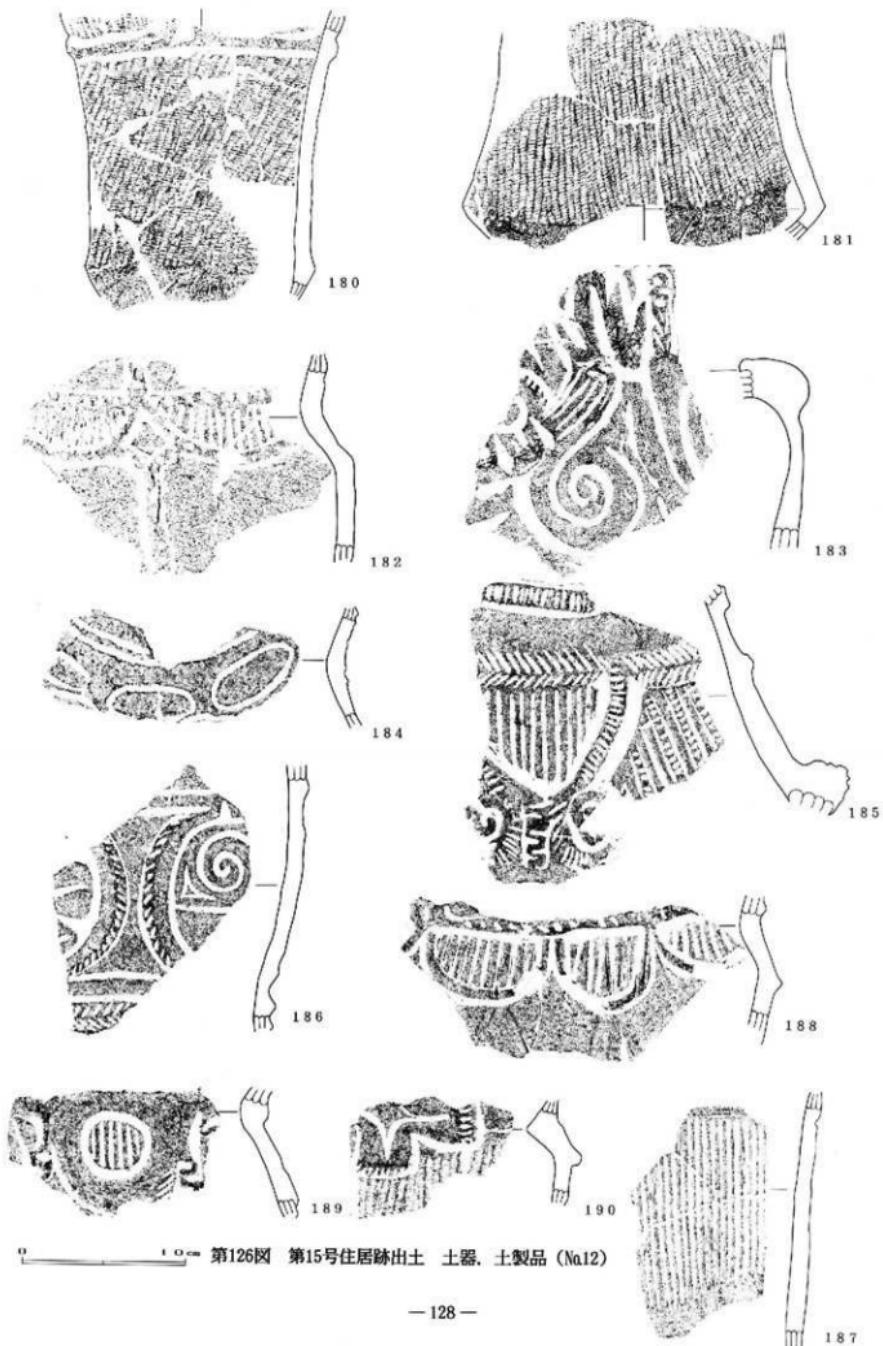
178



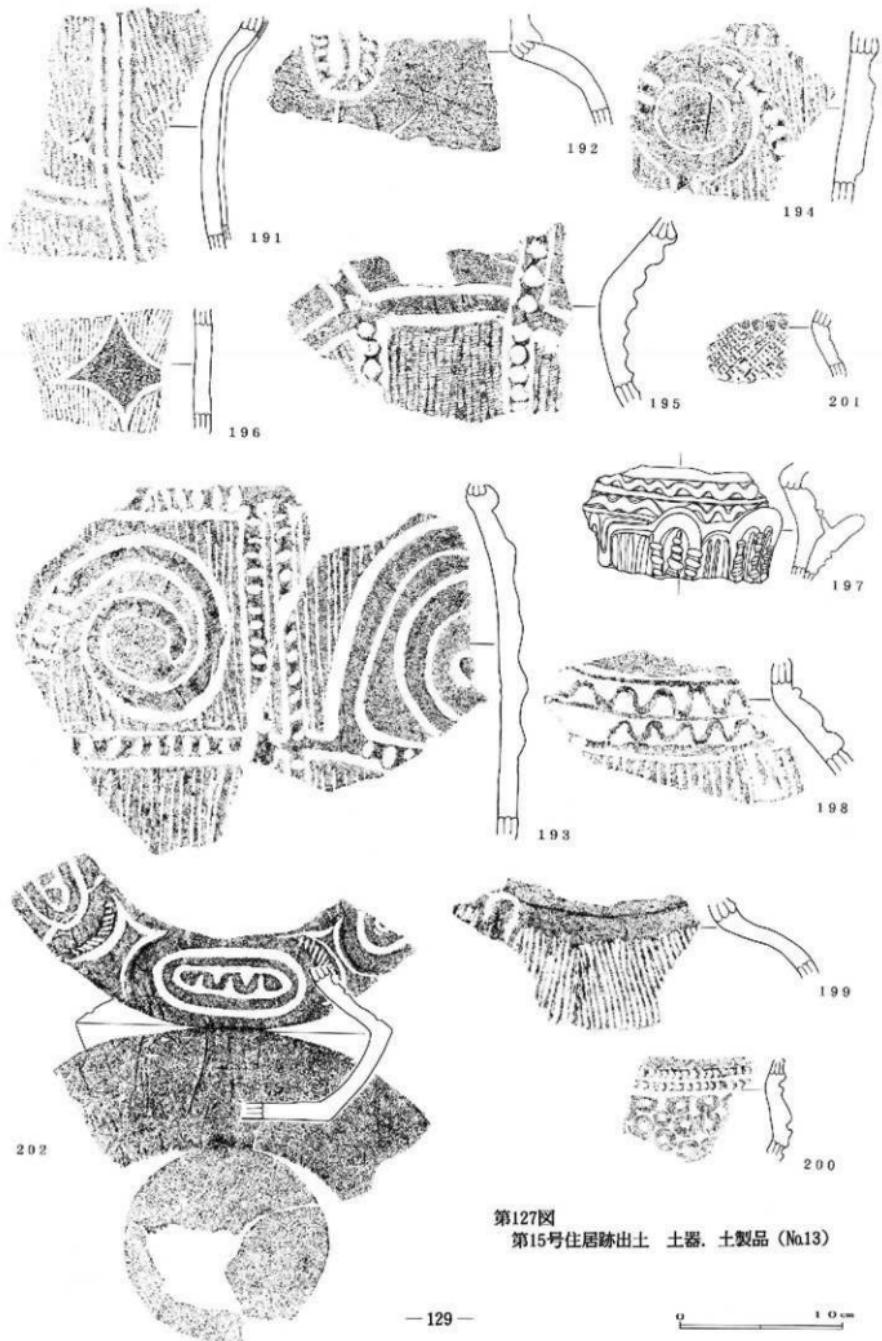
179

第125図 第15号住居跡出土 土器、土製品 (No.11)

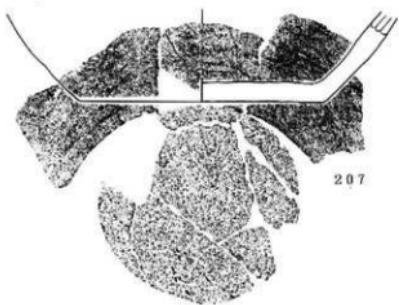
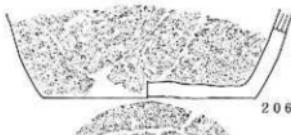
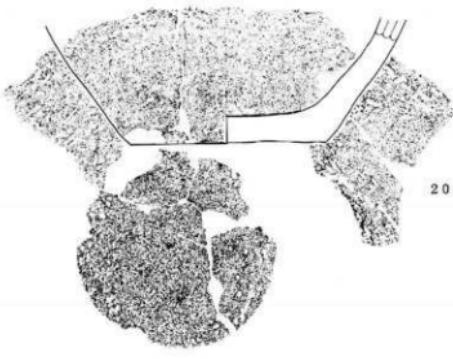
0 10cm



第126図 第15号住居跡出土 土器、土製品 (No.12)

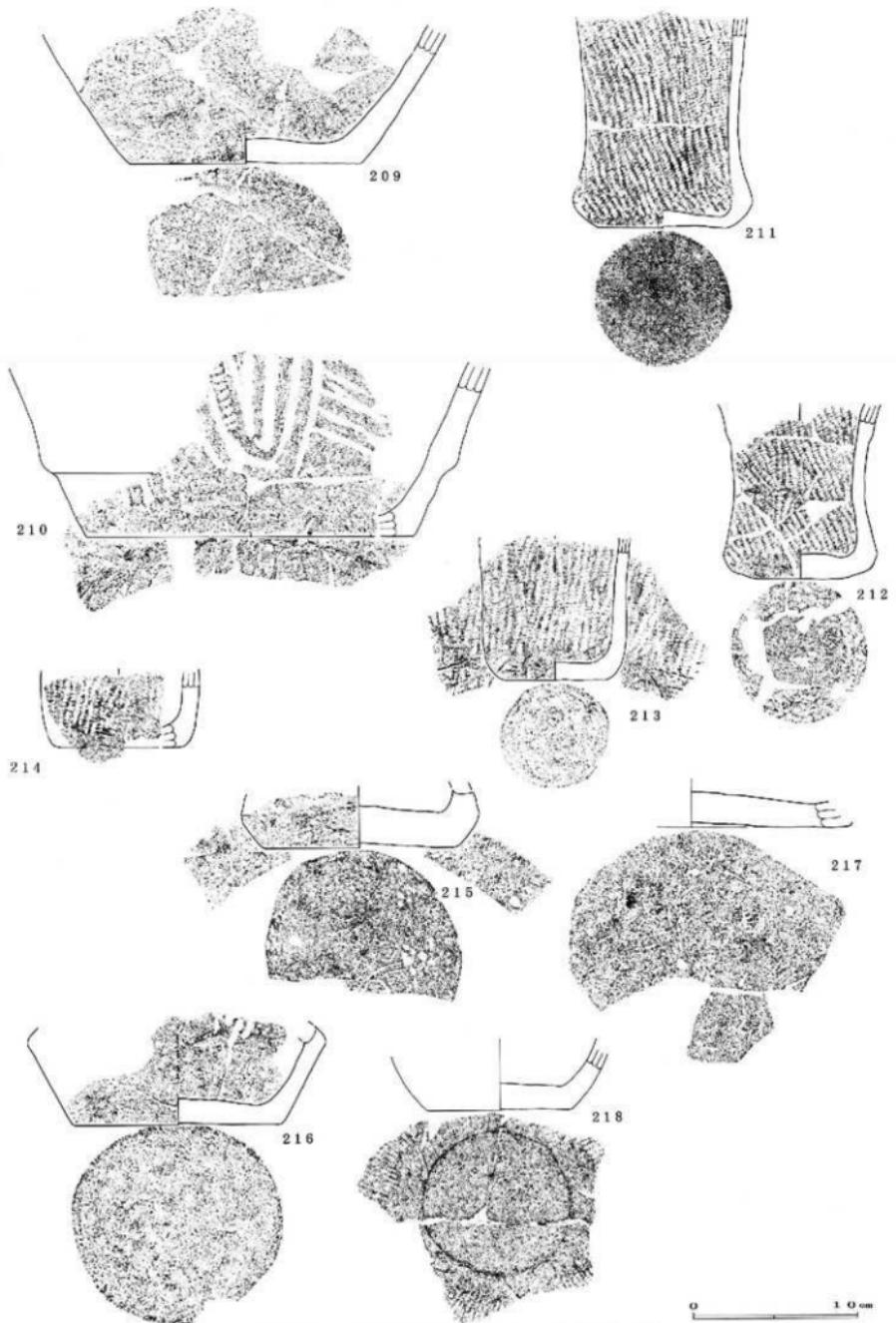


第127図  
第15号住居跡出土 土器、土製品 (No.13)

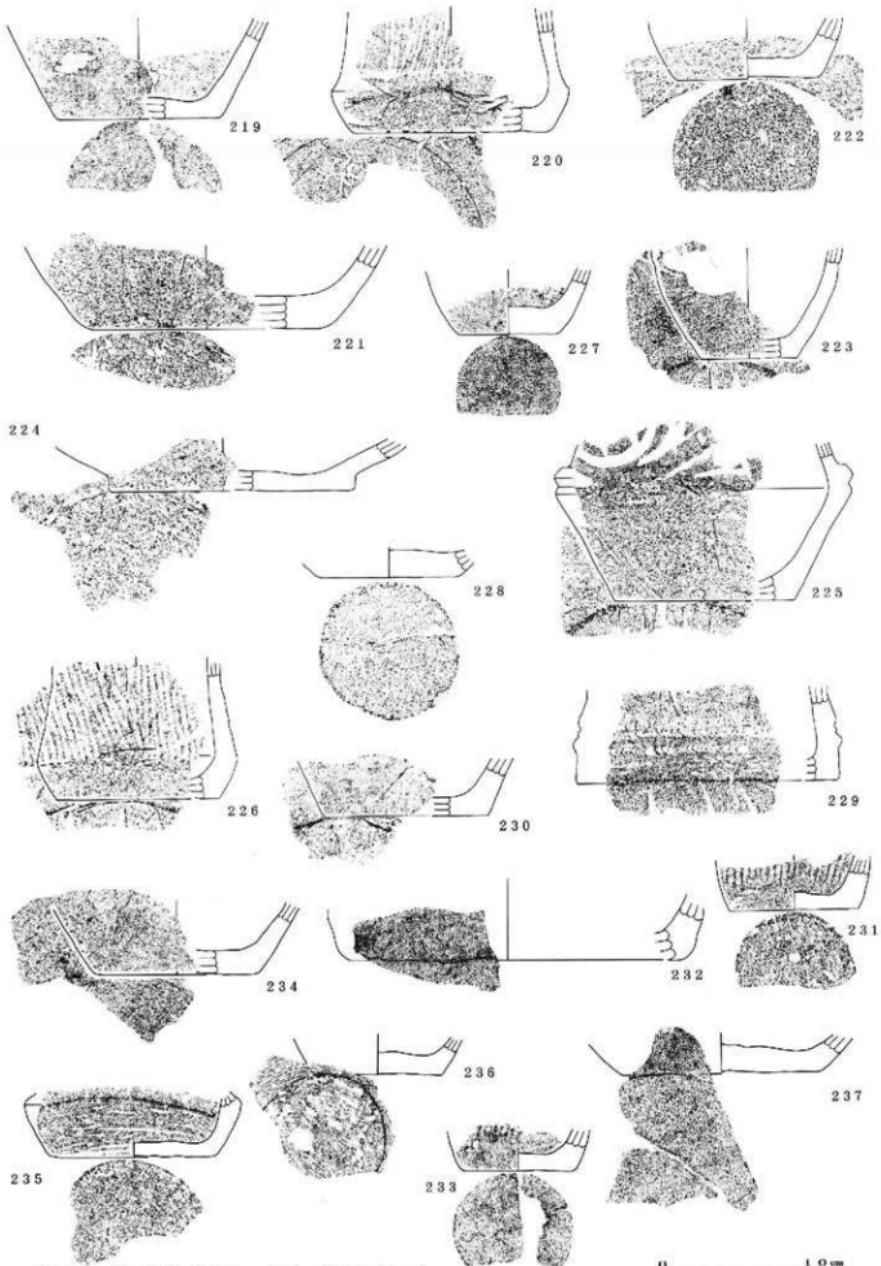


第128図  
第15号住居跡出土 土器、土製品 (No.14)

0 10 cm

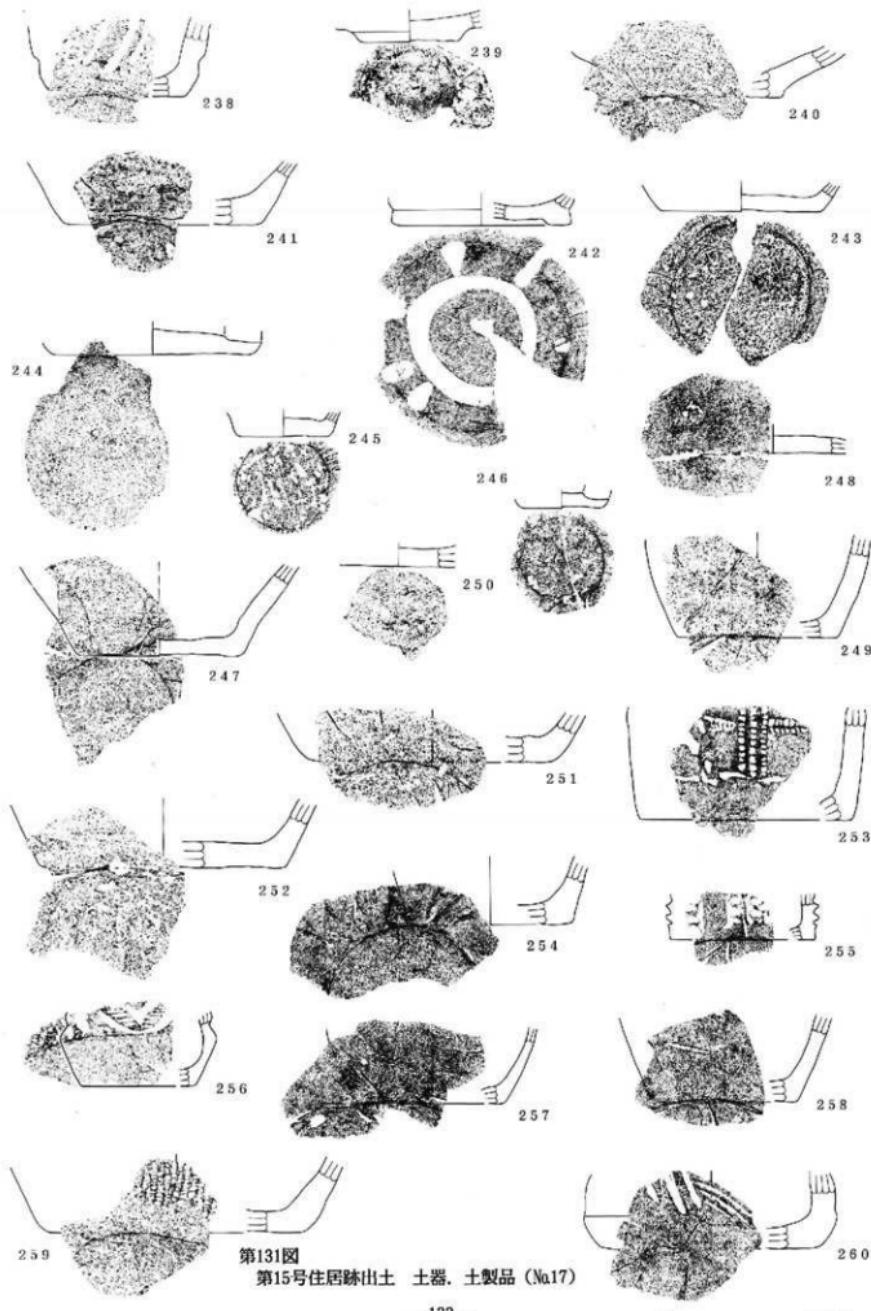


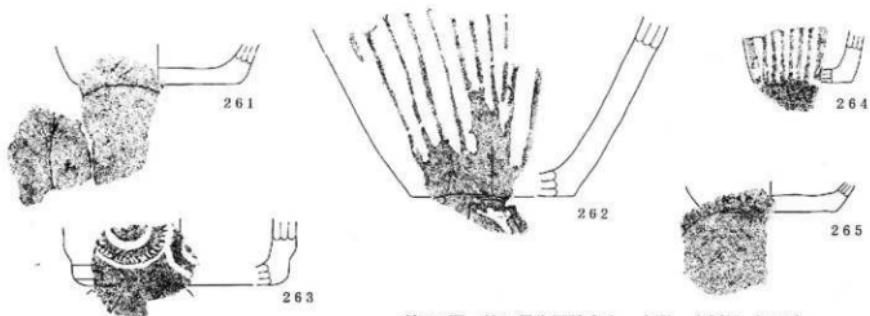
第129図 第15号住居跡出土 土器、土製品 (No.15)



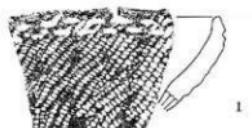
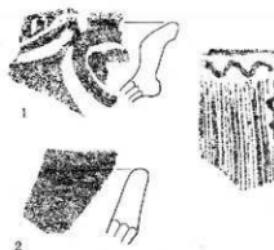
第130図 第15号住居跡出土 土器、土製品 (No.16)

0 1.0 cm

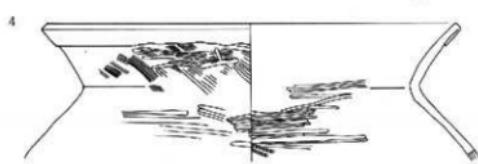
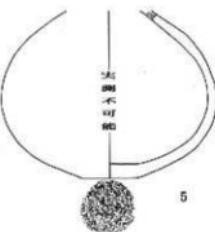
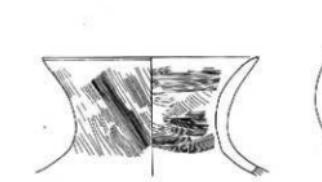




第132図 第15号住居跡出土 土器、土製品 (No.18)

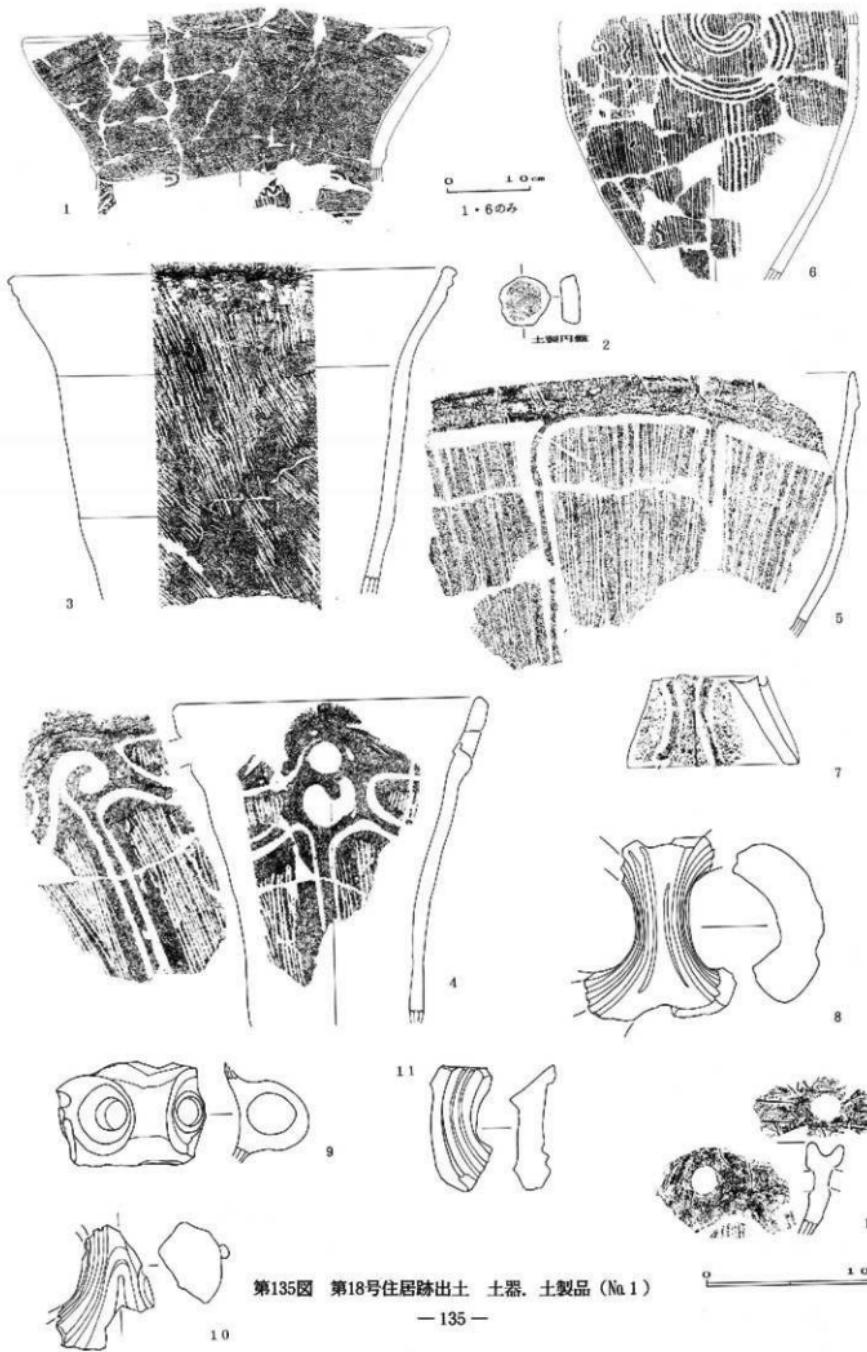


第133図 第16号住居跡出土 土器、土製品

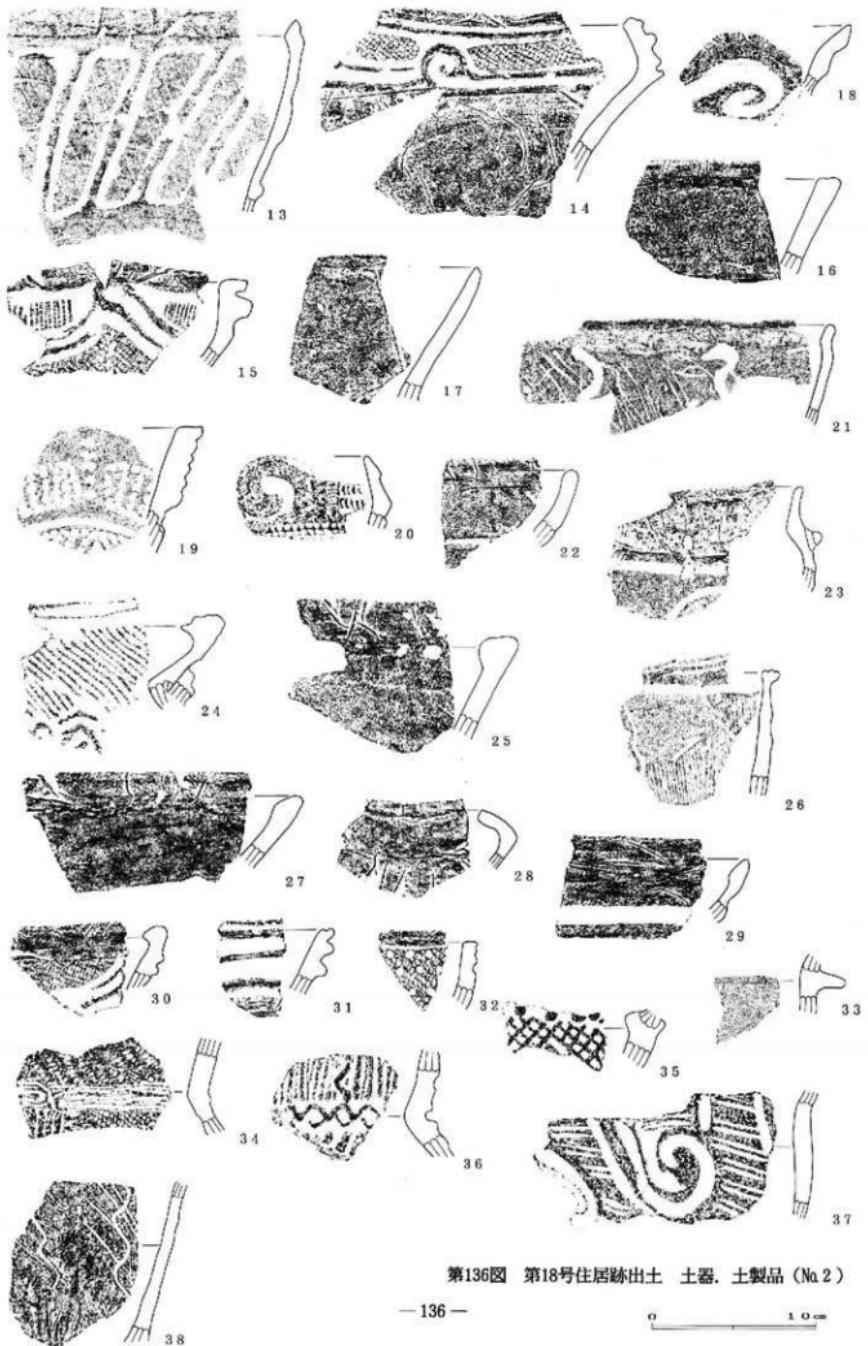


第134図 第17号住居跡出土 土器、土製品

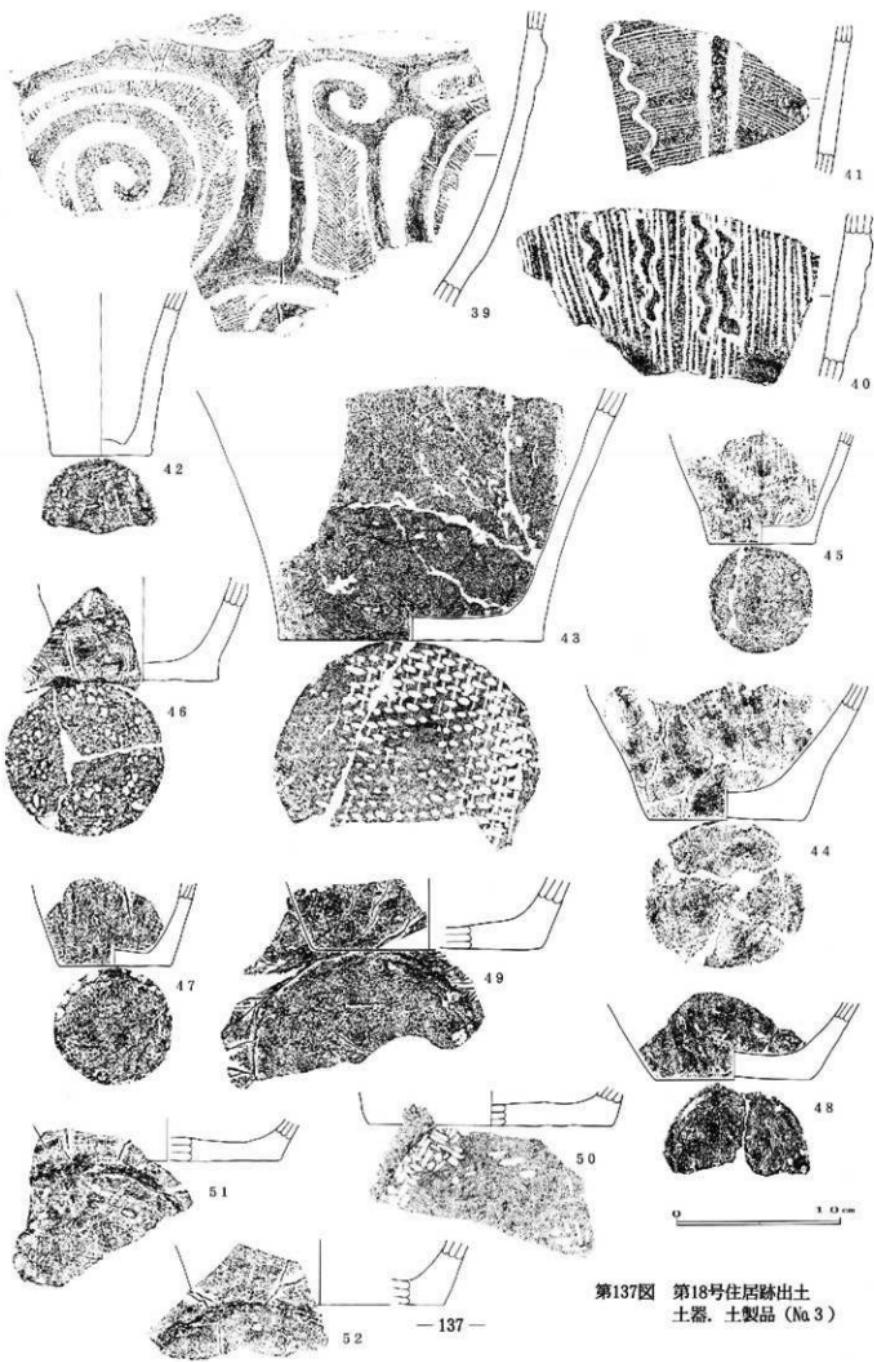




第135図 第18号住居跡出土 土器、土製品 (No. 1)



第136図 第18号住居跡出土 土器、土製品 (No.2)

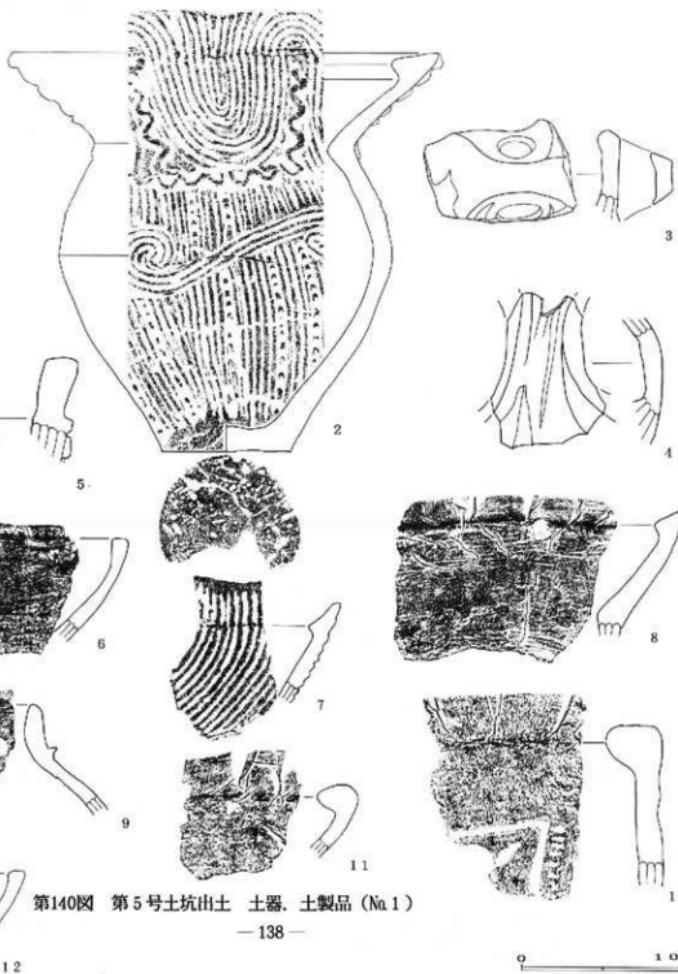


第137図 第18号住居跡出土  
土器、土製品 (No. 3)

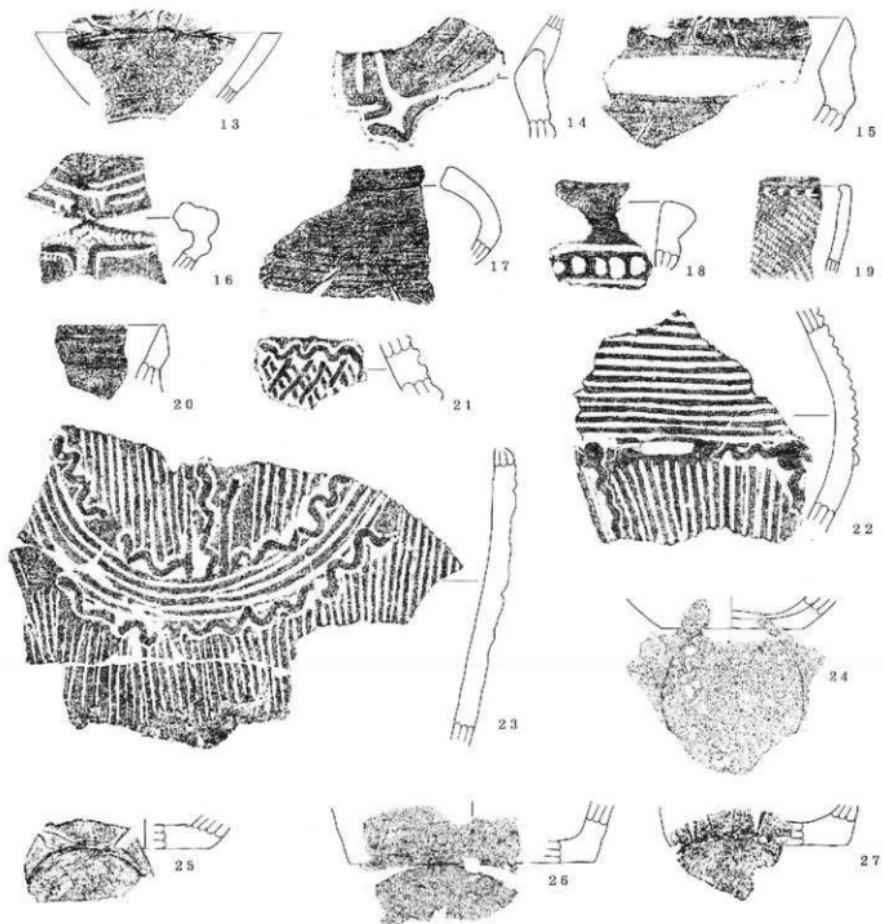


第138図  
第3号土坑出土  
土器、土製品

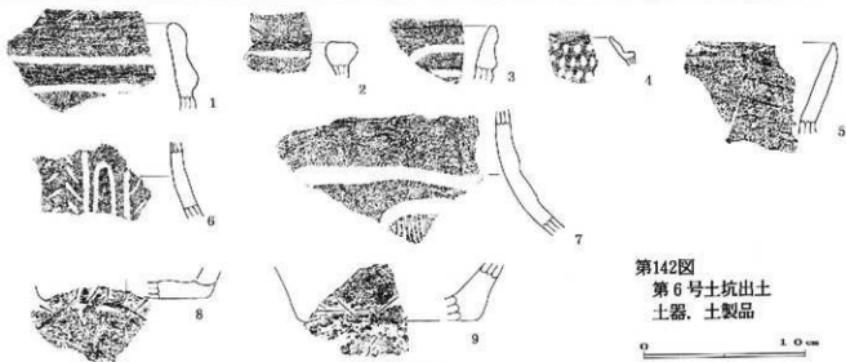
第139図  
第4号土坑出土  
土器、土製品



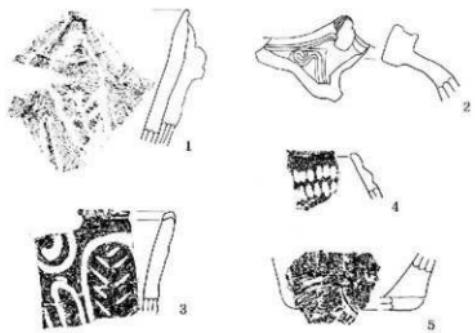
第140図 第5号土坑出土  
土器、土製品 (No. 1)



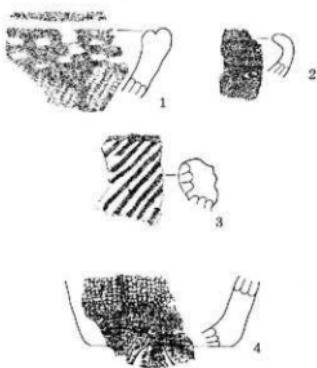
第141図 第5号土坑出土 土器、土製品(No.2)



第142図  
第6号土坑出土  
土器、土製品



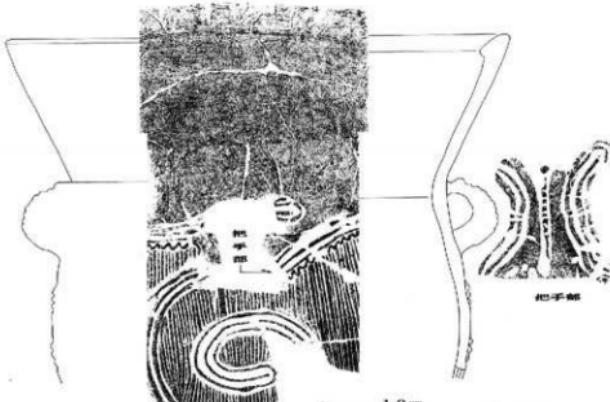
第143図  
第7号土坑出土 土器、土製品



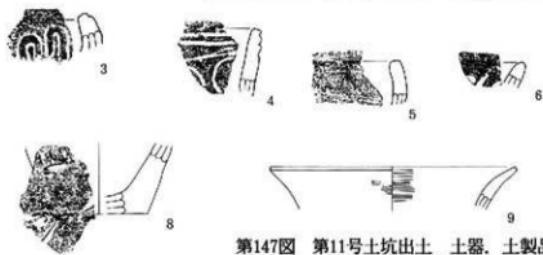
第144図  
第8号土坑出土 土器、土製品



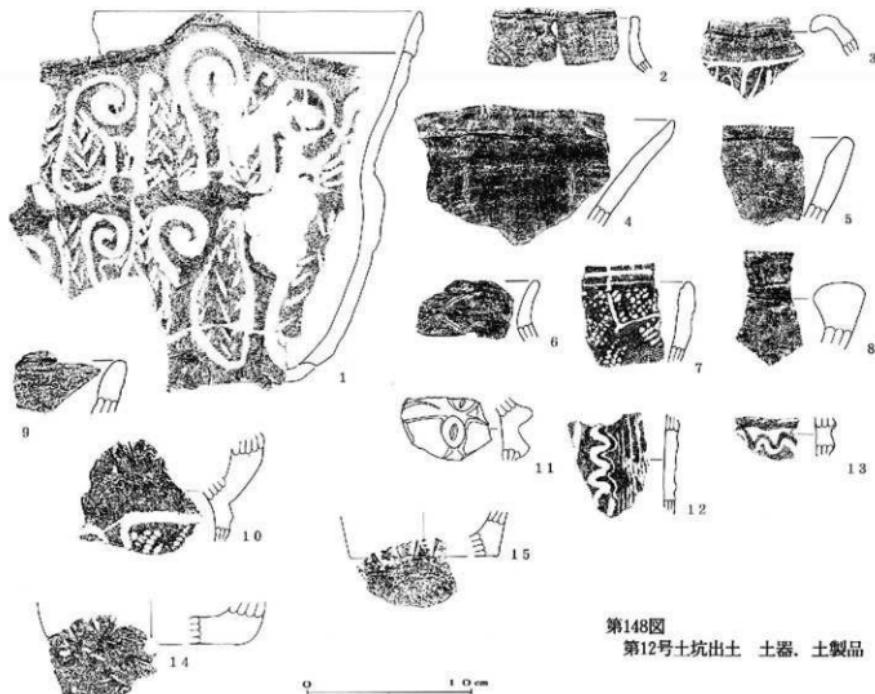
第145図  
第9号土坑出土  
土器、土製品



第146図 第10号土坑出土 土器、土製品



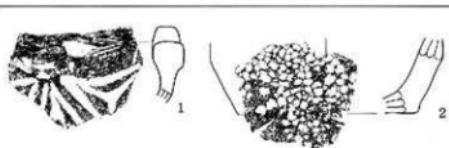
第147図 第11号土坑出土 土器、土製品



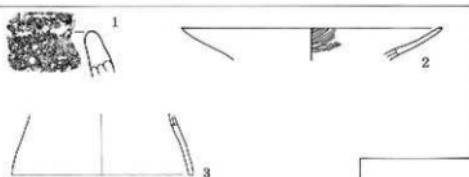
第148図  
第12号土坑出土 土器、土製品



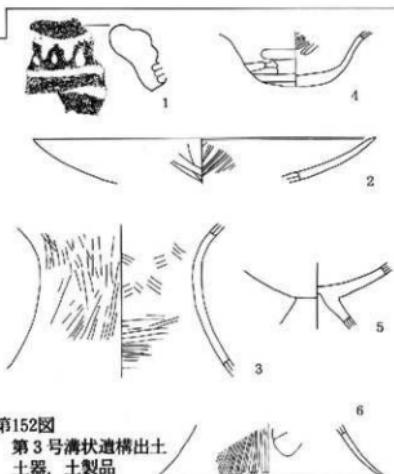
第149図 第13号土坑出土 土器、土製品



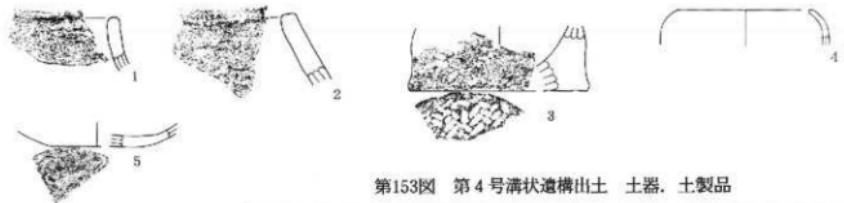
第150図  
第1号溝状遺構出土 土器、土製品



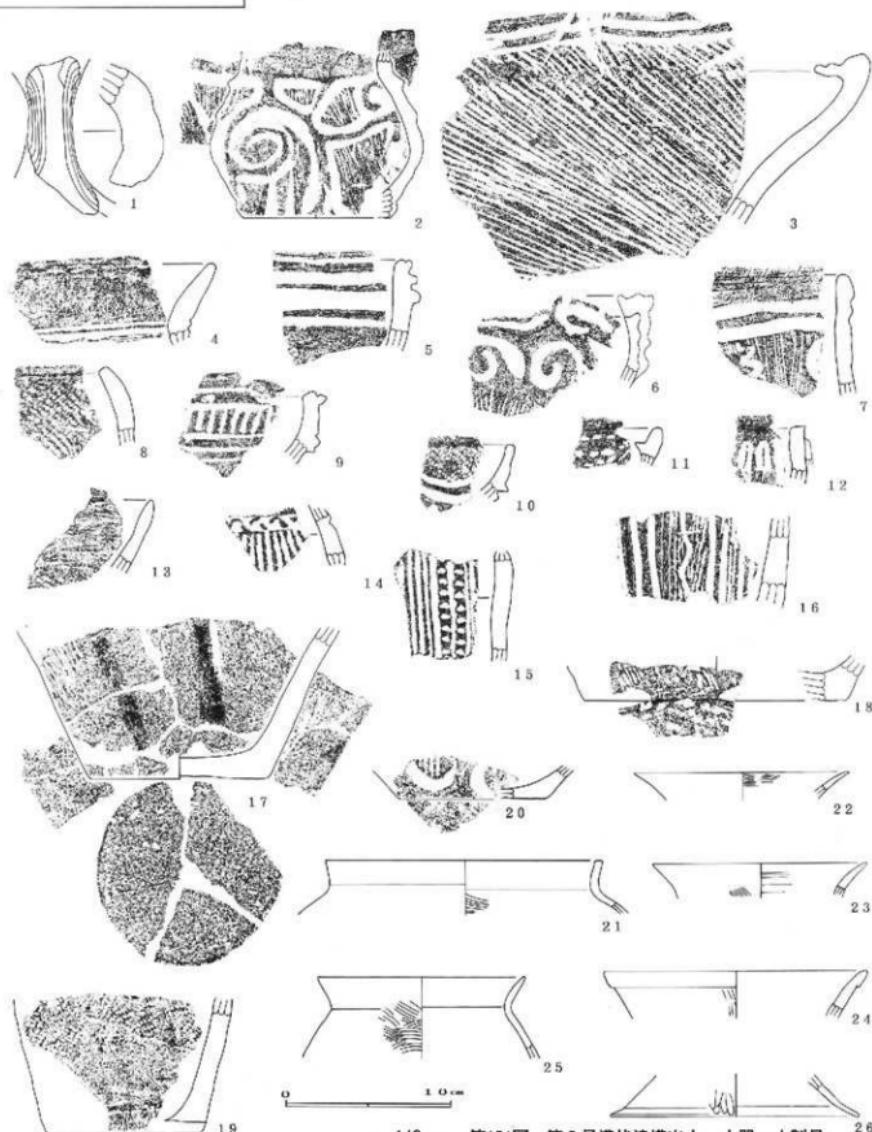
第151図  
第2号溝状遺構出土 土器、土製品



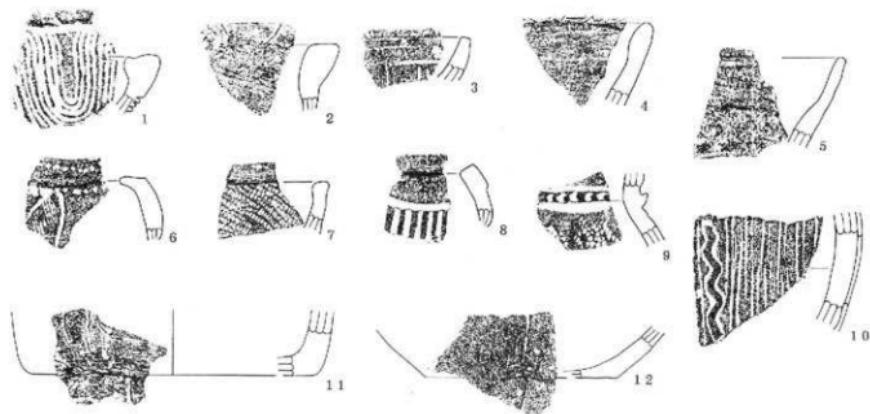
第152図  
第3号溝状遺構出土  
土器、土製品



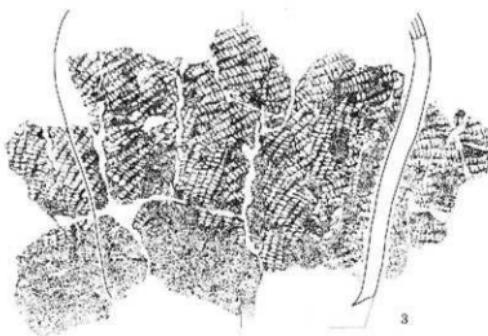
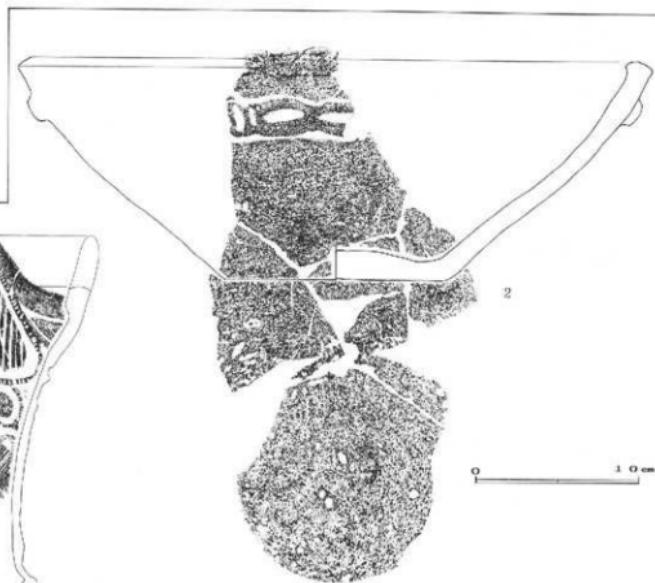
第153図 第4号溝状遺構出土 土器、土製品



—142— 第154図 第5号溝状遺構出土 土器、土製品



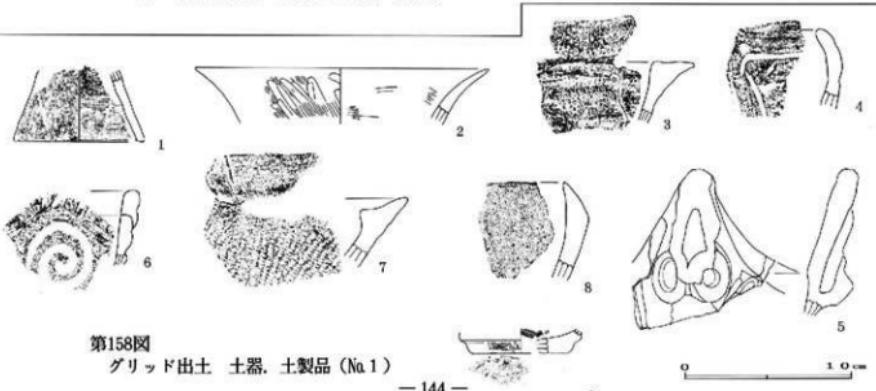
第155図  
第1号竖穴状造構出土  
土器、土製品



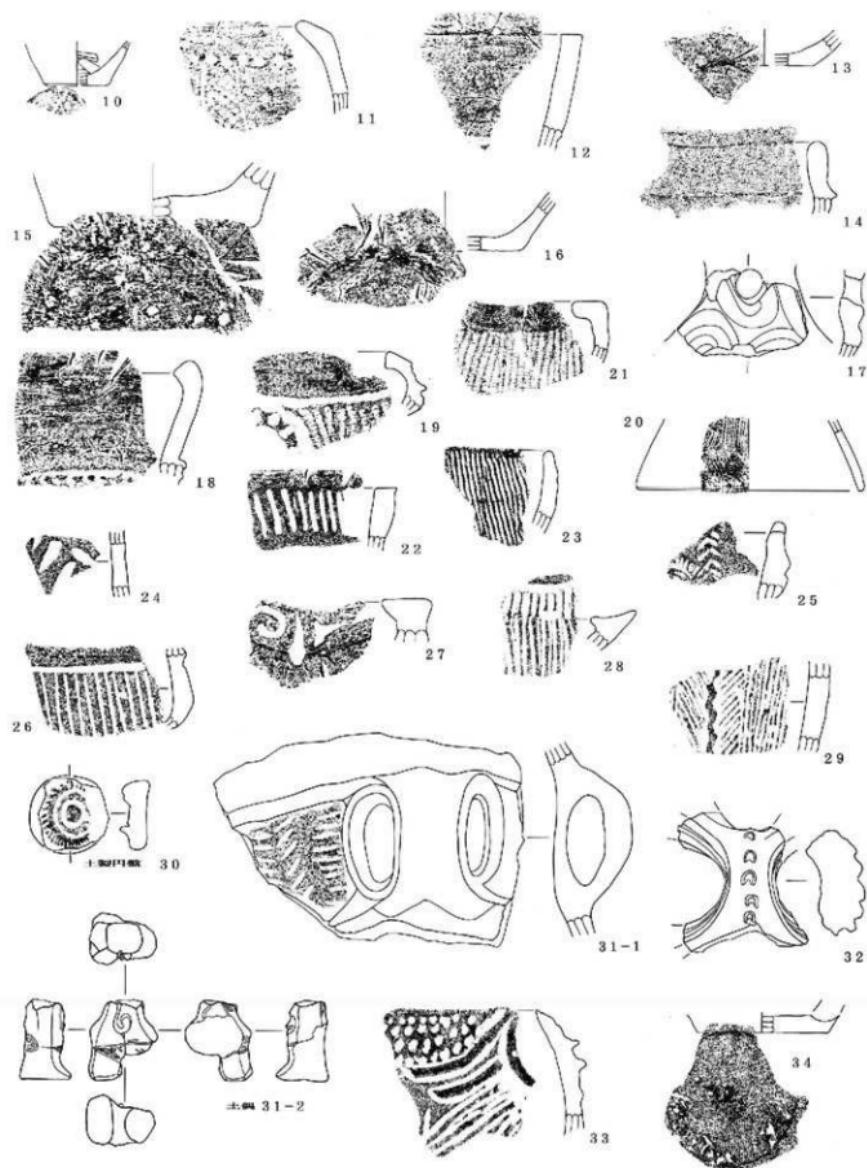
第156図  
第1号古墳出土 土器、土製品 (No. 1)



第157図  
第1号古墳出土 土器、土製品 (No. 2)

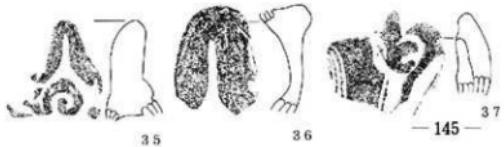


第158図  
グリッド出土 土器、土製品 (No. 1)



第159図  
グリッド出土 土器、土製品 (No. 2)

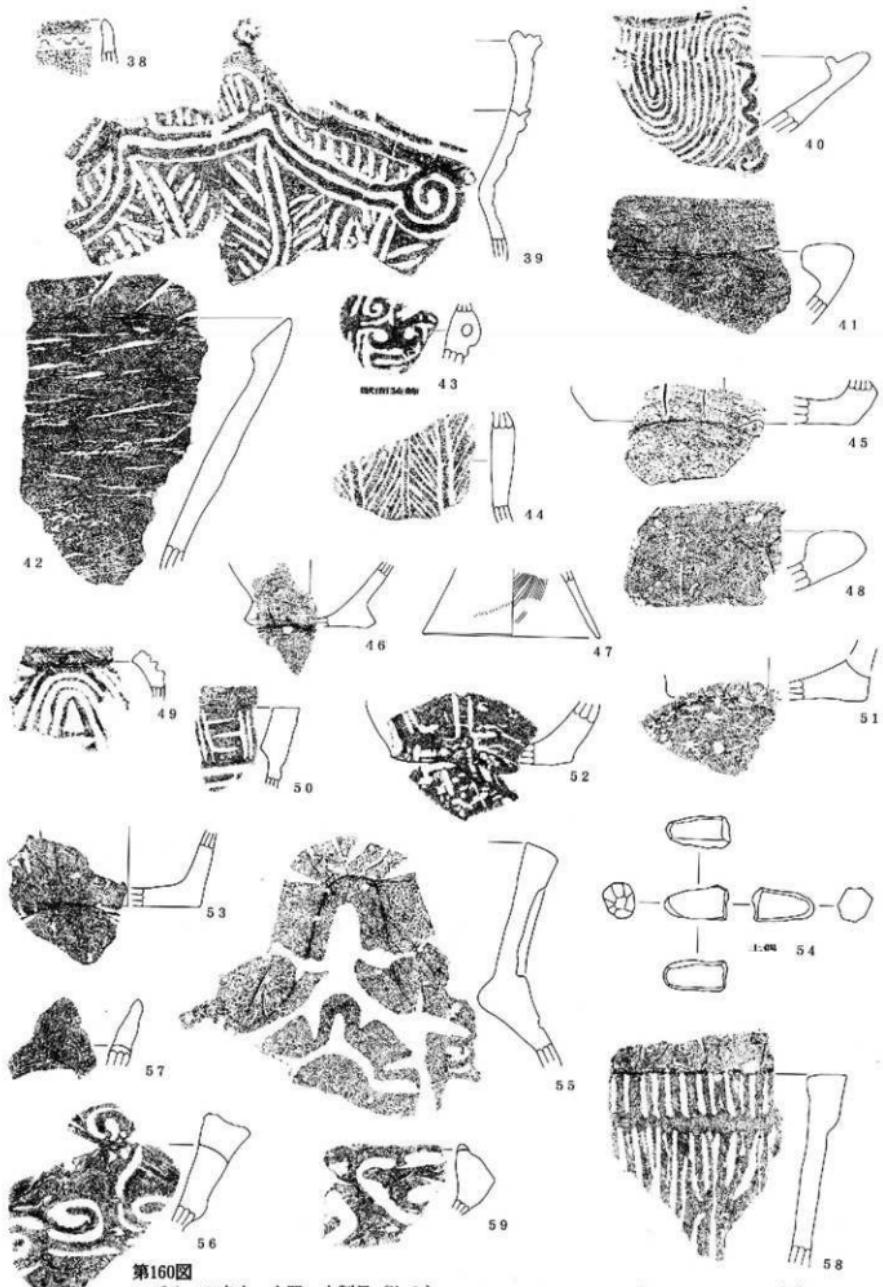
0 1.0 cm



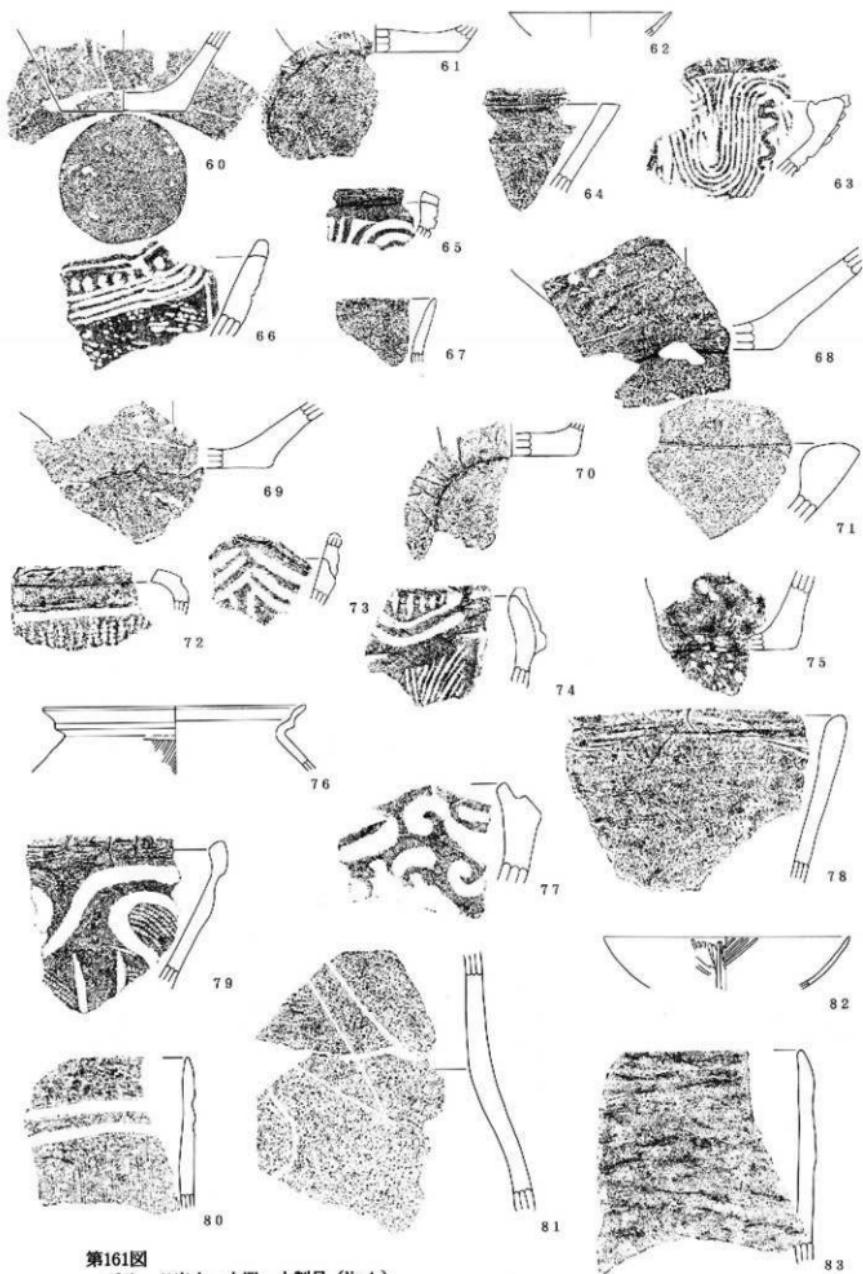
35

36

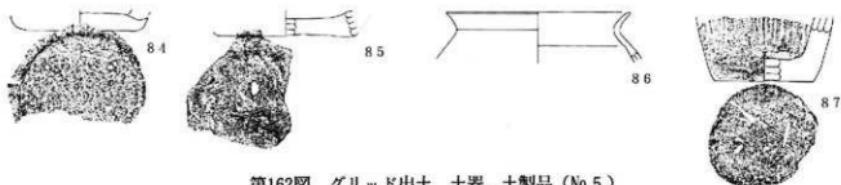
—145—



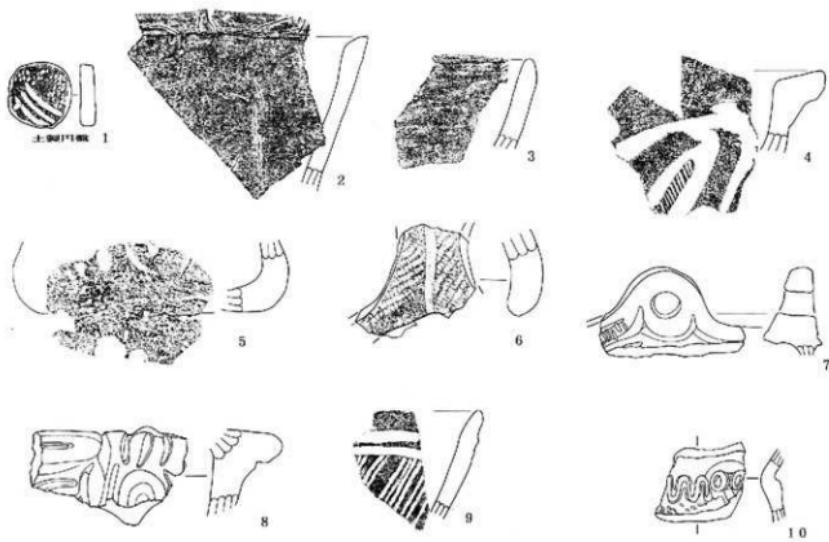
第160図  
グリッド出土 土器、土製品 (No. 3)



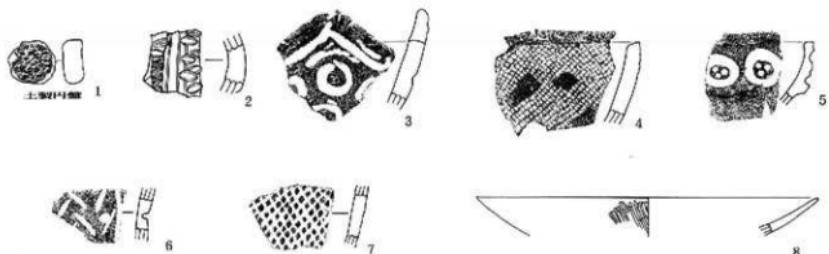
第161図  
グリッド出土 土器、土製品 (No.4)



第162図 グリッド出土 土器、土製品 (No. 5)

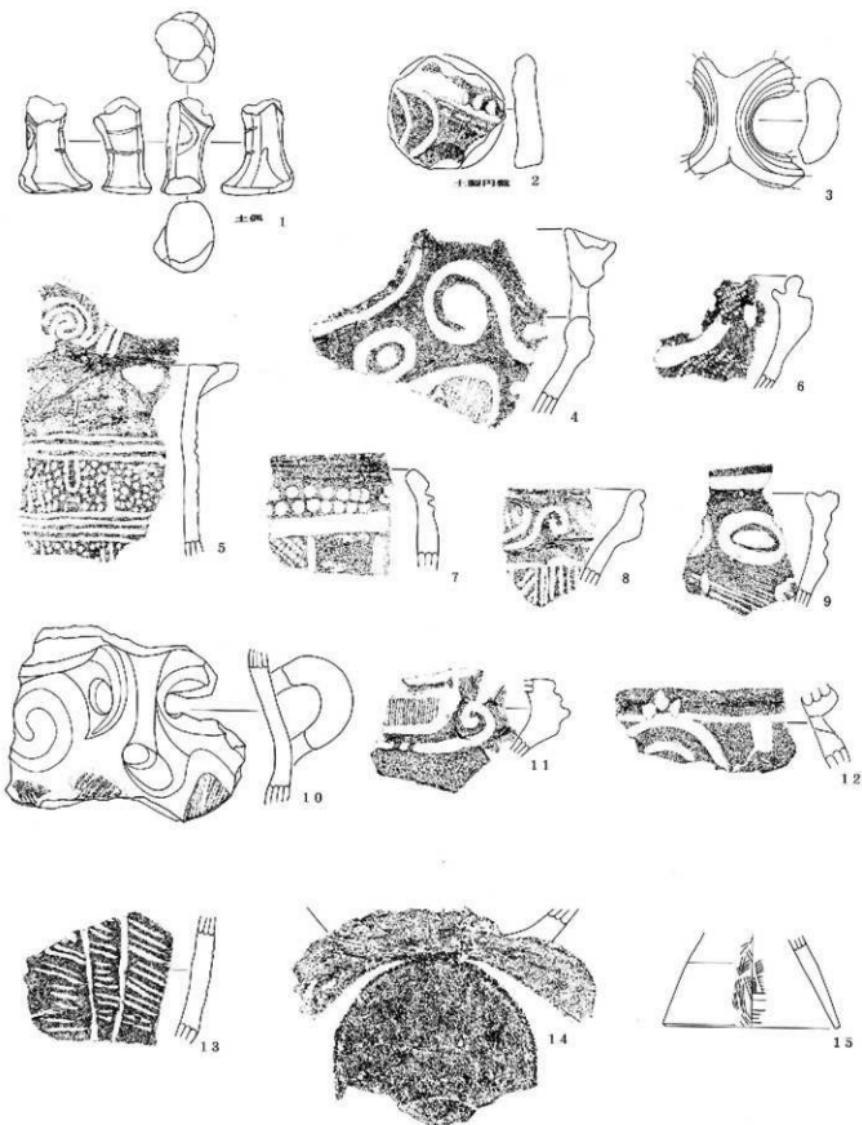


第163図 試掘坑出土 土器、土製品



第164図 C区内出土 土器、土製品

0 1.0 cm

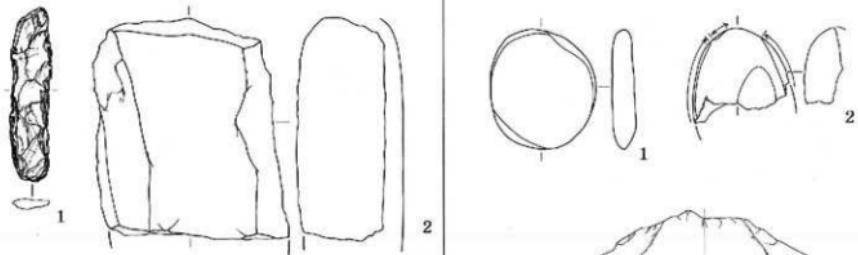


第165図  
調査区内出土 土器、土製品

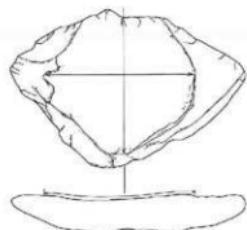


第166図  
地表面出土土器、土製品

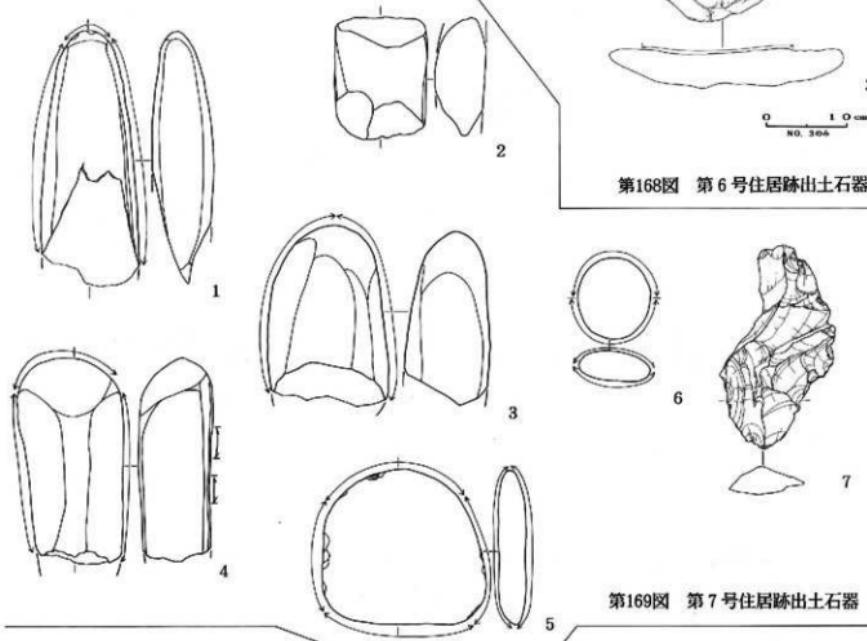
0 10cm



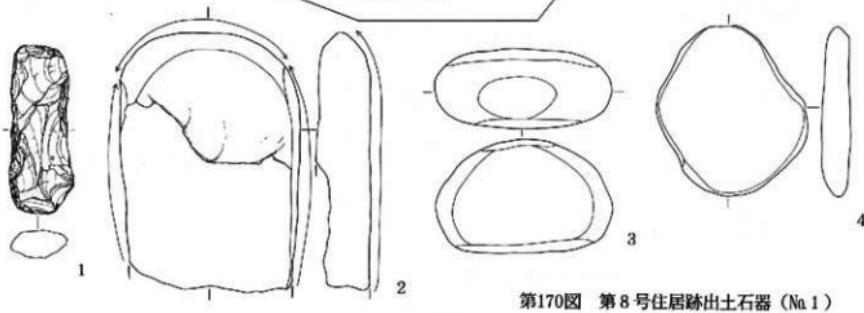
第167図 第3号住居跡出土石器



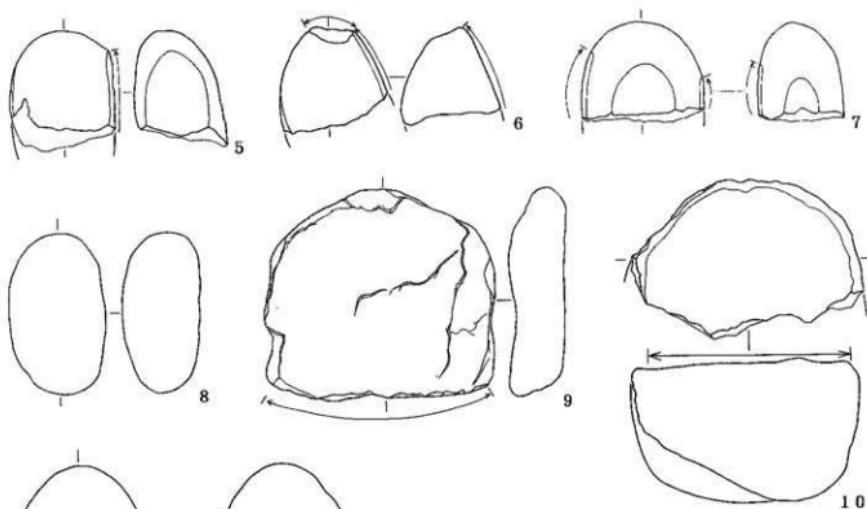
第168図 第6号住居跡出土石器



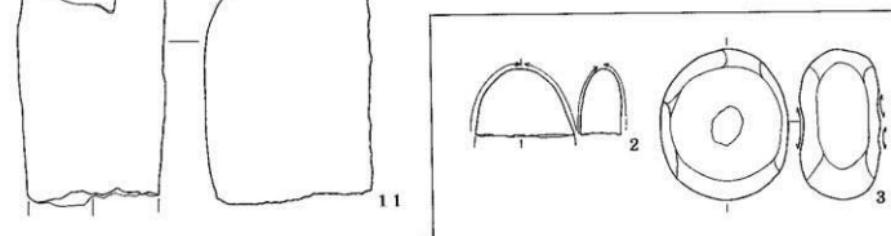
第169図 第7号住居跡出土石器



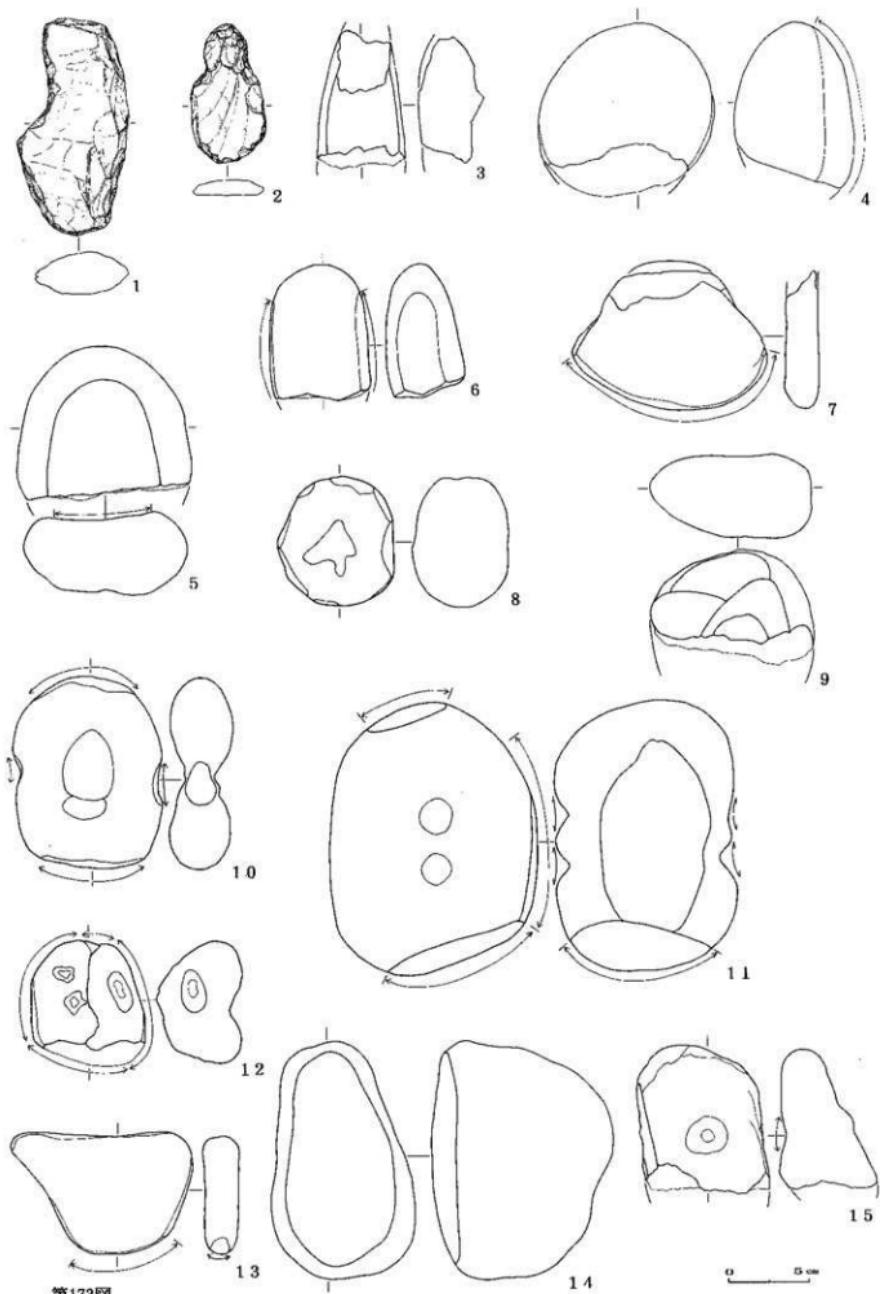
第170図 第8号住居跡出土石器 (No. 1)



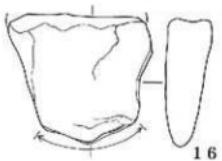
第171図 第8号住居跡出土石器（No.2）



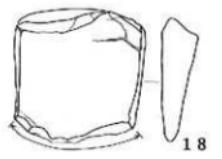
第172図 第9号住居跡出土石器



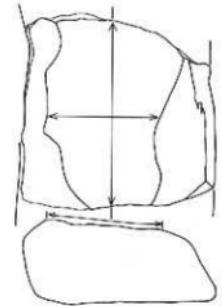
第173図  
第10号住居跡出土石器 (No. 1)



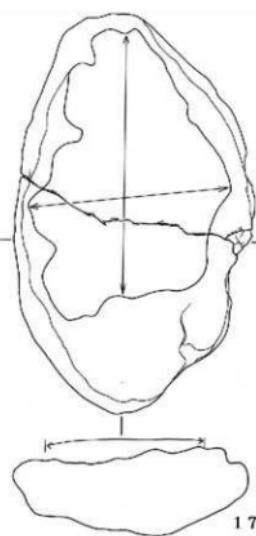
16



18



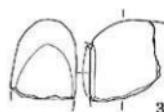
19



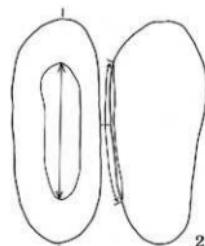
17



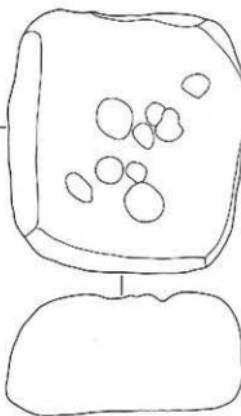
1



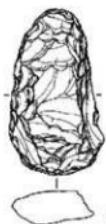
3



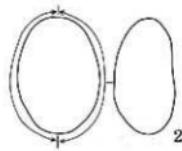
2



5



1



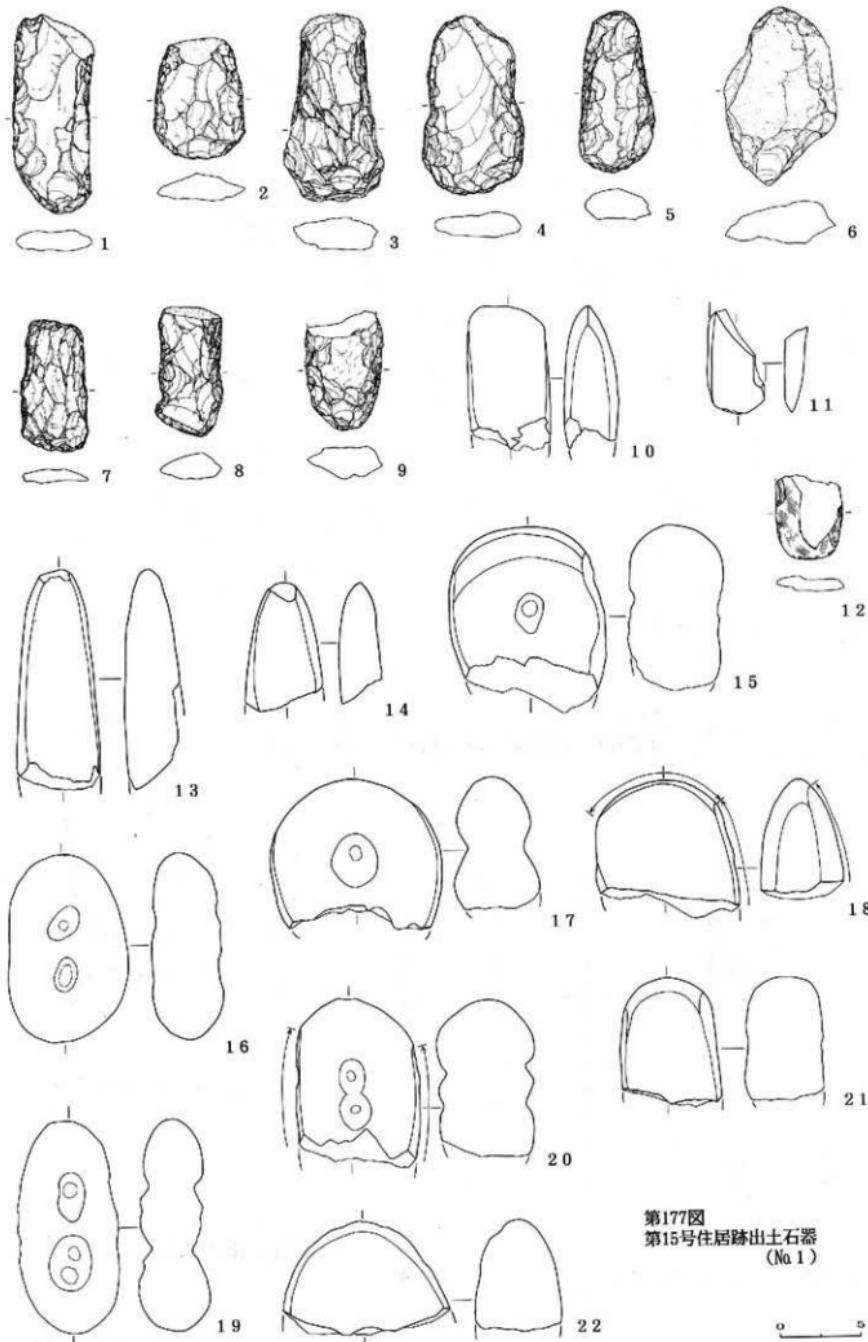
2



4

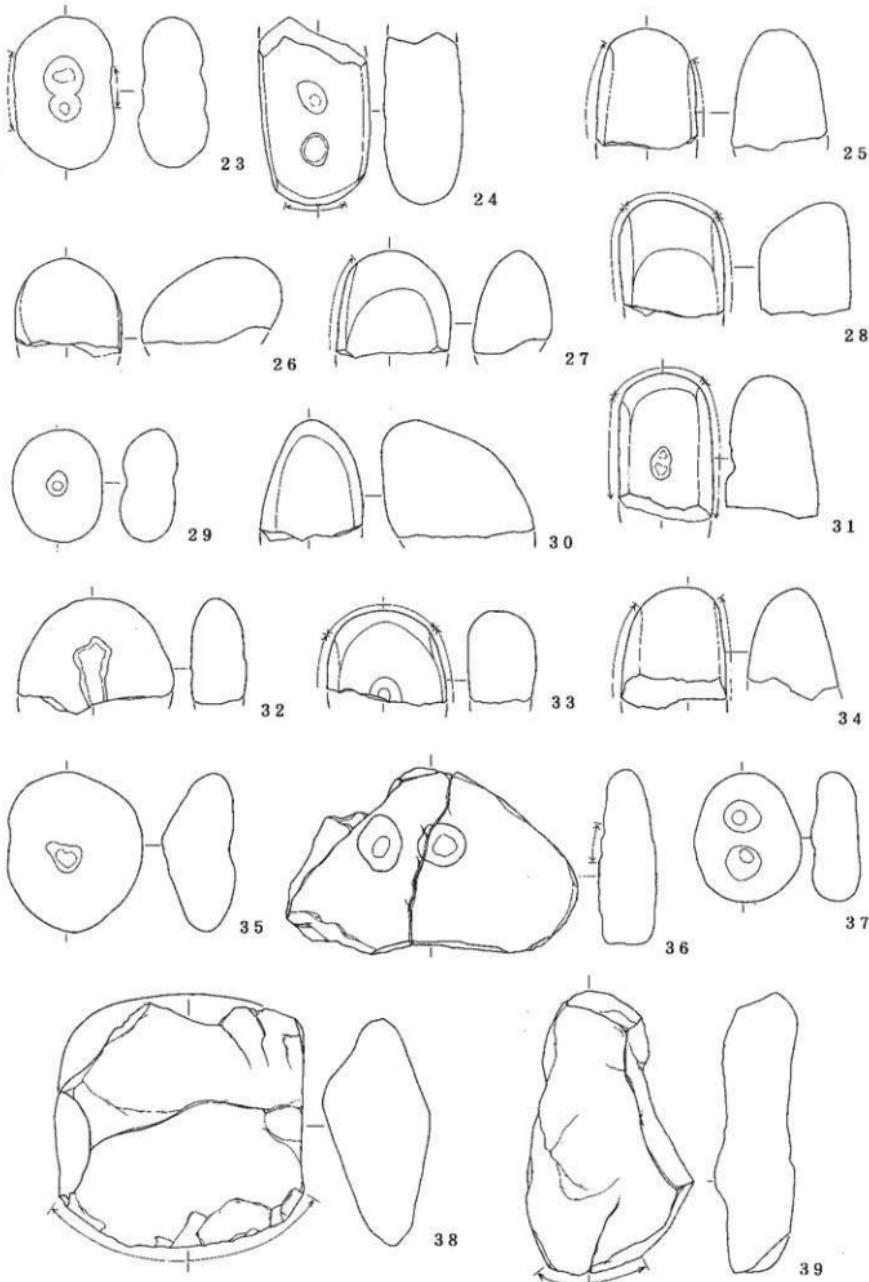
第176図 第14号住居跡出土石器

第175図 第12号住居跡出土石器

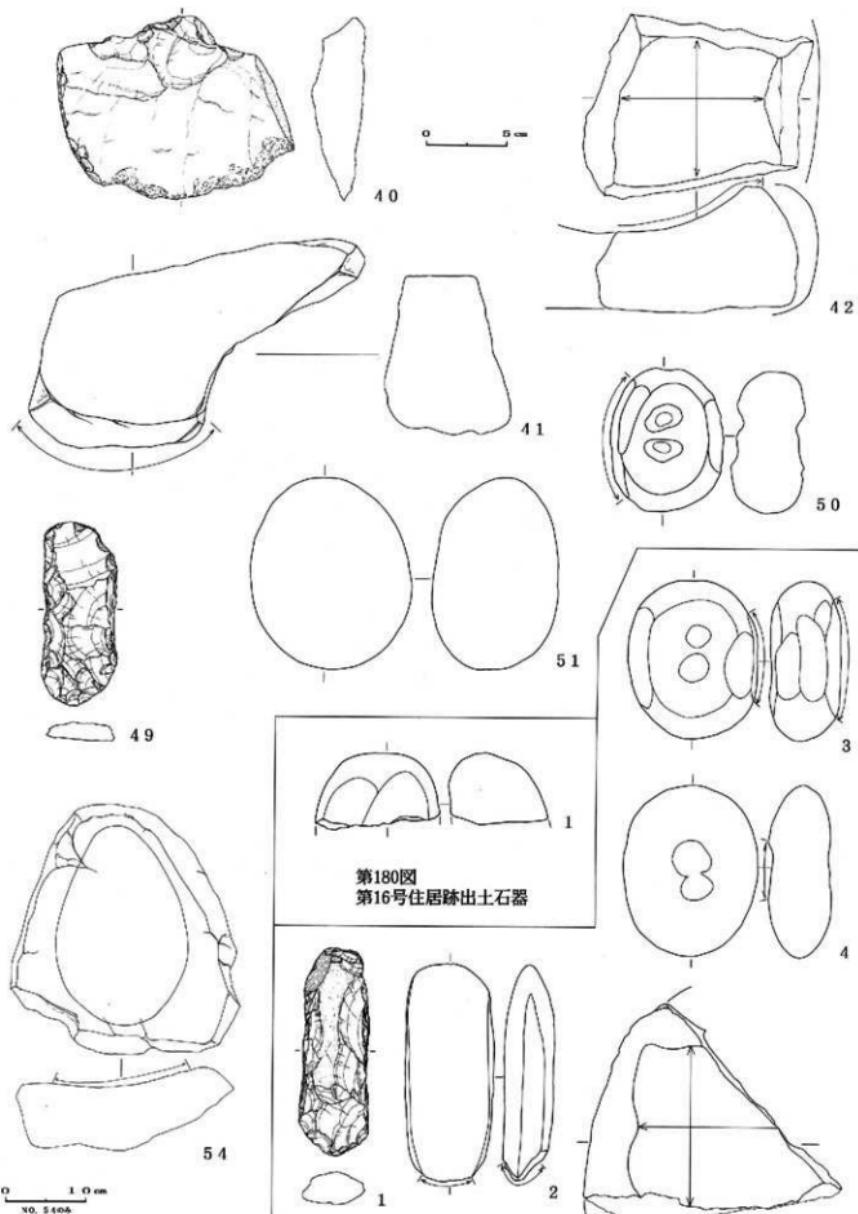


第177図  
第15号住居跡出土石器  
(No. 1)

0 5 cm

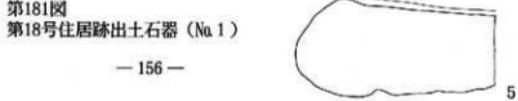


第178図 第15号住居跡出土石器 (No. 2)



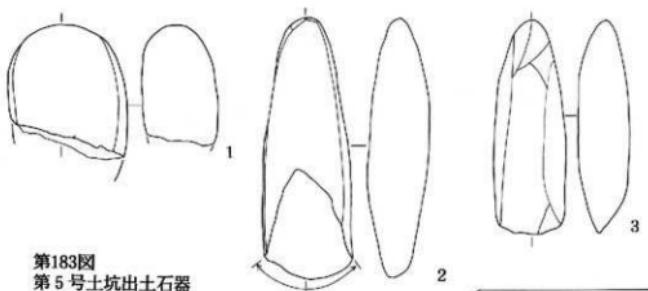
第179図  
第15号住居跡出土石器 (No.3)

第180図  
第16号住居跡出土石器

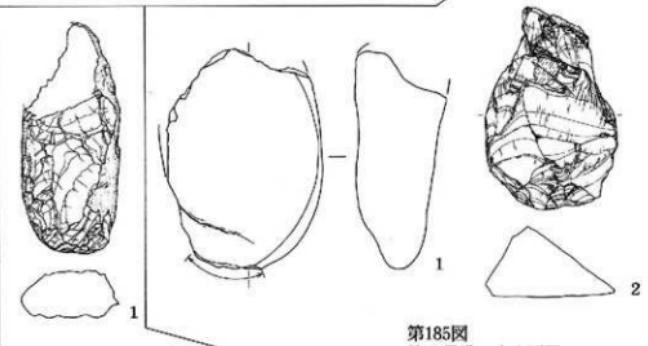




第182図  
第18号住居跡出土石器 (No. 2)



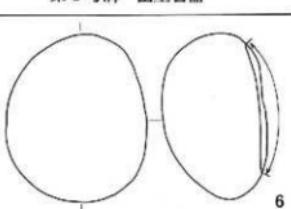
第183図  
第5号土坑出土石器



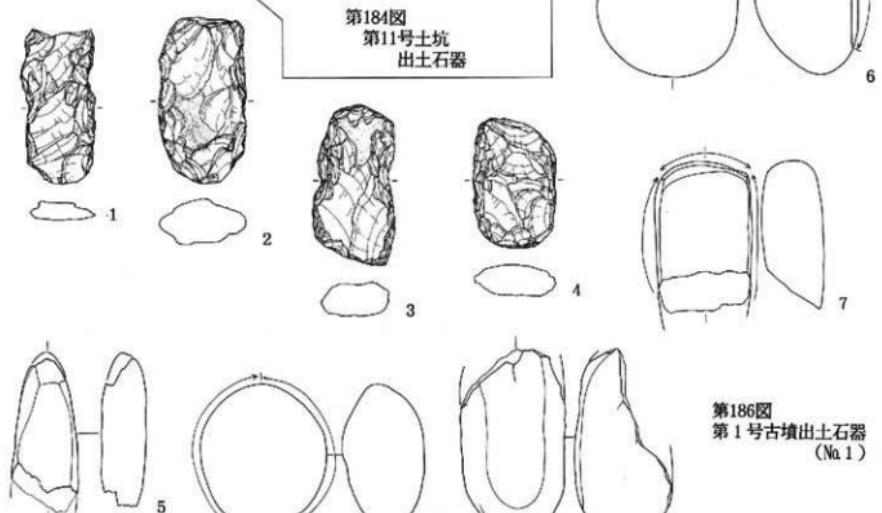
第185図  
第5号溝出土石器

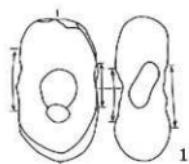


第184図  
第11号土坑  
出土石器

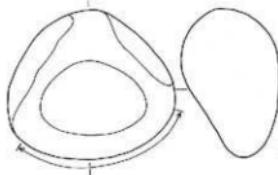


第186図  
第1号古墳出土石器  
(No. 1)

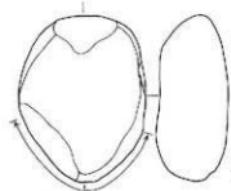




10



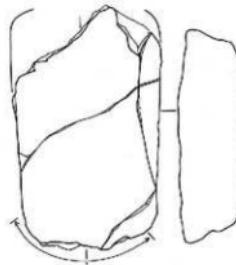
11



12

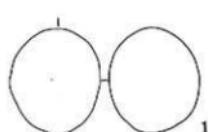


13

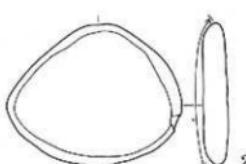


14

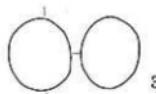
第187図  
第1号古墳出土石器 (No.2)



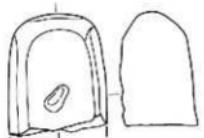
1



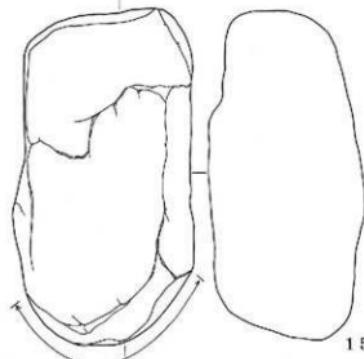
2



3



4

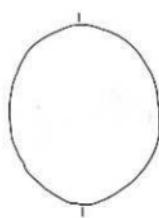


15

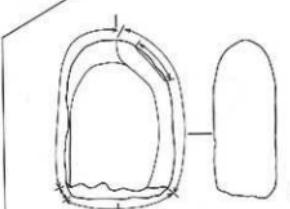
第188図 グリッド出土石器



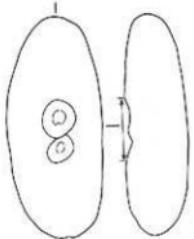
5



7



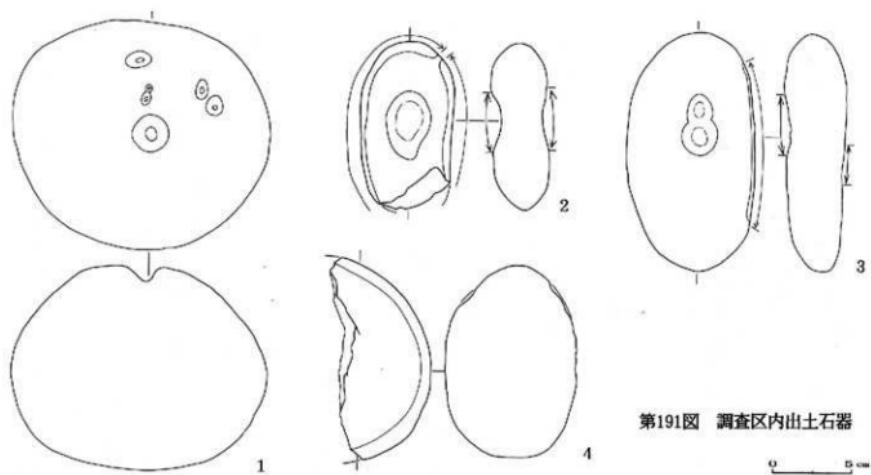
1



1

第189図  
第4試掘坑出土石器

第190図  
C区内出土石器

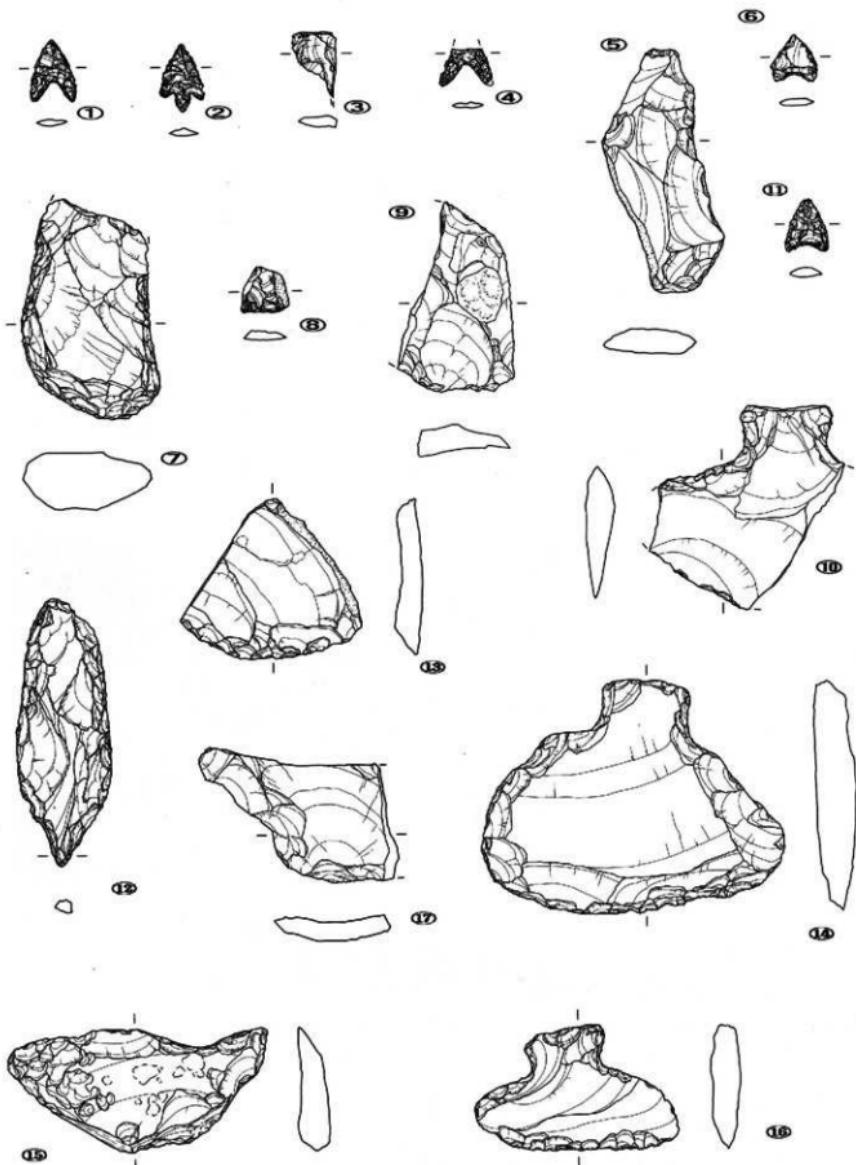


第191図 調査区内出土石器

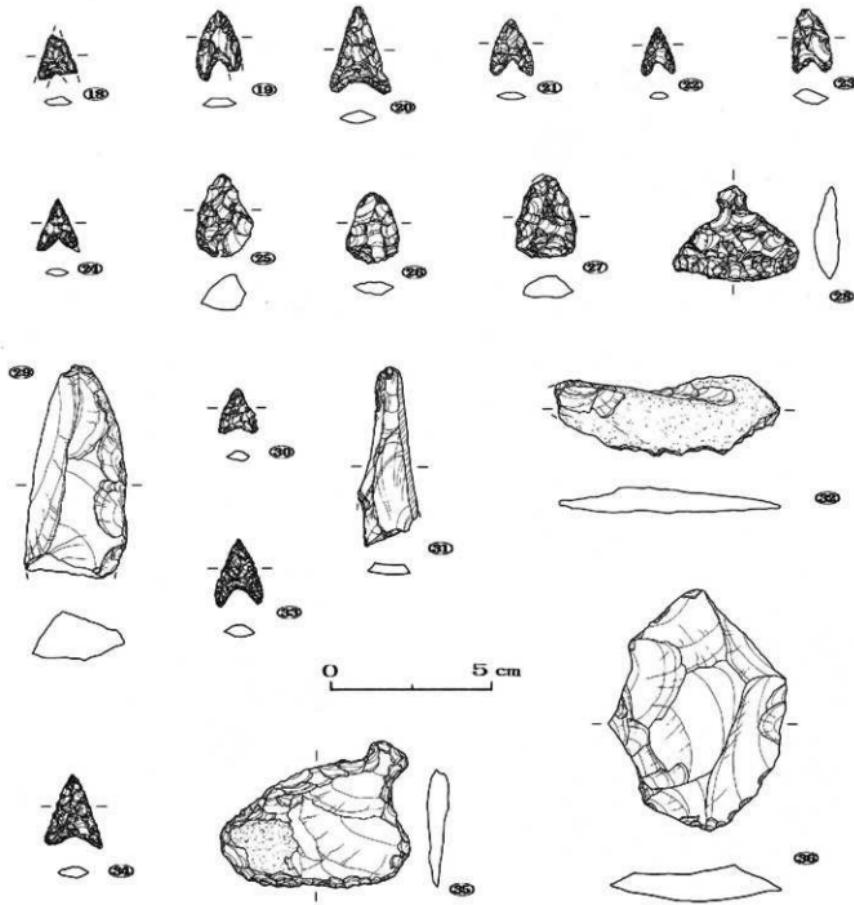


調査作業風景



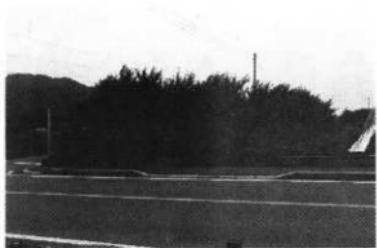


第192図 後呂遺跡出土小型石器(No.1)

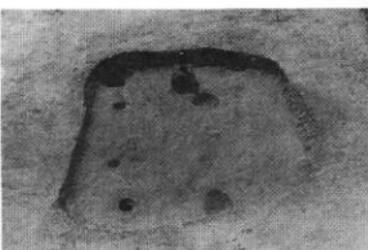


- ① 第2号住居跡 No.7 ⑩ 第10号住居跡 No.21 ⑪ 第15号住居跡 No.56 ⑫ 第15号住居跡 No.65  
 ② 第2号住居跡 No.8 ⑪ 第10号住居跡 No.23 ⑫ 第15号住居跡 No.57 ⑬ 第18号住居跡 No.7  
 ③ 第3号住居跡 No.3 ⑫ 第11号住居跡 No.1 ⑭ 第15号住居跡 No.58 ⑬ 第18号住居跡 No.8  
 ④ 第7号住居跡 No.8 ⑯ 第11号住居跡 No.2 ⑮ 第15号住居跡 No.59 ⑯ 第18号住居跡 No.9  
 ⑤ 第8号住居跡 No.12 ⑰ 第15号住居跡 No.43 ⑯ 第15号住居跡 No.60 ⑰ 3号溝 No.1  
 ⑥ 第8号住居跡 No.13 ⑯ 第15号住居跡 No.44 ⑰ 第15号住居跡 No.61 ⑰ 1号豎穴 No.1  
 ⑦ 第9号住居跡 No.1 ⑯ 第15号住居跡 No.45 ⑰ 第15号住居跡 No.62 ⑰ 1号豎穴 No.2  
 ⑧ 第9号住居跡 No.9 ⑯ 第15号住居跡 No.46 ⑰ 第15号住居跡 No.63 ⑰ 1号古墳 No.16  
 ⑨ 第10号住居跡 No.20 ⑯ 第15号住居跡 No.55 ⑰ 第15号住居跡 No.64 ⑰ グリッド No.6

第193図 後呂遺跡出土小型石器 (No.2)



写真図版55 調査区近景（東から）



写真図版56 第1号住居跡 完掘状況



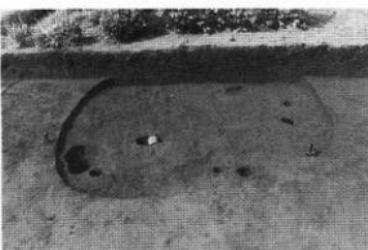
写真図版57 第2号住居跡 遺物出土状況



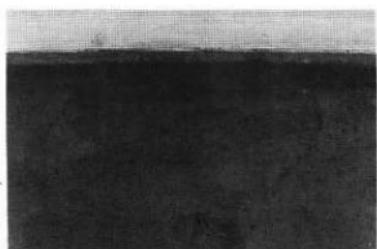
写真図版58 第2号住居跡 完掘状況



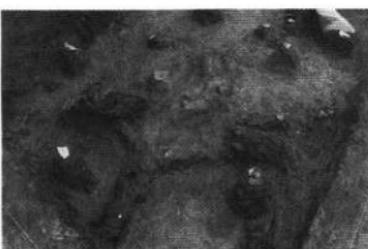
写真図版59 第3号住居跡内土坑遺物出土状況



写真図版60 第3号住居跡 完掘状況



写真図版61 第4号住居跡 完掘状況



写真図版62 第6号住居跡 炭化材検出状況



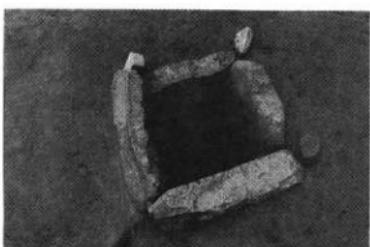
写真図版63 第6号住居跡 炭化材検出状況



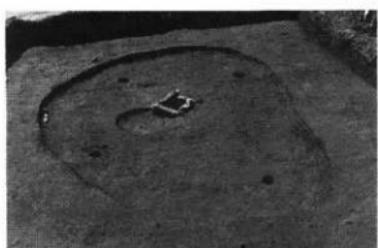
写真図版64 第5・6・7号住居跡 完掘状況



写真図版65 第8号住居跡 遺物出土状況



写真図版66 第8号住居跡 石圓炉完掘状況



写真図版67 第8号住居跡 完掘状況



写真図版68 第9号住居跡 遺物出土状況



写真図版69 第9号住居跡・第4号土坑完掘状況



写真図版70 第10号住居跡 遺物出土状況



写真図版71 第10号住居跡 遺物出土状況



写真図版72 第10号住居跡 埋葬出土状況



写真図版73 第10号住居跡・第6号土坑完掘状況



写真図版74 第11・12・13号住居跡・第5号土坑  
遺物出土状況



写真図版75 第11・12・13号住居跡・第5号土坑  
遺物出土状況



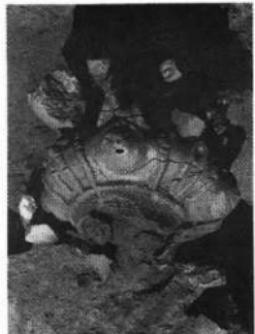
写真図版76 第5号土坑 遺物出土状況



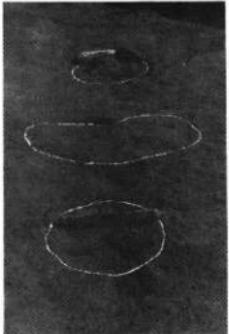
写真図版77 第11・12・13号住居跡・第5号土坑  
完掘状況



写真図版78 第14号住居跡 完掘状況



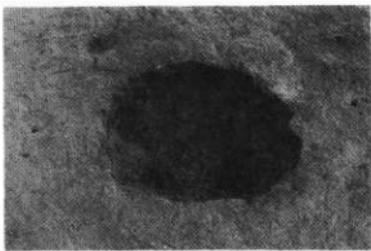
写真図版79 第15号住居跡遺物  
出土状況  
No.26（二面人面付土器）



写真図版80 第15号住居跡  
炉址検出状況



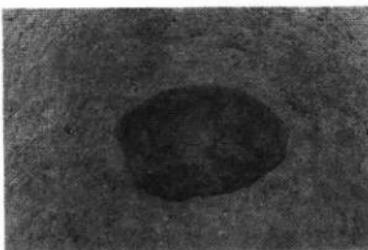
写真図版81 第15号住居跡・第1号古墳完掘状況



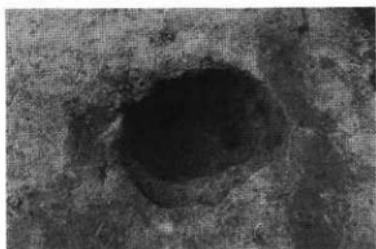
写真図版83 第1号土坑 完掘状況



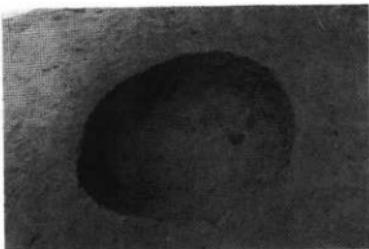
写真図版82 第18号住居跡・第5号溝完掘状況



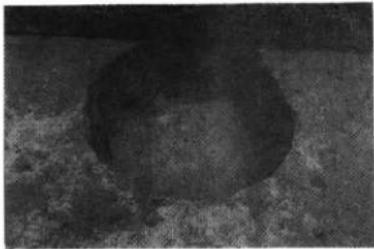
写真図版84 第2号土坑 完掘状況



写真図版85 第3号土坑 完掘状況



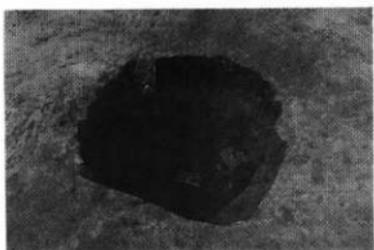
写真図版86 第7号土坑 完掘状況



写真図版87 第8号土坑 完掘状況



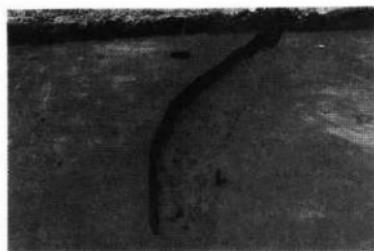
写真図版88 第10号土坑 単独埋藏出土状況



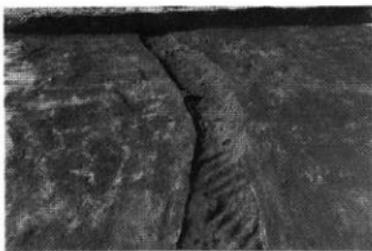
写真図版89 第10号土坑 完掘状況



写真図版90 第1号溝 完掘状況



写真図版91 第2号溝 完掘状況



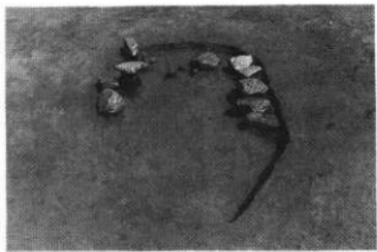
写真図版92 第3号溝 完掘状況



写真図版93 第4号溝 遺物出土状況



写真図版94 第4号溝 完掘状況



写真図版95 第1号竪穴状遺構 完掘状況



写真図版96 第1号古墳周溝・葺石検出状況



写真図版97 第1号古墳 周溝内遺物出土状況



写真図版98 第1号古墳 周溝内遺物出土状況

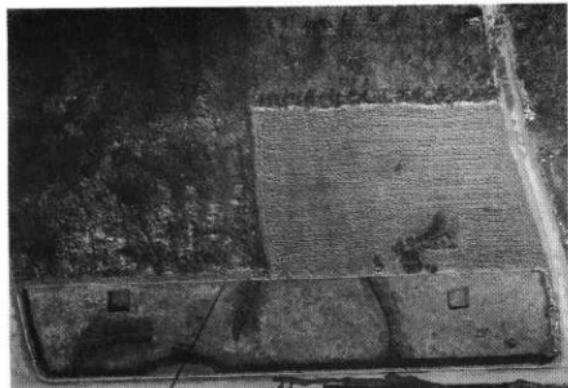


写真図版99 第1号古墳 馬齒出土状況

(骨18)



写真図版100 第1号古墳 完掘状況  
(手前は第15号住居跡)



A区

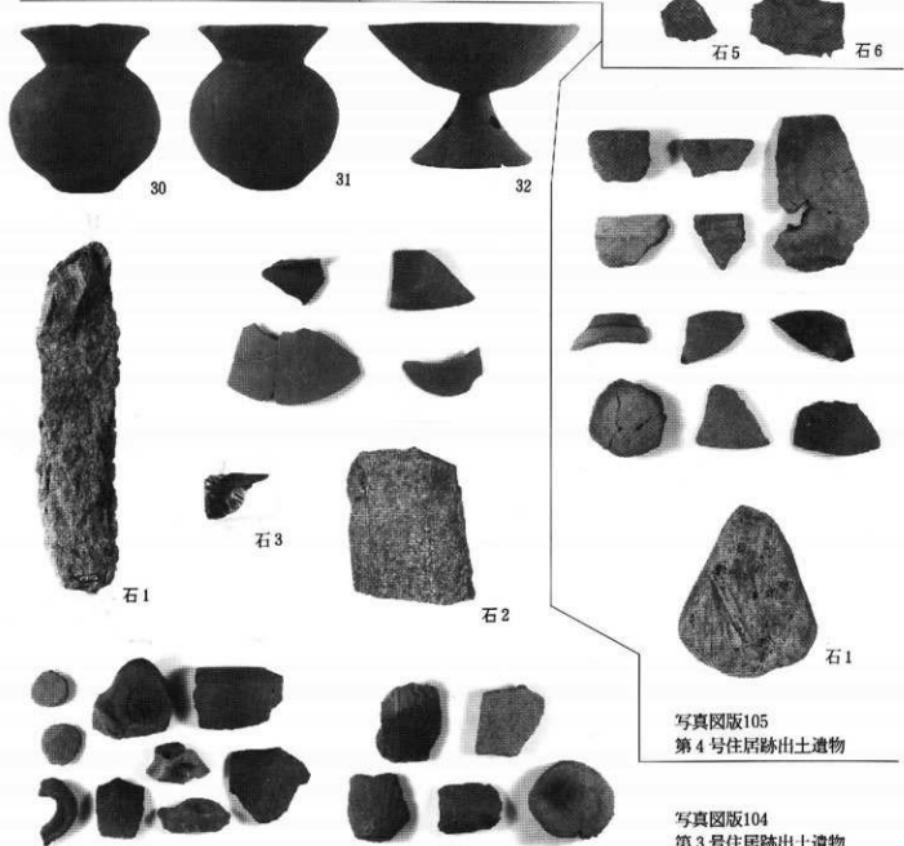


C区



B区

写真図版101  
調査完了後空撮写真真上から

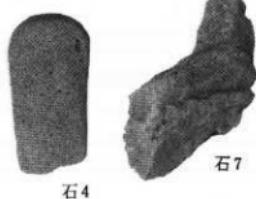
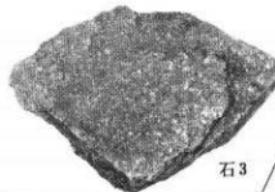




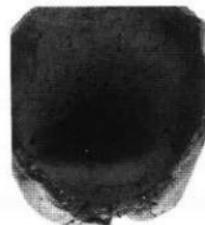
写真図版106  
第5号住居跡出土遺物



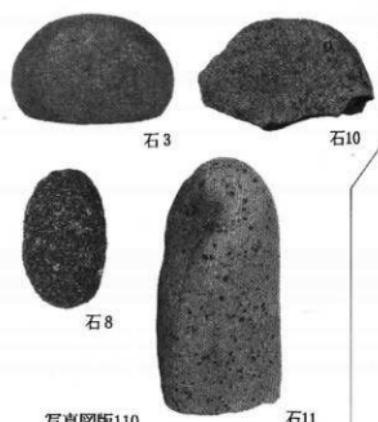
写真図版107  
第6号住居跡出土遺物



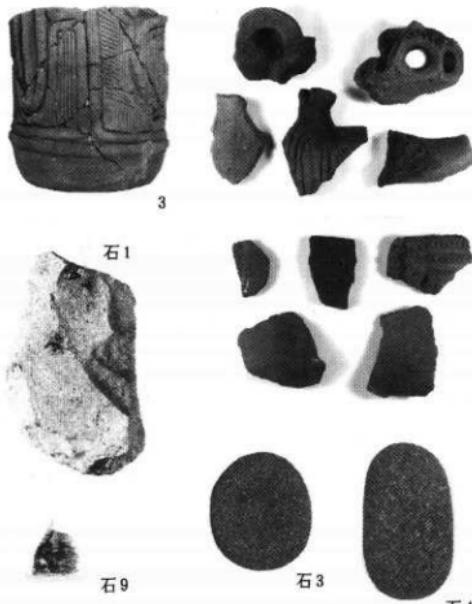
写真図版108  
第7号住居跡出土遺物



写真図版109  
第8号住居跡 出土遺物 (No. 1) - 170 -



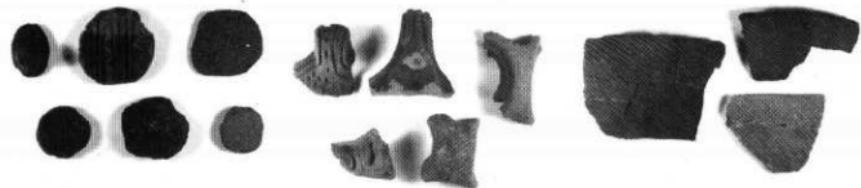
写真図版110  
第8号住居跡 出土遺物 (No. 2)



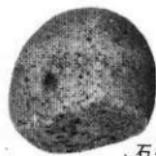
写真図版111 第9号住居跡 出土遺物



写真図版112  
第10号住居跡 出土遺物 (No. 1)



98



石4



石5



石10



石11



石17



石2



石20



石21



石23

写真図版113 第10号住居跡 出土遺物 (No. 2)



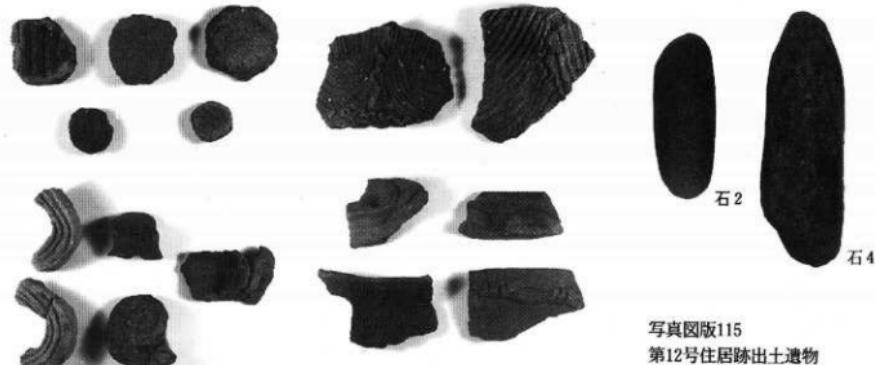
石1



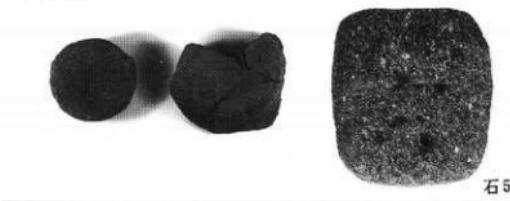
石2

写真図版114

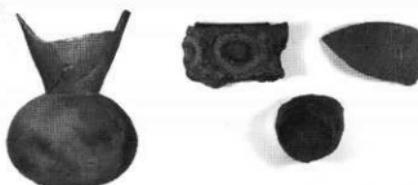
第11号住居跡 出土遺物



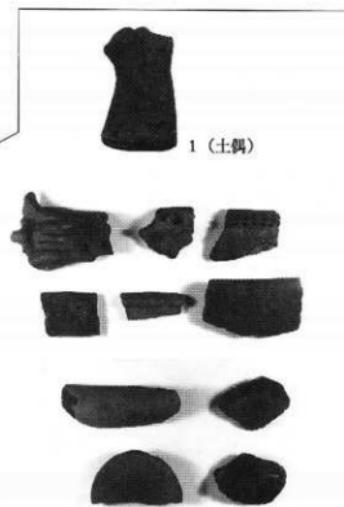
写真図版115  
第12号住居跡出土遺物



5



写真図版116 第13号住居跡 出土遺物



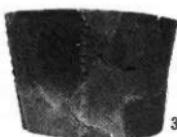
写真図版117  
第14号住居跡出土遺物



写真図版118  
第15号住居跡 出土遺物 (No. 1)



37



38



39



40



42



49



105



41



43



70



172



174



175



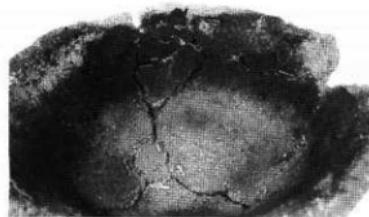
202



203



211



オコゲのアップ204



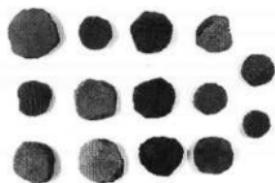
208



242

ミニチュア土器

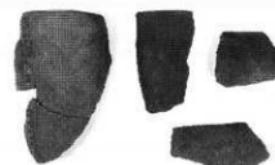
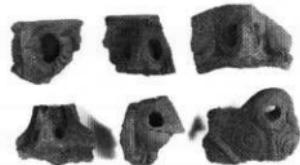
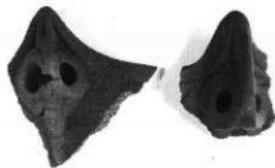




土製円盤



有孔土器



石10



石15



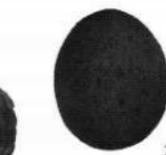
石13



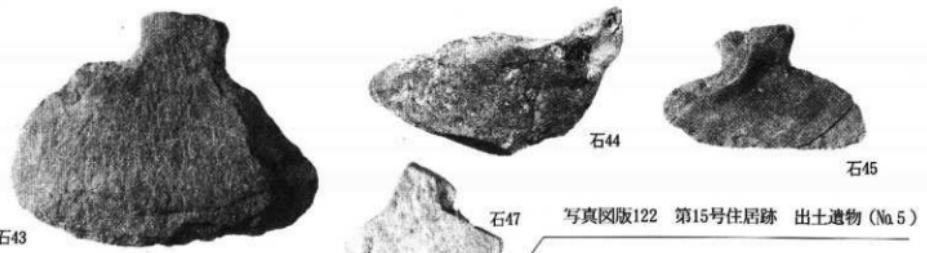
石16



写真図版120 第15号住居跡 出土遺物 (No.3)



写真図版121  
第15号住居跡  
出土遺物 (No. 4)  
石64 - 176 - 石65 (黒曜石製石匙)



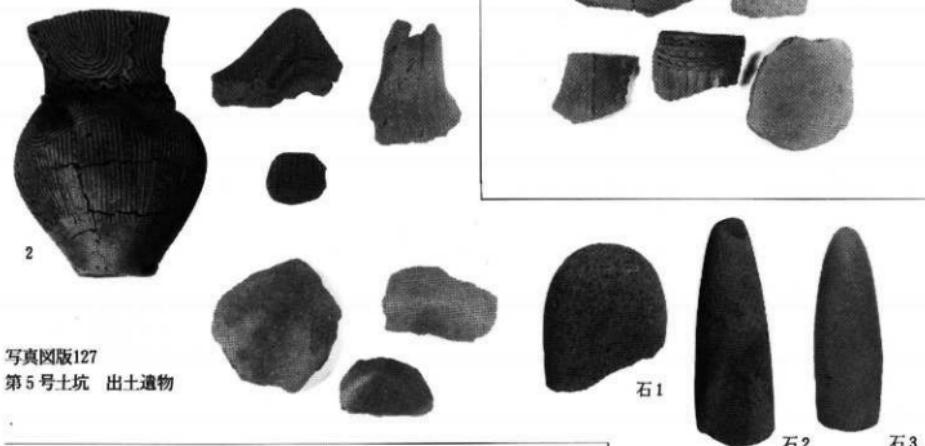
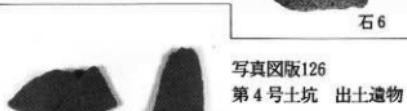
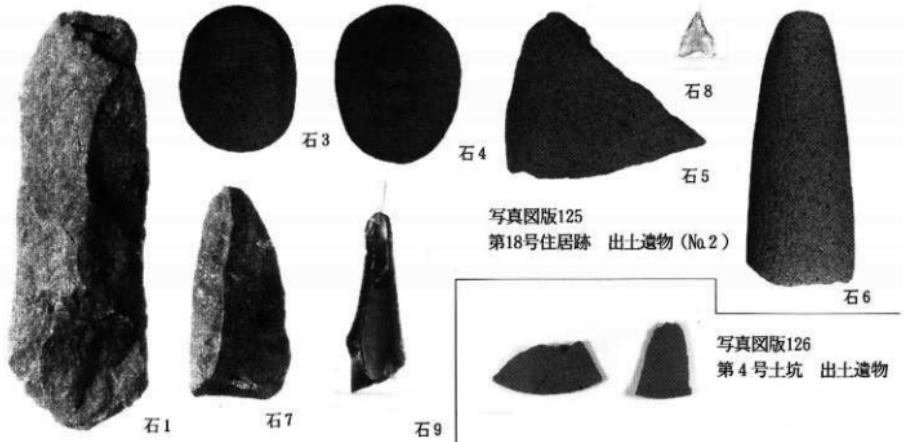
写真図版122 第15号住居跡 出土遺物 (No.5)



写真図版123 第17号住居跡 出土遺物

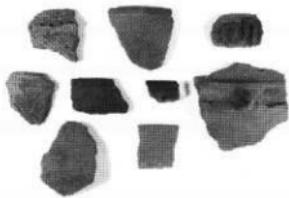


写真図版124 第18号住居跡 出土遺物 (No.1)

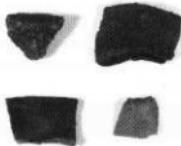




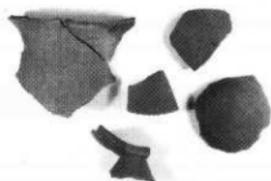
石1



写真図版132 第11号土坑 出土遺物



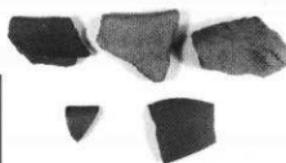
写真図版134  
第13号土坑 出土遺物



写真図版135 第3号溝 出土遺物



石1



写真図版136 第4号溝 出土遺物



2



17



石1

写真図版137  
第5号溝 出土遺物

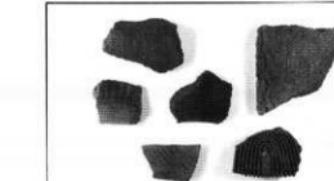


石1  
水晶製石鏟

石2



石2



写真図版138  
第1号竪穴状造構  
出土遺物

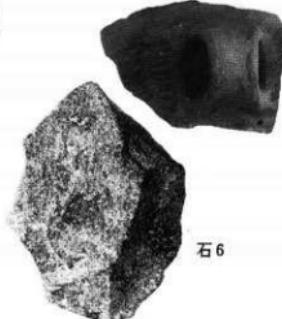
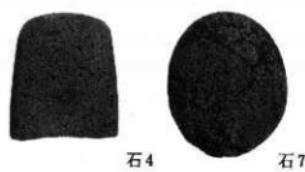
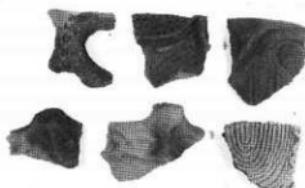


石13

写真図版139 第1号古墳 出土遺物



31-2土偶



石6



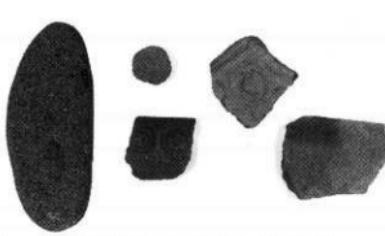
石5

石4

石7



写真図版141 試掘坑 出土遺物



写真図版142 C区内 出土遺物



写真図版143 調査区内 出土遺物



①



②



③



④



⑤

① 骨 5 馬の歯（上の左）

② 骨 9 馬の歯（右臼歯）

③ 骨 11 馬の歯（上の左）

④ 骨 14 馬の歯（上の左）

⑤ 骨 18 馬の歯（不明）

写真図版144 第1号古墳 動物遺体

## 第7章 第15号住居跡出土のNo.25及びNo.26 とされる2つの人面装飾付土器について

後呂遺跡から、2点の人面装飾付土器が出土している。1点は口縁部に2つの顔が付く深鉢型上器の上半部で、もう1点は深鉢型上器の把手部分である。いずれも「土器捨て場」と考えられる第15号住居跡に大量に廃棄された一括資料に混じって出土し、前者No.25、後者はNo.26として取り上げられた。両者はともに注目すべき資料であるので、以下に説明を加え、若干の考察を行いたい。(第194図)

<No.25> この土器は、屈折する口縁部と胴下半部を欠損するが、算盤珠型の底部を持つと考えられる深鉢型土器で、口径17.2cm、残存高16.7cm(把手部を含む)を測る。内折口縁上には1単位の環状人把手が付き、把手下には人面と渦巻の装飾が各2単位配される。さらに人把手はいわゆる蛇頭把手であり、ちょうど人面の頭部にヘビを頂く形になる。内折口縁は人把手とそれに接続する人面および渦巻からなる4単位の文様の間を降帯と渦巻とレリーフからなる装飾で埋める。わずかに残る胴部には単節繩文が施されるが、何らかの儀礼行為の後、胴下半部が故意に打ち割られた結果として欠損したと考えられる。胎土には多くの砂粒を含み、色調は明赤褐色を呈する。繩文時代中期井戸尻式2段階である。

さて人面装飾は、半球状の粘土を貼付し、眉・眼・鼻・口全てが表現されており、ちょうど上偶の顔のようになっているが、両者は一見して異なる表情を見せている。一方は眼が垂れ気味で、口も横に広がったいかにも微笑んでいる表情であるのに対し、もう片方は眼が「逆ハの字」状に釣り上がり、憤怒の形相である。すなわち、「笑い」と「怒り」といった、いかにも対称的な表情を呈しているのである。さらに、渦巻も左巻きと右巻きの違いがあり、やはり対称形となっている。

ところで、口縁部に2つの顔が付く人面装飾付き土器は、本県では大泉寺所第2遺跡及び勝沼町・一宮町釧迦堂遺跡群(三口神平地点)、大月市九鬼II遺跡などに好例がある。寺所第2遺跡には猪沢式期の良好な資料が2点ある。釧迦堂遺跡には猪沢式期、新道式期、井戸尻式期のものがある。九鬼II遺跡は井戸尻式期のものである。一般に、この種のタイプの土器に付けられる人面等の装飾は、2単位もしくは4単位であり、しかも対向する位置に同種の装飾が付くのが基本のパターンである。すなわち、Aという装飾の対面はA'であり、Bに対してはB'となる。その配列はA-B+A'+B'となり、人面等の装飾は対称しているのが通例である。これらの関係は、いわゆるプラスとマイナスあるいは陰と陽の関係であり、この陰と陽の関係こそ、繩文土器の文様パターンの基本となすものと考えられる。

釧迦堂遺跡及び九鬼II遺跡から、No.25に酷似する土器が出土している。前者は三口神平地点土器捨て場B出土土器(第195図1)であり、後者は第62号土坑出土土器(第195図2)である。いずれも井戸尻式2段階の屈曲口縁と屈折底の深鉢型上器である。大把手と人面装飾がセットになるもので、九鬼II遺跡例は塔状把手付き人面装飾と突起状把手付き渦巻が交互に配される。把手は蛇頭で、人面の頭に付く外向きのヘビ、突起状把手は上向きのヘビとして表現されている。すなわち、その配列は人面(A)+渦巻(B)+人面(A')+渦巻(B')となる。人面は、簡略化されたもの(△)と、全く口鼻等の表現が省略されたもの(A')とがあり、これも陰陽の表現と考えられる。これが井戸尻式期のこのタイプの基本パターンと考えると、釧迦堂遺跡からの例も対応する装飾が欠落して不明であるが、大把手付き人面と環状把手が交互に展開すると考えられ、人面+環状把手+(人面)+(環状把手)で

あった可能性が高い。ところがNo.25は、前述土器の配列とは異なり、人面が(A) + 「怒り顔」人面(A') + 「左巻き」の渦巻(B) + 「右巻き」の渦巻(B')という配列となっており、人面(A)と対向するのは渦巻(B)であり、人面(A')に対するのは渦巻(B')となる。この点がこの土器の特色であり、人面に對向する渦巻は、各々の後頭部を表現していると考えられる。

次にこの土器を詳細に観察すると、人面装飾は、まず「笑い顔」から始まる。次に「怒り顔」が付けられ、「左巻き渦巻(B)」、「右巻き渦巻(B')」と時計回りの順に施されたと考えられる。すなわち、土器を反時計回りに回転させながら、もしくは製作者自身が時計回りに移動しながら製作したことが考えられ、あらためて土器の製作が渦巻もしくは螺旋運動であると認識されるのである。

<No.26> No.26は、いわゆる渦巻把手もしくは水煙把手の付く、深鉢型上器の把手部分と考えられるが、従来のものと異なるのは「土器の内側の面に人面が付く」という点であり、筆者はこれまでに渦巻把手に人面が付く例を知らない。のことから、No.26は渦巻把手というよりも人面把手と理解した方が妥当なのかもしれない。この把手は、中空で頭頂部を欠損するが、前部は前頭部が著しく張り出した人面が付き、人面下部は粘土紐隆帯による渦巻文、後部は粘土紐隆帯の積み上げや貼付及び半裁竹管による平行弦線と隆線で表現される渦巻文様からなる。残存高19.3cm、残存巾13.7cm、奥行き14.3cm、厚さ0.8~2.0cmを測る。胎上に砂粒を多く含み、色調は赤褐色を呈する。

ところで、No.26は、過剰な渦巻隆帯文様を除けば、須玉町御所前遺跡に代表される井戸尻式1段階の「出産土器」と呼ばれる大型深鉢型土器に付く把手によく似る。問題は後頭部を主体とした過剰な渦巻隆帯である。しかも中空のこのタイプの把手は、いわゆる「水煙文土器」に特有なものである。水煙文土器は、曾利1式を代表するものであるが、渦巻もしくは水煙把手の付く土器群は、井戸尻式3段階とされる井戸尻式末期から存在することが知られており、曾利1式古段階で確立するといわれている。駒遊堂遺跡野呂原地点・塙川村一の沢遺跡・中道町上野原遺跡から井戸尻式の様相を濃く残す口縁部に4単位の渦巻隆帯による立体的な把手を持つ土器が出土しており、それらは井戸尻式期から曾利式期とをつなぐ過渡期の土器とされる。以上のことから、No.26とした当該人面把手は、古い要素をもつがいわゆる曾利1式段階のものではなく、井戸尻式3段階に位置する渦巻把手付き上器の把手部分と考えるのが妥当であろう。

さて、当該土器群の把手は、鎌首をもたげたヘビもしくは複数の口を持つ想像上の奇怪な生物を思わせるような無気味な芽糞氣をもつものが多く、それのみが単独で上器捨て場や土坑等から発見される例がよくある。しかもそれらの上器群は、把手のいずれかが欠損して発見される例が多い。もともと把手部分が破損しやすいことを考慮しても、全てが欠落する例はあまりなく、意図的に一部の把手だけもぎ取られたかのような様相を呈するものが顕著である。さらにまたこれらの土器群の底部もしくは脣下部も欠損する例が多い点を考慮すると、把手の一部と底部が意図的に破壊された後、特定の場所に葬られたことも十分に想定される。だからこそ、奇怪とも思える把手のみが土器とは切り離されたある特別な存在として、特定の場所から、しばしば単独で発見される結果につながるのであろう。

(猪股喜彦)

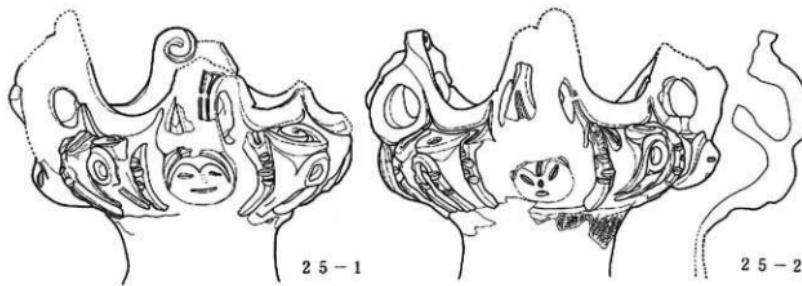
#### <引用・参考文献>

山梨県埋蔵文化財センター『駒遊堂II』1987 山梨県教育委員会

山梨県埋蔵文化財センター『九鬼II遺跡』1996 山梨県教育委員会

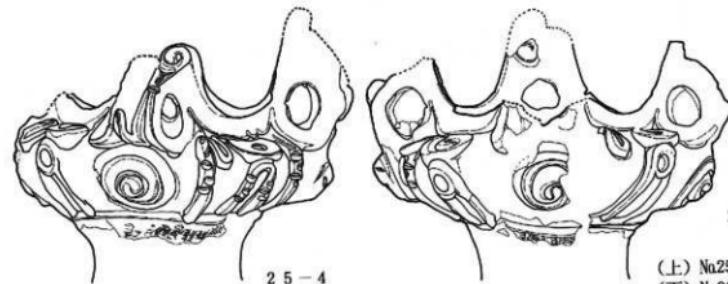
今福利恵『第2章山梨県の考古学編年 2 繩文時代の編年 (8) 中期中葉・(9) 中期後半』

『山梨県史 資料編2』1999



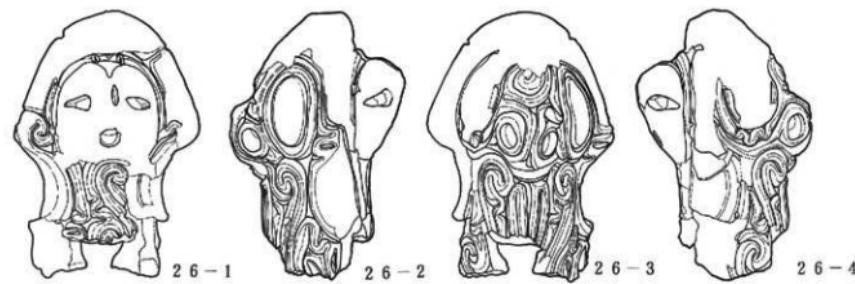
25-1

25-2



25-4

25-3

(上) №25  
(下) №26

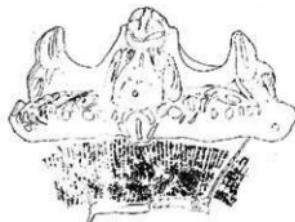
26-1

26-2

26-3

26-4

第194図 後呂遺跡第15号住居跡出土土器（土器№25・26）



1



2

第195図 積迦堂遺跡及び九鬼II遺跡出土土器

## 第8章 後呂遺跡及び山梨県内の古墳に伴う犠牲馬

後呂遺跡の調査で、「第1号古墳」と名づけた古墳が1基検出された。現状は畠地で、後世の削平を受けたために埴丘が消滅してしまっているが、周溝と思われる弧を描く溝とその内側に葺石と思われる礫群を作うことから古墳と認定したものである。古墳の規模は周溝のプランから10m前後と推定され、それほど人気ない小円墳と考えられる。主体部は調査区外で、遺物も出土していないことから時期不明の古墳といわざるを得ないが、近くに埴丘が残る左エ門塚・右エ門塚といった後期古墳と思われる古墳が点在することから、本古墳も後期に属するのではないかと考えている。

さて、このような古墳の南東部を中心に周溝や埴丘部から「馬齒」が出土した。エナメル質に保護されて腐食せずに幸運にも残存したものである。第86図に示すとおり、周溝の上層を中心に7点、埴丘部の葺石と思われる礫の周囲から12点が出土した。本遺構は埴丘が削平された古墳であり、散乱した分布状況は、削平された時に散らばってしまったものだろう。歯の部位は、ほとんどが不明なほどの状態で出土しており、当初に馬をどのような状態で埋葬したのか解明するのは難しい。

古墳に伴って馬が出土するということは、大陸で見られる殉葬が行われていた可能性が高い。これまで日本では、馬の殉葬については、孝徳紀大化2年(646)の条に「大化薄葬令」といわれる詔があり、その中で馬の殉死を禁止することが記されている。このことから、当時そのような風習があったことは推測されていたものの、これまで学会では過小評価されがちであったが、近年の事例報告や研究の積み重ねにより、馬を用いた犠牲行為があったことは考古学からも証明されつつある。そのあたりの研究史や全国の事例集成は、桃崎祐輔氏の論考(註1)に詳しい。

山梨県内で馬齒・馬骨が出土した古墳・周溝墓は、後呂遺跡の出土例を合わせると6例である。ただし、双葉町二ツ塚1号墳のように後世に馬捨て場として利用されたため、古墳の周りから馬骨が出土する例があり(註2)、その地が以前どのように使われていたかという地域の伝承にも注意を有する。

①東山北遺跡(註3)：中道町下向山に所在。東西3.6m、南北3.1.4mを測り、4世紀後葉に比定される2号方形周溝墓の周溝内から馬齒・馬骨が出土した。興味深いのは、馬齒・馬骨とともに鉄鎌も発見されていることである。各地の古墳から出土する馬形埴輪に伴う人物埴輪の多くが鎌を所持しているが、これは飼い葉を刈る道具と推定されており、馬曳きが常に鎌を所持していたらしいことからも馬とのセット関係がうかがえ、また、しばしば馬や鎌が古墳や周溝墓から出土するが、これらは異界をめぐる呪術に使われたことも考えられるという(註4)。

②塩部遺跡(註5)：甲府市塩部2丁目に所在。長辺2.0m、短辺1.2mを測り、4世紀後葉に比定される3号方形周溝墓の周溝から馬齒が出土した。本例にしても、東山北遺跡例にしても4世紀の後葉であり、日本でこれまでに確認された馬の中でも最古級であり、古墳時代の日本国内の中で甲斐国はいち早く馬を導入したことがわかる。馬の飼育は高度な技術が必要であり、馬飼育の技術者(集団)を受け入れていたことが考えられる。このように、古墳時代の前期という国内の馬導入の初期段階から甲斐と馬とを結び付ける歴史的下地があって、後に甲斐国は「黒駒の産地」として知られ、聖徳太子が「甲斐の黒駒」に乗って天上をかけながら富士山と大和を往復した伝説などが生み出されていったのだろう。

③姥塚無名1号墳(註6)：東八代郡御坂町井之上・二之宮に所在し、6世紀中葉以降に比定される径1.6mの円墳の周溝から馬齒が出土した。

④横根3.9号墳(註7)：甲府市横根町に所在し、6世紀末から7世紀初頭にかけての時期に比定される径1.1mの積石塚古墳(円墳)の横穴式石室から1頭分の馬齒が出土した。

⑤編幅塚古墳(註8)：東八代郡八代町に所在し、古墳の規模等は不明であるが、6～7世紀に比定される円墳の横穴式石室から馬骨が出土した。山上状況は14体の北頭位人骨が4体ずつ3通りに並び、人骨の足部に2頭の馬骨が北に向かい、相対して臥し、口辺に轡が1個あったという。

⑥後呂遺跡：第6章第4節 第1号古墳の項参照

このように曾根丘陵上や甲府盆地内に古墳時代の馬の痕跡が見られ、各地の首長層が馬を保有していることがうかがえる。桃崎氏によれば、馬は騎馬兵力、輸送手段、耕作等に使われた貴重な労働力であるはずなのに、後呂遺跡例でもわかるようにそれほど大きな古墳ではなく、小円墳でありながらえて殺して殉葬ができるような立場の被葬者の性格として、馬生産や流通に関与していた可能性が高いという(註1)。

後呂遺跡は曾根丘陵上に立地するが、曾根丘陵と馬を結び付けるものとして、中道町の東山古墳群においては、かんかん塚(茶塚)古墳から県内最古の5世紀後半の鎧などの馬具が山上するのをはじめ、いくつかの古墳の石室から6世紀以降の馬具が出土している。また、中道町に隣接する豊富村では、当村から山上したと伝えられる5世紀後半のF字形鏡板付轡が東京国立博物館に残されている(註9)。時代は少し下るが、三珠町上野原遺跡から発見された奈良時代の土師器蓋に馬の後脚と尾が刻まれているものが見つかるなど(註10)、曾根丘陵と馬との関わりは深く、曾根丘陵周辺の首長たちが馬飼育を行っていたことは確実で、大切な労働力の馬を殺してまで儀礼行為を行うことの意義は、来世においても被葬者につかえるようにとの願いがこめられているのだろう。

後呂遺跡で見つかった馬は、歯の咬耗度が低いことから老齢馬ではなくさうなので、労役の最盛期が過ぎた馬を使ったのではなく、労役にも繁殖にも十分期待できる弱年齢の馬が使われたようだ。そのような馬をあえて犠牲に使うことに意味があったのだろう。残念ながら今回、後呂遺跡で見つかった馬歯の出土状況が良いとはいわず、儀礼のプロセスの復元まで行うことができなかった。とはいものの、古墳から馬歯が山上した意義は大きいことに変わりはない、曾根丘陵周辺の首長層における馬飼育の一側面をうかがうことができる発見ではなかっただろうか。

(岡野秀典)

<引用・参考文献>

- (註1)桃崎祐輔 1993 「古墳に伴う牛馬供犠の検討－日本列島・朝鮮半島・中国東北地方の事例を比較して－」『古文化談義』第31集 九州古文化研究会
- (註2)末木 健 1978 『山梨県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書－北巨摩郡双葉町地内一』 山梨県教育委員会他
- (註3)末木 健他 1993 『東山北遺跡』 山梨県教育委員会
- (註4)坂本和俊 1997 『河童・駒・鎧・轡－考古学的に見た河童駒引きの周辺－』『祭祀考古学』 创刊号 祭祀考古学会
- (註5)小野正文他 1996 『塩部遺跡』 山梨県教育委員会
- (註6)末木 健他 1987 『姥塚遺跡・姥塚無名塚』 山梨県教育委員会
- (註7)信藤祐仁他 1991 『横根・桜井積石塚古墳群調査報告書』 甲府市教育委員会他
- (註8)山本寿々雄 1968 『第5章第2節1古墳』『山梨県の考古学』郷土考古学叢書5 古川弘文館
- (註9)坂本美夫 1998 『伊斐における部民制の成立とその態様－伝豊富村出土F字形鏡板付轡を中心として－』『山梨県史研究』第6号 山梨県
- (註10)末木 健 1999 『第2部第6章(2)馬』『山梨県史』資料編2 山梨県

## 第9章 後呂遺跡における自然科学分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

### はじめに

後呂遺跡では、縄文時代中期中葉～後葉の住居跡・土坑・溝状遺構、弥生時代終末～古墳時代初期の住居跡・土坑などの遺構が検出されている。このうち、第6号住居跡は、弥生時代終末～古墳時代の焼失家屋であり、床面からは住居構築材と考えられる炭化材が出土している。また、第2号住居跡からは、赤色顔料と考えられる赤色の物質が検出されている。

本報告では、住居構築材と考えられる炭化材について樹種同定を行い、用材選択に関する資料を得る。また、赤色顔料と考えられる赤色物質についてX線回折分析を行い、その成分を明らかにする。

### 1. 炭化材の樹種

#### 1) 試料

試料は、第6号住居跡の床面から出土した、住居構築材と考えられる炭化材1点である。

#### 2) 方法

木口（横断面）・柵口（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の割断面を作製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の特徴を観察し、種類を同定する。

#### 3) 結果

炭化材はコナラ属コナラ亜属クヌギ節に同定された（図版参照）。解剖学的特徴などを以下に記す。

コナラ属コナラ亜属クヌギ節 (*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Cerris*) ブナ科

環孔材で孔隙部は1～2列、孔隙外で急激～やや緩やかに管径を減じたのち、漸減しながら放射状に配列する。道管は單穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1～20細胞高のものと複合放射組織がある。

#### 4) 考察

住居構築材と考えられる炭化材は、クヌギ節であった。山梨県内では、これまでにも縄文時代から平安時代にかけての住居構築材について樹種同定が行われている（高橋,1987; パリノ・サーヴェイ株式会社,1993,1994; 植田,1997）。その結果を見ると、縄文時代では比較的クリが多く、クヌギ節・コナラ節はほとんど見られない。一方、弥生時代以降の遺跡では、クヌギ節・コナラ節が多く、クリはほとんど見られない。同様の傾向は、隣接する東京都などでも確認例があり（千野,1991; 高橋・植木, 1994）、時代によって種類構成が異なっていたことが推定される。

今回の結果は、これまで県内で得られている傾向と一致している。このことから、本遺跡でも住居構築材にクヌギ節・コナラ節を中心とした種類構成が見られた可能性がある。本住居跡では、分析を行った炭化材の他にも住居構築材と考えられる炭化材が出土している。今後これらの炭化材についても樹種同定を行い、種類構成の詳細を明らかにしたい。

### 2. 赤色顔料のX線回折分析

#### 1) 試料

試料は第2号住居跡から検出されたサンプル2点である。

## 2) 分析方法

各試料の赤色顔料を可能な限り純粹に抽出し、105°Cで2時間乾燥させた。乾燥させた赤色顔料をメノウ乳鉢で微粉碎した後、アセトンを用いてスライドグラスに塗布し、以下の条件でX線回折分析を行った(足立、1980; 日本粘土学会、1987)。

検出された物質の同定解析は、測定回折線の主要ピークと回折角度から原子面間隔および相対強度を計算し、それに該当する化合物または鉱物をX線粉末回折線総合解析プログラム(五十嵐、未公表)により検索した。

装 置 : 島津製作所製 XD-3 A	Time Constant : 1.0sec
Target : Cu (K $\alpha$ )	Scanning Speed : 2° /min
Filter : Ni	Chart Speed : 2cm/min
Voltage : 30KV	Divergency : 1°
Corrent : 30mA	Receiving Slit : 0.3mm
CountFull Scale : 5,000C/S	Scanning Range : 5~45°

## 3) 結果

結果を図に示した。両赤色顔料は約20°(2θ)付近からベースが高くなっていることから、酸化鉄を含むことが明らかである。ピークとして検出された鉱物は、石英(quartz)、赤鉄鉱(hematite)が圧倒的であり、わずかに斜長石(plagioclase)、クリストバライト(cristobalite)が確認される。

## 4) 考察

赤色顔料中に認められた鉱物は、石英、赤鉄鉱、斜長石、クリストバライトの4鉱物であり、試料による違いはほとんど認められなかった。この中で赤色を呈する鉱物としては赤鉄鉱が代表的である。また、回折線のベースが高いことから、これら赤色顔料には、鉄が高い割合で含まれていることが示唆される。赤色顔料で、赤鉄鉱を主成分とするものはベンガラであり(市毛、1998)、本試料もベンガラと判断される。

ベンガラは、日本各地の遺跡から出土例があり、最も一般的な赤色顔料の一つであったと考えられる。ベンガラは、一般的には赤鉄鉱から精製され、本試料もその一例といえる。しかし、遺跡から出土した酸化鉄系赤色顔料の中には、赤鉄鉱以外にも多くの鉱物が利用されており、広義のベンガラとしてまとめられている(本田、1997)。これらの中には、鉄バクテリアによって作られた鉄化合物を精製した赤色顔料も確認されており、(本田、1997; 岡田、1997; 降幡・沢田、1997)、身近で入手できる様々な酸化鉄を赤色顔料として利用していた様子がうかがえる。

## <参考文献>

- 足立吟也 1980 「粉末X線回折法」『機器分析のてびき3』 化学同人  
本田光子 1997 「出土ベンガラの多様性について」『日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨集』  
市毛 黙 1998 『新版 朱の考古学』 雄山閣  
日本粘土学会編 1987 『粘土ハンドブック 第2版』 技報堂出版  
岡田文男 1997 「パイプ状ベンガラ粒子の復元」『日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨集』

降幡順子・沢田正昭 1997 「酸化鉄系赤色顔料の基礎的研究」『日本文化財科学会第14回大会研究発表要旨集』

パリノ・サーヴェイ株式会社

1993 「上北田遺跡から出土した端家財および炭化種子の同定」

『上北田遺跡』 山梨県北巨摩郡白州町教育委員会・峠北土地改良事務所

パリノ・サーヴェイ株式会社

1994 「健康村遺跡自然科學分析調査報告」『山梨県北巨摩郡長坂町 健康村遺跡』

新宿区民健康村遺跡調査団

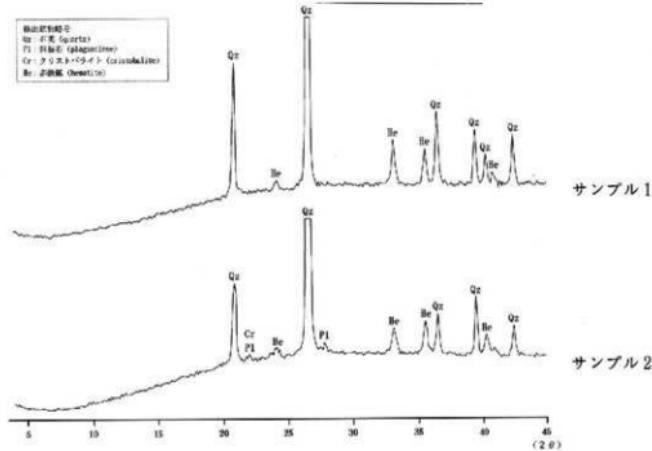
高橋利彦 1987 「炭化材について」『中本田遺跡・堂の前遺跡』 山梨県韮崎市教育委員会・峠北土地改良事務所

高橋 敦・植木真吾 1994 「樹種同定からみた住居構築材の用材選択」 PALYNO,2」

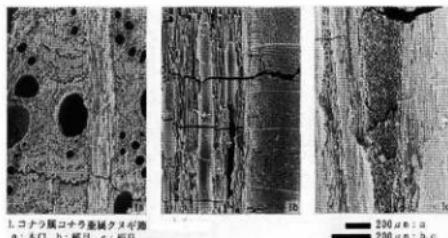
植田弥生 1997 「社口遺跡から出土した炭化材の樹種」『社口遺跡第3次調査報告書』

山梨県北巨摩郡高根町教育委員会・社口遺跡発掘調査団

図 第2号住居跡出土赤色顔料のX線回折図



図版 第6号住居跡出土炭化材



## 第10章 結

今回の調査は、2つの開発事業に伴って行われた緊急発掘調査である。

広域斎場建設地である供養寺遺跡では、狭い台地上からのみ縄文時代中期の小規模なムラが検出されたわけであるが、この台地の麓の谷部からは試掘調査によって、今でも清水を湧出させる場所が確認されており、供養寺・後呂の縄文人の生活を潤わせていたことが想像される。

また、上記斎場への進入路建設事業に伴う後呂遺跡の発掘調査では、狭い調査面積ではあったが、縄文時代の住居跡・土坑をはじめ、多くの遺構・遺物が検出された。

これら発掘調査による成果の中で特筆すべき点がいくつもある。

一つには、遺構に伴わない遺物ではあるが、縄文時代早期前半の所産である押型文上器がグリッドから1点出土していることである（第25表参照）。これまで中道町各地で行われた発掘調査からも東山北遺跡をはじめ、数点の山上例しかなく（註1）、興味深い。

また、縄文時代中期の井戸尻式期から曾利式期までの遺構数に比べた遺物量の多さである。更に、その多さの中にあるバラエティーの豊富なことである。たくさんの上器は、各々精巧に作られており、後呂のムラびとたちの様々な面での水準の高さを垣間見ることができる。中でも、人面・獸面が表現された土器の多さには驚かされる。

……縄文時代中期終焉期以降の長い間、人々の生活の営みは見られなくなるが、弥生時代後期になり、再び後呂ムラが形成されている。そして古墳時代後期に再度姿を見せなくなる。

発掘調査中、担当者や作業協力者全員が感じたのは「北風の強さ」である。

これら自然条件と、今回の調査の成果からつぎのことを想像してみた。

現在、集落（右左口地区の中の七覚区）のことをいう。右左口地区は行政上、上宿・中宿・下宿・七覚・菩薩の5区に分けられている。は、後呂遺跡以南の山裾に広がっている。弥生時代後期または古墳時代初頭までは「集落」として利用されていた後呂の台地は、それ以降、「農地」として活用されるようになり、それまであった集落は今の地に移っていったのではなかろうか？

このことを裏付ける資料として、大宝元（701）年に創建されたと伝えられる円乗寺の存在も大きい。集落の北端ではあるが、七覚集落を正面とし、七覚全城を見わたせる場所に位置するからである。

これまで考古学上未開の地に今回のような大規模な開発が行われたことにより、付近では今後宅地分譲などの開発事業が行われるに違いない。そして、これらの開発に伴っての発掘調査が実施され、上述のような謎の解明、後呂ムラの全容が今後、明らかになるであろう。

（林部 光）

（註1）山梨県教育委員会『甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園 東山北遺跡 - 第1次～第3次調査 -』

1993

### 参考文献

山梨県教育委員会『甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園 うえのだいら

…上の半遺跡第7次発掘調査報告書 -』 1999

# 縄文人の苦楽 表情表す 人付き土器が出土



貴重な感情の「陰陽」一対で  
墜落させの把手に



精神生活の高まり背景。

1998年3月13日 金曜日 3月13日付

3月7日付

中西の遺品選

遺品選

遺品選



写

関係新聞記事抜刷

1998年3月10日 金曜日 3月10日付

# 縄文土器につり目と笑顔 「山產」の苦楽を表現か

中西町 全国初 取っ手に2面



新潟県立歴史博物館蔵  
「山產」の苦楽を表現か

## 岐東

新潟県立歴史博物館蔵  
「山產」の苦楽を表現か

1998年3月10日 金曜日 3月10日付

3月7日付

新潟県立歴史博物館蔵  
「山產」の苦楽を表現か

1998年3月13日 金曜日 3月13日付

3月7日付

中西の遺品選

遺品選

遺品選



写

## 報告書概要

書名ふりがな	くようじいせき うしろいせき					
書名	供養寺遺跡・後呂遺跡					
副書名	東八代広域斎場建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書					
シリーズ名	中道町埋蔵文化財発掘調査報告書					
シリーズ番号	第4集					
編著者名	猪股喜彦・岡野秀典・林部光					
編集機関	中道町教育委員会					
所在地	〒400-1507 山梨県東八代郡中道町下向山1524 TEL055-266-4121 FAX055-266-4123					
発行年月日	平成12年(西暦2000年)3月24日					
所収遺跡名	ふりがな		コード 市町村 遺跡番号	調査期間 1997年5月12日 ～ 1997年8月29日	調査面積 m <sup>2</sup> 5,000	
	所在地	地名				
供養寺遺跡	中道町右左口字供養寺 3091番地1(外75筆)	193267	8	1997年5月12日 ～ 1997年8月29日	5,000	
後呂遺跡	中道町右左口字後呂 3143番地1(外11筆)	193267	7	1997年8月20日 ～ 1997年10月22日	2,000	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項	
供養寺遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡	4軒 削式溝跡・斜手塙・打製石斧・石器・磨石		
			土坑	17基 曾利式深溝・石匙・石棒・多孔石		
		散布地	ビット	6本 埋甕	縄文時代の住居跡?	
縄文時代			深鉢・磨石			
後呂遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡	10軒 舟形式・冒頭式土塁・土製凹窓・土偶・石柱・石礫		
			上坑	10基 渠跡・土製凹窓・打製石斧・磨石・乳棒	うち1基からは帯理甕出	
		弥生時代	住居跡	2軒 壇・高壙	住居内上坑から赤色顔料抽出	
			古墳時代	5軒 台付壘・壇・甕・特殊器台		
		時期不明	古墳時代	1基 馬の歯		
			土坑	1基 高壙・甕		
			時期不明	住居跡・土坑他		

### 中道町埋蔵文化財発掘調査報告書 第4集

#### 供養寺遺跡・後呂遺跡

#### －東八代広域斎場建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－

発行日 平成12(2000)年3月24日

発行 中道町教育委員会

所在地 〒400-1507 山梨県東八代郡中道町下向山1524

TEL055-266-4121 FAX055-266-4123

ホームページ <http://www.comlink.ne.jp/~nakakyo/index.html>

Eメール nakakyo@comlink.ne.jp

印刷 稲村印刷社 TEL055-263-4076 FAX055-263-1144

